

清潔方法、消毒方法其ノ他傳染病ノ豫防救済ニ關シ規約ヲ定ムメシメテ履行セシムルコトヲ得

市町村ハ其ノ市町村内ノ衛生組合ニ於テ傳染病豫防救済ノ爲支出スル費用ノ全部又ハ一部ヲ補助スルコトヲ得

之ヲ定ム 此ノ法律中市町村ニ關スル規程ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外市制町村制ヲ施行セサル地ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

傳染病豫防法施行規則 (大正十一年九月三十日) 第一章 傳染病發生ノ通報及届出 第一條 地方長官傳染病流行ノ兆アリト認ムルトキハ内務大臣ニ報告シ且交通

傳染病豫防法施行規則

(大正十一年九月三十日) (内務省令第二十四號)

第二十五條 國庫ハ勅令ノ規定ニ從ヒ第二十二條第二十四條ノ北海道地方費又ハ府縣ノ支出ニ對シ其ノ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルモノトス

第二十九條 此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ當該吏員ノ指示命令シタル事項ヲ指定ノ期限内ニ履行セサル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム 第三十五條 此ノ法律ハ明治三十年五月一日ヨリ施行ス但シ第二十四條及第二十五條ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

附則

第二條 地方長官ハ傳染病豫防法第一條第一項ニ掲ケル十病ノ外同法ニ依リ豫防方法ヲ施行スルノ必要アリト認ムルニシテ且傳染病豫防法中其ノ適用スヘキ規定及同法ヲ適用スヘキ地域ニ關スル意見ヲ付シ内務大臣ニ報告スヘシ

ノ死體ヲ檢査シタル場合ニ於テ其ノ患者又ハ死體ニ關シ既ニ傳染病豫防法第三條ノ届出アリタルコトヲ知リタルトキハ同一事項ニ付更ニ同條ノ届出ヲ爲スコトヲ要セス其ノ轉歸ノ場合亦同シ

第九條 「コレラ」、「チフス」及流行性腸胃腫脹炎ノ病原體保有者ニ在リテハ二十四時間以上、赤痢、腸「チフス」及「パラチフス」ノ病原體保有者ニ在リテハ四十八時間以上ノ間隔ヲ置キ採取シタル檢査材料ニ付細菌學檢査ヲ行ヒ引續キ二回以上病原體ノ存在ヲ證明セサル場合ニ於テハ病原體消失シタルモノト看做ス

ノ都度便池ニ消毒薬ヲ投入スルコト 二 便所ノ手洗水ニハ消毒薬ヲ用ルコト 三 便器ハ使用ノ都度之ヲ消毒スルコト 四 尿尿ニ汚サレタルモノハ之ヲ消毒スルコト

第二章 疑似症及病原體保有者 第六條 地方長官「コレラ」及「ベスト」以外ノ傳染病ノ疑似症ニ對シ傳染病豫防法ノ全部又ハ一部ヲ適用スル場合ニ於テハ其ノ傳染病ニ對シ適用セラルル傳染病豫防法ノ規定ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

「チフス」ニ付テハ井戸側、井戸流、
瀝所流水溝、汚水溝、便所、井溜
等ニ就キ不潔ナル場所ヲ掃除シ必要
アル場所ニ於テハ其ノ修理及井戸流
ヲ爲シ且蠅ノ驅除及蠅ノ發生シ易キ
場所ノ掃除ヲ行フコト

二 痘瘡、猩紅熱、「サブテリア」及流
行性膿瘡腫膜炎ニ付テハ衣類、寢具
玩具敷物等ヲ清潔ニスルコト

三 麻疹「チフス」ニ付テハ蠅ノ驅除ヲ
行ヒ且衣類寢具蠅ノ棲息シ易キ物件
ヲ清潔ニスルコト

四 「ベスト」ニ付テハ鼠族、蚤及南京
蠅ノ驅除ヲ行ヒ且衣類寢具敷物床
下等蚤及南京蠅ノ棲息シ易キ物件及
場所ヲ清潔ニシ及掃除スルコト

五 室内ノ採光及換氣ヲ充分ニスルコ
ト

前項ノ清潔方法ハ鼠族、昆蟲等ノ驅除
ヲ除クノ外消毒方法ノ施行ヲ了リタル
後之ヲ施行スヘシ

第十八條 前條以外ノ場合ニ於テ施行ス
ル清潔方法ノ要項左ノ如シ

一 宅地及家屋ノ内外ヲ掃除スルコト
二 室内ノ採光及換氣ヲ充分ニスルコ
ト

三 疊、敷物等ヲ日光ニ曬スコト
四 床下ハ換氣ヲ充分ニシ濕潤著シキ
モノハ乾燥セル土砂ノ類ヲ撒布スル
コト

五 汚水砂溜ノ場所又ハ濕潤著シキ場
所ハ之ヲ埋メ又ハ排水ヲ充分ニスル
コト

六 前各條ノ外特別ノ必要アルトキハ
前條第一項第一號乃至第四號ニ準シ
處置スルコト

第十九條 清潔方法ヲ施行スル場合ニ於
テハ蓋ニ消毒藥ヲ撒布スヘカラス傳染
病ノ流行ニ際シ蓋蓋ヲ掃除スル場合ニ
於テ必要アルトキハ燬物石炭水普通石
灰水又ハ「クローレル」石灰水ヲ以テ消毒
シタル後清潔ニスルコト

第二十條 清潔方法ノ施行ニ因リ生シタ
ル汚泥、塵芥ノ類ハ適當ノ運搬器具ニ
入レ一定ノ場所ニ投棄シ又ハ焼却スヘ
シ

第五章 消毒方法
第二十一條 消毒方法ハ左ノ四種トス

一 燒却
二 蒸汽消毒
三 煮沸消毒
四 藥物消毒

第二十二條 蒸汽消毒ニハ流通蒸汽ヲ用
キ成ルヘク消毒器内ノ空氣ヲ排除シ一
時間以上攝氏百度以上ノ濕熱ニ曝シ
ムヘシ

一 消毒ニ因リ褪色ノ虞アルモノハ蒸
汽消毒ヲ避ケ他物ニ染色ノ虞アルモ
ノハ他物ト混シ蒸汽消毒ヲ行ハサル
コト

一 消毒ニ因リ褪色ノ虞アルモノハ蒸
汽消毒ヲ避ケ他物ニ染色ノ虞アルモ
ノハ他物ト混シ蒸汽消毒ヲ行ハサル
コト

一 消毒ニ因リ褪色ノ虞アルモノハ蒸
汽消毒ヲ避ケ他物ニ染色ノ虞アルモ
ノハ他物ト混シ蒸汽消毒ヲ行ハサル
コト

一 消毒ニ因リ褪色ノ虞アルモノハ蒸
汽消毒ヲ避ケ他物ニ染色ノ虞アルモ
ノハ他物ト混シ蒸汽消毒ヲ行ハサル
コト

一 消毒ニ因リ褪色ノ虞アルモノハ蒸
汽消毒ヲ避ケ他物ニ染色ノ虞アルモ
ノハ他物ト混シ蒸汽消毒ヲ行ハサル
コト

二 衣類ハ豫メ袖又ハ衣蓋ヲ檢索シ爆
發又ハ發火シ易キ物件アルトキハ之
ヲ取出スコト

第二十三條 煮沸消毒ハ消毒スヘキ物件
ヲ全部水ニ浸漬シ沸騰後三十分以上
煮沸スヘシ

第二十四條 藥物消毒ニ用ウヘキ藥品以
其ノ製法及用法左ノ如シ

一 石炭酸水 防疫用石炭酸三分水九
七分

一 血液、膿汁、唾痰、膿汁及其ノ處
置ニ用キタル器具、布片、紙片等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

割合ニ溶解スヘシ
昇永水ハ金屬製ニ非サル容器ニ之ヲ
貯藏シ其ノ昇永錠ヲ用ユサルモノハ
「スカレット」、「フレシントン」其ノ他
適當ノ色素ヲ加ヘ著色シ識別シ易カ
ラシムルコトヲ要ス

四 假製石灰 少量ノ水ヲ注ケハ熱ヲ
發シ崩壊スルモノ

石炭酸水 防疫用石炭酸三分水九
七分

一 血液、膿汁、唾痰、膿汁及其ノ處
置ニ用キタル器具、布片、紙片等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一 患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ
他ノ器具、書籍、玩具等

一、國庫ノ負擔 國庫ハ健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔スル但シ被保險者一人ニ付年額貳圓ヲ超エルコトハナイ(第七十條)

二、保險料ノ分擔 事業主ト被保險者トハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔スル但シ任意繼續加入者ハ保險料ノ全額ヲ負擔スル(第七十二條)

三、保險料ノ徵收
イ、事業主ハ自己ノ負擔スヘキ保險料ノ外其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲも納付スル義務ヲ負ヒ其ノ代納スル分ハ被保險者ニ支拂フヘキ報酬カラ控除スルコトカ出キル(第七十七條、第七十八條)

四、事業主カ保險料ヲ滞納シタトキハ市町村種ノ例ニ依リテ處分サレル(第七十一條)

第六 權利ノ救濟機關(第六章)
一、保險給付ニ關スル救濟 第一次及第二次健康保險審查會ヲ總テ通常裁判所ノ第一審ニ移ル(第八十條)
二、保險料其ノ他徵收金ニ關スル救濟
イ、第一次處分ヲ爲シテ保險官署又ハ健康保險組合監督スル保險官署ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スル(第八十一條)
ロ、前項ノ訴願ノ裁決ニ當リテハ健康

健康保險審査會ノ審查ヲ經ルコトヲ要スル(第八十二條)

三、滯納處分ニ關スル救濟 地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スル(第八十四條)

四、健康保險審査會 組織及審査ニ關スル必要事項ハ勅令ヲ以テ定ムル(第八十三條)

第七 政府ノ事業ニ使用サレル者ニ關シテハ此法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ナスルコトカ出來ル(第十二條)

健康保險法

(大正十一年四月二十二日)
(法律第七十二號)

第一章 總則

第一條 健康保險ニ於テハ保險カ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分擔費若ハ出産手當金ノ支給ヲ爲スモノトス

第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ受ケル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リテ算定ス

標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受ケル權利及保險給付ヲ受ケル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス前項ノ時效ノ申繼、停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時效ニ應ズル規定ヲ準用ス

命令ノ定ムル所ニ依リ保險者ノ爲ス保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第五百三十三條ノ規定ニ拘ラス時效中絶ノ效力ヲ有ス

第五條 本法又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受ケヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ掌管スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求めルコトヲ得

第八條 保險者ハ被保險者ヲ使用スル事業主ニ對シ其ノ使用スル者ノ勤勞報酬其ノ他健康保險ノ施行ニ必要ナル事項ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ文書ヲ提示セシムルコトヲ得

第九條 保險官署ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ保險事故

ノ生シタル作業ノ場所ニ臨檢セシムルコトヲ得

第十條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以テ保險官署ニ委任スルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ保險者ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ノ規定ニ於テ市町村アルハ市町村制施行法施行セラル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第十二條 政府ノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 工場法ノ適用ヲ受ケル工場又ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケル事業場若ハ工場ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬額二百圓ヲ超スル職員ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 前條ニ規定スル工場及事業場

被保險者トス
第十三條 但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第十六條 工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケル工場又ハ其ノ工場ニ付第十四條ノ規定可アリタルモノト看做ス
第十七條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス
第十八條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依リ被保險者ハ死亡シタル日其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第三章 保險者

第二十二條 健康保險ノ保險者ハ政府及健康保險組合トス

第二十三條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 政府ハ健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者ノ保險ヲ掌管ス

第二十五條 健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ管理ス
第二十六條 健康保險組合ハ法人トス
第二十七條 健康保險組合ノ事業主其ノ事業ニ使用セラルル被保險者及第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ヲ以テ之ヲ組

織ス
第二十八條 一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者當時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ當時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキモノトス

第三十一條 主務大臣ハ一事業ニ付第十條ノ規定ニ依リ被保險者當時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得
第三十二條 前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第三十三條 第十四條ノ規定ノ適用ニ付

第三十四條 健康保険組合 設立ノ認可
 受テタル時ニ成立ス
 第三十五條 健康保険組合成立シタルト
 キハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル
 被保険者ハ總テ之ヲ組合員トス
 前項ノ被保険者ハ其ノ事業ニ使用セラ
 レサルニ至リタルトキト雖第二十條ノ
 規定ニ依ル被保険者タルトキハ仍之ヲ
 組合員トス
 第三十六條 健康保険組合ノ規約ノ變更
 ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ
 其ノ效力ナシセス
 第三十七條 主務大臣ハ健康保険組合ニ
 對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ事業
 及財産ノ狀況ヲ検査シ規約ノ變更ヲ命
 シ其他監督上必要ナル處ヲ爲スコト
 ナ得

第三十八條 健康保険組合ノ役員ニ欠
 若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險
 給付其ノ他其ノ執行セザルトキハ主務
 大臣ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ
 其ノ職務ヲ執行セシムルコトナ得
 前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要
 スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス
 第三十九條 主務大臣ハ健康保險組合ノ
 決議若ハ役員ノ行爲及法令、主務大臣
 ノ處置若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利
 益ヲ害シ若ハ所スルノ虞アリト認め
 トキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ
 依リ其ノ繼續ヲ困難ナリト認めタルトキ
 ハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組
 合ノ解散ヲ命スルコトナ得

第四章 保險給付

第四十條 解散ニ因リテ消滅シタル健康
 保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承繼ス
 第四十一條 本法ニ規定スルモノノ外健
 康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用
 方法、分合、解散其ノ他健康保險組合
 ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ
 定ム
 第四十二條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用
 セラルル被保険者ノ保險者ハ主務大臣
 ノ定ムル所ニ依ル

第四十三條 被保険者ノ疾病又ハ負傷ニ
 關シテハ療養ノ給付ヲ爲ス前項ノ療養
 ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト
 認めタルトキハ保險者ハ被保険者ヲ病院
 ニ收容スルコトナ得
 第四十四條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難
 ナル場合又ハ被保険者ノ申請アリタル
 場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所
 ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支
 給スルコトナ得
 第四十五條 被保険者療養ノ爲勞務ニ服
 スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病
 手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分
 ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス但シ業
 務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷
 シタル場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト
 能ハサル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ

支給ス

第四十六條 病院ニ收容シタル被保險者
 ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令
 ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトナ
 得
 第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ
 支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ
 發生シタル疾病ニ付百八十日ヲ超エテ之
 ナ爲サス
 業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負
 傷シタル以外ノ場合ニ於テハ療養ノ給
 付及傷病手當金ノ支給ハ一年內百八十
 日ヲ超エテ之ヲ爲サス
 被保險者ハ前二項ノ規定ニ拘ラス傷病
 手當金ノ支給ヲ受ケル期間療養ノ給付
 ナ受ケ

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場
 合ニ於テハ保險者ハ前條ニ規定スル期
 間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ
 繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトナ得
 一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ
 扶助ヲ受ケヘキ者ニ付其ノ事業主ヨリ
 リ申請アリタルトキ
 二 前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付
 ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供
 シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又
 ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ
 前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付
 ニ要スル費用ニ相當スル金額ハ事業
 主ヨリ之ヲ徵收ス
 第四十九條 被保險者死亡シタルトキハ

支給ス

被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ
 シテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシ
 テ被保險者ノ報酬日額ノ二十日分ニ相
 當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額カ二
 十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ二十圓トス
 被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ
 規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受ケヘキト
 キハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金
 額ノ範圍內ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル
 費用ニ相當スル金額ヲ支給ス
 第五十條 被保險者分焼シタルトキハ分
 焼後トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシ
 テ分焼ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一
 日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十二相當ス
 ル金額ヲ支給ス
 第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ
 收容シ又ハ助産ノ手當金ヲ爲スコトナ得
 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當金ヲ爲シタ
 ル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分焼費
 及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
 之ヲ減額スルコトナ得
 第五十二條 分焼ニ關スル保險給付ニ付
 テハ勅令ヲ以テ分焼前一定ノ期間被保
 險者タルトシテ非サレハ之ヲ爲ササル
 コトナ定ムルコトナ得
 第五十三條 分焼ノ前後ニ保險者ニ變更
 アリタル場合ニ於テハ分焼ニ關スル保
 險給付ニ要スル費用ハ勅令ノ定ムル所
 ニ依リ關係アル保險者之ヲ分擔ス
 第五十四條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場
 合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ

支給セス

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタ
 ル疾病、負傷又ハ分焼ニ關シ保險給
 付ヲ受ケル者ハ被保險者トシテ保險給
 付ヲ受ケルコトナ得ヘカリ期間繼續
 シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受ケル
 コトナ得
 第五十六條 前條ノ規定ニ依リ保險給付
 ヲ受ケル者死亡シタルトキ、前條ノ規
 定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其ノ給
 付ヲ受ケサルニ至リタル日以後九十日以
 內ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保
 險者タルシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シ
 タル日以後九十日以内ニ死亡シタルトキ
 ハ被保險者タルシ者ニ依リ生計ヲ維持
 シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後
 ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受ケルコ
 トナ得
 前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受ケ
 ル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ
 付テハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス
 第五十七條 被保險者タルシ者被保險者
 ノ資格ヲ喪失シタル日勅令ヲ以テ定
 ムル期間內ニ分焼シタルトキハ分焼ニ
 關シ被保險者トシテ受ケルコトナ得ヘ
 カリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受
 ケルコトナ得

支給セス

第五十八條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分
 焼シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全
 部又ハ一部ヲ受ケルコトナ得ヘキ者ニ
 對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受

支給セス

ケルコトナ得ヘキ期間傷病手當金又ハ
 出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス
 第五十九條 前條ニ掲ケル者疾病ニ罹リ
 負傷シ又ハ分焼シタル場合ニ於テ其ノ
 受ケルコトナ得ヘカリシ報酬ノ全部又
 ハ一部ヲ受ケルコト能ハサルトキハ
 保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依
 リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又
 ハ一部ヲ支給ス
 前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル
 金額ハ事業主ヨリ之ヲ徵收ス
 第六十條 被保險者又ハ被保險者タルシ
 者自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故
 意ノ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給
 付ヲ爲サス
 第六十一條 保險者間爭若ハ泥醉ニ因リ
 又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ
 監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ
 生セシメタルトキハ傷病手當金ノ全部
 又ハ一部ヲ支給セザルコトナ得
 第六十二條 保險給付ヲ受ケヘキ者左ノ
 各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ
 期間保險給付ヲ爲サス
 一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタル
 トキ
 二 本法施行區域外ニ在ルトキ
 三 感化院其ノ他之ニ準スヘキモノニ
 入院セシメラレタルトキ
 四 監獄、留置場又ハ勞務場ニ拘禁又
 ハ留置セラレタルトキ
 他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體

第五章 費用ノ負擔

タル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公
 課ヲ課セス

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
 各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費
 用ノ十分ノ一ヲ負擔ス
 前項ノ規定ニ依リ國庫負擔金ノ總額カ
 被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合
 ナテニ對シテハ各健康保險組合
 ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所
 ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スル
 モトトス
 前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算
 ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要
 スル費用ニ充テル爲メ保險料ヲ徵收ス
 保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以
 テ之ヲ定ム
 第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用
 スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ
 負擔シ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保
 險者ハ其ノ金額ヲ負擔ス
 第七十三條 業務ノ性質上事務多キ事業
 ニ使用セラルル被保險者又ハ少額ノ報
 酬ヲ受ケル被保險者ニ關スル保險料ニ
 付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ
 割合ヲ増加スルコトナ得
 第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險
 料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ
 超ユルコトナ得シ但シ第二十條ノ規定

ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 前項ニ規定スル制限ヲ超ニテ被保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス
 第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘リス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ被保險料ノ負擔ノ割合ヲ增加スルコトヲ得
 第七十六條 被保險者左ノ各號ノ一ニ該当スル場合ニ於テハ其ノ期間被保險料ヲ徵收セズ
 一 傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受ケタルトキ
 二 第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スルトキ

第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ被保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル被保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ被保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得
 第七十九條 被保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第六章 審査ノ請求、
 訴願及訴訟**

第八十條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ第二次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ訴テ提起スルコトヲ得
 第八十一條 被保險料其他不法ノ規定ニ依リ徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ其ノ處分ヲ爲シタル被保險官署又ハ健康保險組合ヲ監督スル被保險官署ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴願ノ提起アリタルトキハ被保險官署ハ第二次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣ハ第三次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ
 第八十三條 健康保險審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第八十四條 第十一條ノ規定ニ依リ處分ニ不服アル者ハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第八十五條 健康保險審査會ハ審査ノ爲ニ必要アリト認ムルトキハ証人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據ヲ爲スコトヲ得
 證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ他ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得
 證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定ヲ準用ス

ニ關スル規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲ス證據調ニ關シテハ罰金ノ言渡ヲ爲シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得ス
 第八十六條 審査ノ請求、訴願ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第七條第三項ノ規定ヲ訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第六十七條及第六十八條乃至第七十七條ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第八十七條 正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依リ當該官吏又ハ吏員ノ臨檢ヲ拒ミ若ハ妨ケ又ハ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ答辯ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第八十八條 第八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サス、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第八十九條 健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期間其ノ負擔スヘキ被保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ料額ニ處ス
 第九十條 健康保險組合カ第三十七條ノ規定ニ依リ勅令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒

ミ若ハ妨ケタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ罰金ニ處ス
 本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合力之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ罰金ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得
 第九十一條 前二條ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

引索
醫博論文集

無藥治療の發達現今の如きは歴史に未だ是を看ざるところである。而して其の無藥治療の廣く太しく、大衆の信賴と倚依を聚めつゝあるは獨り我國に於てのみならず實に汎世界的の現象である。理學的療法なると精神的療法たるを問はず全く劃期的の進歩發達をなし、我國の療法にして海外に誇り得るものも少くない。東京帝大醫學部を首め各醫科大學にして治療科を設けて、これが研究に門戸を開きつゝあるもの既に過半に達し、當に展開されんとする無藥時代への前途を啓示するものと言ふべきである。大勢の支配するところ當然の歸趨として、昭和五年十二月を以て無藥治療に關する警視廳令が布かれるに至つた。近き將來に於て單行法を以て規定せらるべき前提をなすものと謂ひ得よう。無藥療法界の愈堅實なる發達を期待すると同時に、斯界の人士の益眞劍なる研究に依つて、より權威ある無藥醫學の確立を信するものである。

然しながら勿論、今日直ちに藥物醫學を排斥するは當らない。藥物醫學を以て解決し得ざる病症の少なからざるは固よりであるが、藥物醫學の今日までに於ける功績は之を没することが出来ない。唯藥物萬能を過信することは既に餘りにも許されない現状にあることは認めなければならぬのである。惟ふに醫藥界今日の現状は、無藥、藥物併用の時代といふべく、兩者の併用完きに依つて、少くとも現代の人類に其の範圍内に於ける健康の保障を確め得るであらう。理想としては、如何なる藥物も何等の器具をも用ふることなく、人類の疾病を、唯呼吸をなすが如く治療することの出来る明日が假令約束されてあらうとも。

しかして既に人體を對象としての無藥治療であり、藥物醫術である。今日まで藥物醫學に携はるの士が心血を注いで積み上げた研究は、無藥醫學に於て亦當然相續しなければならぬ學界の富である。此意味に於て、年代的に見れば我國に於ける、醫學發達の歴史であり、總括的に見れば集成された研究の鳥瞰圖たる、醫學博士論文を索引的形式に於て輯録し、以て新興醫學の研鑽の一助たらしめんことを期した次第である。聊か無藥療法研究學の士が、參考の資たり得れば幸甚である。

栗本東明

- 五五 嘉永六年十月八日生 山形出身 同上 主論文一 大形痘瘡門會識虫「ザアロゴノボールス」グラランザス」ノ研究外四篇(大正二年逝去)
- 森島庫太 京都市上御靈前 鞍馬口北 五七 京大教授 明治元年四月七日生 岐阜出身 同上 主論文一「ヘマタン」中ニ含蓄セラル、鐵分ノ含量中ニ於ケル變化ニ就テ外三篇
- 佐多愛彦 大阪北區堂島北町 五八 前阪大學長 明治四年九月七日生 鹿兒島出身 同上 主論文一 肺病ニ於ケル混合傳染ノ價值ニ就テ外三篇
- 天谷千 松東京牛込水道町四一 五九 前京大教授 萬延元年七月廿日生 静岡出身 明治四年大審査 主論文一 同養性及同長性變縮ニ於ケル節電流變動ニ就テ
- 藤浪鑑 京都市上京區吉 六〇 京大教授 明治三年七月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 心筋炎ノ動脈疾患ニ於ケル關係論外三篇
- 三宅速 福岡市大名町廿二 六一 九大教授 慶應三年三月廿六日生 徳島出身 同上 主論文一 膿道ノ細菌

關係ニ注意セル膽石ノ實驗的形成ニ就テ

- 三輪徳寛 相洲藤澤町鶴沼 上藤ヶ谷 六二 千大名譽教授 安政六年六月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 年餘鑑定ノ一助トシテノ身長及頭圍ニ就テ外三篇
- 桐淵鏡 次東京下谷練堀町三五 六三 自宅開業 明治三年六月廿日生 東京出身 同上 主論文一 電擊ニ因ル白内障及爾他ノ眼疾患ニ就テノ實地試驗外七篇
- 岡村龍彦 東京麹町四番町三 六四 自宅開業 明治三年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 人瓜ノ發育ニ就テ外三篇
- 金杉英五郎 東京神田北甲賀町 六五 慈惠醫大學長 慶應元年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 脊髄空洞症知見増補外七篇
- 上坂熊勝 岡山市二番町一八 六六 岡大教授 慶應三年七月廿日生 石川出身 同上 主論文一 大腸運動部破潰後ニ於ケル中腸、腸橋及延髓ノ續發變性ニ就テ
- 淺川範彦 慶應元年一月生 六七 高知出身 同上 主論文一 赤血球内空泡様體形式外七篇(明治四十年逝去)
- 笠原光興

文久元年生

- 六八 東京出身 明治四年京大總長推薦(大正二年逝去)
- 鈴木文太郎 元治元年三月三日生 六九 石川出身 同上(大正十年逝去)
- 池田陽一 佐賀市水ヶ江町 七〇 自宅開業 安政五年七月五日生 佐賀出身 明治五年大審査 主論文一「ホルロ」國帝戲開術ノ一例外十一篇
- 鈴木孝之助 麻布飯倉片町五 七一 自宅開業 安政元年七月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 肺氣腫ニ就テ外三篇
- 北川乙治郎 元治元年六月十日生 七二 滋賀出身 同上 主論文一 膿様腸炎論外四篇(大正十二年逝去)
- 三島通良 東京府豊多摩郡 落合村 七三 文部省囑托 慶應二年六月六日生 東京出身 同上 主論文一 日本健體小兒ノ發育論外二篇
- 桂田富士郎 東京市 七四 (理博) 慶應三年五月五日生 石川出身 同上 主論文一 卵巣ノ所謂皮膚囊腫或ハ類胎兒種ニ就テ外二篇
- 木下正中 東京本郷森川町一

明治二年八月廿日生

- 七五 自宅開業 明治二年八月廿日生 京都出身 同上 主論文一 子宮内妊娠時ニ於ケル腹膜及卵巣上脱落膜細胞ニ類スル大細胞性組織發生ニ就テ外三篇
- 中西龜太郎 京都市上京區中立 七六 京大名譽教授 明治元年七月廿日生 静岡出身 同上 主論文一 細菌ノ遺構ヲ論ズ
- 柳順次 郎東京麹町三番町三三 七七 自宅開業 安政六年六月廿日生 東京出身 同上 主論文一 妊娠嘔吐症ニ就テ外三篇
- 村上安 藏長崎市上西山町九六 七八 自宅開業 文久二年九月廿日生 長崎出身 同上
- 内田守一 宮城縣仙臺市北 七九 自宅開業 安政二年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 實扶的里ニ於ケル脊髓ノ變化ニ就テ外一篇
- 長與稱吉 慶應二年一月七日生 八〇 東京出身 同上 主論文一 日本ニ於ケル胃潰瘍外一篇(明治四三年逝去)
- 松下禎二 東京本郷元町二 八一 (理博) 明治八年六月廿日生 鹿兒島出身 明治六年大審査 主論文一 家鶏結核菌ト人類結核菌ノ同膠寒天並ニ植物性培養基ニ於ケル菌種ノ區別外

淺山郁次郎

文久元年三月廿九日生
京師出身 同上 主論文一 虹彩前而ニ
リスル房水ノ吸收ニ就テ外四篇(大正四
年逝去)

安政四年十一月一日生
東京出身東大審査 主論文一 ハスト菌
ノ東京ニ於ケル冬期寒氣ニ對スル抵抗力
ニ就テ外八篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

兵庫出身 同上 主論文一 「レウマチ
ス」性結核下組織炎二篇

菅之芳

八三 岡山出身 同上 主論文一 明治廿五年
岡山市虎列刺病調査成績(大正三年逝去)

安政二年四月五日生
新潟出身明治廿七年東大總長推薦
千葉稔次郎 文久三年五月九日生
山口出身明治廿七年東大總長推薦(明治
四五年逝去)

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

福島出身 同上 主論文一 哺乳動物ノ
角膜質質炎ニ就テ外三篇

柏村貞一

八四 山口出身 同上 主論文一 傳染病ニ於
ケル甲狀腺外一菌(明治四三年逝去)

文久三年五月六日生
兵庫出身明治廿七年東大總長推薦
平井毓太郎 京都市上京區吉
田神樂岡町六
九二 京大教授 慶應元年十月廿日生
三重出身 同上

東京出身 同上 主論文一 「マールアル
グ」ニ於ケル「マリーリング」ノ實驗的治
療教室報告外十篇

京都出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

高安右人

八五 金澤出身 同上 主論文一 老人環外二
篇

文久三年五月六日生
兵庫出身明治廿七年東大總長推薦
松浦有志太郎 京都市上京區丸
太町通烏丸西入
九三 自宅開業 慶應元年七月二日生
熊本出身 同上

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

京都出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

朝倉文三

八六 群馬出身 同上 主論文一 尿道内細菌
ニ就テ外二篇

文久三年九月三日生
岡山出身明治廿七年東大審査 主論文一
尿道球ニ勝脱ヨリスル血行の腎臟傳染ノ
實驗的補説外三篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

石川出身 同上 主論文一 鎌狀鐵及膽
弓ノ人工作成

吾妻勝剛

八七 東京出身 同上 主論文一 老人環外二
篇

慶應三年十月六日生
東京出身明治廿六年東大總長推薦(大正
十二年逝去)

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

安政五年六月四日生
石川出身 同上 主論文一 鎌狀鐵及膽
弓ノ人工作成

遠山椿吉

八八 東京出身 同上 主論文一 老人環外二
篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

安政五年六月四日生
石川出身 同上 主論文一 鎌狀鐵及膽
弓ノ人工作成

佐藤達次郎

一〇八 順天堂醫院長
明治元年二月七日生
東京出身明治廿八年東大審査 主論文一
胃腸内腔ニ開カザル胃腸吻合ノ試驗研
究外四篇

三重縣三重郡羽
津村羽津山
一四 自宅開業 萬延元年七月七日生
三重出身 同上 主論文一 結核乾燥症
ニ就テ外五篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

文久元年三月廿日生
熊本出身 同上 主論文一 「ダルトバオ
イロハア」ニ於ケル汚濁隆起ノ發生ニ就
テ「ドクトル」リスセ合著」外一篇

木村德術

一〇九 東大講師 安政四年九月生
新潟出身 同上 主論文一 黄疽患者ノ
糞便中ニ在ル結晶ノ本體ニ就テ外二篇

慶應元年八月七日生
山形出身 同上 主論文一 日本ニ於ケ
ル流行性赤痢樣急性小兒病タル疫病ノ原
因ニ就テ外五篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

文久元年三月廿日生
熊本出身 同上 主論文一 「ダルトバオ
イロハア」ニ於ケル汚濁隆起ノ發生ニ就
テ「ドクトル」リスセ合著」外一篇

澤田敬義

一一〇 新潟醫大教授
明治六年三月三日生
岐阜出身 同上 主論文一 諸種ノ疾患ニ
因リテ起ル所ノ肺臟彈力纖維ノ増生及消
失外三篇

慶應元年八月七日生
山形出身 同上 主論文一 日本ニ於ケ
ル流行性赤痢樣急性小兒病タル疫病ノ原
因ニ就テ外五篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

文久元年三月廿日生
熊本出身 同上 主論文一 「ダルトバオ
イロハア」ニ於ケル汚濁隆起ノ發生ニ就
テ「ドクトル」リスセ合著」外一篇

志賀潔

一一一 朝鮮總督府醫院長
明治三年三月六日生
京城出身 同上 主論文一 赤痢菌ニ就
テ外六篇

慶應元年八月七日生
山形出身 同上 主論文一 日本ニ於ケ
ル流行性赤痢樣急性小兒病タル疫病ノ原
因ニ就テ外五篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

文久元年三月廿日生
熊本出身 同上 主論文一 「ダルトバオ
イロハア」ニ於ケル汚濁隆起ノ發生ニ就
テ「ドクトル」リスセ合著」外一篇

小久保惠作

一一二 慶應二年七月五日生
埼玉出身 同上 主論文一 高熱蒸氣ト
化學的消毒藥ノ合同作用外十一篇

慶應元年八月七日生
山形出身 同上 主論文一 日本ニ於ケ
ル流行性赤痢樣急性小兒病タル疫病ノ原
因ニ就テ外五篇

東京出身 同上 主論文一 痲腫ノ原因
及痲腫轉移ノ組織の構造及發育ニ就テ外
一篇

文久元年三月廿日生
熊本出身 同上 主論文一 「ダルトバオ
イロハア」ニ於ケル汚濁隆起ノ發生ニ就
テ「ドクトル」リスセ合著」外一篇

- 一三三 慶應元年生
東京出身 同上 主論文一 腦疾患ニ於ケル視神經病々理ノ追加外八篇(大正五年逝去)
- 長野純藏 大阪東部郡濱寺町船尾
一三四 船場病院長
明治三年八月六日生
大阪出身 同上 主論文一 人體ニ於ケル「テリリイ」氏獲管ノ實驗外六篇
- 谷口吉太郎 東京府下高田町旭出四三
一三五 自宅開業明治元年九月五日生
東京出身 同上 主論文一 腰椎ニ轉移セル癌腫ニ因スル脊髓管狀出血ノ一例外四篇
- 加藤照磨 東京麹町下二番町四一
一三六 侍醫 文久三年九月八日生
東京出身 同上 主論文一 小兒母斑ノ解剖的組織ノ研究外二篇
- 櫻井恒次郎 福岡市土手町一二
一三七 九大教授明治五年三月七日生
兵庫出身 同上 主論文一 レイ(鹿ノ一種)ノ發生常規表
- 小川劍三郎 東京市下谷池ノ端仲町十六
一三八 自宅開業明治四年八月廿日生
静岡出身明治四十年東大審査主論文一 硝子體創傷外四篇
- 菊池米太郎 兵庫縣兵庫郡住吉村觀音林
一三九 大阪同生病院院長
- 一四〇 阪出身同上主論文一 志賀 グルノセ 氏赤痢菌ニ就テノ研究外六篇
- 古川市次郎 文久三年七月廿日生
一四一 德島出身明治四十年京大審査 主論文一 被膜桿菌性肺炎ノ病理解剖ニ就テ(附被膜菌性腦膜炎)外二篇
- 稲田龍吉 東京市本郷町二ノ四
一四二 東大教授明治七年五月廿日生
愛知出身明治四十年東大審査 主論文一 尿中ニ於ケル「グリコキシール」酸ノ證明法ニ就テ外六篇
- 柴山五郎作 明治四年八月廿日生
一四三 栃木出身 同上 主論文一 抗血清ノ動力方ニ就テ(豐田合著)外七篇(大正二年逝去)
- 佐藤勤也 元治元年八月六日生
一四四 愛知出身 同上 主論文一 惡性脈絡膜上皮腫ノ組織的研究外四篇(大正九年逝去)
- 石原誠 福岡市新大工町四一
一四五 九大教授明治五年五月廿日生
東京出身 同上 主論文一 生理學實習用簡便試驗檢壓器ニ就テ外六篇
- 加門桂太郎 京都市油小路下立下ル
一四五 元京大教授
- 元治元年二月生
岡山出身 同上 主論文一 腦(鳥類)ノ發生ニ就テ外一篇
- 土田卯三郎 東京下谷根木町一八
一四六 土田病院院長慶應三年十一月生
岐阜出身 同上 主論文一 眼運動神經ノ起始核及之ニ關係スル中腦及間腦ニ於ケル経路ニ就テ外二篇
- 荻生録造 安政六年七月廿日生
一四七 静岡出身 同上 主論文一 松姑癩ノ眼ニ及ボス危害外一篇(大正三年逝去)
- 石坂友太郎 福岡市藥研町五
一四八 九大教授明治六年一月六日生
富山出身明治四十年東大大學院卒業主論文一 漢藥苦參ノ成分「マトリン」ノ生理的作用ニ就テ外三篇
- 山田鐵藏 東京市京橋區築地三ノ十一
一四九 山田病院院長
元治元年四月四日生
山形出身明治四十年東大審査 主論文一 脊髓ノ損傷後ニ於ケル再生機能ニ關スル研究
- 堀田莞三 廣島市大手町八丁目
一五〇 自宅開業 明治二年五月生
山口出身 同上 主論文一 角膜壓傷ノ滲液傳染ニ就テノ試驗的研究外四篇
- 池田廉一郎 新潟市學校町通二番町
一五一 前新潟醫大學長
- 明治三年九月廿日生
滋賀出身 同上 京大審査主論文一 膀胱上皮ニ於ケル「グリコゲン」沈着並ニ其臨床的意義ニ就テ外三篇
- 宮島幹之助 東京豐多摩郡杉並町高圓寺
一五二 代議士 明治五年八月廿日生
山形出身 同上 京大大學院卒業主論文一 一本邦産「アノフェレス」ニ就テ外八篇
- 西郷吉彌 東京府下下谷谷
一五三 日本赤十字社病院
明治五年一月五日生
- 神奈川出身京大大學院卒業 主論文一 日露戰役ニ於ケル外傷性動脈瘤ニ就テ外一篇
- 速水猛 明治六年三月十日生
一五四 長野出身 同上 京大審査主論文一 虎列刺菌ノ可溶性毒素ニ就テ外二篇(大正十二年逝去)
- 久保猪之吉 福岡市大名町一〇五
一五五 九大教授明治七年七月廿日生
福島出身 同上 東大審査主論文一 聽神經ヨリ(特ニ温的刺戟ニテ)發起セル眼運動ニ就テ外六篇
- 中山平次郎 福岡市荒戸四番町二三〇
一五六 九大教授明治四年六月三日生
福島出身同上京大總長推薦
- 坪井速水

- 一五七 文久二年二月二日生
岐阜出身明治四一年東大審査 主論文一 動物體ニ於ケル急性尿閉ノ影響ニ就テテ尿毒症ノ實驗病理外一篇(大正二年逝去)
- 田原淳 福岡市藥研町一三
一五八 九大教授明治六年七月五日生
大分出身 同上 主論文一 補乳動物ノ心臟ニ於ケル刺戟傳導筋系統(心臟房室間連絡束及所謂アルゲン)ニ就テニ就テテ組織的研究)外二篇
- 櫻田龜一郎 明治三年五月廿日生
一五九 東京出身 同上 主論文一「テタニ」ニ就テテ及温熱刺戟ニ因スル運動神經ノ興奮性ニ就テテノ注意外一篇(大正四年逝去)
- 中山政 男大分市街揚町一二七
一六〇 自宅開業 明治六年四月五日生
山口出身 同上 京大審査主論文一 フツハルト氏膽汁色素反應ノ改良法ニ就テテ外二篇
- 旭憲吉 福岡市藥院三期
一六一 九大教授 明治七年一月廿日生
京大出身 同上 東大審査主論文一 卅三年間經過セル全身脫毛症ニ於ケル解剖的所見外三篇
- 中山森彦 福岡市荒戸四番町二三〇
一六二 元九大教授
慶應三年七月五日生
東京出身 同上 京大審査主論文一
- 一六三 銃創骨ノ組織及發生原理ニ就テテ(外傷性骨折骨論ノ補遺)外二篇
- 河西健次 東京府下池袋大原一四二
一六三 武藏野病院院長
長野出身 同上 京大審査主論文一 備後國ニ於ケル所謂片山病調査報告外五篇
- 多田學三郎 名古屋市中東横木町二ノ一三
一六四 自宅開業文久三年十二月廿日生
栃木出身 同上 主論文一 乳兒ノ肺臟病理外二篇
- 林川長兵衛 山口佐波郡防府町三田尻
一六五 自宅開業明治三年九月七日生
山口出身 同上 京大審査主論文一 藤室布新商培養上「ヒオアルユースキ」氏尿膠質培養地ノ應用ニ就テテ外二篇
- 舟岡英之助 岡山市瀨尾町九四
一六六 岡山醫大教授
文久元年三月廿日生
東京出身 同上 東大審査主論文一「セイルムアルブミン」及「セイルムグロブリン」酸ノ結合ニ就テテ外五篇
- 稻垣長次郎 東京神田南佐木町
一六七 自宅開業 明治八年二月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 熱病患者ニ於ケル水ノ新陳代謝ニ就テテ外六篇
- 阿久津三郎 東京神田淡路町
一六八 阿久津病院院長
明治六年十月廿日生
- 元治元年二月生
岡山出身 同上 主論文一 腦(鳥類)ノ發生ニ就テ外一篇
- 二村領次郎 東京府下巢鴨平松
一六九 明治八年四月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 人間ノ顔面神經筋發育ニ就テテ外一篇
- 新井春次郎 東京府下大崎
一七〇 慈惠醫大教授
埼玉出身 同上 主論文一 頭咽喉管ノ内容外一篇
- 中全 東京赤坂表町二ノ一三
一七一 東京出身 同上 主論文一 痙性脊髄麻痺ト延髄球麻痺ノ症狀ヲ以テ經過セル脊髓圓錐形ノ疾患外四篇
- 高洲謙一郎 大阪市南區北橋谷町五
一七二 自宅開業 明治二年五月廿日生
佐賀出身 同上 主論文一 脚氣患者(乳兒及大人)ノ血液ニ就テテ外五篇
- 筒井八百珠 文久三年十月廿日生
一七三 三重出身 同上 主論文一 稀有ナル慢性進行性皮膚壞血ノ一例外四篇(逝去)
- 三宅鑛一 東京小石川竹早町
一七四 東大教授明治九年三月廿日生
東京出身明治四二年東大審査主論文一 破瓜期ノ精神病ニ就テテ外三篇
- 柳瀬實次郎 明治八年二月廿日生
一七五
- 愛媛出身 同上 主論文一 電氣通與電性小兒ニ於ケル上皮小體ノ所見ニ就テテ外四篇(大正十二年逝去)
- 宮本 叔 慶應三年一月五日生
一七六 長野出身 同上 主論文一 自新土ニ關スル二三ノ實驗ニ就テテ外二篇(大正八年逝去)
- 本田重次郎 慶應三年三月五日生
一七七 愛媛出身 同上 主論文一「ニミ」ノ毒物ニ對スル蛙及蝦蟇ノ感受性比較試驗外四篇(大正四年三月逝去)
- 南部孝一 明治七年一月廿日生
一七八 三重出身 同上 主論文一 中樞神經系統ニ於ケル澱粉小體ノ發生ニ就テテ外一篇(大正八年七月逝去)
- 淺井健吉 大阪東區安土町四ノ廿二
一七九 淺井病院 明治五年六月廿日生
滋賀出身 同上 京大審査主論文一 先天性酸毒ニ於ケル耳ノ病理解剖補説外二篇
- 櫻根孝之進 大阪東區安土町一ノ廿一
一八〇 阪大教授 明治三年九月五日生
和歌山出身 同上 東大審査主論文一 皮膚及皮下組織「ナイアチン」ニ關病ノ一例外五篇
- 志立富松

一八一 明治六年七月廿日生 島根出身 同上 主論文一 皮下脂肪組織ノ研究外三篇(明治四年十一月逝去)

富田忠太郎 名古屋西區泥江町二ノ一 一八二 自宅開業明治二年四月五日 東京出身 同上 主論文一 骨移植術ノ實驗的研究外六篇

井上嘉都治 仙臺市北五番町一ノ二九 一八三 東北大学教授 明治九年五月七日 東京出身 同上 京大審査主論文一 類編發作後ノ尿中ニ發現スル異常成分ニ就テ特ニ右旋乳酸ニ注意ス(佐伯炬共述)外六篇

尾見 薫 滿鐵大連醫院內 一八四 明治七年九月廿日生 京都出身 同上 主論文一 腹水ノ外科的療法ニ對スル臨床的及實驗的追加(伊藤三共著)外三篇

今 祐 札幌市北十條四三 一八五 北大教授明治十二年二月七日 青森出身 同上 主論文一 臺灣ニ於ケル地方病性赤痢ノ病理學的研究外四篇

照內 豊 東京府下世田ヶ 一八六 北研 明治六年二月十日 福島出身 同上 東大審査主論文一「コブラ」蛇毒ノ血液溶解素及抗毒素及「レナチン」トノ結合體ニ於ケル毒液ノ作用外八篇

二木謙三 東京市外西大久保三六六 一八七 東大教授 明治六年一月十日 秋田出身 同上 主論文一 血清能動力ト細胞食菌現住(マツクスグレルメル共著)外二篇

森安連吉 東京牛込上宮比町五 一八八 自宅開業 明治五年七月廿日生 岡山出身 同上 主論文一 麻痺性凝乳ニ於ケル神經系纖維ノ狀況外三篇

本堂恒次郎 慶應元年九月廿日生 一八八 東京出身 同上 主論文一 鹽素ハ臭素ニヨリテ代補セラレベキヤ外三篇(大正四年逝去)

楠本長三郎 大阪北區堂島町三 一九〇 阪大醫學長 明治四年一月廿日生 長崎出身 同上 主論文一 腎臟ニ於ケル出血ノ發生ニ就テ外八篇

高安道成 大阪東區道修町四 一九一 開業 明治五年七月六日生 大阪出身 同上 京大審査主論文一 脾臟外科追加外二篇

喜田村朔治 京都上京區寺町今出川上ル 一九二 自宅開業 明治九年四月六日生 福岡出身 同上 主論文一 脈眼ニ就キ研究セル先天性小眼球並ニ眼瞼囊腫ニ就テ外四篇

田中友治 東京神田區猿樂町二ノ三 一九三 自宅開業 明治八年一月廿日生 山形出身 同上 東大醫學院卒主論文一 輸尿管挿入法ニ就テ手術前腎臟機能診斷ニ於ケル物理化學的検査ニ就テ外五篇

工藤外三郎 京都上京區押小路富小路東入 一九四 自宅開業 明治五年三月廿日生 京都出身 同上 京大審査主論文一 攝護腺病理補遺外五篇

安部仲雄 秋田市西根小屋町 一九五 自宅開業 明治十年八月一日 秋田出身 同上 主論文一 赤痢ノ原因ニ就テ外六篇

望月惇一 京都上京區高倉丸太町下ル 一九六 自宅開業 安政六年四月廿日生 京都出身 同上 主論文一「トリブシン」ニ由ル蛋白質分解ノ知見外三篇

緒方十右衛門 大阪西區長堀南通二ノ廿一 一九七 阪大教授 明治八年十月廿日生 熊本出身 同上 東大審査主論文一 子宮ノ年齡ニ伴フ變化ニ就テ外九篇

松原三郎 金澤市飛梅町五七 一九七 金澤醫大教授 明治十年十月九日生 石川出身 同上 主論文一 鬱憂性精神病ノ本態 明治七年七月五日 東京出身 同上 主論文一 鬼ノ腦ニ於ケル一類畸形腫外三篇(明治四年逝去)

島柳二 明治七年七月五日 東京出身 同上 主論文一 鬼ノ腦ニ於ケル一類畸形腫外三篇(明治四年逝去)

高木兼二 明治五年九月九日生 二〇〇 東京出身 同上 主論文一 腎臟ノ桿狀構造ニ就テ外三篇(大正八年逝去)

今村保 大阪市東區道修町四ノ六一 二〇一 自宅開業 明治四年十月廿日生 福島出身 同上 主論文一 四日熱寄生蟲ニ就テ外三篇

武谷廣 福岡市藥院宇庄 二〇二 九大附屬醫院長 明治八年五月七日 東京出身 同上 京大審査主論文一 心臟毒ノ稀薄ナル症例ノ追加

吉村喜作 廣島市國泰寺町 二〇三 開西醫院 明治五年五月廿日生 山口出身 同上 東大審査 主論文一 肺ノ心臟冷却作用ニ就テ外六篇

菅井竹吉 明治四年三月一日 京都出身 同上 主論文一 肺毒外六篇

前田松 苗大阪東區小橋西之町 二〇五 日赤大阪支部醫院長 明治十年七月六日生 福井出身 同上 京大審査主論文一「一二」ノ「アルカリリチウム」鹽類及「リチウム」含有水ノ胃液分泌ニ及ボス作用ニ就テ外四篇

鳥瀉隆 三京都市岡崎北御所町 二〇六 京大教授 明治十年一月十日 東京出身 同上 主論文一 昇赤血球溶解作用ニ就テ外十篇

八木田九一郎 岡山市門田屋敷 二二五 岡山醫大教授 明治十年七月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 唾液分泌中ニ就テノ追加研究外七篇

佐藤恒二 千葉縣佐倉内本町 二二六 順天堂分院勤務 明治二年九月十日 千葉出身 同上 主論文一 脊椎神經節細胞ノ變化ニ就テ外四篇

伊丹繁 明治五年八月廿日生 二二七 埼玉出身 同上 東大醫學院卒 主論文一 實驗的赤血球過多症ニ於ケル血液生成器管ノ變化ニ就テ外八篇(大正十年逝去)

磐瀬雄一 新花町九五 二二八 東大教授 明治八年十月廿日生 東京出身 同上 東大審査主論文一 子宮外妊娠ニ就テ外五篇

上野信四郎 麻布山元町五九 二二九 自宅開業 明治八年十月廿日生 栃木出身 同上 主論文一「オピウム」及「アリスチナミン」ノ腸壁合上ニ於ケル影響ニ就テ外三篇

相馬又二郎 明治七年八月廿日生 滋賀出身 同上 主論文一 年齡各期ニ

秋田出身 同上 主論文一 男子ニ於ケル高位及至高達直腸癌ノ合併抽出術ニ對スル追加外三篇

井上達 二、東京駿河臺西紅梅町 二〇七 井上眼科病院 明治七年二月六日生 東京出身 同上 東大審査主論文一 視中樞ノ鉄砲創ニ關スル視機障礙外二篇

水尾源太郎 明治九年二月九日生 二〇八 愛媛出身 同上 主論文一 所謂特種顆粒性結膜炎ゴルドナーヘル氏及丘疹性顆粒性結膜炎ニ就テ(大正二年逝去)

永井 潜 東京府下野方町 二〇九 東大教授 明治九年二月廿日生 岡山出身 同上 主論文一 冬眠動物ノ新陳代謝ニ就テ

土屋岩保 東京市赤坂田町六ノ六 二一〇 自宅開業 明治七年四月六日生 山梨出身 同上 主論文一 歇斯帝里性熱ニ就テ外八篇

野口英世 北米ロックワフェライ研究所內 二一一 (理博) 明治九年七月廿日生 福島縣出身 同上 京大審査主論文一 蛇毒ノ血液溶解作用細菌溶解反作用及毒性ニ就テ外三篇

湯川玄洋 大阪市東區今橋三ノ一 二二二 自宅開業 慶應三年八月廿日生 和歌山出身 同上 主論文一 日本人生理的胃液ノ酸量外四篇

藤谷功彦 明治九年九月廿日生 二二三 京都出身 同上 主論文一 人工胃液ノ消化力ニ及ボス各種物質ノ影響ニ就テ外六篇(大正三年逝去)

賀屋隆吉 京都上京區下加茂宮河町四七 二二四 自宅開業 明治四年二月五日生 山口出身 同上 主論文一「コブラ」毒ノ溶解作用ニ就テ外三篇

山田弘倫 東京府中野町下町 二二五 陸軍省醫務局 明治二年三月廿日生 岡山出身 同上 東大醫學院卒主論文一 日本ニ於ケル白癩ノ研究外八篇

須藤憲三 金澤市長町四番丁 二二六 金澤醫大學長 明治五年一月十日 山形出身 同上 東大審査主論文一 動物質中ニ存スル脂肪及不飽和性體定量ノ新法附軌近專ラ稱用セラル、脂肪定量法ノ評論

瀨尾雄三 明治八年七月十日 二二七 新潟出身 同上 主論文一 數菌ニ因スル馬尿酸ノ分解及尿中ノ安息香酸及「グリココル」證明ノ價值ニ就テ外四篇(大正六年逝去)

佐野彪太 東京市神田小川町 二二八 佐野內科病院 明治七年一月十日 沖繩出身 同上 主論文一 腸及脊髓諸部ノストリキニーネニ對スル滅毒作用外二篇

高安六郎 大阪西區京町細上通五ノ九九 二二九 高安病院長 明治二年三月三日 大阪出身 同上 京大審査主論文一 腎臟炎浮腫ニ就テ外五篇

中原德太郎 東京日本橋高砂町 二三〇 日本醫學校長 明治四年七月廿日生 京都出身 同上 東大審査主論文一 家兎骨端軟骨ノ切解後ノ治療狀態外六篇

長與又郎 東京麻布市兵衛町 二三一 傳研所長 明治二年四月六日生 東京出身 同上 主論文一 哺乳獸及人類心臟「ノゴルキン」氏纖維內「グリコタン」含有外三篇

守屋伍造 明治三年三月廿日生 二三二 北海道出身 同上 主論文一 冷血動物ノ接種結核外四篇(大正十三年逝去)

鹽田廣重 東京本郷弓町一 二二三 東大教授 明治六年十月生 京都出身 同上 主論文一「チクチノミコーセ」ニ就テ外二篇

土肥章司 金澤市里見町一六 二三四 金澤醫大教授 明治九年六月生

九

於レル明果血管ノ組織の研究特ニ月經性及排卵性血管變ニ就テ外四篇(大正十年逝去)

角田 隆

二二一 明治八年八月廿日生 京都出身同年京大審査主論文一 日本住血吸虫卵ニ因ル結核様結節形成

樋口 繁次

二二二 慈大教授 明治九年五月廿日生 東京出身 同上 主論文一 胎盤ノ化學的集成補遺外六篇

佐藤 恒

二二三 日赤本社病院 明治五年八月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 生體ニ於テ「エーテル」硬酸ノ發生ニ就テ外四篇

大黒安三郎

二二四 明治三年九月廿日生 佐賀出身四年九大審査主論文一 佐賀縣下ニ於ル地方病トシテ存在セル「ワイル」氏病ニ就テ外五篇(大正四年逝去)

原 榮

二二五 自宅開業 明治三年十月廿日生 福岡出身同年京大審査 主論文一 日本内地ニ於テ「アメーバ」赤痢ノ研究外一篇

川島 慶治

二二六 自宅開業 明治二年七月廿日生 栃木出身 同上 主論文一 溶血性「アソチエブトレン」結合方法ノ補遺外

和 田 豊種

二二七 大阪北區雨森町 一七五 大正六年八月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 二三精神病ノ病理解剖學補遺外三篇

國 友

二二八 長崎出身 同上 主論文一 「ヒノピュスネアロウズ」ノ發生ニ就テ

唐 澤 光 德

二二九 慶大教授 明治十年十月廿日生 東京出身 同上 主論文一 腦腫瘍研究追加肺(アストマ)ニ因ル大腸軟化空洞ノ一例

稻葉 良太郎

二五九 明治十年一月四日生 埼玉出身 同上 主論文一 脂肪及含水炭素ノ蛋白質減作用ニ就テ外四篇(大正八年逝去)

柴田 長道

二六〇 自宅開業 元治元年九月日生 兵庫出身 同上 主論文一 防痂の貯蔵ニ對スル動物臟器ノ脂肪狀態外二篇

宮下 左右輔

二六一 東大講師 明治五年八月一日生 東京出身 同上 主論文一 急性性角膜炎ノ血清療法

古武 彌四郎

二六二 明治七年七月二日生

十一篇 石川 貞吉 東京田端町六三三 二二七 集鴨病院長 明治三年一月廿日生 山形出身 同年東大審査主論文一 癩癩性瘰癧ノ症候ニ就テ外二篇

澄川 徳

二二八 自宅開業 文久元年七月廿日生 福岡出身 同上 主論文一 血管硬變ノ本體ニ就テ外三篇

福原 義柄

二二九 明治八年八月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 臟器自家融解産物ノ毒作用及溶血作用ニ就テ外五篇

澤田 久三

二四〇 自宅開業 明治二年二月廿日生 三重出身 同上 主論文一 可感性的トナシタル「アプナーゲン」ヨリ凝集溶血並ニ沈降作用ノ析出セルコトニ就テ外七篇

市川 興策

二四一 自宅開業 明治八年十月廿日生 新潟縣出身 同上 主論文一 動物化肺炎ノ喉細胞作用ニ對スル抵抗ニ就テ外六篇

吉井 丑三郎

二四二 自宅開業 明治十年四月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 音響作用ニ因ル聽器障害ノ試験的研究外四篇

廣川 和一

二四三 自宅開業 明治十年三月廿日生 新潟出身同年京大審査主論文一 腎臟實質ノ交流壁ニ就テ外五篇

今 淵 恒 壽

二四四 九大教授 明治七年十月廿日生 北海道出身同年九大總長推選

汲田 元之丞

二四五 明治七年四月廿日生 岐阜出身同年京大審査主論文一 特發脱疽ノ病理外五篇

佐伯 矩

二四六 榮養研究所長 明治九年九月一日生 愛媛縣出身 同上 主論文一 甲狀腺ノ新陳代謝ニ及ボス影響外二篇

西 盛之進

二四七 自宅開業 明治十年一月廿日生 鹿兒島出身同年東大審査主論文一 血液糖循環ノ機關ニ就テ外四篇

佐々木 隆興

二四八 香雲堂病院 賀町一 明治五年五月廿日生 東京出身 同上 主論文一 アスバラギソノ一 ベンツォイルホルマチド外五篇

秦 佐八郎

二四九 慶大教授 明治六年三月廿日生 島根出身 同上 主論文一 螺旋菌病ノ「モラビ」

二五〇 岩川 克 新潟市南濱通二番町 明治五年七月廿日生 青森出身同年東大審査主論文一 「ロペリン」中毒ニ於テ呼吸停止ノ原因外四篇

吉本 清太郎

二五一 自宅開業 明治六年四月廿日生 福岡出身大正元年東大審査主論文一 痲瘋ノ化學的研究補遺外四篇

山内 半

二五二 大阪同生病院 明治五年三月廿日生 德島出身同年京大審査主論文一 輪狀血管縫合及ビ動靜脈吻合並ニ血管移植ニ就テ

堀内 次

二五三 臺灣醫學專科長 明治六年五月廿日生 兵庫出身同年東大審査主論文一 ベスト免疫ニ關スル研究外四篇

木下 東作

二五四 大阪毎日新聞社 明治二年六月廿日生 京都出身 同上 主論文一 動物組織内「ヒヨリン」ノ含有量ニ就キテ

下 平 用 彰

二五五 文久三年五月廿日生 石川出身 同上 主論文一 ビール氏菌

中村 八太郎

二五五 金澤醫大教授 明治四年一月廿日生 京都出身同年京大審査主論文一 日本住血吸虫病ノ病理解剖

長 尾 美 知

二七六 自宅開業 明治九年九月廿日生 千葉出身同年東大審査主論文一 脊髄終室論外三篇

竹 村

二七七 千葉醫大教授 明治九年五月廿日生 滋賀出身 同上 主論文一 「プロタミン」ニ對スル蛋白質分解性「フェルメント」ノ作用ニ就テ

雨宮 量七郎

二七八 吳海軍病院長 明治七年二月廿日生 東京出身 同上 主論文一 心臟冠狀動脈ノ乳嘴筋トノ關係ニ就テ外三篇

川 村 麟 也

二七九 新潟醫大教授 明治五年九月十日生 山梨出身 同上 主論文一 「コレステリン」エステルノ脂肪變性及及獸體ニ出現スル「リポイド」ノ鑑別診斷的形態學上ノ研究

鈴木 德 男

明治五年四月廿日生 高知出身 同上 主論文一 狹窄骨盤ニ

- 二八〇 文久三年七月廿日生 山口出身 同上 主論文一 赤血球ニ於ケル糖素作用ニ就テ外四篇「大正九年逝去」
- 北海道出身 同年京大審査 主論文一 胃潰瘍ノ人工的造成ニ就テ
- 鈴木 情藏 東京日本橋島島町一ノ卅九
- 二八一 自宅開業 明治十年一月一日生 東京出身 同年東大審査 主論文一 副腎髓質ノ「クロオーム」染色腫瘍ニ就テ
- 外九篇
- 林 政次 明治十年九月十日生 東京出身 同上 主論文一 糖尿病ニ於ケル眼球感染力並ニ糖尿病血清ノ化膿菌ニ對スル殺菌作用ノ動物試驗
- 岩田 一 東京府淀橋町相模木四三六
- 二八三 陸軍々醫學校長
- 野口雄三郎 明治十年十二月廿日生 佐賀出身 同年九大審査 主論文一 葡萄球菌ノ病原學及色素産生ニ就テ
- 二八四 豊 福 環 東京芝浦町一ノ二
- 二八五 自宅開業 明治六年七月廿日生 岡山出身 同年東大審査 主論文一 鼠ノ齒ニ於ケル上皮小體抽出後ノ變化ニ就テ外八篇
- 尾中守三 明治十年二月廿日生
- 山口出身 同上 主論文一 赤血球ニ於ケル糖素作用ニ就テ外四篇「大正九年逝去」
- 緒方 鷺 雄 大阪西區立賣堀南通二八七 緒方病院部長
- 明治十年二月廿日生
- 大阪出身 同年九大審査 主論文一 血小板形成ニ就テ
- 高木友 枝 臺北市書院街二ノ四
- 二八八 臺灣電力會社社長
- 安政五年八月五日生
- 福島出身 同上 主論文一 正常中樞神經系統ノ破傷風抗毒性ニ就テ
- 白杵才化 明治九年一月廿日生
- 三重出身 同年東大審査 主論文一 生理的判別ノ關係ニ基ケル哺乳兒腸内ニ於ケル脂肪ノ運命(大正六年十二月十三日逝去)
- 藤田秀太郎 岡山市門田屋敷七七
- 二九〇 前岡山醫大學長
- 明治八年九月廿日生
- 福岡出身 同上 主論文一 種々ノ刺戟ニヨル網膜ノ色素運動及圓錐體收縮作用ニ就テ
- 南 大 曹 東京赤坂梅町
- 二九一 開業 明治十年三月廿日生
- 福島出身 同上 主論文一 消化腺酵素ノ知見ニ關スル實驗的補遺及一定條件ニ於ケル其作用
- 住田 正 雄 福岡市須崎町廿一
- 二九二 九大教授 明治十年三月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 フロイノド氏胸腺異狀ニ就テ
- 久留春三 三重飯南郡松坂町殿
- 二九三 自宅開業 明治九年三月五日生 三重出身 同上 主論文一 乳腺腫瘍ノ病理補遺
- 増山正信 大阪東區平野町一ノ六
- 二九四 自宅開業 明治元年四月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 「ハスト」ノ臨床的知識ノ補遺
- 小川 瑛五郎 京都市上京區鹿ヶ谷宮ノ前町
- 二九五 京府大學長 明治九年三月一日生 大阪出身 大正二年京大教授會審査 主論文一 循環ノ藥理ニ關スル實驗的補遺 外二篇
- 加藤 寛 東京日本橋矢倉町
- 二九六 自宅開業 明治十年一月廿日生 福井出身 同上 主論文一 グリコゲルノ顯微化學的證明ノ疑問ニ就テノ補遺外一篇
- 若林 虎 吾 德島市富田浦町五三
- 二九七 若林病院院長 明治元年四月廿日生 德島出身 大正二年京大教授會審査 主論文一 大腸ノ運動及分泌ニ就テ
- 石川 日出鶴丸 京都市上京區百田神樂岡町
- 二九八 京大教授 明治十年十月五日生
- 富山出身 大正二年京大總長推薦
- 杉村七太郎 仙臺市堤通
- 二九九 東北大學教授 明治十年五月廿日生 靜岡出身 大正三年東大教授會審査 主論文一 尿管及男性生殖管内ニ於ケル糖核症ノ蔓延ニ關スル動物試驗
- 難波 要 京都市上京區田中樋口町五八
- 三〇〇 明治六年七月廿日生 福井出身 大正三年同上 主論文一 人體精囊ノ彈力纖維及色素ニ就テ
- 布施現之助 仙臺市木町通二二
- 三〇一 東北大學教授 明治十年一月廿日生 北海道出身 同上 主論文一 マイネルト氏小腸軸ノ内側部及ダイヤル氏核ニ就テ
- 井上通夫 京都市小石川白山御殿町
- 三〇二 東大教授 明治十年二月廿日生 東京出身 同上 主論文一 中間骨其發生及ヒ見唇顎骨破裂ト斜走顱面破裂トノ位置ニ就テ
- 小池 嚴雄 明治十年八月廿日生
- 三〇三 鳥根出身 同上 京大教授會審査 主論文一 麻酔セル神經ニ於ケル興奮機轉ノ傳導ニ就テ(大正四年逝去)
- 川添 正 道 東京四谷南伊賀町七
- 三〇四 東大教授 明治四年八月廿日生 長崎出身 同上 京大教授會審査 主論文一 輸尿管ノ人工的閉塞ニ就テノ試驗

- 的研究
- 近藤 乾郎 東京四谷荒木町十
- 三〇五 自宅開業 明治十年五月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 「アウトリ」セ「ト」肝臟内ノ「コンステリン」ノ關係
- 渡邊 雷 萬延元年十月十日生
- 三〇六 東京出身 同上 主論文一 アメーバ性赤痢細菌性赤痢及ヒ日本住吸蟲病ニ於ケル腸病變組織學的研究(大正四年逝去)
- 藤田 敏彦 仙臺市支倉通一〇
- 三〇七 東北大學教授 明治十年十月廿日生 鳥取出身 同上 東大教授會審査 主論文一 種々ノ條件ニ於ケル網膜周邊部ノ感光性ニ關スル試驗
- 青柳 登 一 東京本郷四片町一〇
- 三〇八 開業 明治八年五月廿日生 山口出身 同上 主論文一 脚氣ニ於ケル神經系統及ヒ筋肉ノ病理解剖補遺
- 村地 長孝 京都市小石川區原町一ノ一〇
- 三〇九 明治九年五月廿日生 滋賀出身 同上 主論文一 癩癩患者尿中ニ於ケル尿素「アンモニア」及ヒ殘餘窒素排泄ニ因スル知見
- 藤井 壽 松本市一本竹町十九
- 三一〇 藤井病院院長 明治四年七月二日生 富山出身 同上 主論文一 孤立性長骨骨囊ノ木態ニ關スル知見
- 三浦操一郎 京都市上京區岡崎南御所町四三
- 三一一 京都府大教授 明治二年六月廿日生 埼玉出身 同上 京大教授會審査 主論文一 臟器自家融解作用ニ於ケル血色素崩壊ノ木態ニ就テ
- 西野 忠次郎 京都市四谷區東
- 三一二 慶大教授 明治十年五月廿日生 山形出身 同上 東大教授會審査 主論文一 B型「パラチフス」菌ト鼠「チフス」菌トノ比較研究
- 井上 誠夫 赤坂區溜池町五
- 三一三 順天堂醫院 明治八年三月廿日生 東京出身 同上 主論文一 眼球前部ノ炎症後發生スル網膜囊腫及ヒ乳頭炎知見補遺
- 杉 寛一郎 明治八年九月廿日生
- 三一四 愛媛出身 同上 主論文一 全身傳染病及腹膜炎ニ於ケル虫樣突起ノ變化ニ就テ(大正十三年逝去)
- 澤村 榮美 大阪天王寺區松ヶ島町
- 三二五 日赤大阪病院 明治十年七月廿日生
- 高知出身 同上 京大教授會審査 主論文一 腸管及腸間膜ノ知覺問題ノ生理學的及ヒ組織學的研究
- 磯部 喜右衛門 京都市上京區崎東福ノ川町
- 三一六 京大教授 明治十年七月四日生 富山出身 同上 主論文一 腎臟ノ靜脈性副血行新生ニ關スル實驗的補遺
- 室谷 脩太郎 廣島市西白島町
- 三一七 廣島衛戍病院院長
- 明治四年五月廿日生
- 兵庫出身 同上 主論文一 「ノボカイン」ノ推骨附近注射ニ關スル實驗的研究
- 吉川 順治 京都市上京區中阿達町
- 三一八 京府大學教授 明治十年三月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 臟器及ヒ體液中ニ於ケル右旋乳酸ノ定量ニ就テ
- 後藤 七 太 福岡市荒戸町九六
- 三一九 九大教授 明治十年九月七日生 福岡出身 同上 九大教授會審査 主論文一 所謂多發性進行性骨性筋炎(進行性骨性筋膜炎增殖症)ノ病理解剖學的及ヒ臨床的研究
- 望月 代次 名古屋市中區裏門前町三丁目
- 三二〇 明治十年四月十日生 京都出身 同上 主論文一 パンクロート氏絲狀蟲ノ仔虫ニ就テ外六篇
- 柳 忠三 明治十一年二月生
- 三二一 東京出身 同上 主論文一 人類ノ胎盤ヨリ得タル「ニ」(「フオスファチド」)ニ就テ(大正六年逝去)
- 高橋 傳吾 慶應二年三月廿日生
- 三二二 東京出身 同上 京大教授會審査 主論文一 脊髓側角ノ比較解剖(大正六年逝去)
- 尾崎 良胤 明治十六年十二月生
- 三二三 大阪出身 同上 主論文一 (アルコール)消毒法ニ就テ(大正八年逝去)
- 前島 淳一 明治十年四月十日生
- 三二四 茨城出身 同上 主論文一 脾臟疾患ニ於ケルカミツチ氏反應ノ價值及其本態ニ就テ(大正九年逝去)
- 國香 七郎 下ノ關市中之町
- 三二五 明治九年八月七日生 山口出身 同上 主論文一 臨床的關係ニ於ケル膽石ノ成立
- 河村 叶一 京都市柳馬場竹屋町下
- 三二六 京府大學教授 明治十年七月七日生 岐阜出身 同上 主論文一 胃内ニ於ケル生活組織消化ノ疑問附屬形胃潰瘍ノ病理補遺
- 久保 武 明治十年六月廿日生
- 三二七 石川出身 同上 主論文一 朝鮮人ノ體質的人類學補遺(計劃篇)
- 古城 憲 治 京府府府明町一ノ九
- 三二八 養化病院院長 明治十年九月廿日生 大分出身 同上 東大教授會審査 主論文一 癌腫尿ト健康尿及ヒ他疾患尿トノ差異
- 田中 筠彦

三二九 明治六年十月廿日生 鳥取出身 同上 主論文一 實扶の里ノ時ノ心筋特ニ房室間筋束ノ變化ニ就テ附該筋束ノ獨立ニ關スル疑問上ノ補遺 (大正十二年逝去)

長谷部 言人 仙臺北五番町一二九 三三〇 東北大学教授明治五年六月十日生 東京出身 同上 主論文一 日本人ノ脊柱

小川 政 修福岡市地行西町二一 三三一 九大教授 明治八年九月五日生 東京出身 同上 九大議長推薦

吳 建 東京小石川大塚町 三三二 東大教授 明治六年十月廿日生 東京出身 同上 東大教授會審查 主論文一 心臟ノ異所の刺戟發生ノ原理ニ就テ

三田 定 則府下目黒町三三四〇 三三三 東大教授 明治九年一月廿日生 岩手出身 同上 主論文一 過敏症「シヨック」ノ輕重測定ニ「アナブイラキシ」性體温降下ヲ應用スルニ就テ

諏訪 登 一 大崎市東區南久寶寺町一ノ一八 三三四 明治三年三月四日生 三重出身 同上 京大教授會審查 主論文一 健康ナル生物體ニ於ケル種々ナル「ケトン」酸「オキシ」酸ノ熊度ニ就イテ

古賀 玄三郎 明治三年十月廿日生 三三五 東京府下巢鴨上駒込四三五 三五四 明治三年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 橫紋筋ノ動機ニ關スル二論說

石原 弘 大阪府豐能郡池田町 三五五 明治九年十月六日生 東京出身 同上 主論文一 尿中ニ於ケル尿酸ノ定量法ニ就テ

馬 杉 篤彦 明治五年八月九日生 三五六 京大教授會審查 主論文一 穿孔性及非穿孔ノ角膜創ニ於ケル治療機轉ニ關スル實驗的研究附「コカイ」ノ之ニ及ボス影響

横山 有 一 五 仙臺市南光院町一五 三五七 明治五年四月五日生 宮城出身 同上 主論文一 氣管支樹ノ彈力裝置及ビ其生理並ニ病氣の意義ニ就テ

増田 二郎 東京市神田區錦町三ノ八 三五八 増田病院長明治二年五月廿日生 埼玉出身 同上 東大教授會審查 主論文一 人腦腦部灰白質及ビ其大小腦ノ連絡ニ就テ

楠 太 名古屋市中區南桑名町 三五九 開業 明治九年十月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 白癩ノ試驗的並ニ臨床的研究

木内 幹 商館市富岡町五 三六〇 附館病院長 明治五年一月二日生 千葉出身 同上 主論文一 妊娠セル輪卵管ノ破裂ノ原因ニ就テ

帖 佐 彦四郎 神戸市北長狹通四丁目 三六一 明治五年五月廿日生 鹿兒島出身 同上 京大教授會審查 主論文一 副腎免血血清ニ就テ

小柳 美三 仙臺市元柳町五〇 三六二 東北大学教授明治五年三月十日生 東京出身 同上 主論文一 葡萄膜炎及ビ視神經ニ於ケル缺損症「コロロホルム」並ニ眼窩囊腫ヲ伴フ小眼球ノ成立ニ關スル胎生學的研究

足立 拾次郎 京都市間之町押小路上ル 三六三 足立病院 明治十年四月廿日生 島根出身 同上 主論文一 人ノ卵巣及ビ子宮ニ於ケル重複屈折性「リボイド」ノ現出ニ就テ尙是等臟器ニ於ケル脂肪蓄積ニ就テノ注意

柏原 光太郎 大阪東區備後町一ノ三三 三六四 明治十年八月廿日生 香川出身 同上 九大教授會審查 主論文一 尿酸ト亞鉛鹽類ノ關係ニ就テ

北村 勝藏 靜岡市一番町九 三六五 北村内科醫院 明治十年三月三日生 靜岡出身 同上 主論文一 日本ニ於テ廣ク蔓延セル人腸内寄生蟲神保氏「トリ

病ニ就テ 島 峯 徹 東京性下目白文 三四二 文部省附屬醫院長 明治十年四月二日生 新潟出身 同上 主論文一 第二血亞質

青木 大 勇 長崎市大裏町二四 三四三 長崎醫大教授 明治九年三月廿日生 佐賀出身 同上 主論文一 日本ニ於ケル黃癩ノ研究外一篇

鈴木 立男 仙臺市新小路二三 三四四 東北大助教授 明治四年五月廿日生 秋田出身 同上 主論文一 腎分泌ノ形態學ニ就テ

佐武 安太郎 仙臺市北四番町二四三 三四五 東北大学教授 明治十七年九月生 和歌山出身 同上 京大教授會審查 主論文一「ストロヒニン」蛙ノ脊髓ニ於ケル制止作用ノ行ハルル場合ヲ論ズ

林 喜 作 京都市上京區東町通御池上ル 三四六 開業 明治五年三月四日生 千葉出身 同上 主論文一 先天性股關節脫臼二百三十二例ノ臨床的並ニX線的研究

杉本 東造 東京市神田區錦町三ノ一 三四七 自宅開業 明治七年十月廿日生 新潟出身 大正四年東大教授會審查 主論文一 コストロンギールス「オリエンタリス」ニ就テ

淺山 忠愛 京都市室町下長者町下ル 三六六 京府大教授明治五年三月廿日生 京都出身 同上 京大教授會審查 主論文一 屋「インデイカン」形成ニ關スル實驗的追加

松尾 巖 京都市寺町通今出川上ル 三六七 京大教授 明治四年四月廿日生 京都出身 同上 主論文一 膀胱分泌機能ニ就テ

百瀬 一 一 兵庫縣武庫郡今津村 三六八 百瀬結核研究所 明治三年八月廿日生 長野出身 同上 東大教授會審查 主論文一 脫蠟樣質結核菌ノ「アンチゲン」作用ノ知見ニ就テ

緒方 知三郎 東京府下千駄ヶ谷町五六二 三六九 東大教授 明治六年一月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 輸尿管ノ結紮及ビ「イタテロゲン」中毒ニ際スル實驗的肝硬變並ニ黃膽ノ發生ニ關スル知見補遺

芳我 石雄 明治三年二月一日生 受給出身 同上 主論文一 人工の癩癩發生論(大正七年逝去)

島 蘭順次郎 東京市本郷區彌生町三 三七〇 芳我石雄 明治三年二月一日生 愛媛出身 同上 主論文一 人工の癩癩發生論(大正七年逝去)

論 文 一 天然鼠ノ分種生存子宮ニ於ケル藥理的的研究 藤 浪 剛 一 東京府下野方町 三四八 慶大教授 明治十三年六月生 愛知出身 同上 主論文一 空虛ナル胃中ニ於テ分泌液ヲ分泌スル簡易ナル「レントゲン」検査法ニ就テ

清野 謙次 京都市中關田町 三四九 京大教授 明治八年八月廿日生 靜岡出身 同上 主論文一 生體カルミン色素攝取

富士川 游 東京本郷西片町 三五〇 慶大講師 應應元年五月廿日生 廣島出身 同上 京大教授會審查 主論文一 日本疾病史上卷(文庫)

市川 清 京大教授 明治七年四月廿日生 山口出身 同上 主論文一 シュナーベル氏空洞ニ就テ

伊東 徹太 明治二年八月四日生 東京出身 東大教授會審查 主論文一 軟性下疳及ビ其原因ノ臨床的又細菌血液的研究(大正八年逝去)

福士 政一 本郷區西片町一 三三三 日本醫專教授 明治二年一月廿日生 北海道出身 同上 主論文一 梅毒性大動脈炎ノ病理組織的變化附「プラスマ」細胞現其ノ意義

坂井 精一 宇治山田市山田病院社宅 三七二 日赤支部山田病院長 明治八年十月廿日生 山口出身 同上 九大教授會審查 主論文一 脂肪血ノ發病論ニ就テ

佐々木 次郎三郎 沼津市城內添地 三七四 駿東病院長明治二年三月廿日生 岩手出身 同上 東大教授會審查 主論文一 網膜腹膜外板及ビ腸間膜ノ無差別ノ胃及ビ腸壁不全ニ及ボス補足固定力ノ比較研究

石 森 國 名古屋市中區武平町 三七四 中央病院長明治七年五月十日生 福井出身 大正五年京大教授會審查 主論文一 箭筒ニ起ル過極度癲癩ニ就テ

森 武 美 東京市外西大久保四一 三七五 明治八年七月廿日生 高知出身 同上 主論文一 甲狀腺中毒症ノ試驗的證明ニ就テ

兒玉 豊治郎 明治九年三月廿日生 東京出身 同上 東大教授會審查 主論文一 炭疽熱菌ニ對スル先天免疫原理附「カプセル」ノ成立 本體及ビ性質

森田 齋次 明治十年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 椎骨棘狀突

一五

起ノ方向及ビ形狀ヲ定ムル因子ニ就テ
 有馬 賴吉 大阪市東區北濱
 三七八 市立刀根山養老所
 明治七年一月十五日
 大阪出身 同上 京大教授會審查 主論文「チアス」ノ病の變化及ビ血清療法ニ關スル實驗的研究
 高田 研 安東市野町區三番町
 三七九 東洋內科醫院
 文久元年八月九日生
 京都出身 同上 主論文一 肺結核病早期診斷法 二 口腔聽診法 三 健常ナル肺炎ノ高サ
 日高 拾吉 大阪西區宇和島
 三八〇 明治十四年四月十日
 宮崎出身 同上 主論文一 亞弗利加同歸熱「スピロヘーテ」ニ對スル溶解性及ビ不溶解性水銀劑ノ比較作用ニ就テノ試驗研究
 本庄 謙三郎 明治九年八月五日
 三八一 同上 主論文「アルター」酸ガ實驗的糖尿病ニ及ボス影響ニ就テ(大正六年逝去)
 山川 章太郎 仙臺市北一番丁六〇
 三八二 東北大學教授明治七年二月五日
 香川出身 同上 東大大學院卒業 主論文一 パーネス氏腹外側體道並ニ「ヘルウエツヒ」兵三角道ノ知見 橄欖體ノ外體野並ニ脊髓ノ腹外側邊線ニ於ケル傳導道ノ問題ニ就テ
 石原 忍 東京市外野町
 三八三 東大教授 明治七年九月廿日生
 東京出身 同上 東大教授會審查 主論文一 特發性夜盲ノ原因ニ就テ外三篇
 熊谷 岱藏 仙臺市元銀治町三
 三八四 東北大學教授明治七年七月九日生
 長野出身 同上 主論文一 含水炭素類ノ拮抗性ニ關スル研究
 椎野 鐸太郎 名古屋市外千種
 三八五 南滿醫學堂教授
 町元吉井二三二
 愛知出身 同上 主論文一 鰐魚ノ軟骨頭蓋
 石原 久 東京市本郷根津
 須賀町七
 三八六 東大教授 慶應二年十月廿日生
 埼玉出身 同上 東大總長推薦
 吉村 良雄 岐阜市縣立病院內
 三八七 岐阜縣立病院院長
 明治六年九月廿日生
 山梨出身 同上 京大教授會審查 主論文一 妊婦子宮ノ毒性並ニ血清及ビ血球ノ抵抗毒作用ニ就テ
 菅 沼定男 東京市四谷區坂
 町五四
 三八八 慶大教授 明治七年三月廿日生
 新潟出身 同上 主論文一 脈絡膜ノ硝子膜並ニ網膜色素上皮ノ病の變化ニ就テ
 筒井 秀二郎 慶應二年五月廿日生
 三八九 同上 主論文一 鼠竊ニ就テ(大正八年逝去)
 青木 薫 仙臺市勾當臺通
 一六
 三九〇 東北大學教授明治十年一月廿日生
 東京出身 同上 東大教授會審查 主論文一 「アトキシール」ノ「スピロヘーテ」ニ對スル作用ト免疫トノ關係
 副島 豫四郎 小倉市紀念病院內
 三九一 小倉紀念病院院長
 明治七年十月廿日生
 佐賀出身 同上 京大教授會審查 主論文一 輪尿管心切斷端ノ移植部位ニ就テ
 天津 創 京都市萬壽寺通
 鳥丸四八
 三九二 明治六年十月廿日生
 廣島出身 同上 主論文一 「ストロフアンチン」ノ蛙ノ心臟ニ及ボス作用ニ就テ
 吉永 福太郎 廣島市西區魚屋町四七
 三九三 明治五年三月一日
 廣島出身 同上 主論文一 白血球ノ殺菌性物質ニ關スル研究
 東條 經治 明治六年七月廿日生
 三九四 同上 九大教授會審查 主論文一 特發性痘ノ病理補遺
 鹿兒島出身 同上
 佐藤 清一郎 駒込二三二
 三九五 順天堂醫院 明治六年一月生
 東京出身 同上 主論文一 癆症性胸廓論並肺尖結核手術ニ就テ
 戶上 駒之助 福岡市舊柳町六三
 三九六 開業 明治三年六月廿日生
 福岡出身 同上 主論文一 精神病患者ノ新陳代謝ノ知見補遺
 太田 孝之 東京市布區市兵衛町二ノ六五
 三九七 東大講師 明治三年五月廿日生
 東京出身 同上 東大教授會審查 主論文一 酵素及ビ醱酵化學知見補遺
 小口 忠太 名古屋東區東片
 端町二ノ一二
 三九八 愛大教授 明治八年一月六日生
 東京出身 同上 主論文一 硝子體中ニ行フ血液注射ノ作用並ニ所謂增殖性網膜炎ニ就テ
 田村 昌 芝區築房町一三
 三九九 東都醫院 明治九年三月十日
 和歌山出身 同上 主論文一 結核菌及ビ「ミコバクテリヤ」ノ化學的成分及ビ其ノ特殊染色トノ關係ニ就テ
 八代 豐雄 東京市込區市ヶ
 谷仲ノ町四九
 四〇〇 順天堂醫院明治九年九月九日生
 山梨出身 同上 主論文一 血栓成立ノ疑義ニ就テ實驗的研究並ニ血液凝固測定ノ一管便法報告
 肥田 七郎 明治五年六月生
 四〇一 同上 主論文一 外科的結核症「レントゲン」療法(大正十三年逝去)
 大河内 常一 高松市市赤病院內

四〇二 日赤高松支部病院院長
 明治七年八月廿日生
 京都出身 同上 京大教授會審查主論文
 一 內臟ノ實質性出血ニ對スル應急處置
 二 野蠻手術ノ所見
 矢尾 板四郎 東京日本橋區濱町一
 四〇三 見龍堂內科醫院院長
 明治五年六月廿日生
 山形出身 同上 東大教授會審查主論文
 一 心臟膜部及ビ房室間瓣ノ發育及ビ之ニ關連セル心臟畸形ニ就テ(舊性佐藤)
 澤崎 寛制 明治七年五月生
 四〇四 同上 主論文一 耳形「パラチフス」ノ病理解剖ニ就テ
 秦 勉造 札幌市南二條西
 十三丁目
 四〇五 北大醫學部長
 明治十年三月廿日生
 福井出身 同上 主論文一 攝護腺ノ發育解剖並ニ病理解剖ニ就テノ研究
 安藤 秀三 兵庫武庫郡四ノ
 宮町香榎園殿池
 四〇六 明治七年九月一日生
 兵庫出身 同上 京大教授會審查主論文
 一 再ビ「アドレナリン」及ビ局所麻酔藥ノ併用ニ就テ附局所麻酔藥ノ末梢血管ニ及ボス作用ノ實驗的補遺
 武田 鹿雄 高知市本町
 四〇七 武田病院 明治七年七月廿日生
 高知出身 同上 主論文一「プロムラール」ノ動物體ニ於ケル分布及ビ分解ニ關スル研究外一篇
 瀨良 好太 大阪市天王寺區
 堂々芝五六七七
 四〇八 阪大教授 明治七年四月九日生
 廣島出身 同上 主論文一「ゲパールテグレルグロン」酸ノ知見補遺
 久野 寧 奉天市瀾間町八
 四〇九 南滿醫學堂教授
 明治十五年三月廿日生
 愛知出身 同上 主論文一「アルコー」ノ循環器系統ニ對スル作用
 八木 精一 仙臺市北一番丁九八
 四一〇 東北大學教授
 明治五年五月廿日生
 岩手出身 同上 主論文一 綿馬物質及ビ綿馬纖維斯ノ生理的價値測定
 片倉 猛次郎 仙臺市元寺小路不
 動前丁
 四一一 片倉內科醫院院長
 明治七年三月廿日生
 宮城出身 同上 主論文一 腦脊液ノ研究第一 精神醫學上其ノ診斷的價値ニ就キテ
 小池 重 東京市京橋區松
 屋町二ノ六
 四一二 香雲堂勤務
 明治七年三月廿日生
 千葉出身 同上 九大教授會審查主論文
 一 氣管 氣管支樹ノ彈力纖維組織系統及肺癆ニ於ケル該系統ノ病的變化ニ就テ
 原 來復
 四一三 明治五年二月廿日生
 東京出身 同上 東大教授會審查主論文
 一 癆患者血清ノ補體結合反應ノ本態ニ關スル研究(逝去)
 茂木 藏之助 東京四谷區東信
 濃町二八
 四一四 慶大教授 明治十年一月三日生
 宮城出身 同上 主論文一 肺臟摘出後(二側以內)生物ニ及ボス影響ニ其ノ代價的機能ニ就テ(十章)
 瀨川 昌世 東京本郷區弓町
 二ノ三四
 四一五 瀨川病院院長
 明治七年七月廿日生
 東京出身 同上 主論文一 先天性骨發育不全症「パロー」氏病及ビ佝僂病トノ合併ニ就テ
 青山 徹藏 東京本郷區弓町
 二ノ二六
 四一六 東大助教授
 明治五年七月二日生
 東京出身 同上 主論文一 膽石形成ニ關スル實驗的研究
 森田 資孝 名古屋市東區武
 平町四ノ一
 四一七 森田內科病院
 明治六年四月廿日生
 秋田出身 同上 主論文一 大腸ヲ除去セル家兎ニ於ケル實驗
 長谷川 房英 大阪市北區川口
 四一八 長谷川病院
 明治十四年三月廿日生
 大阪出身 同上 京大教授會審查主論文
 一心臟ノ自然刺戟
 松井 芳雄 明治九年五月九日生
 四一九 同上 主論文一 生理的病的狀態ニ於ケル脾臟ノ格子狀纖維ニ就テ(大正五年逝去)
 谷口 彌三郎 熊本市本庄町
 四二〇 自宅開業明治六年八月生
 愛媛出身 同上 主論文一 卵葉ノ化學的集成知見補遺第一報告黃體及ビ黃體ヲ除去シタル卵葉基質中ニ於ケル「フェルメント」ニ就テ
 林 郁彦 長崎市鏡座町一
 四二一 長崎醫大教授
 明治三年三月廿日生
 山口出身 同上 主論文一 巨態細胞ノ實驗的研究
 後藤 道雄 佐賀市松原町五八
 四二二 明治七年九月廿日生
 佐賀出身 同上 主論文一 滲壓ノ生理ニ就テ
 辻 廣 京都市上區區聖
 護院御殿西門內
 四二三 京大教授明治十年三月廿日生
 福井出身 同上 主論文一 交通性陰囊水腫原因補遺
 淺井 猛郎 名古屋市南區熱
 田須賀町七九
 四二四 愛大教授明治十年三月廿日生
 愛知出身 同上 東大教授會審查主論文
 一 齒類ニ於ケル卵黃囊ノ發育及ビ其ノ

性狀、附胚班ノ化育ニ就テ並ニ白色變性
家鼠ニ依ル所謂巨大細胞ノ疑問研究
木村 男 也 仙台市北六番町
四二五 東北大教授 明治六年二月十日生
山口出身 同上 主論文一 實驗的の神經
炎ニ於ケル末梢神經ノ變性及兩性現象ニ
就テ附人類ノ多發末梢神經炎及鳥ノ白米
飼養實驗
佐々 廉 平 本郷西片町一〇
四二六 杏雲堂醫院勤務 明治五年十月五日生
岡山出身 同上 主論文一 尿中ニ於ケ
ル「オキシプロテイン」酸屬ノ定量法及
臨床的意義
加藤 豊 治 郎 仙台市元柳町五
四二七 東北大教授 明治五年七月一日生
岡山出身 東北大總長推薦
稻 葉 逸 好 奉天鐵路八幡町
四二八 滿大教授 明治五年四月九日生
三重出身 京大教授會審查 主論文一
ホルター、ジャンク「百日咳、特ニ其動
感試驗ニ就テ」
笠 原 道 夫 京都市上京區高
四二九 京大助教授 倉二條上ル
大阪出身 同上 主論文一 皮間吸收論
(臨床的及實驗的研究)

原 田 隆 大阪市南區鹽町
四三〇 通一ノ一五 明治七年八月廿日生
福岡出身 京大々々學院卒業 主論文一
胎盤ノ化學的集成知見補遺(第一報告)外
二篇
田 中 政 彦 四三一
福岡出身 京大教授會審查 主論文一
石灰吸收及石灰沈着ニ就テ
中 川 幸 庵 四三二
富山出身 同上 主論文一 肺「ガスト
マ」ノ研究
市 川 定 吉 四三三
山形出身 同上 主論文一 瘰癧疾患
ノ「ラクタン」療法並ニ瘰癧新菌及ビ類
似菌間ニ於ケル共通の免疫關係ニ就テ
(大正二年逝去)
中 野 等 一ノ八
四三四 東大助教授 明治三年十月廿日生
新潟出身 同年東大教授會審查 主論文
一 腫脹性葡萄球菌ニ就テノ研究外一
篇
田 澤 錄 二 東京府下野方町
四三五 東京市藥業所 新井六四九
愛知出身 同上 主論文一 實驗的の神經
炎、就中鳥類ニ就テ

石 坂 伸 吉 金澤市備中町六
四三六 金澤醫大教授 富山出身 同上 主論文一 「テルヘン」
ノ溶血作用ニ就テ
宮 川 米 次 東京市本郷區曙
四三七 東大助教授 町七
愛知出身 同年東大々々學院卒業 主論文
一 徑口ニ感染セル十二指腸蟲ノ體內
ニ於ケル移行経路並ニ二十指腸蟲ノ主要
感染経路ニ就テ
塚 口 利 三 郎 大阪府泉北郡高
四三八 阪大教授 明治七年七月廿日生
愛知出身 同年九大教授會審查 主論文
一 眞水性那那那ノ精微構造ニ就テ
赤 岩 八 郎 岡山市小野田町
四三九 岡山醫大教授 徳島出身 同上 主論文一 外科的の腎臟
疾病ノ術前及ビ術後ニ於ケル特ニ輸尿管
カテーテル挿入ニヨル腎臟機能診斷法ノ
研究外一篇
橋 本 策 三重縣阿山郡西
四四〇 自宅開業 明治七年五月五日生
三重出身 同上 主論文一 女子生殖器
結核傳播ニ關スル實驗的研究
峰 直 次 郎 長崎縣西杉浦郡
四四一 自宅開業 明治元年九月廿日生
佐賀出身 同上 主論文一 日本産鳥類
住血原虫研究ノ補遺

楠 正 信 高知出身 同上 主論文一 脾臟及ビ屍
體液ノ類脂質(大正七年逝去)
橋 本 正 員 大阪府能登郡南豐
四四三 大阪同生病院部長 島村
明治七年九月五日生
栃木出身 同上 主論文一 體溫調節ニ
關スル實驗的研究外二篇
佐々 木 秀 一 東京市本郷區千
四四四 杏雲堂醫院 駄木町五〇
東京出身 同年東大教授會審查 主論文
一 實驗的の結核症ノ研究補遺、殊ニ接
菌量ト病態ノ輕重トノ關係ニ就テ
進 藤 篤 一 福岡市住吉町
四四五 九大教授 明治七年六月廿日生
東京出身 同年九大總長推薦
小 畑 惟 清 東京市田區鈴小
四四六 濱田病院長 町六
熊本出身 同年東大教授會審查 主論文
一 胎兒骨盤ノ化骨核
今 村 隼 稻 四四七
長野出身 同上 主論文一 傳染病ノ
類脂肪及ビ其ノ意義ニ就テ(大正七年逝
去)
小 澤 修 造 大阪東區今橋四
ノ二

四四八 阪大講師 明治五年四月廿日生
遊覽出身 同上 主論文一 赤血球ノ種
屬特性ニ關スル補遺
高 橋 明 新潟市南區横通
四四九 新潟醫大教授 一番町
愛知出身 同上 主論文一 麻疹ノ經過
中ニ發生セル痘痘性深膿胞
高 橋 信 東京府布區森元
四五〇 宮内省侍醫寮 町一ノ二七
大分出身 同上 主論文一 阿片成分ノ
結合作用ニ關スル數量的實驗治療試驗ニ
就テ
佐 口 榮 金澤市支藩町三
四五二 東大教授 巡り
石 原 喜 久 太郎 東京小石川區大
四五二 東大教授 塚町二六
島根出身 同上 主論文一 「ムスト」環
防上鼠蚤ニ關スル研究及ビ除鼠法ニ關ス
ル實驗
氏 原 均 一 東京日本橋區室
四五三 橫濱十全病院長 町一ノ一〇
大阪出身 同上 主論文一 膀胱糖尿病
ニ關スル實驗研究特ニ本疾患ニ於ケル蛋
白質ノ分解及ビ蛋白質産生ニ就テ
常 岡 良 三 四五四
三重出身 同年京大教授會審查 主論文
一 異性抗體ニ就テ
松 本 信 一 京都市上京區淨土
四五五 京大教授 寺西四町
福島出身 同上 主論文一 所謂汗孔角
化症ノ組織學上ノ意義
中 村 登 京都市鉄屋町丸
四五六 京府大教授 太町下ル
京都出身 同上 主論文一 迷路ノ炎症
ニ就テ及ビ其ノ實驗的研究
長 崎 仙 太 郎 兵庫縣武庫郡御
四五七 阪大教授 影町榎本三三
大阪出身 同上 主論文一 温血動物ノ
生心臟ニ於ケル作業ト瓦斯交換及ビ物質
消費トノ關係ニ就テ
横 川 定 台北市佐久間町
四五八 台灣醫專教授 官舎
岡山出身 同上 主論文一 粘チ中間宿
主トスル新寄生虫「メタゴニムス、ヨコ
カワ」ニ就テ
宇 山 俊 三 和歌山市小松原
四五九 日和和歌山支部病院長 通リ三
兵庫出身 同上 主論文一 異物癒合ニ
關スル實驗及ビ其ノ應用ニ就テ
羽 根 喜 一 四六〇
静岡出身 同上 主論文一 中耳炎ノ細
菌學的及ビ血清學的研究並ニ之ニ對スル
内耳淋巴液ノ意義ニ就テ
大 野 禧 一 横濱市本牧町七
四六一 熊本出身 同年東大々々學院卒業 主論文
一 抗體原及ビ抗體相互反應ノ原理研
究
檜 林 兵 三 郎 神戸市西須磨區
四六二 明治七年九月七日生
京都出身 同年京大教授會審查 主論文
一 大日本住血吸蟲病補遺
林 篤 四六三
石川出身 同上 主論文一 小兒腸管壁
ノ透過性ニ就テ
實 吉 純 郎 東京府布區島居
四六四 高輪病院長 坂町九
東京出身 同年東大教授會審查 主論文
一 實驗的の貧血ノ血液粘稠度ニ就テ
西 成 甫 東京府下落合文
四六五 東大教授 明治五年六月九日生
静岡出身 同上 主論文一 固有背筋ノ
比較解剖學
武 藤 喜 一 郎 四六六
静岡出身 同上 主論文一 肝臟ニ對ス
ル交感神經及ビ副交感神經ノ分布ニ就キ
テ
八 田 善 之 進 東京市田區富士
四六七 宮内省侍醫寮 見町一ノ二九
福井出身 同上 主論文一 パンゲ氏定
量法ノ批評
柳 川 華 吉 東京市田區平河
四六八 自宅開業 明治七年六月一日生
多奈川出身 同上 主論文一 淋巴成生
ニ就キテ
酒 井 卓 造 千葉市美川北大
四六九 千葉醫大教授 堤
埼玉出身 同上 主論文一 流通液内食
鹽含過減ノ蛙心室ニ及ボス影響ニ就テ
島 田 吉 三 郎 京都市東一條萬
四七〇 京府大教授 里小路
富山出身 同年京大教授會審查 主論文
一 小腸ノ形態學的研究報告
田 中 文 男 岡山市内山下八
四七一 岡山醫大教授 〇
兵庫出身 同上 主論文一 氣道ノ痙攣
變化ニ就テ
鈴 木 寛 之 助 四七二
長野出身 同上 主論文一 蟲樣突起ノ
炎症若シクハ其ノ病態ノ發生ニ對スル機

毒ノ病理的意義ニ就テノ研究(大正十四年逝去)

熊谷直樹 新潟市四大烟町 四七三 新潟醫大教授

長野出身 同年東大教授會審査 主論文一 網膜ニ於ケル運動現象ニ就テ

中村 豐 札幌市北三條西四七四 北大教授

愛知出身 同上 主論文一「エチルアルコール」及ビ「メチルアルコール」ノ體器ニ及ボス作用ニ就テノ實驗的研究

「アルコホル」性聽神經失調補遺

岩崎小四郎 東京牛込區藥王寺町 四七五 陸軍醫學校教官

東京出身 同上 主論文一 結核ニ對スル肺炎ノ器械的素質ニ關スル試驗的研究

松井甚四郎 名古屋市中區大曾根町官舎 四七六 名古屋鐵道病院院長

東京出身 同上 主論文一 細菌ト凝集素トノ結合並ニ其ノ成離ニ就テ

東條良太郎 大阪市西區四橋堀木橋西詰 四七七 東條産婦人科病院

明治二十年三月廿日生

千葉出身 大正七年京大教授會審査 主論文一 初期人卵ニ就テ

加茂貫一郎 支那北京日華同仁病院內

四八九 日華同仁病院長 山梨出身 同上 主論文一 粘液水腫ノ病理解剖ニ關スル下垂體ノ變化ニ就テ外一篇

綿引朝光 京城醫專內 四七九 京城醫專教授

東京出身 同上 主論文一 補體成分ノ研究

澤井俊二 明治十年八月七日生 四八〇 明治十年八月七日生

廣島出身 同上 主論文一 膠標重金屬及ビ重屬鹽類ノ消化管排泄ニ就テ(大正十四年逝去)

坂口 勇 東京市本郷區眞砂町一五 四八一 坂口病院 明治五年二月一日生

愛知出身 同年 東大教授會審査 主論文一 丸惡性腫瘍(殊ニ上皮性)知見

伊藤 秀 大津市神出町八四八二 日赤滋賀支部病院長

京都出身 同年京大教授會審査 主論文一 溫度並ニ發熱ガ生體內「エーテル」酸及ビ「ワロクロロール」酸ノ合成ニ及ボス作用

梅田信義 姫路市福中町六四八三 明治七年三月一日生

兵庫出身 同上 主論文一 犬及ビ人ノ尿中ニ於ケル内成的「プリン」ノ排泄ニ及

ボス脂肪及ビ含水炭素ノ影響ニ就テ

岡林 秀一 津市上八區中阿四八四 京大教授

奈良出身 同上 主論文一 腸下垂體トハ八生殖器トノ相互關係ニ就テ

辻 寛治 京都市一條通四四八五 京大教授

島根出身 同上 主論文一 孤立セル心臟ニ於テ乳糖新陳代謝ニ就テ

明石眞隆 台灣台南市四八六 台南醫院長

福岡出身 同年京大教授會審査 主論文一 日本及ビ北支那ニ於ケル赤痢「アメーバ」ノ研究

鶴見三三 兵庫縣武庫郡精道町漢屋五三一長谷川方 四八七 滿鐵衛生課長

東京出身 同上 東大教授會審査 主論文一 腫瘍ノ免疫

川上 漸 東京府豊多郡井萩村上井草 四八八 慶大教授

新潟出身 同年京大教授會審査 主論文一 馬ノ食餌性肺葉炎(脚氣樣疾患)ニ就キテ

景山萬治 津市新東町四八九 津市立病院

京都出身 同上 主論文一「パラオキシン

フエニールエチルアミン」ノ作用ニ就テ特ニ腸內自家中毒ヲ顯慮セル實驗的研究

確居龍太 東京小石川區茗荷谷町二九 四九〇 東大教授

京都出身 同年東大教授會審査 主論文一 心臟動作ノ力學的研究

田村春吉 名古屋市中區葵町二三 四九一 愛大教授

東京出身 同上 主論文一 砒素化合物ノ顯微化學的研究

鹽谷不二雄 東京本郷區西片町一〇(三ノ三) 四九二 東大助教授

滋賀出身 同年東大教授會審査 主論文一 神經系ニ於ケル類脂肪ノ研究

宮路重嗣 新潟市學校町通四九三 新潟醫大教授

新潟出身 同年東大教授會審査 主論文一 鶏「ペスト」病毒知見補遺

黒田三樹三 名古屋市中區武平町三丁目 四九四 自宅開業 明治五年七月廿日生

愛知出身 同年京大教授會審査 主論文一「コカイン」ノ作用ニ就テ

加治安信 京都市河原町荒神上口上ル東櫻町 四九五 京府大教授

明治五年三月廿日生

三重出身 同上 主論文一 血清學的妊娠診斷法ニ就テ

高安六郎 大阪市西區京町堀上通五ノ九九 四九六 高安病院長

明治七年三月廿日生

東京出身 同上 主論文一 補體結合作用ニ關スル研究

北 豐吉 東京牛込區矢來町三番地 四九七 文部省學校衛生課長

東京出身 同年東大教授會審査 主論文一 邦人ニ於ケル脂肪性食ノ研究

岩男 督 東京赤坂區青山南町五ノ三三 四九八 自宅開業 明治九年九月廿日生

大分出身 同年京大教授會審査 主論文一「パラオキシン」エニールエチルアミン」ノ家兎靜脈内注射ニヨリ發セル實驗的「ヘモジデロシス」ニ就テ

戸谷銀三郎 大連見玉町九ノ四九九 滿鐵醫院長

明治七年七月七日生

愛知出身 同上 主論文一「チロシン」ヲ少量ニ減セル食餌ヲ以テ行ヘル飼養實驗

横井 濟 名古屋市中區盛名 五〇〇 好生館病院

明治七年六月廿日生

愛知出身 同上 主論文一 各種假關節

四八九 日華同仁病院長

山梨出身 同上 主論文一 粘液水腫ノ病理解剖ニ關スル下垂體ノ變化ニ就テ外一篇

綿引朝光 京城醫專內 四七九 京城醫專教授

東京出身 同上 主論文一 補體成分ノ研究

澤井俊二 明治十年八月七日生 四八〇 明治十年八月七日生

廣島出身 同上 主論文一 膠標重金屬及ビ重屬鹽類ノ消化管排泄ニ就テ(大正十四年逝去)

坂口 勇 東京市本郷區眞砂町一五 四八一 坂口病院 明治五年二月一日生

愛知出身 同年 東大教授會審査 主論文一 丸惡性腫瘍(殊ニ上皮性)知見

伊藤 秀 大津市神出町八四八二 日赤滋賀支部病院長

京都出身 同年京大教授會審査 主論文一 溫度並ニ發熱ガ生體內「エーテル」酸及ビ「ワロクロロール」酸ノ合成ニ及ボス作用

梅田信義 姫路市福中町六四八三 明治七年三月一日生

兵庫出身 同上 主論文一 犬及ビ人ノ尿中ニ於ケル内成的「プリン」ノ排泄ニ及

ボス脂肪及ビ含水炭素ノ影響ニ就テ

岡林 秀一 津市上八區中阿四八四 京大教授

奈良出身 同上 主論文一 腸下垂體トハ八生殖器トノ相互關係ニ就テ

辻 寛治 京都市一條通四四八五 京大教授

島根出身 同上 主論文一 孤立セル心臟ニ於テ乳糖新陳代謝ニ就テ

明石眞隆 台灣台南市四八六 台南醫院長

福岡出身 同年京大教授會審査 主論文一 日本及ビ北支那ニ於ケル赤痢「アメーバ」ノ研究

鶴見三三 兵庫縣武庫郡精道町漢屋五三一長谷川方 四八七 滿鐵衛生課長

東京出身 同上 東大教授會審査 主論文一 腫瘍ノ免疫

川上 漸 東京府豊多郡井萩村上井草 四八八 慶大教授

新潟出身 同年京大教授會審査 主論文一 馬ノ食餌性肺葉炎(脚氣樣疾患)ニ就キテ

景山萬治 津市新東町四八九 津市立病院

京都出身 同上 主論文一「パラオキシン

一 過剰ナル音響ニ因スル聽器障礙ノ實驗的病理研究並ニ其ノ生理的意義ニ就テ

鈴木 正 大連市水木町三五〇七 滿鐵醫院 明治六年四月廿日生

兵庫出身 同上 主論文一 乳兒脚氣症血液含糖量ニ就テ外一篇

戸田正三 京都市北白川四五〇八 京大教授

兵庫出身 同年東大總長推薦

河本軍次郎 大阪市天王寺區北山町 明治十年三月五日生 五〇九

岡山出身 同年京大教授會審査 主論文一 原發性葡萄膜炎腫膜例ニ關スル知見補遺

井岡 忠雄 大阪市天王寺區堂芝町五七五六 五一一 明治五年九月廿日生

大阪出身 同年京大教授會審査 主論文一 雌性生殖器ノ生體染色

上野 道故 新潟市東區前通二番町 五一一 新潟醫大教授

新潟出身 同年東大教授會審査 主論文一 人類羊水ノ化學的研究第一報告人類ノ羊水ガ有スル物理學性狀及ビ化學的集成ニ就テ

清水 茂松 東京牛込區納戸町二二 五一一 順天堂醫院勤務

明治六年五月六日生

石川出身 同年東大教授會審査 主論文一 胸腺ノ機能知見補遺第一報告胸腺溶解性血清ニ就テ外一篇

松岡 銳作 埼玉縣忍町忍五二三 埼玉出身 同上 主論文一 脂肪ノ病理知見補遺

酒井 繁 名古屋市中區白壁町四ノ二四 五一一 愛大教授

東京出身 同上 主論文一 各種心臟劑ノ哺乳動物遊離心臟ニ對スル藥理的作用ノ電氣心動圖描寫法ニ依ル研究

岡田清三郎 千葉市千葉一六 五一一 千葉醫大教授

明治六年七月廿日生

受檢出身 同上 主論文一 膽汁ノ分泌及ビ其ノ性狀ニ關スル研究

齋藤 秀雄 長崎市上西山町五二六 長崎醫大教授

鳥根出身 同上 主論文一 哺乳兒癩病ノ脂肪ノ脂肪含量ニ就テ

有澤 潤 大阪市中區北濱二ノ四〇 五二七 自宅開業 明治五年三月廿日生

大阪出身 同上 主論文一 眼ニ於ケル細菌ノ作用ニ就テ附角膜輪狀腫瘍形式ニ關スル知見

酒井和太郎 松山市出淵町二 五二八 日赤愛媛支部病院長

明治六年三月廿日生

福岡出身 同年東大大學院卒業 主論文
一 二三和漢薬ノ藥理の並ニ化學的研究
第一入參、第二芍藥、第三當歸、第四白芷
肥田音市 東京芝區二本榎
西町三
五一九 北研勤務 明治九年六月廿日生
東京出身 同年京大教授會審査 主論文
一「アフリディア」毒素ノ研究
山本直枝
五二〇
石川出身 同上 主論文一 血液成分殊
ニ炭酸ノ血管作用ニ就テ(炭酸ハ活動セ
ル臟器ノ血行ニ對スル異化的調節物ナ
リ)
大谷彬亮 東京赤坂區青山
南町五ノ四
五二一 慶大講師
東京出身 同上 主論文一 胸腺酸加血
液ノ喉嚨促進作用ノ研究
植村俊二 京城市永樂町二
ノ八五
五二二 自宅開業 明治九年九月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 人及ヒ家畜
動物ニ於ケル松果腺ノ生理的構造及病的
變化ニ就テ
安藤畫一 岡山市宮田町一
三二七
五二三 岡山醫大教授
大分出身 同上 主論文一 哺乳鼠及ヒ
人ノ胎盤並ニ胎兒ニ於ケル糖原質「グリ
コゲン」ノ分布、附是等組織ニ於ケル
糖原質發生ノ生物學的意義ニ就キテ
永松武夫 神戸市中山手通
二丁目
明治九年十月廿日生
五二四 東京出身 同年京大大學院卒業 主論文
一 嗅覚作用ニ關スル一新物質ニ就テ
附、攝食素ノ性狀ニ關スル見聞補遺
覽 東京赤坂區青山南
町五ノ四五
五二五 宮内省侍醫
明治九年四月三日生
福井出身 同年東大教授會審査 主論文
一 假性結核菌ニ關スル研究
明城彌三吉 仙台市常盤町七
五二六 東北大教授
明治十年九月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 人體葉肉
神經纖維殊ニ其終末ニ就テ
植村尙清 札幌區南四條四
十丁目
五二七 自宅開業 明治九年一月廿日生
東京出身 同上 主論文一 人類ニ於ケ
ル小腸及ヒ腸幹ノ腸結路ニ就テノ病理
解剖的研究附聽神經三叉神經及ヒ迷走舌
咽神經ノ中樞内徑路ニ就テ
高木義敬 京都市堺町通二
條下ル
五二八 自宅開業 明治七年八月廿日生
京都出身 大正八年京大教授會審査 主
論文一 百日咳凝集素ノ產生部位並局所
免疫ニ就テ外二篇
小川睦之輔 京都市上京區鹿
ヶ谷ノ前町
五二九 京大教授
大分出身 同上 主論文一 脊椎動物肺
呼吸腔ノ組織學的研究
辻 岡山都窪郡萬壽
村濱
五三〇 岡山縣倉敷病院長
明治六年三月六日生
大分出身 同年京大大學院卒業 主論文
一「アロテウス」菌及ヒ「スプチリス」
菌ニ由ル「ラセミ」形「チロゲン」ノ不
性分解ニ就テ(同時ニ右旋「チロゲン」ノ
生物學的製法)外一篇
佐藤信郎 東京日本橋藥研
堀
五三一 自宅開業 明治二年九月一日生
東京出身 同年東大教授會審査 主論文
一 鳥類迷路ノ組織的構造並ニ其ノ音的
刺激及ヒ鏡射音ニ由ル被害
石原房雄 京都市牛込區通
寺町四〇
五三二 東大講師
岡山出身 同上 主論文一 河豚毒素ノ
生理學的研究
西川義方 京都市本郷區
生町一ノ四九
五三三 宮内省侍醫
明治五年六月廿日生
和歌山出身 同上 主論文一 諸種慢性
脾腫就中日本住吸虫症及ヒパンチ氏病ニ
於ケル脾腫ノ比較形態學的研究
小島政治 京都市上京區
五三四
東京出身 同上 主論文一 内分泌腺ノ
研究第一篇腺腫ノ甲状腺腫ノ關係ノ關
係ニ就テ(大正十二年逝去)
小野寺直助 福岡市渡邊五
丁目川端
五三五 九大教授 明治六年五月廿日生
岩手出身 同年九大教授會審査 主論文
一「アルカロイド」ノ膠質狀態ニ就テ並
ニ其ノ表面張力分子ノ大サ及ヒ毒力トノ
關係外二篇
藤澤幹二 小倉市鍛冶町
五三六 小倉市立病院長
明治九年十月廿日生
福岡出身 同上 主論文一 動物體內ニ
於ケル「ヨード」結合體ノ分布
岩崎徳松
五三七
新潟出身 同上 主論文一 血管内ニ於
ケル腫瘍細胞ノ破壊ニ關スル組織學的並
ニ實驗的觀察(逝去)
加藤義夫 京都市本郷四片
町一〇
五三八 慈惠醫大教授
三重出身 同年東大教授會審査 主論文
一 血清蛋白質ト過敏性
竹内節 字都宮市二條町
一七七八
五三九 縣立字都宮病院長
明治五年八月廿日生
福井出身 同上
額田晉 京都市本郷區
町一
五四〇 東大教授 明治九年十二月廿日生
岡山出身 同上

關口蕃樹 仙台市北二番丁
六〇
五四一 東北大教授
東京出身 同年 北大總長推薦
佐藤彰 仙台市元柳町七
五四二 東北大教授
明治九年六月廿日生
東京出身 同上 北大總長推薦
猪木正雄 三重阿山郡上野
町向島
五四三 自宅開業 明治二年一月一日生
三重出身 同年京大教授會審査 主論文
一 溶血性補體ニ就テ
迎 台北市新榮町一
丁日
五四四 台灣醫專教授
明治五年七月八日生
長崎出身 同上 主論文一 砒霜時ニ出
現スル生殖毒ノ著色ニ關スル研究
溝口喜六 福岡市須崎土手
五四五 自宅開業 明治九年七月三日生
佐賀出身 同年九大教授會審査 主論文
一 關節疾患ニ際スル筋萎縮ノ實驗的研
究
井尻辰之助 大阪市南區千手
町
五四六 自宅開業 明治九年一月廿日生
京都出身 同上 主論文一 未ダ記載セ
ラレザル一種ノ皮膚病肢端麻痺性厚皮
症與塞性及ヒ傳染性ノ進行ニ就テ
丸井清泰 仙台市北六番丁
二二三
五四七 東北大教授 北大總長推薦
爾見淳太郎 函館市元町五
五四八 函館病院長
明治七年六月廿日生
愛知出身 同年京大大學院卒業 主論文
一 理化學的處置ヲ施セル細菌ノ凝集反
應ニ及ボス影響
岡本重保 富山市星井町九
五四九 自宅開業
京都出身 同年京大教授會審査 主論文
一 摘出子宮ノ實驗 外一篇
敷波重治郎
五五〇
石川出身 同年北大教授會審査 主論文
一 鳥類脾腫原菌ノ發生ニ就テ
竹野芳次郎
五五一
大阪出身 同年東大教授會審査 主論文
一 乳汁中ニ存スル「クロール」カールシ
ウム「マグネシウム」及ヒ無機性有機性
燐定量補遺並ニ「アグフリード」氏ノ所謂
「マクレオン」ノ存否ニ就テ
平田吾市 廣島縣御調郡三
原町三原
五五二 自宅開業 明治九年二月三日生
廣島出身 同上 主論文一 空腹時溜
胃液ノ疑義
大久保直穆 大阪市住吉區
五五三 日赤大阪支部病院長
明治十年十二月十日生
瀧 京都府宇治市
五五四 京大教授
大阪出身 同上 主論文一「ヒヨリン」
ノ作用就中其ノ血液循環ニ及ボス影響ニ
就テ
尾崎良純 京都市淨土寺西
町十二
五五四 京大教授
前田鼎 京都市室町通下
立賣上ル
五五五 京大教授
大阪出身 同年京大總長推薦
勝沼精藏 名古屋市七小町
四丁目
五五六 愛知醫大教授
静岡出身 同年東大教授會審査 主論文
一「オキシダーゼ」ノ反應
本田袈次 神奈川県鎌倉市
鎌倉大町塔ノ辻
一六四
五五七 橫濱波病院長
新潟出身 同上 主論文一 脚氣病理追
加
泉伍朗 金澤市下木多町
六ノ一八
五五八 金澤醫大教授
山口出身 同年九大教授會審査 主論文
一 炎性性肺腫炎並ニ肺壞死ノ臨床的及
ヒ實驗的研究
小南又一郎 京都市上京區
町新開寺ノ内
上ル下木ノ下町

- 體結合反應 外一篇
- 大島 恒義 東京市麻布富士見町十四
- 五五五 日本赤十字社
- 東京出身 同上 主論文一 腎臟水腫ノ成因ニ就テ
- 平井金三郎 滋賀縣大津市支那病院
- 五五六 大津市日本赤十字社
- 三重出身 同上 主論文一 左旋「チロシン」ヨリ細菌ニ由ル「チロソール」ノ形成ニ就テ 外一篇
- 正井 保良 京都上京區北白川下池田町九九
- 五五七 阪大教授
- 兵庫出身 同上 主論文一 常態中ニ存在シ「アルカリ」性反應ニ於テ作用スル蛋白質分解酵素ノ研究同時ニ「トリプシン」屬酵素ト「レブシン」屬酵素トノ協同作用ノ知見補遺
- 柿内 三郎 東京市牛込区谷加賀町一ノ二
- 五五八 東大教授 明治十五年八月廿日生
- 同年 東大總長推薦
- 梅原 信正 五五九
- 同年京大教授會審査 主論文一 大鼠ノ腺纖維腫ノ移植實驗並ニ該腫瘍ヨリ人ノ肉腫ヲ形成セシメタル實驗的研究ニ就キテ
- 豐島 豐次郎 東京市外大崎町星製藥内
- 五七〇 同上 主論文一 孤菌ノ生物學的研究
- 問田 亮次 福岡市濱ノ町卅五
- 五七一 九大教授
- 佐賀出身 同年九大教授會審査 主論文一 體道ニ關スル余ノ研究成績ニ就キテ 外六篇
- 渡邊 恭禮 東京市日本橋區堀切町三ノ一二
- 五七二 明治六年七月廿日生
- 山梨出身 同年京大教授會審査 主論文一「デアニサン」鹽基ノ服用ニ由テ惹起セラル、新陳代謝變化ノ研究
- 五斗 欽吉 東京市赤坂丹後町六
- 五七三 日本赤十字社勤務
- 東京出身 同上 東大教授會審査 主論文一「アシドーシス」研究
- 柏 戶 留吉 千葉市千葉寺通一三三九
- 五七四 明治十二年一月五日生
- 栃木出身 同上 主論文一 シュエミット氏核試驗法ノ原理ノ研究並ニ其一變法
- 三田 源四郎 五七五
- 岩手出身 同年九大教授會審査 主論文一 包蟲特ニ多房性包蟲ニ關スル知見補遺
- 小野 道衛 大阪市南區難波新町五番町
- 五七六 好仁堂病院
- 福岡出身 同上 主論文一 鼓膜緊張筋反射ニ於ケル強サノ關係ニ就テ
- 植村 卯三郎 福岡縣八幡市高見町六丁目官舎
- 五七七 八幡製鐵所病院
- 三重出身 同上 主論文一 胃潰瘍ニ關スル統計的、臨床的及ビ實驗的研究ニ就キテ
- 松 田 毅 五七八
- 大阪出身 同年京大教授會審査 主論文一 乾熱加蛋白ノ實驗的血清學的反應推移
- 矢 野 雄 大阪市北區新莊町同生病院
- 五七九 同生病院部長
- 富山出身 同年 主論文一 木邦乳兒ノ熱量の新陳代謝
- 中 田 篤郎 大阪市北區上福北三丁目一九〇ノ九
- 五八〇 阪大教授
- 兵庫出身 同年九大教授會審査 主論文一 火傷後ニ來ル副腎及ビ脾臟ノ變化並ニ火傷後ノ死因及ビ副腎ト皮膚トノ相互關係ニ就テ
- 荒 井 恒雄 東京市四谷區大番町十九
- 五八一 順天堂醫院勤務
- 東京出身 同年東大教授會審査 主論文
- 立 柄 俊毅 靜岡縣沼津市四ノ條七七
- 五九八 自宅開業 明治六年二月二日生
- 新潟出身 同上 主論文一 靜脈内細菌注射ノ際ニ於ケル血液糖ノ價值ニ就テ
- 志 村 宗平 佐賀縣立病院好生館内
- 五九九 縣立病院好生館勤務
- 神奈川出身 同年九大教授會審査 主論文一「ストロングロイテス、ステルコロリス」ノ自家傳染及ビ其ノ病原性ニ就テ 外二篇
- 金子 廉次郎 熊本醫大内
- 六〇〇 熊本醫大教授
- 新潟出身 同上 主論文一 黃疸出血性「スピロヘータ」病ノ病理解剖ニ就テ 外二篇
- 小 幡 龜壽 六〇一
- 大阪出身 同上 主論文一 關節移植ノ實驗的研究論文外二篇
- 松 井 太郎 奉天八幡町十二
- 六〇二 南滿醫學堂教授
- 愛知出身 同上 主論文一 音響測驗ニ因ル聽器損傷ノ實驗的研究
- 田 村 於 兔 岡山市門田一
- 六〇三 岡山醫大教授
- 福岡出身 同上 主論文一「クロモソ」
- 一 ビュルギ氏火傷心臟計ナ用ヒテ實驗セル諸種藥劑ノ健康家兔心臟ニ及ボス影響ニ就テ 外一篇
- 山 本 耕橘 宮崎縣立病院
- 五八二 宮崎縣立病院
- 和歌山出身 同年九大教授會審査 主論文一 家鷄ニ於ケル良性並ニ惡性腫瘍移植ノ實驗的研究
- 板 垣 政 參 福岡市豐鶴町
- 五八三 九大教授
- 岩手出身 同年九大教授會審査 主論文一 卵巢黃體趨幾斯ノ平滑筋特ニ子宮筋ニ及ボス影響
- 緒 方 大象 長崎市小川町
- 五八四 長崎醫大教授
- 福岡出身 同上 主論文一 熱性呼吸疾速ノ中樞ニ就テ
- 高 畑 哲五郎 福岡市十代町崇福寺東町
- 五八五 九大教授
- 福岡出身 同上 主論文一「トリアナ」及ビ「クレアチン」ニ就テ
- 松 岡 全二 大阪市南區天王寺北山町五
- 五八六 阪大教授
- 廣島出身 同年京大教授會審査 主論文一「トリプトファン」ヨリ「キヌチレン」酸ニ至ル経路ノ研究並ニ其ノ生理的意義ニ關スル知見補遺
- 大 里 俊吉 金澤市池田町二ノ二十九

- 五八七 金澤醫大教授
- 福岡出身 同年北大教授會審査 主論文一 淋巴ニ關スル研究補遺
- 加 藤 竹男 五八八
- 熊本醫大教授
- 三重出身 同年京大教授會審査 主論文一 家鷄腫瘍移植ノ病理外二篇
- 今 井 泰藏 京都市東區院線小路角
- 五八九 自宅開業
- 鹿兒島出身 同上 主論文一 血液ノ殺菌作用
- 和 田 徳次郎 仙台市堤通二十
- 五九〇 東北大学教授
- 東京出身 同年北大教授會審査 主論文一 内耳蝸牛殼管ノ血管帶ニ關スル胎生解剖學的研究
- 永 田 春生 支那東面沙英祖界四三
- 五九一 台灣總督府廣東博愛會病院
- 佐賀出身 同年九大教授會審査 主論文一「プロテオソーム」ニ就テ
- 高 木 繁 福岡市春吉五番町
- 五九二 九大助教授
- 明治十四年四月三日生
- 福岡出身 同上 主論文一 攝護腺ノ大サト重量外四篇
- 岩井 誠四郎 京城西大門官舎
- 五九三 京城醫專教授
- 明治六年七月七日生
- 東京出身 同上 主論文一 異性溶血素殊ニ卵黃及ビ海溼元ノ凝集ニ由ルモノノ免疫元ニ就テノ研究
- 稻 田 進 京城南大門六號官舎
- 五九四 京城醫專教授
- 明治六年二月二日生
- 愛知出身 同上 主論文一 輸尿管結紮腎臟別出並ニ實驗的腎臟炎ニ因リテ來ル血液ノ變化比較研究附屬器ノ變化ニ就テ
- 石 田 光次 久留米病院
- 五九五 久留米病院
- 明治七年七月廿日生
- 福岡出身 同上 主論文一 橫紋筋纖維内ノ顯微化學的ニ證明セラルマキ鐵並ニ含鐵色素ノ出現ニ就テ
- 有 馬 英二 北大附屬醫院内
- 五九六 北大醫院
- 明治六年五月廿日生
- 東京出身 同年東大教授會審査 主論文一 慢性「アトロピン」中毒ニ於ケル「變常唾液分泌」ニ就テ
- 近 藤 庫 東京市小石川區竹早町一
- 五九七 東京鐵道病院副院長
- 東京出身 同上 主論文一 乾酪成熟ノ際ニ於ケル化學的及ビ細菌學的検査外二篇
- ▲「及ビ核」形態學的研究
- 齋 藤 一 福岡縣若松市古前町卅三
- 六〇四 若松病院
- 德島出身 同上 主論文一 血液ノ生物學的形態學的並ニ化學的變化ニ關スル實驗的研究
- 高 安 慎一 熊本市大江町九品寺官舎
- 六〇五 前熊本醫大教授
- 東京出身 同上 主論文一 筋肉興奮性ニ關スル二價「イオン」ノ作用ニ就テ
- 大 原 八郎 福島市大町七一
- 六〇六 明治十五年七月三日生
- 福島出身 同年北大教授會審査 主論文一 中毒性甲狀腺腫ノ血液及循環器系統ニ關スル研究並ニ此等ニ及ボス手術的影響ニ就テ
- 石 橋 松藏 千葉市寒川九九
- 六〇七 千葉醫大教授
- 明治七年五月三日生
- 千葉出身 同年東大教授會審査 主論文一 間細胞ノ病理
- 大 平 得三 大阪市北區堂島濱通二丁目
- 六〇八 東洋紡績會社顧問
- 山形出身 同年九大教授會審査 主論文一「ストロングロイテス、ステルコロリス」寄生症ノ人體組織學的並ニ動物實驗

的研究特ニ本蟲ノ自家傳染ニ就テ
飯田正千代 熊木出身 同上 主論文一 嗅覺ニ關スル臨床的研究外一篇
市川鴻一 長崎市稻佐町 一
六〇九 長崎醫大教授 乳腺腫瘍新
山形出身 同上 主論文一
坂口康藏 東京市牛込區下宮比町十三
六一一 東大教授 明治六年三月二日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 糖尿研究補遺
平松 濤平 東京市本郷四片町十ノ三
六一二 東大醫學部講師 明治七年四月六日生 神奈川出身 同上 主論文一 運動ノ心臟ニ及ボス影響ニ就テ
渡邊純一郎 同上 主論文一 家兎子宮ニ於ケル胎盤形成ニ關スル毛細血管「アヂチム」ノ發生ニ關スル知見補遺(大正十一年逝去)
石原 亮 東京市牛込區若松町十四
六一四 海軍々醫學校教官 東京出身 同年九大教授會審查 主論文一
一「アブテラミ」ニヨリテ起ル眼珠震盪ニ就テ
疋田直太郎 福岡市西中洲 六一五 自宅開業 明治元年五月六日生 岡山出身 同上 主論文一 視野及ビ視野ノ障礙物
古城 貞 六一六 大分出身 同上 主論文一 脂肪栓塞ノ實驗的研究外三篇
村田宮吉 六一七 山形出身 同年京大教授會審查 主論文一 一 甲状腺試食「コラスチン」型動脈硬化ニ及ボス影響及ビ之ニ依ル「アドレナリン」型動脈硬化ノ發生ニ就テ
加藤 元一 東京市四ツ谷區西信濃町十
六一八 慶大醫科教授 岡山出身 同上 主論文一 筋ノ興奮性ト收縮性トニ就テ外五篇
正路倫之助 京都二條通廣田
六一九 京大教授 大阪出身 同上 主論文一 急性葡萄酒ノ「アチドーラス」及ビ糖尿ニ及ボス影響ニ就テ
宮田 哲雄 東京市日本橋村六二〇 自宅開業 慶應三年八月七日生 茨城出身 同年東大教授會審查 主論文一 實驗的試驗及ビ臨床的經驗ニ由リテ確定セル腹部挫傷ニ於ケル腸管破裂原理ノ知見補遺
北川 文男 神戸市北長狹通 六二二 名古屋好生館 滋賀出身 同上 主論文一 人毛色素ノ化學的研究
栗山 重信 東京市本郷四片町十
六二二 東大教授 明治六年三月七日生 東京出身 同上 主論文一 含水炭素代謝ニ對スル甲状腺及副腎ノ關係ニ於ケル實驗的研究
和邇 秀恒 神戸市平野神田町六十四
六二三 鐵道局技師 滋賀出身 同年九大教授會審查 主論文一 一「クワン」注射ニヨル黃疸出血性「スヒロヘータ」病ノ預防法ニ關スル研究
木村省三 六二四 兵庫出身 同上 主論文一 鷄ノ頭部動脈記載並ニ其ノ發生學外三篇
岡崎桂一郎 東京市神田小川町五三
六二五 自宅開業 文政三年九月廿日生 石川出身 大正十年京大教授會審查 主論文一 日本米食史 附食米ト脚氣病トノ史的關係考
金森 義雄 和歌山市本町三六二六 自宅開業 明治廿七年七月廿日生 和歌山出身 京大大學院卒業 主論文一 火傷死ノ原因及其ノ血清學的研究外一篇
杉田 直樹 東京市本郷四片町十二ノ四 六二七 東大助教授 明治三年九月三日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 大腸皮質發育ノ比較研究外八篇
高橋 信美 千葉市千葉寺通 六二八 千葉醫大教授 明治七年一月五日生 長野出身 同上 主論文一 有脊椎動物ノ生殖腺ニ就テ
山口 幸助 大阪市北區堂島 六二九 自宅開業 明治廿一年一月廿日生 大阪出身 同年京大教授會審查 主論文一 一 絲狀菌ノ化學的組成ニ就テ
草 間 要 東京市本郷坂本町九
六三〇 明治廿五年一月廿日生 長野出身 同年東大教授會審查 主論文一 一 角質再生機能ニ關スル實驗的研究ニ對シテ細胞「ケラトブラステン」ノ發生並ニ細胞ト角質層トノ關係ニ就テ
木村 敬義 東京市本郷龍岡町二十二
六三一 東大醫學部講師 三重出身 同上 主論文一 硝子管内組織培地ノ生活細菌及ビ肉腫細胞ニ對スルX光線放射ノ效果ニ就テ
簡野 松太郎 東京市牛込市谷本村町
六三二 陸軍々醫學校教官

東京出身 同上 主論文一 急性腸骨髄膜炎患者ヨリ得タル所謂肥糖菌ニ類似セル一雙球菌ニ就テ
小 津 孟 滿洲安東縣滿鐵醫院內
六三三 鐵道病院勤務 岡山出身 同上京大教授會審查 主論文一 實驗的「パノロ」氏ニ就テ
近藤 清吾 六三四 石川出身 同上 主論文一「アドレナリン」ノ體溫調節ニ及ボス作用ニ就テ
皆川 弘毅 神奈川高座郡寒川村
六三五 明治六年四月七日生 神奈川出身 同上東大教授會審查 主論文一 十二指腸虫病豫防ニ關スル實驗的研究
松村 茂秀 六三六 靜岡出身 同上 主論文一 同種族性「ヘモグロビン」ノ毒作用ニ就テ
岩野 俊治 六三七 千葉出身 同上京大教授會審查 主論文一 鐵ノ新陳代謝ニ關スル肝臟及脾臟ノ機能ニ就テ
石原 泰一郎 六三八 大阪出身 同上 主論文一 人型結核菌ニ對スル鷄ノ感受性並ニ其ノ原因的研究
原 正平 大連市滿鐵病院內
六三九 大連滿鐵病院勤務 德島出身 同上 主論文一 羣體・梅毒酸及ビ酒石酸鹽ノ働き方ニ關スル實驗的研究
風野 信介 名古屋市舞鶴公園南
六四〇 自宅開業 栃木出身 同上京大大學院卒業 主論文一 一 麻疹菌毒素ノ神經系統ニ及ボス影響ニ就テ
久保 信之 六四一 佐賀出身 同上京大教授會審查 主論文一 一 墨水熱發病論。動物試驗的並ニ病體解剖的研究外一篇
武藤 昌知 六四二 青森出身 同上 主論文一 二口虫類中間宿主ノ研究四篇
菅 忠芳 和歌山市小松原通四丁目
六四三 日和和歌山支部病院 岡山出身 同年京大大學院卒業 主論文一 一 二三ノ蛋白分解物、動物生體ニヨリ排洩ニ就テ第一回報告
松 永 琢磨 東京府下落合四九〇
六四四 宮内省侍醫兼 佐賀出身 同年東大教授會審查 主論文一 一 生體內ニ於ケル金屬ニ銅及ビ銀ノ殺菌作用ニ關スル實驗的研究
池田 泰雄 東京市小石川區林町四
六四五 聖路加國際病院 東京出身 同上 主論文一 藥物ノ炎症ニ及ボス作用ニ就テ
藤本 武平 東京市牛込區神樂町三ノ六
六四六 自宅開業 明治廿年三月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一「ヘマトキミン」ノ肝臟機能ニ及ボス作用並ニ其ノ種及ビ臟器特異性ニ就テ
清水 由隆 長崎市下西山町五三
六四七 長崎醫大教授 佐賀出身 同上 主論文一 安門性銅波ニヨリ乳糖定量法ニ就テ
石川 哲郎 仙台市北三番町一二二
六四八 東北大教授 岩手出身 同上 主論文一 機中毒ノ際ニ起ル食餌性糖尿ニ就テ
鈴木 信義 名古屋市中區廣井町一ノ九五
六四九 自宅開業 明治廿年三月廿日生 愛知出身 同年京大教授會審查 主論文一 一 二三ノ蛋白分解物ノ動物生體ヨリノ排洩ニ就テ第一回報告
高 祖 敏 雅 神戸市中山手通六ノ七ノ一
六五〇 明治廿一年一月廿日生 岡山出身 同上 主論文一 生理的及ビ病理的狀態ニ於ケル輪郭管ノ形態學的研究外一篇
上 村 直 親 朝鮮愛尙北道大邱三登町官舎
六五一 朝鮮總督府大邱兼惠醫院長 高知出身 同年東大大學院卒業 主論文一 一 含水炭素代謝ニ對スル糖質並ニ尿酸ノ關係並ニ尿酸中毒症ニ就テ
樋 渡 一 夫 鹿兒島市西田町
六五二 明治十年一月廿日生 鹿兒島出身 同年京大教授會審查 主論文一「トラホーム」ノ本體ニ就テ附結膜ノ正常組織學補遺
小 泉 親 彦 東京市牛込區新小川町三ノ五
六五三 陸軍々醫學校教官 福井出身 同年東大教授會審查 主論文一 一 腸病ノ本態並ニ原因ニ關スル實驗的研究
神保 孝太郎 東京市本郷區彌生町二
六五四 胃腸病院副院長 山形出身 同上 主論文一「トリコステロンギールス、オリエンタリス」ニ關スル研究
鬼 頭 英 橫濱真砂町二ノ廿二
六五五 橫濱婦人病院

- 新瀨出身 同上 主論文一 正規妊娠ニ際スル肝臓及ビ腎臟機能障礙ノ疑義ニ就テノ實驗的研究
- 久賀六郎 横濱市日出町三ノ八三
- 六五六 自宅開業
- 新瀨出身 同上 主論文一 中毒性腎炎ニ於ケル血糖及ビ糖尿ノ關係並ニ腎性糖尿問題ニ就テ
- 田口勝太 東京芝罘白金三光町八一
- 六五七 慶大教授
- 大分出身 同年京大教授會審査 主論文一 動物體內ニ於ケル右旋乳酸ノ根源ニ就テ
- 藤繩喜代藏 神戸市平野野神田町一二四
- 六五八 神戸縣立病院部長
- 鳥取出身 同上 主論文一 「エメチン」ノ催吐作用ニ就テ
- 久保田晴光 奉天八幡町七
- 六六〇 南滿醫學堂教授
- 岩手出身 同上 主論文一 滿洲産蠟毒ノ實驗的研究外一篇
- 田中康昌 六六一
- 長野出身 同上 主論文一 動脈瘤ニ因ル骨及ビ軟骨組織ノ壓迫萎小ニ就テ
- 猪股義讓 六六二
- 鳥取出身 同年京大教授會審査 主論文一 感作抵抗原ノ研究
- 豊田秀造 六六三
- 長野出身 同上 主論文一 再歸熱「スピロヘータ」ノ血清不感性並ニ本病治療ノ原理
- 工藤得安 新潟市學校町通二丁目
- 六六四 新潟醫大教授
- 東京出身 同年東大教授會審査 主論文一 日本人肝臟ニ就テ
- 澤靜夫 静岡縣沼津市追手町四八八
- 六六五 自宅開業
- 鳥取出身 同上 主論文一 組織内ニ於ケル有機鐵ノ顯微化學的證明法
- 片山久壽頼 茨城縣下妻町
- 六六六 横濱十全病院勤務
- 茨城出身 同上 主論文一 胃潰瘍ノ病理解剖的並ニ實驗的研究
- 中村弘 六六七
- 香川出身 同年京大教授會審査 主論文一 脾臟ノ白血球破壊機能並ニ新生作用特ニパンチー氏病及ビ遊走脾ニ就テ
- 緒方祐將 大阪市東區今橋三ノ一八
- 六六八 自宅開業 明治三年五月廿日生 大阪出身 同年京大大学院卒業 主論文一 毒物門脈内注入後ニ發スル肝臟硬變ニ關スル實驗、外一篇
- 赤松純一 熊本市古新屋敷二七
- 六六九 熊本醫大教授
- 岡山出身 同年東大教授會審査 主論文一 種々ノ動物ノ内耳ニ於ケル「ヘンセン」氏液即チ正圓囊蝸牛殼間液ノ比較解剖學的研究
- 橋田邦彦 東京市本郷追分九二
- 六七〇 東大教授
- 東京出身 同上 主論文一 蛙皮電動性ニ關スル研究
- 保々輝雄 大阪府堺市市ノ町
- 六七一 堺病院
- 熊本出身 同年京大大学院卒業 主論文一 生活染色ニ關シテ急性血清骨髓炎ノ發生ヲ論ズ
- 土井留之助 鹿兒島病院內
- 六七二 鹿兒島縣立病院
- 京都出身 同年京大教授會審査 主論文一 神經ノ筋肉直接移植ニ關スル實驗
- 江藤良三 廣島市小町五六
- 六七三 明治七年十月廿日生 廣島出身 同上 主論文一 特發脫疽ニ對スル動靜接合術ノ價值
- 戸塚隆三郎 東京市込區白鷺町一
- 六七四 開業 明治十年七月廿日生 群馬出身 同上 主論文一 工業上使用ノ蠟油及ビ「テレピン」油ニ因スル皮膚疾患ノ研究
- 三戸時雄 京都市下鴨宮崎町七
- 六七五 宇多野養老所長兼京大教授 明治三年五月廿日生
- 山口出身 同上
- 大野淳五 鳥取縣米子病院內
- 六七六
- 岐阜出身 同上 主論文一「セラチン」ノ止血作用ニ就テ
- 浮田友樹 京都市岡崎入江町卅一
- 六七七 京大講師
- 東京出身 同上 主論文一 甲狀腺全取出ガ妊娠ノ経過及ビ胎兒ノ發育ニ及ボス影響ニ就テ
- 郷原瞭 京都府四條大宮町大宮病院內
- 六七八 大宮病院勤務
- 京都出身 同年京大大学院卒業 主論文一 滑平筋脈器ニ於ケル「アドレナリン」及ビ「アトロピン」ノ抵抗作用ニ就テ
- 矢部專之助 濱松市傳馬町八
- 六七九 自宅開業 明治九年五月廿日生 埼玉出身 同年京大教授會審査 主論文一 發疹「チフス」及ビ「インフルエンザ」ノ血液ノ變化並ニ其ノ原因の關係
- 大和良作

- 六八〇 福岡出身 同上 主論文一 異性抗體ノ試驗ニ及ボス影響ニ就テ並ニ當該異性ノ受體ノ血清化學的集成ニ關スル知見補遺
- 大鹿廣 六八一
- 京都出身 同上 主論文一 尿中ノ「モルフィン」定量法ニ就テ
- 桑原政榮 前橋市江雲町八
- 六八二 桑原病院 明治五年十二月廿日生 高知出身 同年京大大学院卒業 主論文一 無害的組織片ノ移植ニ依ル心臓止血ノ實驗的研究
- 兒玉寛二郎 兵庫縣武庫郡御影町那家
- 六八三 明治九年一月九日生 廣島出身 同上 主論文一 蟻酸ノ藥物學補遺
- 吉富貞 六八四
- 長崎出身 同年京大大学院卒業 主論文一 造鹽素鹽ノ「エーテル」溶解性ニ及ボス類脂質ノ影響ニ就テ
- 末安吉雄 六八五
- 松賀出身 同上 主論文一 日本住血吸蟲ノ宿主體ニ於ケル進行経路、日本住血吸蟲病ト野鼠
- 久永寅太郎 濱松市元城明
- 六八六 明治五年六月廿日生 静岡出身 同年京大大学院卒業 主論文一 流行性腮腺炎病毒毒素ノ神經系ニ及ボス影響ニ就テ
- 穂坂與明 千葉縣北條町六軒町
- 六八七 自宅開業 明治五年五月廿日生 東京出身 同年東大教授會審査 主論文一 醇素ノ外圍、殊ニ溫度、鹽化「ナトリウム」水素「イオン」濃度及ビ藥劑特ニ「キニーネ」ニ對スル適應及ビ習慣作用ニ就テ
- 大石貞夫 札幌市南六條西四ノ五
- 六八八 大石病院長
- 東京出身 同上 主論文一 喇叭管炎症附喇叭管溢腫
- 松山陸郎 東京府布區本村町四四
- 六八九 慈惠醫大教授
- 東京出身 同上 主論文一「ハラビョー」セ「チ」應用セル實驗的研究
- 土肥衛 六九〇
- 長崎出身 同年京大教授會審査 主論文一 乳汁分泌ニ關スル實驗的研究、外二篇
- 奥島貫一郎 六九一
- 愛媛出身 同上 主論文一 骨筋筋ニ關スル「ニコチン」ノ作用ニ就テ
- 土居利三郎 大阪市天王寺區烏ヶ辻町五七一ノ四
- 六九二 大阪公民病院勤務
- 香川出身 同上 主論文一「ヨカイン」ノ散腫作用ニ就テ
- 佐藤剛藏 京城市並木町七
- 六九三 京城醫專教授
- 新潟出身 同上 主論文一 朝鮮人參經幾斯ノ新陳代謝ニ及ボス影響ニ就テ
- 田村憲造 東京府下入新井宿二一三二
- 六九四 東大教授
- 愛知出身 同年東大大学院卒業 主論文一 動物體內ニ於ケル「モルヒネ」ノ運命ニ關スル知見補遺
- 關田尙介 鳥取市栗谷町七
- 六九五 日赤鳥取支部病院長
- 東京出身 同上 主論文一 物質代謝ノ藥理ニ關スル知見補遺
- 板倉武 京都市下京區六角通富小路塚本ツタ
- 六九六 千葉出身 同上 主論文一 人體胃液ニ關スル臨床的考究
- 菰田廣助 神戸市葺合町二〇一五
- 六九七 鐵道病院大阪分院長
- 明治二年八月廿日生
- 愛媛出身 同年京大大学院卒業 主論文一「クロロホルム」吸入乃至注射後ニ於ケル胃腸粘膜ノ變化及ビ「クロロホルム」麻酔後ニ於ケル嘔吐ノ原因ニ就テ
- 檜林篤三 小倉市紺屋町
- 六九八 小倉記念病院
- 京都出身 同上 主論文一 胸腺免疫血清ガ幼犬ノ新陳代謝ニ及ボス影響ニ就テ
- 波多腰正雄 岡山縣倉敷町二
- 六九九 中央病院勤務
- 長野出身 同年京大教授會審査 主論文一 體壁腹膜ノ廣汎ニ切除セラレタル腹腔ノ運命ニ就テ
- 緒方政次郎 大阪市南區竹屋町卅二
- 七〇〇 明治七年九月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 胸腺毒血清ニ關スル知見補遺
- 藤森舜吉 七〇一
- 三重出身 同上 主論文一 關節滑液膜ノ形態學研究
- 眞下俊一 在外研究中
- 七〇二 京大教授
- 兵庫出身 同上 主論文一 水中ニ於ケル電火「スエクトルモ」ノ反轉外三篇
- 馬杉亮 東京芝罘三田功運町一八
- 七〇三 三田病院長

明治廿八年八月廿日生
京都出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 單一刺戟ニ依ル週期的興奮波ノ神經
幹上ニ於ルル傳播ノ模様ニ就テ外二篇
宇佐美 健一
七〇四 愛知出身 同年京大教授會審查 主論文
一 諸種「ロイコ」化合物ノ血色素證明ニ
對スル應用の價値ノ研究並ニ主要ナル現
色反應ノ批判
七〇五 功川 喜四郎 京都出身 同上 主論文一 「ベスト」免
疫動物ノ血液係並ニ造血器(脾、淋巴
腺)ノ組織學的研究外一篇
伊 澤 爲 吉 京都市中野上
町田邊方
七〇六 京大講師 明治廿八年六月二日生
栃木出身 同上 主論文一 糖類ノ蛋白
質腐敗抑制作用ニ關スル知見補遺
林 榮 奉天市松島町八
番地
七〇六 南滿醫學堂教授 明治廿八年六月廿日生
三重出身 同上 主論文一 輸尿管結紮
ニ依リ膿腫セラレタル腎臟ノ血行傳染ニ
關スル知見補遺
前 田 友 助 京都市本郷區本
郷五ノ一三
七〇八 慶大教授 明治廿八年七月廿日生

愛知出身 同年東大教授會審查 主論文
一 關節滑液膜ニ關スル實驗的組織的研
究
三 輪 誠
七〇九 愛知出身 同上 主論文一 酸素消費ヨ
リ立論セル頸下唾液腺ノ生理及ビ藥理ニ
關スル知見補遺
白 木 正 博 京都市本郷區西
片町一三二
七一一 東大助教 明治廿八年七月三日生
長野出身 同上 主論文一 動物實驗ノ
部、家兔卵巣ニ對スル硬「レントゲン」線
ノ作用ニ就テ外一篇
井 上 文 藏 東京牛込津久土
町二十九
七一一 東大講師 明治廿八年三月四日生
東京出身 同上 主論文一 酸素ノ作用
方法ニ就テ
田 中 幸 一 京都市本郷區須賀
町三
七一二 自宅開業 東京出身 同上 主論文一 脾臟機能ニ
關スル實驗的研究
齋 藤 二 郎 島根出身 同年京大教授會審查 主論文
一 乳兒腸炎ニ就テ外二篇
松 岡 武 次 郎 群馬縣前橋市百
軒町
七一四 日赤群馬支部病院勤務 明治廿八年七月廿日生

奈良出身 同上 主論文一 腎臟機能檢
査法ノ實驗的補遺、附腎臟分泌ニ關スル
組織化學的研究
上 方 美 澄
七一五 福岡出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 諸腐敗成産物ノ細胞新陳代謝ニ及ボ
ス影響
吉 馴 信 安 神戸市下山手通
六ノ一四三
七一六 兵庫縣立病院小兒科勤務 明治廿八年一月二日生
香川出身 同年京大教授會審查 主論文
一 家兔腸膜内被細胞ガ其ノ實驗的腸膜
英ニ對スル態度ニ就テ並ニ脊體動物腸脊
體膜内被細胞ノ組織學的研究
長 谷 川 基 京都市田區今川
小路二ノ四
七一七 自宅開業 明治廿八年七月廿日生
三重出身 同上 主論文一 肺臟浸出液
ヲ加ヘタル血液ノ酸素攝取量ニ就テ
田 村 利 雄 神戸市下山手通
六丁目
七一八 自宅開業 明治廿八年七月廿日生
宮崎出身 同年東大教授會審查 主論文
一 腎臟ノ生理及ビ病理的生理ニ就テ
久 慈 直 太 郎 金澤市川岸町一
七一九 金澤醫學大教授 岩手出身 同上 主論文一 妊娠腎及ビ
妊娠腎臟炎患者ノ食鹽排泄狀態ノ豫後ニ
對スル意義ニ就テ
今 井 環 東京府下邊谷
六一四

七二〇 東京出身 同上 主論文一 胎盤毒ノ本
態並ニ子癩發生ニ對スル其ノ意義ニ就テ
中 村 辰 之 助 千葉縣八日市場
町
七二一 自宅開業 千葉出身 同上 主論文一 交感性眼炎
ノ本態
久 野 義 磨 東京本郷東片町
一〇
七二二 自宅開業 愛知出身 同上 主論文一 血液糖含量
ト溫調節トノ關係ニ就テ
松 波 兔 逸 名古屋市中區下
堅杉町
七二二 松波病院 明治廿八年八月廿日生
岐阜出身 同上 主論文一 腸胃體膜炎
菌ニ對スル血液ノ殺菌作用ニ就テ
佐 藤 清 熊本市本庄町
七二四 熊本醫學大教授
七二五 東京出身 同上 主論文一 廣義ニ於テ
ル一般内被ノ形態學的研究、附血液中心
單核細胞ニ就テ
新 宮 涼 國 東京小石川區水
道町八
七二五 東京出身 同年東大大学院卒業 主論文
一 血液凝固ノ本態ニ就テ
綱 崎 千 晴 宮城出身 同年東大教授會審查 主論文

一 牛痘預防接種ニ關スル實驗的研究
竹 中 繁 次 郎 東京神田區小川
町七一
七二七 開業 明治廿九年七月生
富山出身 同上 主論文一 一個ノ肺割
ガ哺乳動物ノ發育新陳代謝及ビ血液ニ及
ボス影響ニ就テ
佐 藤 邦 雄 千葉市千葉寺三
七二八 千葉醫學大教授 明治廿九年六月一日生
廣島出身 同上 主論文一 皮膚科ニ於
ケル「レントゲン」療法
谷 實 抱 名古屋市久屋町
八
七二九 谷内科醫院 明治廿九年三月廿日生
福岡出身 同上 主論文一 火傷死ノ原
因ニ就テ
淺 田 一 長崎市上西山町
一五五
七三〇 長崎醫學大教授 大阪出身 同上 主論文一 過敏性皮膚
壞死及ビ粘膜炎癩ニ就テ
國 光 勉 造 七三一
山口出身 同上 主論文一 過敏性抗體
ト沈降素トノ異同ニ就テ(大正十一年逝
去)
朝 川 順 名古屋市中區東
三ツ木一五
七三二 愛知醫學大教授 三重出身 同上 主論文一 含水炭素代
謝ニ就テ
愛知出身 同年東大教授會審查 主論文
一 關節滑液膜ニ關スル實驗的組織的研
究
三 輪 誠
七〇九 愛知出身 同上 主論文一 酸素消費ヨ
リ立論セル頸下唾液腺ノ生理及ビ藥理ニ
關スル知見補遺
白 木 正 博 京都市本郷區西
片町一三二
七一一 東大助教 明治廿八年七月三日生
長野出身 同上 主論文一 動物實驗ノ
部、家兔卵巣ニ對スル硬「レントゲン」線
ノ作用ニ就テ外一篇
井 上 文 藏 東京牛込津久土
町二十九
七一一 東大講師 明治廿八年三月四日生
東京出身 同上 主論文一 酸素ノ作用
方法ニ就テ
田 中 幸 一 京都市本郷區須賀
町三
七一二 自宅開業 東京出身 同上 主論文一 脾臟機能ニ
關スル實驗的研究
齋 藤 二 郎 島根出身 同年京大教授會審查 主論文
一 乳兒腸炎ニ就テ外二篇
松 岡 武 次 郎 群馬縣前橋市百
軒町
七一四 日赤群馬支部病院勤務 明治廿八年七月廿日生

山 川 一 郎 東京小石川區駕
籠町五一
七三三 明治廿九年九月廿日生
東京出身 同上 主論文一 動物體內ニ
於ケル乳酸ヨリ糖生成ニ就テ
井 野 勇 東京市外野塚町
源兵衛
七三四 明治廿九年三月廿日生
靜岡出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 腦脊髄液中ノ糖分ニ關スル實驗的研
究
富 田 雅 次 長崎市櫻馬場町
一四五
七三五 長崎醫學大教授 兵庫出身 同上 主論文一 動物生體內
ニ於ケル肉乳酸ノ生成ニ就テ
中 院 孝 圓 神戸市湊山町卅
四
七三六 神戸病院勤務 明治廿九年一月七日生
新潟出身 同年京大教授會審查 主論文
一 老性變化ノ形態學的研究
長 澤 四 郎 神戸市平野矢部
町
七三七 明治廿九年五月五日生
兵庫出身 同上 主論文一 「アシド」
シム」知見補遺外四篇
舟 岡 省 五 京都市岡崎入江
町
七三八 京大教授 東京出身 同上 主論文一 動物組織
ヲ通過スル光ノ法則ニ就テ外三篇
關 嘉 一 七三九

兵庫出身 同上 主論文一 腸胃體膜炎
球菌免疫ノ真相
赤 松 信 廣 山口出身 同上 主論文一 鳥類ニ於ル
ル諸種脂肪質試驗成績報告外二報告(大
正十一年逝去)
高 尾 克 己 七四一
佐賀出身 同上 主論文一 小機體內ニ
於ル「グルクアミン」ノ分解ニ就テ
守 中 精 北海道旭川市一
條通九丁目星野
方
七四二 福岡出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 尿中ニ於ケル窒素分配ニ及ボス諸種
餘熱劑ノ影響ニ就テ
神 戶 久 誠 東京小石川區表
町一〇八
七四三 東大講師 山梨出身 同年東大教授會審查 主論文
一 血液放湯後ニ於ケル血清蛋白質並ニ
免疫體ノ再生ニ就テ
中 村 文 平 大阪東區安土町
一ノ一五
七四四 阪大教授 明治廿九年三月七日生
長野出身 同上 主論文一 種々ナル夜
盲症ニ於ケル光神ノ比較研究、附小口氏
病光神ト水尾氏現象
瀨 戶 糾 熊本市外本莊町
五二
七四五 熊本醫學大教授 明治廿九年三月廿日生
宮城出身 同上 主論文一 前房内へノ

吸收量ニ關スル實驗的補遺
原 田 重 雄 廣島市水主町中
島小學校前
七四六 廣島病院院長 明治廿九年一月廿日生
鳥取出身 同上 主論文一 内分泌器
機能ノ實驗的研究
今 村 明 光 東京牛込區矢來
町一一
七四七 東大教授 明治廿九年二月九日生
東京出身 同上 主論文一 種々ナル生
活狀態殊ニ冬眠期ニ於ケル日本産「ヒキ
カヘル」ノ新陳代謝ニ關スル研究
永 井 秀 太 東京町區三番
町四四
七四八 自宅開業 明治廿九年七月八日生
岡山出身 同上 主論文一 「セメント」
粉塵吸入ノ健康肺及ビ肺結核ニ及ボス影
響ニ就テ
福 岡 五 郎 東京牛込區矢來
町一一
七四九 明治廿九年九月九日生
千葉出身 同上 主論文一 免疫原ノ排
泄ニ就テ
藤 原 九 十 郎 七五〇 大阪衛生試驗所
長崎出身 同年京大教授會審查 主論文
一 疊ノ衛生學的研究外一篇
柏 原 長 弘 大阪東區富盛町
一ノ二二
七五一 大阪同生病院勤務 香川出身 同上 主論文一 脊骨髓筋ノ
自發的纖維性變態ニ及ボス濾液内「イ

オンノ作用ニ就テ外一篇
 内藤 鋼一 監糖尿ノ研究
 七五二 兵庫出身 同上 主論文一 監糖尿ノ「メハニスムス」ニ就テ外一篇(逝去)
 浦本政三郎 東京市外上落合四六八
 七五三 慈惠醫大教授
 熊本出身 同上
 齋藤 英雄 西宮市大濱同生病院内
 七五四 明治廿年六月廿日生
 埼玉出身 同上 主論文一 痲疹毒ノ血清學的研究外一篇
 德田 英 神戸市坂口通五ノ四
 七五五 明治廿年十月廿日生
 京都出身 同年京大大学院卒業 主論文一 一月經期ニ於ケル植物性神經系ノ緊張ニ就テ
 下田 先造 東京赤坂區青山南町五ノ三十三
 七五六 慶大教授 明治廿年三月廿日生
 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 痲疹毒ノ研究特ニ痲疹性精神變質狀態ノ解剖學的基礎ニ就テ
 中島 秀一 同上
 七五七 佐賀出身 同上 主論文一 下水ノ研究
 早野 龍三 京橋旭町一ノ一
 七五八 京大醫學教授 明治廿年五月十日生

岐阜出身 同上 主論文一 房水中ノ酵素ニ就テ
 増田 隆 京都市寺町通今出川下ル東入大宮町
 七五九 京府大教授
 東京出身 同上 主論文一 網膜腫症ニ關スル實驗組織學的研究
 高森 時雄 堺市戎ノ町三十
 七六〇 明治廿年五月二日生
 京都出身 同年京大教授會審查 主論文一「ネーグリー」氏「ミエログリアスチン」ノ形態學的研究並ニ諸種化學的液毒注射ニ因ル骨髓外造血組織ノ發生ニ就テ
 高杉新一郎 東京牛込區余丁町三十八
 七六一 岡山出身 同年東大大学院卒業 主論文一 南洋諸島熱帶皮膚病ノ研究報告
 中泉行徳 東京京橋區元祿寄屋町二ノ四
 七六二 東大講師 明治四年一月五日生
 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 先天梅毒性角膜炎質炎ニ就テ
 林 亥之助 名古屋中區御器所町天神東九六
 七六三 愛知醫大教授
 東京出身 同上 主論文一 血清蛋白質ノ分別沈降ニ就テ
 瀨戸 國治 小樽市入舟町四
 七六四 小樽病院長
 靜岡出身 同上 主論文一 絨膜産生地ニ關スル實驗的研究

矢尼板誠策 東京府下々木臺町四七六
 七六五 北村病院長
 山形出身 同上 主論文一 鹽酸過刺症ノ成因ニ就テ
 新井隼人 札幌市南七條西一ノ一〇
 七六六 札幌病院婦人科部長
 長野出身 同上 主論文一 大黒野卵巣生後ノ發育殊ニ其ノ卵子數ノ關係ニ就テ
 佐々木四方志 朝鮮京城漢江通一六
 七六七 龍山鐵道病院長
 長野出身 同年京大大学院卒業 主論文一「サキシヒドロ」芳香體ノ動物生體ニ對スル關係ノ比較的研究
 長田勝芳 同上
 七六八 長野出身 同上 主論文一 X放射線ガ假骨形成ニ及ボス影響
 眞島卯吉 小倉市古船場町三本松九
 七六九 小倉記念病院
 大阪出身 同上 主論文一 肺炎ノ病理組織學的研究
 和合平之助 同上
 七七〇 東京出身 同十一年東大教授會審查 主論文一 藤菌性醱酵素ノ機能ニ關スル實驗的研究

堀内彌二郎 東京芝區琴平町三
 七七一 堀内醫院 明治廿一年一月廿日生
 東京出身 同上 主論文一 血液體質ニ關スル研究
 高津寄章 京都市岡崎真如堂前
 七七二 岡山出身 同年京大教授會審查 主論文一 自然換氣研究法論外一篇
 前田 實 東京牛込區通寺町三十二
 七七三 自宅開業 明治廿一年一月五日生
 一東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 葡萄酒「マンナン」ノ生理化學的研究
 神中正一 桶町一ノ三十四
 七七四 明治廿一年一月廿日生
 兵庫出身 同上 主論文一 痲疹毒ノ人工的神經生成「ノイロチザチオン」ニ關スル知見
 服部貞吉 名古屋市八事塚養所内
 七七五 八事塚養所長
 愛知出身 同上 主論文一 間質性脂肪變性
 竹内慶治郎 盛岡市新庄田中
 七七六 盛岡病院長
 岩手出身 同上 主論文一 尿「インザカン」ノ新定量法ニ就テ

會岡彦助 臺北市千歲二ノ卅八
 七七七 總督府醫官兼臺北醫院長
 福岡出身 同上 主論文一 臺灣ニ於ケル「メスト」ノ流行學的研究
 佐谷有吉 東京本郷町一三八ノ十七
 七七八 東大教授
 京都出身 同上 主論文一 輸尿管ノ實驗的研究
 松崎春一郎
 七七九 東京出身 同年京大教授會審查 主論文一 一家風野鼠ニ見ラル「ワイル」氏病原「スピロヘータ」ト人系「ワイル」氏病原「スピロヘータ」トノ免疫學上ノ異同附屬系「スピロヘータ」ヲクシシ及ビ治療血清ニ就テ

京都出身 同上 主論文一 適用面ノ差異ガ藥物ノ藥物作用ニ及ボス影響ニ就テ
 佐多芳久 東京赤坂區池町三
 七八三 自宅開業
 鹿兒島出身 同上 主論文一 絕對的絶食セシメタル鶏ノ尿尿中ニ於ケル礦物質ノ排泄ニ就テ
 阿部勝馬 東京市外杉並町高祖寺下屋敷五五
 七八四 慶大教授
 大分出身 同上 主論文一 肺動脈括攣ノ血壓及ビ末梢諸臟器容積ニ及ボス影響並ニ奇怪性血管擴張物質ニ因ル血壓下降作用ノ本態ニ就テ
 林 眞爾 新潟市上大川前通十一
 七八五 自宅開業 明治廿年三月廿日生
 新潟出身 同上 主論文一 血液循環ノ腸管液ニ及ボス影響動物試驗外一篇
 山田詩郎 金澤市下本多町三番丁五ノ一
 七八六 金澤醫大教授
 長野出身 同年東大教授會審查 主論文一 心臟痲痺ノ實驗的研究
 名古屋長藏 東京牛込區方町五
 七八七 開業 明治廿年十月三日生
 埼玉出身 同上 主論文一 溶血性補體ニ關スル研究殊ニ補體各成分ノ代價能力ニ就テ
 吉田久造 東京牛込區谷田町二
 七八八 開業 明治廿年十月廿日生

東京出身 同上 主論文一 徑口の過敏症
 大森憲太 東京市外東中野一〇一二
 七八九 慶大教授 明治廿年四月廿日生
 熊本出身 同上 主論文一 靜脈實驗運動ト迷走神經トノ關係及ビ心運動抑制作用ニ就テ
 小宮悅造 熊本醫大内
 七九〇 熊本醫大教授
 明治廿年三月一日生
 東京出身 同上 主論文一「ヒェルクロム」性貧血ノ知見補遺
 小田俊三 大阪市南區西清水町廿六
 七九一 明治廿年八月廿日生
 三重出身 同年京大大学院卒業 主論文一 普通大腸桿菌ノチフス桿菌樣性狀獲得ニ就テ
 細谷雄太 東京小石川金富町五五
 七九二 千葉醫大教授
 明治廿年四月廿日生
 山形出身 同年東大教授會審查 主論文一 毒物ノ第八對神經領域ニ及ボス影響ニ就テ實驗的研究
 本間英史 東京麻布區町廿七
 七九三 滿洲長春病院院長
 山形出身 同上 主論文一 エオゲン嗜好細胞及ビ該細胞浸染症ノ病理的並ニ生物學研究
 田口碩臣

東京出身 同上 主論文一 鰯魚ノ内臟微細構造ニ就テ
 佐藤恒祐 東京神田錦町一ノ十
 七九五 自宅開業 明治廿一年一月廿日生
 福島出身 同上 主論文一 男子尿道ニ於ケル尿道糞ノ組織學的及ビ形態學的知見
 井上重喜 東京府下中野町上野原九三四
 七九六 東大法醫學教室
 高知出身 同上 主論文一 感作セル脾臟ノ移植
 渡邊隣二 東京府荏原郡入新井町新井宿
 七九七 自宅開業 明治廿年二月廿日生
 茨城出身 同上 主論文一 溶血素元ノ分離法並ニ其ノ化學的性質ニ就テ
 高崎康忠
 七九八 島根出身 同上 主論文一 血液凝固力ニ就テ並ニ其ノ新測定法ノ報告(大年十二年逝去)
 藤井靜英 名古屋東區横代官町一〇
 七九九 愛知醫大教授
 山口出身 同上 主論文一 小兒ニ於ケル「マラリヤ」病ニ就テ
 八木澤文吾 名古屋市西區本八〇〇 愛知醫大教授
 福島出身 同上 主論文一 聽器ニ於ケル日本黃疸出血性「スピロヘータ」病

◆新學位令ニヨル醫學博士

- 藤村元張 大阪市東區唐物町一ノ三 明治五年十月廿日生 一ノ三 愛媛出身 同上 主論文一 腸管蠕動症ノ病因ニ關スル實驗的研究補遺
- 東京出身 大正十年大阪大審査 主論文一 子宮粘膜炎ノ性傾向及其前後ニ於ケル組織學的及細胞學的研究
- 小酒井光次 名古屋市中區御器所北丸屋八二ノ四 明治五年十月八日生 二 熊本出身 同上 阪大審査 主論文一 カルチウム鹽ノ生活體ニ及ボス作用ニ
- 愛知出身 同上 慶大審査 主論文一 滲透壓ニ就テノ研究二篇
- 宗玄順吉 盛岡市加賀野天 神田 明治五年十月廿日生 三 日赤巖手支部病院 二就テ
- 石川出身 大正十年東大審査 主論文一 聖扶新菌毒素ノ生理學的研究
- 德光美福 朝鮮京城セアラ ンス聯合醫專 同校講師 明治五年二月六日生 四 六分出身 同上 北大審査 主論文一 副腎皮質ノ一新機能ニ就テ
- 中川小四郎 岡山醫大内 明治五年五月廿日生 五 岡山醫大助教授 二就テ
- 奈良出身 同上 主論文一「アルコホル」
- ナリタル女工ノ現況
- 奥島愛治郎 松山市一番町 明治五年五月廿日生
- 野村正一 明治七年五月廿日生 七 山口出身 同上 主論文一 尿ヘプシンニ就テ
- 藤原教悅郎 新潟市學校町通 二番町 明治六年七月廿日生 八 新潟醫大教授 島根出身 同上 主論文一 血球凝集素ト血球沈降素特ニ兩者ノ異同問題ニ就テ 附沈降反應ニ於ケル沈澱ノ由來ニ就テ
- 石原修 東京本郷彌生町 三ノ二 明治六年十月六日生 九 東京出身 同上 主論文一 衛生學上ヨリ見タル女工ノ現況
- 久保木保壽 青森縣立病院 二七 同病院副院長 明治六年三月廿日生 二七 千葉出身 同上 主論文一「フリンクテ」ノ原因ニ關スル實驗的研究補遺
- 大槻滿次郎 明治八年七月廿日生 二八 京都出身 同上 東大審査 主論文一 子宮筋腫ノ組織發生ニ就テ
- 中川清 京都市竹屋町東 洞院西入 明治五年一月廿日生 二九 京都府大教授 東京出身 同上 主論文一 ラジウム放射線ノ腫瘍組織ニ及ボス影響ニ就テ
- 山根政治 撫順數島町二ノ 三〇 撫順滿鐵醫院長 東京出身 同上 九大審査 主論文一 足立清久 福岡市外箱崎町 八幡社側 明治五年五月八日生 三一 九州傳染病研究所長 福岡出身 同上 主論文一 大腸菌屬ニ就テ
- 高木憲次 東京市外瀧野川 町田端四四五 明治五年二月九日生 三二 東大助教授 明治五年二月九日生 東京出身 同上 東大審査 主論文一 骨盤X線影像ノ研究
- 岡本京太郎 明治五年五月廿日生 三三
- 一〇 自宅開業 明治五年三月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 腸管蠕動症ノ病因ニ關スル實驗的研究補遺
- 片瀬淡 大阪市西區築港 四條通三 明治七年七月七日生 一一 阪大教授 熊本出身 同上 阪大審査 主論文一 カルチウム鹽ノ生活體ニ及ボス作用ニ
- 池口武夫 尼ヶ崎市舊城内 三ノ九三一 明治七年十月四日生 一二 阪大講師 兵庫出身 同上 主論文一「インヘルタ」セリノ研究
- 下平軍平 東京京橋丸屋町 九 明治六年四月五日生 一三 自宅開業 群馬出身 同上 北大審査 主論文一 細菌毒素ニ因スル聽器變化ノ實驗的研究補遺
- 箕田貢 福岡市天神町四 〇 明治五年九月廿日生 一四 九大助教授 靜岡出身 同上 九大審査 主論文一 小兒赤痢及赤痢樣疾患ノ原因及病理ニ就テ
- 半田久雄 文久三年三月六日生 一五 靜岡出身 同上 主論文一 結核菌純培養ニ一種ノ理化學的處理ヲ施シ其防護外被ヲ破壞セシメ製劑ノ「アンチゲン」作用及其實地應用ニ就テ
- 山上熊郎 札幌市北十六條 四三〇日 明治五年一月廿日生 一六 北大教授 三重出身 同上 北大審査 主論文一 生前並ニ死後ニ於ケル血液ノ滲透濃度ニ就テ
- 安藤二平 大阪府池田町室 町八番丁 明治廿年四月廿日生 一七 大阪同生病院勤務 大正十年九大審査 主論文一 腸ノ臨床的細菌學的並ニ血清學的研究外一篇
- 森元良雄 東北大學化學教 室 明治廿年一月一日生 一八 廣島出身 同上 北大審査 主論文一 酵素ノ本質及ビ生因ニ就テ
- 野田泰男 明治廿年九月廿日生 一九 東京出身 同上 一年東大審査 主論文一 大阪市下河川及港灣水質ノ衛生學的並ニ之等水質ト急性消化器系傳染疾患トノ交渉ニ關スル知見補遺(大正十一年逝去)
- 中山安 東京市麻布廣尾 町二 慶大講師 明治廿年八月五日生 二〇 長崎出身 同上 慶大審査

平野憲正

- 千葉出身 同上 主論文一 有性體内ニ於ケル「チロシン」ノ「アリン」誘導體ノ關係ニ就テノ實驗的研究
- 池上五郎 熊本市子飼町八 四 熊本醫大教授 明治六年十月廿日生 三二 三重出身 同上 九大審査 主論文一 乳汁分泌ニ關スル實驗的研究乳腺ト内生腺器トノ關係外一篇
- 安達憲二 新潟縣南蒲原郡 帶織村岩崎方 九大産婦人科 明治六年七月廿日生 二三 新潟出身 同上 大阪西區土佐堀 裏町 明治六年十月廿日生 二四 自宅開業 東京出身 同上 主論文一 狂犬病小體ノ研究
- 小此木修三 東京本郷區元町 一ノ二 慶大教授 明治廿年八月五日生 二五 東京出身 同上 慶大審査 主論文一 鼠癩ノ轉移ニ關スル實驗的研究
- 新保十寸穂 明治廿年七月一日生 二六 新潟出身 同上 九大審査 主論文一 橫膈筋營養ト神經支配ニ就テ
- 久保木保壽 青森縣立病院 二七 同病院副院長 明治六年三月廿日生 二七 千葉出身 同上 主論文一「フリンクテ」ノ原因ニ關スル實驗的研究補遺
- 大槻滿次郎 明治八年七月廿日生 二八 京都出身 同上 東大審査 主論文一 子宮筋腫ノ組織發生ニ就テ
- 中川清 京都市竹屋町東 洞院西入 明治五年一月廿日生 二九 京都府大教授 東京出身 同上 主論文一 ラジウム放射線ノ腫瘍組織ニ及ボス影響ニ就テ
- 山根政治 撫順數島町二ノ 三〇 撫順滿鐵醫院長 東京出身 同上 九大審査 主論文一 足立清久 福岡市外箱崎町 八幡社側 明治五年五月八日生 三一 九州傳染病研究所長 福岡出身 同上 主論文一 大腸菌屬ニ就テ
- 高木憲次 東京市外瀧野川 町田端四四五 明治五年二月九日生 三二 東大助教授 明治五年二月九日生 東京出身 同上 東大審査 主論文一 骨盤X線影像ノ研究
- 岡本京太郎 明治五年五月廿日生 三三
- 石川出身 同上 慶大審査 主論文一 血中「アドレナリン」ノ化學的定量ニ就テ
- 角田俊吉 宮崎市縣立病院 内 明治五年七月七日生 三四 宮崎縣立病院院長 京都出身 同上 九大審査 主論文一 生理的及病理的體液及尿ノ糖化酵素ノ研究
- 内田孝藏 東京市丸ビル四 階 明治廿年九月廿日生 三五 長野出身 同上 主論文一 眼動脈注入ニヨル網膜中心血管及ビ毛様血管ノ檢索
- 宮崎彪之助 札幌市北十條西 三ノ一 北大教授 明治廿年八月廿日生 三六 北大教授 三重出身 同上 北大審査 主論文一 生物ノ新ラシキ見方
- 佐々木喬 大阪市南區久左 衛門町廿九 明治廿年七月廿日生 三七 佐々木病院 廣島出身 同上 九大審査 主論文一 心筋ノ基本性質ニ關スル分析的研究特ニ心強直ヲ考慮シテ(心臟ノ生理學並藥物學ニ對スル補遺)
- 飯島博 豐橋市大字東八 一〇 明治廿年三月十日生 三八 東京出身 同上 主論文一 胸腔手術ニ關スル研究外一篇
- 平田平次郎 明治廿年八月廿日生 三九
- 神奈川出身 同上 東大審査 主論文一 白血球ノ赤血球貪喰現象ニ發作性血色素尿症ニ於ケル夫ニ就テ並ニ發作性血色素尿症人工發作時ニ於ケル血中白血球ノ數量的關係ニ就テ
- 山村正雄 東京赤坂區新坂 町三三 明治十年五月生 四〇 開業 福井出身 同上 主論文一 健忘乳腺腫ニ其體狀細胞固有膜及彈力纖維ニ就テ組織學的増補
- 戸川篤次 東京府下根鴨上 駒込四一〇 明治六年四月九日生 四一 東京慈惠醫大教授 東京出身 同上 主論文一 脾臟ト含水炭素代謝
- 渡邊晋 京府黃金四ノ 九八 自宅開業 明治五年十月一日生 四二 熊本出身 同上 主論文一 酸加血漿ト血清トニ於ケル溶血性補體及諸抗體含量ノ比較研究
- 石川武雄 東京市赤坂區青 山南町一ノ五一 支那漢口日本租界同仁ノ醫院長 東京出身 同上 主論文一 急性白血病並ニ假性白血病ニ關スル知見補遺
- 藤波正 東京市牛込區矢 來町一ノ一號 陸軍醫學學校部員 明治廿年八月廿日生 四四

大分出身 同上 主論文「アミノノ酸
及「ポリヘプテド」「チアナムアミド」
ノ結合並ニ動物體內ニ於ケル「クレアチ
ン」生成ニ關スル知見補遺

坂本恒雄 東京市本郷區弓
町二ノ八

四五 入澤内科醫局
明治廿年六月廿日生
廣島出身 同上 主論文一 臟器越幾斯
毒知見補遺並ニ血清ニ對スル解毒作用ニ
就テ

梅本英太郎 台北市南門町官
會

四六 台灣醫專講師
明治廿年一月八日生
山口出身 同上 主論文一 結核性滲出
性肋膜炎ノ成因ニ關スル實驗的研究

川村驥徳 兵庫縣武庫郡住
吉村

四七 明治廿年七月四日生
山梨出身 同上 慶大審査 主論文一 假
稱所謂腸膜炎ニ就テ

橋爪賢次郎 東京市麻布區弁
町一八一

四八 日赤本社 明治廿年三月廿日生
大隈出身 同上 東大審査 主論文一
子宮腔部痛發生ニ關スル組織的研究

太田原豊一 熊本醫大内

四九 熊大教授 明治廿年四月二日生
岡山出身 同上 主論文一 種痘免疫成
立機轉ニ關スル實驗的研究主トシテ牛痘
毒ノ血行内移行ニ就テ

後藤基幸 仙台市北五番町
三六ノ四

五〇 明治廿年六月廿日生
北海道出身 同上 北大審査 主論文一
機械動物ノ血液並ニ組織中ニ存スル糖素
硫黄及ビ燐ノ量

高田 蒔 東京市本郷區
五ノ一

五二 明治廿年五月廿日生
東京出身 同上 主論文一 胃液ノ研究
福岡市春吉花園

楠田彰司 福岡市春吉花園
五二 九大助教授 明治廿年三月廿日生
東京出身 同上 九大審査 主論文一

小野貞衛 福岡市善巴町廿
五三

五三 明治廿年五月二日生
福岡出身 同上 主論文一 心臟疾患ニ
於ケル「エレクトロカールヂオグラム」及
靜脈曲線ノ知見補遺

竹内松次郎 東京市外野方町
下沼袋一六二〇

五四 東大教授 明治廿年七月二日生
福井出身 同上 東大審査 主論文一
腸腺ノ内分泌機能ニ關スル實驗

藤森雄平 山形市立濟生館
病院

五五 院長 明治廿年十月廿日生
東大大学院卒 主論文一 動物血清中ニ
存スル非蛋白性含窒物質ノ毒性ニ就テ

橋本寛敏 東京市込區仲町
五六

北米ロツクフェロー財團醫學研究員
明治廿年八月九日生
宮城出身 同上 東大審査 主論文一

五〇 明治廿年六月廿日生
甲狀腺ニ關スル實驗的研究

土井保一 名古屋市赤塚町
七七 日赤北海道支部病院長
明治廿年七月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 筋肉收縮ノ
研究

藤井猪十郎 東京市本郷區
五八

五八 明治廿年四月廿日生
福井出身 同上 北大審査 主論文一
家兔ニ於ケル繩縛性過血糖、糖尿ニ就テ

熊谷謙三郎 大阪市立桃山病
院

五九 明治廿年三月廿日生
山形出身 同上 阪大審査 主論文一
實驗的「メルレル、パロー」氏病及脚氣
様疾患ニ就テ

坂本助之進 和歌山縣新宮町

六〇 新宮病院長 明治廿年六月廿日生
和歌山出身 同上 主論文一 労働ト榮
養第二編(職工ノ新陳代謝試驗)

木下益雄 東京市本郷區森川
町一

六一 東大助教授 明治廿年七月廿日生
東京出身 同上 東大審査 主論文一
攝護腺病理ノ知見補遺

庄司義治 岡山醫大内

六二 岡山醫大教授
明治廿年六月廿日生
神奈川出身 同上 主論文一 眼屈折體
ノ紫外線吸收ニ關スル研究

中川 諭 札幌市北三條十
四ノ二

六三 北大教授 明治廿年七月廿日生
福井出身 同上 主論文一 糖素ニ關ス
ル研究

兒玉琢四郎 水戸市細谷川岸
通

六四 日赤茨城支部病院長
明治廿年五月一日生
廣島出身 同上 主論文一 淋巴組織ノ
原因發性疾患ニ就テ

廣瀬豊一 兵庫縣川邊郡川
西村加茂溝五

六五 阪大講師 明治廿年二月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 家兔卵巢黃
體ノ人工的發生ニ就テ

今村荒男 東京市下北品川
町一本木四〇四

六六 傳染病研究所技師
明治廿年十月廿日生
奈良出身 同上 主論文一 狂犬病毒ノ
試験管内培養ニ就テ

高木逸雄 東京市赤坂區青
山南町五ノ四五

六七 宮内省侍醫寮
明治廿年十月廿日生
東京出身 同上 主論文一 血液及脾臟
ニ就テノ形態學的並ニ生理學的研究二編

村山達三 東京市本郷區四片
町七

六八 東大講師 明治廿年十月一日生
東京出身 同上 主論文一 腸管埃斯德
者ノ有熱時及恢復期ニ於ケル埃斯德菌排
泄並ニ永續的排泄者ニ就テ

向井元亨 福岡市社家町

六九 九大助教授
明治廿年八月廿日生
香川出身 同上 九大審査 主論文一
血液内鹽類及水分分布ニ及ボス炭酸瓦斯
ノ影響ニ就テ

篠崎哲四郎 福岡市地行西町
八〇ノ二

七〇 九大助教授
明治廿年六月廿日生
千葉出身 同上 主論文一 定期性四肢
麻痺ニ關スル研究

長雄勝馬 大阪市南區周防
町二十二

七一 阪大講師 明治廿年六月廿日生
和歌山出身 同上 阪大審査 主論文一
流血中ニ輸入セル墨汁顆粒ノ運命並ニ之
ニ因ル細胞的變化

太田正雄 名古屋市中區武
平町二丁目

七二 愛知醫大教授
明治廿年八月一日生
靜岡縣出身 同上 東大審査 主論文一
癩菌ノ研究

山田恒富 名古屋市中區矢
場町五元切

七三 自宅開業 明治廿年八月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 免疫血清ノ
毒性ニ關スル研究

岸 勇 大阪市東區南久
太郎町二ノ廿八

七四 自宅開業 明治廿年十月三日生
徳島出身 同上 主論文一 血液内含量
「風濕セル」「カルシウム」及「マグネシ
ウム」代謝ニ關スル實驗的知見補遺

保利定直 東京市七區五日生

七 東京出身 同上 主論文一 前房水ノ化
學的並ニ物理的性狀ノ研究(大正十一年逝
去)

谷口腆二 東京府下高田町
旭出四三

七六 傳研技師 明治廿年二月廿日生
東京出身 同上 主論文一 異元性「オオ
ルスマン」抗原及抗本ニ關スル研究

篠原昌治 東京府下西大久
保四四七

七七 簡易保險局技師
明治十年七月廿日生
山口出身 同上 主論文一「トルイレン
テアミン」黄疽ノ研究

井手敏男 東京市八ノ一
九細川邸内

七八 明治廿年六月廿日生
熊本出身 同上 慶大審査 主論文一
必要ナル糧食中ノ「トリプトファン」含
有ニ就テ外一篇

矢吹清 明治廿年三月一日生

七九 福島出身 同上 京大審査 主論文一
エナク氏濾孔造設術式ノ比較研究及之ニ
關スル一二事項外一篇

内村安太郎 平壤慈惠病院内
八〇

八〇 明治廿年五月廿日生
岩手出身 同上 九大審査 主論文一
鳴草菌ノ生理學ニ關スル實驗的研究

諸岡存 福岡市春吉新
屋二四七

八一 九大助教授 明治廿年五月廿日生
佐賀出身 同上 主論文一 痲瘋癩癩及
其他ノ精神病者ノ腦脈路ノ顯微鏡的研究

岸本裕 京都市御池間ノ
町四八

八二 淺田病院勤務
明治廿年十月廿日生
京都出身 同上 京大審査 主論文一「
リコヒオール酸ナトリウム及タウロヒロ
ール酸」(ナトリウム)ノ靜脈内注入ニ因
テ生ズル脊髄末梢神經ノ變化ニ就テ

小山源吉 明治廿年七月八日生

八三 京都出身 同上 主論文一 氣管枝及氣
管枝ノ形態學的並ニ局所解剖學的研究

菅純次 明治廿年四月廿日生

八四 山形出身 同上 主論文一 阿片「アル
カロイド」ノ平滑筋臟器ニ對スル作用ニ
就テ

草野宏次郎 東京市込區南町
八五

八五 明治廿年六月廿日生
東京出身 同上 慶大審査 主論文一
種々ノ榮養素ノ超生理的力肝臟ノ組織
ニ及ボス影響

加藤耕藏 横濱市青木町幸
谷三六四

八六 東大法醫學教室
明治廿年六月廿日生
神奈川出身 同上 東大審査 主論文一

「フエブリゲン」ノ血清學的研究

東繁造 札幌市北一條四
二ノ五

八七 自宅開業 明治廿年七月七日生
北海道出身 同上 主論文一 血色素ノ
血清學的研究特ニ血素沈降素ノ實際的應
用ニ就テ

原素行 秋田市土手長田
末町一四

八八 自宅開業 明治廿年三月八日生
秋田出身 同上 主論文一 中毒性腎炎
ニ於ケル腎臟及肝臟ノ機能障礙ニ關スル
實驗的研究

小室要 長崎市本興善町
三二

八九 長大教授 明治廿年三月十日生
徳島出身 同上 京大審査 主論文一
聽器結核ニ就テ及實驗的研究

渡邊松太郎 北海道札幌市立
病院内

九〇 明治廿年九月五日生
千葉出身 同上 阪大審査 主論文一
結膜及角膜上皮ノ化生ニ關スル臨床的觀
察及實驗的研究

相原千里 長野市石堂町一
一七二

九一 日赤長野支部病院長
明治廿年五月廿日生
東京出身 同上 東大審査 主論文一
血液解糖作用ニ關スル知見補遺

永山武美 神戸市中山手町
二丁目

九二 明治廿年十月二日生
北海道出身 同上 主論文一 腎臟機能
ニ關スル研究

柿沼 昊 作 岡山市大供一〇
九三 岡山醫大教授 明治廿五年六月一日生
東京出身 同上
早尾 虎 雄 東京府下中野町
九四 明治廿五年九月廿日生
千葉出身 同上 主論文一 小腸性失調
ナ有セル一患者ノ中樞神經系統ニ於ケル
興味アル變化
桂 秀 三 東京市小石川區
九五 慶大助教授 明治廿五年九月二日生
東京出身 同上 主論文一 組織培養及
抽出試驗ニヨル胸腺並ニ其「エキス」ノ
骨成長ニ及ボス影響
大野 精 七 札幌市北十六條
九六 北大教授 明治廿八年八月廿日生
東京出身 同上 主論文一 妊娠中毒症
ニ於ケル胎兒及初生兒屍ノ研究
宮原 立太郎 東京芝區愛宕町
九七 明治廿七年三月一日生
千葉出身 同上 主論文一 肺結核ニ
其早期診斷「レントゲン」線研究外一篇
菱川 恒 生 和歌山市小松原
九八 日赤和歌山支部病院 明治廿七年一月五日生
福井出身 同年九大審査 主論文一 ヲ
イル、フエリツクス反應ノ本態ニ關スル
實驗的研究
森田 松兵衛 明治廿二年九月廿日生
九九 土岐津病院長
愛知出身 同上 主論文一 「アドレナリ
ン」抽出ニ關スル實驗的研究外一篇
宇野 規 矩 治 鹿兒島市春日町
一〇〇 鹿兒島縣立病院 明治廿五年七月廿日生
山口出身 同年京大審査 主論文一 流
行性感冒ニ於ケル血液ノ變化ニ就テ
爲 森 彌 三 郎 和歌山市久保町
一〇一 開業 明治廿七年八月廿日生
和歌山出身 同上 主論文一 膈下垂體
ノ病理解剖的組織學的變化ニ就テ
西村 美 龜 次 郎 神戸市平野神田
一〇二 自宅開業 明治廿八年六月廿日生
福岡出身 同上 主論文一 同種及異種
族死滅組織並ニ海綿應用ニヨル義眼基底作
成ノ實驗的研究
入 江 英 哉 横濱市野毛町三
一〇三 自宅開業 明治廿八年八月八日生
鳥取出身 同上 主論文一 「エメチン」
ノ原蟲ニ及ボス作用ニ關スル實驗的研究
特ニ溶解ノ反應ガ其ノ作用ニ及ボス影響
並ニ「エメチン」及其他ニ就テ
尾 關 榮 大阪市西區江戶
一〇四 阪大講師 明治廿八年二月十日生
福岡出身 同年阪大審査 主論文一 副
葉素ノ研究外二篇
目 黒 庸 三 郎 大阪市北區上福
一〇五 大阪血清製院 島中二
宮城出身 同上 主論文一 細菌體ノ成
分及其ノ分解産物ノ免疫學的研究
荒 井 實 兵庫縣武庫郡今
一〇六 明治廿八年八月廿日生
千葉出身 同年京大審査 主論文一 左
旋性「ロイチン」ノ細菌ニヨル分解ニ就
テ
中 村 豊 札幌市北三條西
一〇七 北大教授 明治廿八年七月廿日生
東京出身 同年京大審査 主論文一 湯
血ト破傷風抗毒素發生トノ關係ニ就テ
柳 原 英 大連市山城町八
一〇八 大連滿鐵病院 明治廿九年一月九日生
廣島出身 同上 主論文一 陰莖結核ニ
就テ外一篇
森 義 胤 大阪市北區曾根
一〇九 阪大講師 明治廿九年四月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 動物體內ニ
於ケル「アミノ」酸ノ分解ニ關スル知見
補遺其ノ他二件ニ就テ
杜 聰 明 台北市大正町二
一一〇 台灣醫學教授 明治廿九年七月廿日生

明治廿九年三月十日生
京都出身 同上 主論文一 抽出器ニ
對スル「アルカロイド」鹽ノ作用ニ及ボ
ス「アルカリ」ノ影響ニ就テ
小坂 慶 二 岐阜縣津市町
一一七 小坂病院 慶應二年五月廿日生
岐阜出身 同上 主論文一 化膿性筋炎
ニ就テ外一篇
黒 川 巖 廣島縣安佐郡野
一一八 小川村 明治廿六年七月廿日生
廣島出身 同年大學院卒 主論文一 實
驗的腎臟炎ノ際ニ於ケル腎臟ノ機能の檢
査、附體蛋白ノ崩壞ト血中殘餘窒素トノ
關係並ニ飢餓時ニ於ケル血液成分ノ變化
ニ就テ
戸田 忠 四 郎 東京市外中區谷
一一九 佐世保海軍共濟組合佐世保病院 十五區麻呂方
東京出身 同年九大審査 主論文一 胃
腸内細菌ニ關スル研究
眞 島 典 二 宇都宮市西大寬
一二〇 宇都宮病院勤務 町二十五
明治廿五年一月廿日生
新潟出身 同年京大審査 主論文一 「カ
リウム」ノ心臟興奮作用並ニ「Ringer
液成分」ノ意義ニ關スル知見補遺
多田 羅 正 俊 高松市磨屋町三
一二一 自宅開業 明治廿五年七月廿日生
香川出身 同上 主論文一 「パンツォー
ル」ニ關スル實驗的研究
高木 逸 磨 東京芝區研官會
一二二 傳研技師 明治廿七年一月廿日生
長崎出身 主論文一 實驗的「チフス」菌保
有者ニ就テ
熊谷 直 三 郎 東京府下中野町
一二三 内務省社會局 上沼袋七〇
岩手出身 同上 主論文一 人體腦脊體
液ノ生成並ニ吸收ニ關スル流體力學的研
究
長 澤 傳 六 熊本市大江町九
一二四 熊本醫大學長 品寺
福山出身 同上 主論文一 脾脫疽菌傳
染ニ關スル實驗的研究
好 本 節 岡山市四番町卅
一二五 岡山醫大教授 明治廿五年七月廿日生
岡山出身 同年京大審査 主論文一 內
分泌器關ノ滲出液ガ運動神經並ニ骨格筋
ニ及ボス作用
前坊 源 一 郎 大阪市南區天王
一二六 明治廿九年三月一日生
奈良出身 大正十二年大學院卒 主論文
一「ヒニオン」「ヒテニン」及「ヒテニン」
エナールエステル」ノ藥物學的作用ノ比
較研究
淺 沼 武 夫 長崎醫大內
一二七 長崎醫大教授 明治廿九年六月廿日生
大阪出身 同年京大審査 主論文一 視
神經視路ニ於ケル「マルキ」變性現象
ニ就テ
井 上 五 郎 京都市竹屋町大
一二八 京大助教授 宮西入
京都出身 同上 主論文一 膀胱微毒ノ
知見補遺
池 田 誠 一 大阪市東區備後
一二九 明治廿九年三月一日生
大阪出身 同年大學院卒 主論文一 毒
性物質ニヨリテ惹起セラレタル實驗的腎
臟炎特ニ其年齡的差異ニ就テ附系補遺
伊 藤 留 三 郎 東京市外下目黒
一三〇 池田病院勤務 六五九
兵庫出身 同上 主論文一 養酸「エス
テル」ノ藥物學的作用ニ就テ
赤 松 宗 二 長崎市上西山町
一三一 長崎醫大教授 二十三
兵庫出身 同年京大審査 明治廿五年七月廿日生
山口 新 平 靜岡市立病院
一三二 内科部長 明治廿九年七月廿日生
長崎出身 同年大學院卒 主論文一 心
臟生理學補遺
壁 島 爲 造 東京市外區谷町
一三三 軍醫大佐 明治廿九年一月廿日生
東京出身 同年京大審査 主論文一 コ
レラ菌ニ關スル論文
飯 坂 直 彦 京都市上京區出
一三四 京大助教授 雲路内河原町
秋田出身 同上 主論文一 「パンツォー
ル」ニ關スル研究
赤 津 誠 内 東京市牛込區通
一三五 開業 明治廿九年九月廿日生
福島出身 同上 主論文一 實驗的素病
理組織學的研究
山 口 謹 爾 明治廿九年四月廿日生
一三六 長崎出身 同上 主論文一 台灣產毒蛇
ノ毒素ニ於ケル血清學的比較研究
中 川 武 三 郎 東京市牛込區廣尾
一三七 開業 明治廿九年一月十日生
廣島出身 同年九大審査 主論文一 燈
用瓦斯吸入ニ因ル聽器病ニ關スル實驗的
研究
森 鼻 正 治 明治廿九年一月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 炭疽菌ノ實
驗的研究
香 宗 我 部 壽

一三九 明治七年十月廿日生 東京出身 同上
岩本道夫 高松市吉新町六
一四〇 桑原病院長
藤積榮次郎 秋田市秋田病院
一四一 明治七年四月廿日生
秋田出身 同上 主論文一 破傷風強直
並ニ「ストリヒニン」強應ノ交換神經性緊
張
三田谷 啓
一四二 明治七年九月一日生
兵庫出身 同年大阪大審査 主論文一 血
液ニ及ボス「アルコホル」ノ影響ニ就テ
横森賢治郎 南滿洲鐵道醫院
一四三 明治廿年十月廿九日生
長野出身 同年京大審査 主論文一 淋
巴球ニ關スル實驗的研究
比企龍之
一四四 明治七年二月四日生
東京出身 同年大學院卒 主論文一 生
體內ニ輸入セル異種蛋白ノ血清學的研究
木村啓二
一四五 明治七年二月廿日生
東京出身 同年東大審査 主論文一 數
毒ニ基因スル下腔靜脈及肝靜脈ノ狹窄及
閉塞ニ就テ
瀧戸孝一郎 相州鐵道會所屬
一四六 明治七年七月三日生
東京出身 同上
福島東作 東京本郷區醫生
一四七 鳥園內科醫局
宮城出身 同上 主論文一 沃度代謝
リ見タル甲狀腺ノ機能
小谷野格東 東京市牛込區加
一四八 聖徳加國醫院
東京出身 同上 主論文一 妊娠家兔ノ
生殖器及胎兒臍液ノ各內分泌腺器ニ
關シテ下垂體ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研
究
雲英元孝 台灣總督府醫院
一四九 台灣總督府醫院
愛知出身 同上 主論文一 肝臟ニ於ケ
ル「グリコゲン」分解ニ關スル知見補遺
久野脩三
一五〇 明治九年三月廿七日生
愛知出身 同上 主論文一 個體ノ內臟
神經ヲ切斷セル犬ニ「ニコチン」「アドレ
ナリン」及「ピロトリピン」ヲ注射シテ其
ノ菌排泄ニ及ボス影響ヲ見タル實驗
田原鎮雄 東京市外大久保
百人町一四〇
一五一 陸軍醫學學校教官
明治廿年八月廿日生
東京出身 同上
加用信憲 大分縣立病院內
一五二 大分縣立病院長
明治七年一月二日生
高知出身 同上 主論文一 血液「アン
モニア」量ノ調節並ニ其障礙ノ病理的意
義
植松七九郎 東京府下中津谷
一五三 王子腦病院
長野出身 同上 主論文一 「プルキン
エ」細胞ノ樹枝樹突起點軸索ニ於ケル限
極性腫脹ニ就テ
松本本松 東京府下墨場町
一五四 明治廿年七月廿日生
神奈川出身 同上 主論文一 健康體ニ
於ケル中耳腔被覆ニ就テ特ニ其ノ上皮腺
組織並ニ腺上胎生期ニ於ケル中耳腔ヲ
充填セル鬆組織組織ノ研究
笠川正男 東京小石川區大
一五四 慶大教授 明治廿年三月四日生
東京出身 同年慶大審査
柳庄一 明治廿年一月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 膿ニ關スル
研究
桂三友
一五七 明治十年五月廿日生
熊本出身 同年京大審査 主論文一 「ウ
エルシ」氏菌ニ就テ及ニ「インフルンザ」
痘ノ實驗的病理
村上清 大阪市外堺市市
一五八 婦人科 明治廿年八月十日生
岐阜出身 同上 主論文一 乳腺ノ生體
染色就中初乳球ノ本質並ニ其ノ機能ニ就
テ
高折茂 大阪鐵道病院
一五九 明治廿年一月廿日生
岐阜出身 同年大學院卒 主論文一 「ビ
ロカリン」「アトロピン」及「アドレ
ナリン」ニ因ル血液係ノ變化ト脾臟トノ
關係
石川芳治 大阪南區天王寺
一六〇 明治廿年二月生
奈良出身 同上
星島壽 京大醫學部副手
一六一 明治廿年四月八日生
岡山出身 同年京大審査 主論文一 特
殊餌食ニ因スル肝臟ノ變化ニ就テ
合屋友五郎 博多上土居町
一六二 自宅開業 明治廿年七月二日生
福岡出身 同年九大審査 主論文一 小
兒赤痢及疫病ニ於ケル「アドレナリン」分
泌狀態附動脈音ノ發生ニ就テ外一篇
種村式
一六三 明治廿年七月廿日生

三重出身 同年京大審査 主論文一 神
經ニ及ボス滲透及其他ノ影響ニ就テ(過去)
佐藤幸三 仙臺市勾當臺通
一六四 明治廿年三月廿日生
宮城出身 同年北大審査 主論文一 靜
脈內糖注入後動物體內ニ於ケル糖原生成
ニ就テ
森田幸門
一六五 鹿兒島縣立病院小兒科
奈良出身 同上 主論文一 腎臟血管結
紮後ノ家兔血糖量
山北又十郎 三重縣富田町富
一六六 飯田病院 明治廿年九月六日生
三重出身 同上 主論文一 腦髓ノ瓦斯
交換ニ關スル研究
佐野實
一六七 明治廿年七月六日生
兵庫出身 同上 主論文一 兔腦及貓腦
ノ「セレブロン」
大塚一郎 明治廿年七月廿日生
一六八 東京出身 同年京大審査 主論文一 細
菌ニヨル「三」ホリ「ベチード」ノ分解ニ
就テ
山内龍馬 一ノ宮市
一六九 山下病院勤務
鹿兒島出身 同上 主論文一 孤菌ノ診
斷ニ就キ二篇
黒田一郎 京都上京區寺町
一七〇 京大助教 鞍馬口下ル
茨城出身 同年大學院卒 主論文一 興
奮性序期の興奮性刺激傳播速度ノ研究
齋藤精一郎
一七一 秋田出身 同年京大審査 主論文一 請
種ノ藥品ノ胃分泌ニ對スル影響
町田浦弼
一七二 明治廿年十月廿日生
和歌山出身 同上 主論文一 進行性麻
痺老人性痲痺、癱瘓、膠質、結核性腦膜
炎酒客膠質ノ膠皮質ニ於ケル「ニツメル」
氏桿狀細胞ニ就テノ研究
箕浦光雄
一七三 明治九年四月三日生
三重出身 同上 主論文一 軟部ニ於ケ
ル關節及關節間軟骨ノ移植ノ研究
鈴木木勇 中華上海海密
一七四 本間醫院 明治九年三月一日生
大阪出身 同年九大審査 主論文一 「グ
レタミン」劑ノ藥理的作用殊ニ「モル
ヒネ」中毒性呼吸麻痺ニ及ボス影響ニ就
テ
菅沼清次郎 千葉市寒川新宿
一七五 長崎醫大教授 明治廿年十月六日生

疫動物感染ノ場合ニ於ケル凝集素形成經過ニ就テ

金澤 勳 高田病院内

一八七 越後高田市立病院 明治四年三月廿日生

石原 巽 明治四年八月八日生

一八八 栃木出身 同年慶大教授會審査 主論文一

一八九 屠殺豚ノ結核性變化ヲ呈スル諸臟器ニ於ケル結核菌ノ着色検明ニ就テ(大正十二年逝去)

小玉 龍藏 大田市南區大和町七

一八九 自宅開業 明治七年四月四日生

愛媛出身 同年北大審査 主論文一 眼組織ニ關スル過敏性的研究

渡邊 正雄 明治五年五月十日生

一九〇 新潟出身 同上 主論文一 ヤギヤリス業ノ效用ニ關スル研究

横田 道之助 秋田縣西根小屋町七

一九一 日赤秋田支部病院院長

埼玉出身 同年大學院卒 主論文一 靜脈血壓ニ關スル研究外三篇

坂田 輯 明治二年九月七日生

一九二 茨城出身 同年九大審査 主論文一 筋無力症ニ就テ二篇

無方症ニ就テ二篇

波邊 信吉 明治七年五月廿日生

一九三 群馬出身 同年大學院卒 主論文一 種々ノ膠性溶液ノ靜脈内注入ガ正常及免疫家兔ノ白血球(數及質)ト血清(凝集食菌菌率及殺菌力)トニ及ボス影響ニ就テノ實驗

竹内 劔 明治五年一月六日生

一九四 岐阜出身 同上 主論文一 火傷及凍瘡ノ病理ニ關スル實驗的並ニ臨床的研究

渡邊 義政 明治五年一月五日生

一九五 神奈川出身 同上 主論文一 結核菌ニ關スル天然免疫ノ機構

宮内 賢一郎 明治廿年五月一日生

一九六 埼玉出身 同年慶大審査 主論文一 生體染色ニ因ル骨折治癒機構ノ研究並ニ野兵組織球ニ對スル疑義附屬組織ノ生體染色

武井 武男 明治六年五月廿日生

一九七 東京出身 同年阪大審査 主論文一 血液ノ物理化學的研究ニ關スル知見補遺三篇(十三年逝去)

行徳 健助 金澤醫大内

一九八 岡山出身 同年京大審査 主論文一 内分沁ト血液中ノ脂肪及類脂肪體トノ關係ニ就テ

大杉 清 濱松市傳馬町五

二二七 靜岡出身 同上 主論文一 日本人鼻ノ形態學的研究ニ就テ

村上 純一 明治廿年三月廿日生

二二八 兵庫出身 同上 赤血球沈降速度ニ關スル研究ニ就テ

岡本 俊 明治三年六月廿日生

二二九 高知出身 同年北大審査 主論文一 細胞顆粒ノ死後自家融解ニ就テ

林 雄造 岡山縣倉敷町

二二〇 鳥取出身 同上 主論文一 虹彩脫出ヲ伴ヘル穿孔性角膜缺損ノ治療機轉ニ關スル實驗的研究

佐野 寅一 名古屋市中區春日町二十五

二二一 愛知出身 同年九大審査 主論文一 尿中尿酸ノ證明法ニ就テ附屬中尿酸排泄ノ臨床的意義

鳥居 武雄 東京淺草區須賀町二

二二二 福岡出身 同年東大審査 主論文一 膝液分泌ノ實驗的生理及病理補遺

千葉 叔則 銚路市浦見町卅九

一九九 兵庫出身 同上 主論文一 「ワクチン」ニ對スル乾熱ノ適用ニ就テ

時國 武二郎 東京府西大久保

石川 出身 同年主論文一 肺炎双球菌ノ産出スル溶血性毒素ニ就テ

石津 寬 東京市麴町三番町七六

二〇一 陸軍々醫學學校教官

千葉 出身 同上 主論文一 脚氣ノ眼症狀ニ就テ

三浦 政太郎 東京府下高田町

二〇二 東大理化學研究所

靜岡出身 同年京大審査 主論文一 種々ノ食物食物因子及化學藥品ノ「アツエトニトリル」ニ對スル動物ノ抵抗ニ及ボス影響並ニ甲狀腺「チロキシン」及其ノ他ノ沃度含有化合物ノ「アツエトニトリル」試驗ニ及ボス影響

瀧澤 信夫 京都市下鴨宮崎町一二

二〇三 京大副手 明治廿年五月十日生

長野出身 同上 主論文一 免疫體ニ及

山形出身 同上 主論文一 輸血ニ關スル實驗的及臨床的研究

藤木 廣 葛岡市御供所町

二二三 福岡出身 同上 主論文一 股關節結核ノ成因ニ關スル知識ノ追加特ニ種々ノ年齡ニ於ケル股關節各部ノ解剖的相互關係ニ就テ

岩 永仁雄 大阪府南區天王寺

二二四 阪大教授 明治廿年二月廿日生

長崎出身 同上 主論文一 噴汁ノ十二脂腸内排出ニ關スル實驗的研究特ニオナツテイ氏括約筋ノ機能ニ就テ

大村 定吉 神戸市下山手通三ノ六二

二二五 兵庫出身 同年慶大審査 主論文一 黃色血油鹽化色法ニヨル有機物中微量銅ノ定量法外一篇

花澤 鼎 明治廿五年五月廿日生

二二六 千葉出身 同上 主論文一 象牙質ニ關スル研究

石崎 伸三郎 東京本所區小塚

二二七 東京出身 同上 主論文一 胎盤毒ニ關スル研究

鈴木 重宣 東京芝區三田四

二二八 東京芝區三田四

ボス「フォルマリン」ノ影響

田部 浩 廣島市廣原町

二〇四 廣島出身 同上 主論文一 淡水産魚類ノ中間宿主トスル吸蟲類ノ研究ニ就テ

平光 吾一 札幌市北十六條

二〇五 北大教授 明治廿年七月廿日生

岐阜出身 同上 主論文一 大腸皮質中有體神經織出現ニ關スル研究

菊池 實 東京市麻布區元町三五

二〇六 海軍々醫學學校教官

岩手出身 同年東大審査 主論文一 プリン代謝ニ關スル知見補遺

坂井 清 京城南大門通二

二〇七 自宅開業 明治七年八月五日生

兵庫出身 同上 主論文一 慢性中耳炎ニ於ケル骨膜性骨新生ニ就テ

月江 曹元 東京赤坂青山南

二〇八 傳研醫局 明治廿年九月廿日生

東京出身 同上 主論文一 ゲイタミンBニ關スル知見補遺又其精製法ニ就テ

河北 眞太郎 東京府下大久保

二〇九 泉橋慈善病院勤務

和歌山出身 同上 主論文一 ゲイタミンB缺乏ニ於ケル血糖過多ニ就テ

大瀧 潤家 東京麴町飯田町五ノ一三

東京出身 同年東大審査 主論文一 所謂特異療法ノ本態ニ就テ

上田 春治郎 東京府下目黒

東京出身 同年東大大學院卒業 主論文一 一起立性蛋白尿ニ關スル知見補遺

西村 泰 東京市牛込區白銀町廿九

二三〇 日本郵船會社本店勤務

東京出身 同年東大教授會審査 主論文 蛋白質分解産物ノ毒性ニ關スル研究

宮 永學 而 東京本所區駒込

二三一 千葉醫大講師

福井出身 同上 主論文一 抗元素ノ動物體內ニ於ケル保存期間並ニ人血ノ昆蟲體通過後ニ於ケル抗元性ノ殘存ニ就テ

宮原 武熊 明治七年二月二日生

二二二 鹿兒島出身 同上 主論文一 過血糖動物眼球ノ對炎抵抗力減弱並ニ全眼球炎ノ成因ニ關スル實驗的研究

田中 義雄 名古屋市中區常盤町一

二二三 自宅開業 明治廿一年一月廿日生

愛知出身 同上 主論文一 橫隔膜ノ病理及ビ生理ニ關スル實驗的研究

鹿兒島 茂 留守宅久留米市

二三四 千葉醫大教授(洋行中)

福岡出身 同上 主論文一「ビタミン」
A 缺乏症(眼乾燥症)ノ實驗的研究「ビ
ミン」A 缺乏ト尙健病トノ關係

脇田 正孝 明治三年四月廿日生
鳥取出身 同年京大教授會審查 主論文
一 電氣刺激ニ因スル聽器ノ病理實驗的
研究

田谷 誠 長春千島町二ノ
二二六 滿洲長春醫院婦人科
明治三年十月廿日生
栃木出身 同上 主論文一 去勢ノ含水
炭素新陳代謝ニ及ボス影響ニ就テ

井上 秀男 明治六年七月一日生
岡山出身 同上 主論文一 摘水家兔腸
ノ同一標本ニ於テ其ノ輪狀筋及ヒ縱走筋
ニ及ボス藥物ノ作用ニ就テ

大原清之助 宮城縣立病院小兒科
二二八 宮城縣立病院小兒科
宮城出身 同年九大教授會審查 主論文
一 九州ニ於ケル疫癘特ニ其ノ病原體ニ
就テ

久保 護躬 金澤醫大内
二二九 金澤醫大教授
明治六年一月一日生
福島出身 同上 主論文一 聽器迷路ノ
超生體時變化及ビ死後變化ニ關スル實驗

的研究附「クアラ」ノ作製法及ビ其主成分
ニ就テ

中島 良貞 福岡市春吉花園
二四〇 九大講師 明治廿年四月九日生
長崎出身 同上 主論文一 胃並ニ十二
脂腸潰瘍ノ發生原因ニ就テ

松山陽太郎 東京芝區三田三
二四一 開業 明治六年四月六日生
東京出身 同年京大審查 主論文一 腎
臟ニ於ケル大腸菌感染ノ實驗的研究

森 一馬 堺市市ノ町
二四二 堺病院院長
明治三年二月廿日生
岐阜出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 藥物ノ膀胱透過性ニ關スル研究 特
ニ腎臟ノ炎症並ニ其ノ別出ガ該透過性ニ
及ボス影響

岡本規矩男 明治三年四月廿日生
石川出身 同年京大審查 主論文一 胃
ノ形態學的研究一 魚類胃形態學補遺
(肉眼的研究)外一篇

高木 喜寬 東京麻布區東島
二四四 明治七年七月十日生
東京出身 同年京大審查 主論文一 盲
腸炎ニ對スル冬力面ヨリノ觀察

清岡 博見 支那上海北四川
二四五 福民病院 明治廿年一月七日生

岩手出身 同年京大審查 主論文一 腸
管扶斯及「パラチアス」患者ノ流血中ノ病
原菌ニ就テ

後藤 直 千葉市寒川仲宿
二四六 千葉醫大教授
明治三年五月十日生
岐阜出身 同年京大大学院卒業 主論文一
白鼠「パラビオトセ」ヲ應用セル腸管内分
泌ノ研究

川島 好兼 明治九年四月四日生
愛知出身 同年京大審查 主論文一 血
液ノ解糖力ニ就テ

西方 時雄 東京府下中野町
二四八 東大入澤内科醫局
明治三年三月六日生
宮城出身 同上 主論文一「ウツムシ」
ノ發育ニ際シ蛋白質ヨリ脂肪ノ發生ニ關
スル實驗補遺

國分 壽郎 京都市聖護院西
二四九 京大講師 明治七年四月廿日生
岩手出身 同年京大審查 主論文一 唾
液分泌ハ依リ依リ依リ依リ全身麻痺ト腸脊
髓液壓トノ關係並ニ腸脊髓液壓ニヨル一
新療法ニ就テ

平澤 精藏 東京市丸山原宿
二五〇 明治九年五月六日生
長野出身 同年京大審查 主論文一 血
色素生成ト其材料ニ關スル知見補遺

佐藤 一英 大阪市北區天神
橋筋二ノ四一
二五一 阪大講師 明治六年十月六日生
大分出身 同上 主論文一「ゲフテリ」
ノ血清治療作用ニ關スル實驗

賀川 哲夫 東京本郷區千駄
木町五〇
二五二 山村病院副院長
明治九年十月廿日生

林 敏郎 東京市田區駿河
二五三 濱田病院副院長
明治三年五月三日生
山口出身 同上 主論文一 血清ノ胎盤
毒能力ニ就テ

小峰 茂之 東京市外濠ノ川
二五四 開業 明治七年七月二日生
東京出身 同年北大審查 主論文一 神
經系ノ新陳代謝機轉第三篇日本産蛙ラナ
、ニアロマククヲ種ノ四季並ニ雌雄兩性
ニ於ケル中樞神經系統ノ相對的童量ノ差
異ニ就テ

前川 重一 明治三年三月生
和歌山出身 同年京大大学院卒業 主論文
一 内分泌腺製劑ガ末梢神經再生ニ及ボ
ス影響(大正十二年逝去)

林 雄 東京市小石川區茗
荷谷町七六
二五六 明治三年七月九日生

三重出身 同年京大審查 主論文一 潰
瘍發生ノ問題ニ關スル實驗的補遺 ハル
レル氏業織ノ批評毒物の胃潰瘍ニ關スル
實驗

上林 豊明 東京市小石川區西
二五七 明治九年三月廿日生
東京出身 同上 主論文一 我國ニ於ケ
ル二三ノ皮膚糸狀菌病ニ就テ四篇

柴田 保 名古屋市東區武
二五八 自宅開業 明治九年八月八日生
靜岡出身 同年京大大学院卒業 アフテス
ハルテン氏透視反照ニ就テ

寺田 正中 明治五年八月廿日生
二五九 英城出身 同年京大審查 主論文一「イ
ソフルエンザ」菌發育ニ必要ナル成分ノ
實驗的研究

湯川 靖洋 京都市高麗寺石
二六〇 京大助教授 堀小路
明治四年十二月三日生

和歌山出身 同上 主論文一 家兔過敏
症「シヨック」ニ於ケル生理學的實驗(ア
ナフィラキシノ研究第一)外四篇

佐伯 義久 明治五年三月廿日生
二六一 富山出身 同年九大審查 主論文一 那
々(藻小)條蟲發育ニ就テノ實驗的研究外
二篇

石川 昇 渡中
二六二 明治六年四月四日生
大分出身 同上 主論文一 大腸下部
(下行及ビS字結腸)ノ神經司配ニ關スル
實驗的研究

大野 良藏 大阪市西區南堀
二六三 井上病院長 江通一丁目
福岡出身 同上 主論文一 急性出血性
脾梗死及脾液中毒症ノ病原研究並ニ其ノ
免疫的豫防及ビ治療法ニ就テ

宇木 領太郎 文久二年三月廿日生
二六四 佐賀出身 同上 主論文一 日本住吸虫
蟲ニ關スル實驗並ニ小學生徒ノ便寄生蟲
卵検査成績及其宿主兒童ニ及ボス障害程
度調査成績報告

蓮井 直衛 明治五年七月廿日生
二六五 香川出身 同年京大審查 主論文一 脚
氣患者ノ尿分析並ニ新陳代謝試驗

近藤 見長 岡山市上四川町
二六六 坂田病院 明治七年十月一日生
岡山出身 同年京大大学院卒業 主論文一
肋膜炎ノ病理知見補遺二篇

佐々木 宗一 明治五年三月五日生
二六七 三重出身 同年京大審查 主論文一 耻
骨聯合ノ形態學的研究

長野 文治 京都市外伏見稻
荷北隣

岩手出身 同年京大審查 主論文一 腸
管扶斯及「パラチアス」患者ノ流血中ノ病
原菌ニ就テ

後藤 直 千葉市寒川仲宿
二四六 千葉醫大教授
明治三年五月十日生
岐阜出身 同年京大大学院卒業 主論文一
白鼠「パラビオトセ」ヲ應用セル腸管内分
泌ノ研究

川島 好兼 明治九年四月四日生
愛知出身 同年京大審查 主論文一 血
液ノ解糖力ニ就テ

西方 時雄 東京府下中野町
二四八 東大入澤内科醫局
明治三年三月六日生
宮城出身 同上 主論文一「ウツムシ」
ノ發育ニ際シ蛋白質ヨリ脂肪ノ發生ニ關
スル實驗補遺

國分 壽郎 京都市聖護院西
二四九 京大講師 明治七年四月廿日生
岩手出身 同年京大審查 主論文一 唾
液分泌ハ依リ依リ依リ依リ全身麻痺ト腸脊
髓液壓トノ關係並ニ腸脊髓液壓ニヨル一
新療法ニ就テ

平澤 精藏 東京市丸山原宿
二五〇 明治九年五月六日生
長野出身 同年京大審查 主論文一 血
色素生成ト其材料ニ關スル知見補遺

山梨出身 同年京大審查 主論文一 海
龜ノ呼吸中樞灌流ニ就テ外三篇

戸田 茂 東京市保健局長
二七五 岡山出身 同年京大教授會審查

三宅 良一 明治八年十月廿日生
二七六 廣島出身 同上 主論文一 綠内障性視
神經乳頭陷凹ノ成立ニ關スル實驗的研究

岡田 增右衛門 明治三年二月廿日生
二七七 愛知出身 同年京大審查 主論文一 臨
床的並ニ實驗的淋巴球ニ關スル研究

山崎 清 東京市小石川區竹
二七八 小石川病院勤務 早町五四

東京出身 同上 主論文一「ラゲナム、
エマナチオン」及ビ「ラゲナム」鹽ノ組
織及臟器ニ對スル作用

黒澤 良臣 東京府下下落合府
二七九 東大講師 明治五年五月廿日生
山形出身 同上 主論文一 痲痺性癱瘓
腦軟毒トノ本能的差異ニ關スル疑義

室橋 民衛 東京市麹町區土
手三番町七
二八〇 自宅開業 明治五年三月八日生
東京出身 同上 主論文一 石鹼便及乳
兒糞便中ノ石鹼ニ就テ

飯山 貫一 明治七年七月五日生
二八一

櫻木出身 同上 主論文一 甲状腺腫液ノ作用ニ就テ
豊田太郎 大連市豊岐町ス 二八二 關東廳大連療養院長
愛媛出身 同上 主論文一 痘瘡ノ研究
山田司郎 大阪市南區末吉 二八三 阪大教授 明治六年二月廿日生
愛知出身 同年阪大審査 主論文一「リグ」状態頭條蟲ノ研究四篇
吉岡正明 東京女子醫專 二八四
佐賀出身 同上 主論文一 肺炎球菌型ノ特異性及其境界外四篇
島信 東京牛込區新小島 二八五 東大小兒科醫局
望月寛一 東京赤坂青山北 二八六 自宅開業 明治七年七月廿日生
山梨出身 同年京大審査 主論文一 母體及ビ其胎兒間ニ於ケル血清化學的研究
中川知一 大阪市天王寺區 二八七 悲田院院長
愛媛出身 同年阪大審査 主論文一 冠狀循環ニ就テ
新谷庄吉 大阪市西區靱南 二八八 明治七年一月廿日生
和歌山出身 同上 主論文一 實驗的壞血病ニ於ケル骨移植ニ就テ
鳥波豊 大分縣別府町朝見 二八九 保養院長 明治六年二月廿日生
大分出身 同年東大審査 主論文一 諸種動物血球ニ血色素ノ昇來ニ對スル解毒作用ニ就テ
川村六郎 大阪府泉南郡淡輪村 二九〇 淡輪療養院
大阪出身 同年東大審査 主論文一 結核菌ノ「ホモゲイネクルツル」新法及之ニヨリテ得タル結核菌ノ研究
北川正惇 東京市本郷區森八 二九一 慶大教授 明治六年三月廿日生
愛媛出身 同上 主論文一「フイリア」病犬ノ呈スル象皮病樣皮膚疾患ノ病理
河村一郎 明治七年十月廿日生 二九二 福岡出身 同年京大審査 主論文一 電氣ニヨル傷害及ビ死ノ知見補遺
渡邊泰 神戶市中山手通 二九三 順生醫院 明治七年九月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 志賀「バクテリオフィアゲン」ノ血清學的研究
岩淵友次 丁日赤十字社本部 診察所 自宅大和町三ノ廿九
二九四 明治七年一月廿日生
宮城出身 同上 主論文一 實驗的「ニコルブート」ノ知見補遺
山本三樹 大阪市東區北濱 二九五 自宅開業 明治八年八月五日生
石川出身 同年北大審査 主論文一 人間顯微鏡的解剖學補遺
二本杉欣一 二九六 日赤大阪支部病院
三重出身 同年京大大学院卒 主論文一 喉頭ノ解剖學的研究
若原貞一 鹿兒島市山下町 二九七 鹿兒島縣立病院
岐阜出身 同上 主論文一「ハブ」毒及「サボトキシシン」ノ藥物學的作用ノ比較研究
吉川精一 神戶市西區麩中 二九八 町一六
兵庫出身 同上 主論文一 消化管ノ運動ニ對スル酸ノ意義四篇
石原正次 千葉市公會堂 二九九
千葉出身 同年京大審査 主論文一 諸種細菌毒素ニ因リ腎臟ノ形態學的並ニ機能的变化ニ就テ
吉村良一 神戶市中山手通 七ノ八二ノ二
三〇〇 明治七年一月一日生
岡山出身 同年京大大学院卒 主論文一 胃腸ノ間隔ノ本態ニ就テ
坂田清造 岐阜市白木町 三〇一 明治七年一月二日生
鳥根出身 同上 主論文一 膀胱及膽囊缺損ニ對スル成形的補遺實驗
服部峻治郎 岡山縣倉敷町 三〇二 倉紡中央病院
京都出身 同年京大審査 主論文一 食鹽ノ脂肪吸收ニ及ボス影響ニ就テ
山本利平 大阪天王寺區筆 三〇三 大阪市立桃山病院
山口出身 同年阪大審査 主論文一 糖集素產生及ビ作用ニ關スル研究三篇
中原和郎 三〇四 明治七年九月廿日生
鳥取出身 同年京大審査
關根歡太郎 佐賀縣唐津町唐津 三〇五 自宅開業 明治七年十月三日生
佐賀出身 同年東大審査 主論文一 甲状腺副甲状腺抽出ノ大ニ關スル血清化學的研究
高楠榮 東京市京橋區築地町石町 三〇六 聖路加病院婦人科醫長
明治七年七月十日生

兵庫出身 同上
竹内薰兵 東京市日本橋區村松町廿五 三〇七 自宅開業 明治七年七月廿日生
東京出身 同年京大審査 主論文一 生理的並ニ超生理的吸引力ニ對スル乳腺ノ組織學的研究
栗田得三 岐阜市住吉町一 三〇八 自宅開業 明治十年九月六日生
岐阜出身 同年東大審査 主論文一 蛇行性軟性下疳ニ就テ
内藤八郎 名古屋市東區針屋町二ノ一九 三〇九 自宅開業 明治七年二月廿日生
靜岡出身 同上 主論文一 靜脈ノ構造及神經變態ニ關スル知見補遺
入野野賢二 東京市麻布區龍土町六三 三一〇 東大講師 明治五年七月一日生
愛知出身 同年九大審査
内田三千太郎 三一一 明治五年十月五日生
埼玉出身 同年新海醫大審査 主論文一 癩ニ關スル研究八篇
北村直躬 京都市岡崎宮脇 三一二 京大助教授
熊本出身 同年京大審査 主論文一 神經幹肉神經終末器管ノ週期的興奮ニ及ボス温度ノ影響三篇
葛谷貞之
三一一 明治七年七月廿日生
大阪府泉南郡淡輪村
川村六郎
大阪出身 同年東大審査 主論文一 結核菌ノ「ホモゲイネクルツル」新法及之ニヨリテ得タル結核菌ノ研究
北川正惇 東京市本郷區森八 二九一 慶大教授 明治六年三月廿日生
愛媛出身 同上 主論文一「フイリア」病犬ノ呈スル象皮病樣皮膚疾患ノ病理
河村一郎 明治七年十月廿日生 二九二 福岡出身 同年京大審査 主論文一 電氣ニヨル傷害及ビ死ノ知見補遺
渡邊泰 神戶市中山手通 二九三 順生醫院 明治七年九月廿日生
兵庫出身 同上 主論文一 志賀「バクテリオフィアゲン」ノ血清學的研究
岩淵友次 丁日赤十字社本部 診察所 自宅大和町三ノ廿九
三一一 明治七年七月廿日生
愛知出身 同上 主論文一 食道ノ吸收ニ關スル實驗的研究
草刈春逸 明治七年七月廿日生 三一四 長崎出身 同上 主論文一 肺臟ノ官能ニ關スル實驗的研究第一報告 脂肪栓塞ニ就テ
本多操 岡山縣倉敷町 三一五 倉敷病院 明治六年九月廿日生
千葉出身 同上 主論文一 妊娠尿ノ化學的成分ニ關スル研究五篇
一松美利 明治六年二月廿日生 三一六 大分出身 同年九大大学院卒 主論文一 腎炎ニ關スル研究
鹽谷卓爾 東京市本郷區西片町一〇 三一七 鳥園內科醫局
内田理一郎 高松市西通町二 三一八 日赤高松支部病院
兵庫出身 同年京大大学院卒 主論文一 ペンシヨンス氏蛋白質ニ關スル研究四篇
皆木泰一郎 神戶市下山手八丁日吉田病院
三一九 明治七年五月廿日生
岡山出身 同上 主論文一 アルネット氏血像ヲ特ニ顯微シテ施行セル種々ノ侵害ニヨリ惹起セラレタル白血球ノ狀態ニ關スル實驗的研究
波邊範介 大阪市南區堀江 三二〇 明治七年二月五日生
福岡出身 同年京大審査 主論文一 妊婦各月ニ於ケル胎盤ノ「リポイド」物質ニ就テ特ニ其關係ニ就テ外一篇
小川勇 奉天八幡町十二 三二一 日赤奉天支部病院長
愛媛出身 同年九大審査 主論文一 胸膜炎ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究二篇
久保喜代二 三二二 東大講師(松澤病院)
北海道出身 同年北大審査 主論文一 小腦發育障害ニ關スル研究
波邊裕 岡崎市材木町 三二三 明治七年八月生
愛知出身 同年京大審査 主論文一 氣温ノ高低並ニ環境ノ理學的性質ガ消毒劑ノ效果ニ及ボス影響ニ就テ
丹村泰介 香川縣高松市天神前 三二四 明治七年二月生
福岡出身 同年京大大学院卒 主論文一 血炭ノ毒物吸着ニ關スル生理的研究
大野章三 奉天淀町七 三二五 滿州醫大教授
福岡出身 同年九大審査 主論文一 神經美術學說ノ補遺
七田龍雄 京都市外下落合 三二六 陸軍々醫近衛衛重兵大隊
佐賀出身 同年九大大学院卒 主論文一 血液凝固ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
戶山昂造 兵庫縣御影町宮城ノ前四三八 三二七 互惠會神戶診療所主任
鳥根出身 同上 主論文一 肺循環ニ關スル實驗的研究
佐藤亨 東京市本郷區湯島新花町九八 三二八 明治九年七月廿日生
東京出身 東大審査 主論文一 實驗的「アチドシス」ノ病理及病理解剖ニ就テ
德永保 東京市橋區元數寄屋町一ノ二 三二九 明治七年七月廿日生
神奈川出身 同上 主論文一「エビヒキラキシ」ニ關スル血清化學的研究
中島明 東京市日本橋區元柳町廿八川岸 三三〇 自宅開業 明治七年七月三日生
東京出身 同上 主論文一 尿結石ノ發生ニ對スル膠樣質「コロイド」ノ關係ニ就テ
四九

- 井上猛夫 東京赤坂區番町七
三三三 明治九年一月廿七日生
靜岡出身 大正十二年東大審査 主論文
一「カルチウム」ノ新陳代謝ニ關スル研
究
- 渡邊淡水 東京府下笹塚一
三三二 明治九年十月五日生
大分出身 同十三年同上 主論文一聽
器脂肪ノ研究
- 長谷川知雄 明治九年一月廿日生
三三三 新瀨出身 同年新大審査 主論文一蟲
機突起及小腸ノ「カルチノイド」ニ就
テ
- 阿部喜市郎 東京小石川區原
町一三五
三三四 自宅開業 明治廿年五月廿日生
群馬出身 同年東大審査 主論文一子
宮縮腫ノ「ラザラム」療法
- 麥沼憲二 東京府下大森町
三三五 明治廿年二月廿日生
栃木出身 同上 主論文一 家鶏肉腫ノ
轉移形成ニ就テ
- 近森正基 三重縣津市一番
三三六 明治廿年五月廿日生
高知出身 同年東大審査 主論文一
慢性胃潰瘍ニ關スル實驗的研究
- 西岡道雄 大阪府西區江戶
堀北通四ノ五七
三四一 明治廿年三月廿日生
岡山出身 同上 主論文一「ヘパトキ
シン」ノ肝臟機能ニ及ボス作用
- 藤田穆 九州藥學專門學
校內
三四二 佐賀出身 同上 主論文一「フラン」透
導體研究補遺
- 平井理 京都市富小路竹
屋町上ル
三四三 京大講師 明治廿年七月廿日生
三重出身 同年東大審査 主論文
一 腸管液循環及ビ二、三藥物ノ腸管
液內移行排洩経路ニ就テ三篇
- 松原良一 松江市奥谷町
三四四 松江病院勤務
三四五 香川出身 同上 主論文一 流行性感
冒ノ病理解剖ニ就テ三篇
- 齋藤齊 大阪府東區島町
二ノ廿六
三四六 福井出身 同上 主論文一 卵黃性腎炎
並ニ「アルカリ」ノ影響ニ就テ
- 松本憲夫 京大醫學部內
三四七 京都出身 同上 主論文一 細菌毒素ノ作
用ニ對スル培養液ノ化學的要約ニ就テ
- 藤田卯二六 福岡市極樂寺町
三四八 青森出身 同年東大審査 主論文一 筋
緊張ニ關スル實驗的研究
- 三四九 自宅開業 明治九年三月二日生
新潟出身 同上 主論文一 人類(日本
人)及哺乳獸ノ内耳血管系統ノ比較解剖
學的研究
- 鎮目專之助 東京四谷區慶大
病院內
三四四 東京出身 同年東大審査 主論文一 動
物分化ノ程度ト末梢神經ノ興奮傳導速度
並ニ是ガ溫度ニ對スル關係
- 山口競 長野市西長者町
三四五 日赤長野支部病院
三四六 栃木出身 同年東大審査 主論文一 日
本人ノ乳嘴實及迷路ニ金屬鑄型ヲ使用シ
タル形態的研究
- 渡邊富藏 北海通札幌市會
所町五四
三四六 北海道出身 同年東大審査 主論文一
脊髓神經節ノ病理殊ニ脊髓神經節囊胞形
成ニ就テ
- 飯島庸徳 神戶市兵庫和田
宮通五ノ二
三四七 長野出身 同上 主論文一「フオールマ
ン」氏抗體及抗原ニ關スル知見補遺
- 錦織宗 神戶市下山手通
三四八 島根出身 同年東大審査 主論文
一 金屬「ナリゴザナミ」的作用ノ
本態ニ就テ
- 小田俊郎 札幌市北七條四
十三丁目
三四九 三重出身 同年東大審査 主論文一 黃
疸出血性「スピロヘター」病ニ於ケル急
性循環機能不全ニ關スル實驗的研究
- 飯田豊三 福岡市櫛木屋町
三五〇 東京出身 同年東大審査 主論文一
イル氏病原スピロヘターノ侵入及ビ排洩
ノ経路ニ就テ
- 瀬尾貞信 新潟縣直江津町
飯沼官舎島田方
三五一 新潟出身 同年東大審査 主論文一 淋
性淋巴腺ノ「グラコロム」
- 高村庄太郎 大阪府東區北濱
四ノ一八
三五二 自宅開業 明治廿年一月廿日生
山形出身 同上 主論文一 血液及ビ遺
血濾器ニ及ボス食鹽ノ生理學的作用知見
補遺
- 甲賀浩三 東京市日本橋區
堀切町二ノ六
三五三 東京出身 同上 主論文一 吸着セラレ
タル溶血素及補體結合素ノ性狀ニ關ス
ル血清學的研究
- 吉田繁 東京牛込區辨天
町一六五
三五四 福井出身 同上 主論文一「コバレット」
ノ藥理學的知見補遺

- 橋本喬 奉天八幡町一二
三五五 南滿醫大教授
佐賀出身 同上 主論文一 蜘蛛膜下腔
ノ吸收能力ニ就テ
- 押川公介 東京府下瀨ノ川
町中里三七五
三五六 鹿兒島出身 同上 主論文一 皮膚移植
ニヨル抗體形成
- 風間美顯 高田市新中殿町
三五七 高田病院長
山梨出身 同年東大審査 主論文一 丙
麻ニ於ケル人工的腫瘍形成ノ研究
- 松尾武幸 福岡市住吉町先
新屋一七三九
三五八 福岡出身 同年東大審査 主論文一 生
電氣流ノ學說ニ關スル新實驗
- 加藤尙義 福岡市外東公團
吉塚驛前
三五九 岡山出身 同年東大審査 主論文
一 有脊椎動物ニ於ケル神經組織ノ發生
ニ就テ
- 梅津小次郎 東京市日本橋區
本木町二ノ三
三六〇 山形出身 同年東大審査 主論文一 炭
濾器ニヨル電氣的滲透作用ニ就テ
- 小山武夫 千葉市向葵川二
八〇
三六一 明治廿年三月廿日生
岡山出身 同上 主論文一「ヘパトキ
シン」ノ肝臟機能ニ及ボス作用
- 藤田穆 九州藥學專門學
校內
三四二 佐賀出身 同上 主論文一「フラン」透
導體研究補遺
- 平井理 京都市富小路竹
屋町上ル
三四三 京大講師 明治廿年七月廿日生
三重出身 同年東大審査 主論文
一 腸管液循環及ビ二、三藥物ノ腸管
液內移行排洩経路ニ就テ三篇
- 松原良一 松江市奥谷町
三四四 松江病院勤務
三四五 香川出身 同上 主論文一 流行性感
冒ノ病理解剖ニ就テ三篇
- 齋藤齊 大阪府東區島町
二ノ廿六
三四六 福井出身 同上 主論文一 卵黃性腎炎
並ニ「アルカリ」ノ影響ニ就テ
- 松本憲夫 京大醫學部內
三四七 京都出身 同上 主論文一 細菌毒素ノ作
用ニ對スル培養液ノ化學的要約ニ就テ
- 藤田卯二六 福岡市極樂寺町
三四八 青森出身 同年東大審査 主論文一 筋
緊張ニ關スル實驗的研究
- 三四九 自宅開業 明治九年三月二日生
新潟出身 同上 主論文一 人類(日本
人)及哺乳獸ノ内耳血管系統ノ比較解剖
學的研究
- 鎮目專之助 東京四谷區慶大
病院內
三四四 東京出身 同年東大審査 主論文一 動
物分化ノ程度ト末梢神經ノ興奮傳導速度
並ニ是ガ溫度ニ對スル關係
- 山口競 長野市西長者町
三四五 日赤長野支部病院
三四六 栃木出身 同年東大審査 主論文一 日
本人ノ乳嘴實及迷路ニ金屬鑄型ヲ使用シ
タル形態的研究
- 渡邊富藏 北海通札幌市會
所町五四
三四六 北海道出身 同年東大審査 主論文一
脊髓神經節ノ病理殊ニ脊髓神經節囊胞形
成ニ就テ
- 飯島庸徳 神戶市兵庫和田
宮通五ノ二
三四七 長野出身 同上 主論文一「フオールマ
ン」氏抗體及抗原ニ關スル知見補遺
- 錦織宗 神戶市下山手通
三四八 島根出身 同年東大審査 主論文
一 金屬「ナリゴザナミ」的作用ノ
本態ニ就テ
- 土橋光太郎 朝鮮京城醫院官
舎內
三六八 醫官兼京城醫專教授
明治廿年八月廿日生
長野出身 同上 主論文一 血液カタラ
ーゼニ關スル知見補遺
- 田中肥後太郎 東京府本郷區
込林町一〇九
三六九 鳳翔軍醫長
東京出身 同年東大審査 主論文
一 心臟ノ熱力學的研究
- 林亨 名古屋市東區白
壁町二ノ五
三七〇 岐阜出身 同年東大審査 主論文一 腎
炎「アチドシス」ト血液尿素トノ關係
ニ就テ實驗的研究
- 原勇三 東京府下瀨ノ川
町上中里一一三
三七一 長野出身 同上 主論文一 腎臟ノ神經
支配ニ就テ
- 鈴木芳夫 東京府下瀨ノ川
町上中里一〇九
三七二 東京出身 同年東大審査 主論文一 組
織ノ體外培養法ニ動物ノ抵抗力研究
- 大島福造 明治廿年八月四日生
三七三 愛知出身 同年東大審査 主論文一 鷄
腫瘍ノ實驗的研究
- 田原盛 小倉市外砂津水
門外細江町八八
三七四 福島出身 同年東大審査 主論文一 日
本人ノ健體發育ニ就テ
- 古屋野宏平 長崎醫大內
三七五 長崎醫大教授
岡山出身 同年東大審査 主論文
一 局所ノ血行障害ニ基ケル器變變化ニ
對スル實驗的及ビ臨床的追加
- 富田治郎 名古屋市中區住
吉町二
三七六 愛知出身 同年東大審査 主論文一 扁
桃腺ノ細菌學的並ニ病理學的研究補遺
- 鳥居惠二 京大助教
三七七 新潟出身 同上 主論文一 航空生理ノ
研究ニ就テ三篇
- 大井昌四郎 撫順數島町三ノ
三七八 北海道出身 同年東大審査 主論
文一 腸管液水中水素「イオン」濃度ニ
關スル臨床的及實驗的研究
- 上小澤能敏 京都市御幸町二
條上ル
三七九 山梨出身 同上 主論文一 心臟瓣膜疾
患ノ病理學的研究ニ就テ三篇
- 松本高三郎 千葉市千葉七六
三八〇 千葉醫大學長

- 三六六 明治四年二月廿七日生 愛知出身 同上 主論文一 糖エキス有效成分(ビタミンB?)ノ作用部位如何
- 井村英二郎 東京府下中津谷 七十四 明治十一年一月五日生 茨城出身 同年東大審査 主論文一 反射ノ筋ニ對スル脊髄後根興奮ノ共同作用ニ就テ並ニ内中心性抑制ノ學說ニ關スル補遺
- 比留間惠三 大阪府王寺區日 赤痢院內 明治十二年八月廿九日生 埼玉出身 同年東大審査 主論文一 血液凝固ニ關スル研究
- 長橋正道 明治十二年二月四日生 新潟出身 同上 主論文一 磁氣の瓦斯分析
- 内野淺次郎 明治七年九月三日生 鹿兒島出身 同上 主論文一 種々ノ生理的狀態ニ於ケル血液ノ尿酸結合力ニ就テ外一篇
- 増田胤次 東京府下西大久 保二二五 三九一 東大教授 明治廿六年六月廿日生 埼玉出身 同年東大審査 主論文一 轉性眼球變遷生理知見補遺
- 螺良四郎 大阪市北區堂島 北町一ノ一佐多方 明治廿九年九月廿日生
- 東京出身 同年東大大学院卒業 主論文一 生殖腺内分泌知見補遺
- 泉仙助 金澤市水溜町二 五 明治廿九年四月八日生 茨城出身 同年東大審査 主論文一 糖化糖卵ノ學血清的及生物化學的檢索
- 大久保九平 明治廿九年一月三日生 德島出身 同年北大審査 主論文一 血清「プロテアーゼ」知見補遺ニ就テ六篇
- 太繩壽郎 大阪東區内久寶 寺町二ノ三三 三九五 大阪市松山藥業所
- 秋田出身 同年東大審査 主論文一 結核菌ノ生物學補遺第一報結核菌ノ菌形形成ニ就テ
- 酒井幹夫 大阪醫大內 三九六 阪大小兒科教授
- 兵庫出身 同上 主論文一 本邦ニ於ケル青年及小兒期ノ正常血液狀態
- 密田常三 明治廿九年七月廿日生 富山出身 同上 移植及組織培養ニ依ル病理的機轉ノ研究ニ就テ二篇
- 中馬優 尼崎市別府村 三九八 中馬病院 明治廿九年六月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 組織ノ抵抗力及生活力ニ對スル外界温度ノ影響ニ就テ
- 余田忠吾 大阪市北區本庄 中野町四七九 三九九 大阪市技師 明治廿七年七月廿日生 福岡出身 同上 主論文一 人胎盤「イロイド」ニ關スル研究ニ就テ三篇
- 梶塚隆二 東京府下西大久 保六六 明治廿九年九月五日生 宮城出身 同年東大審査 主論文一 スパスカヤニ於ケル「パラチナス」B型菌性食中毒檢索例並原因食「オムレツ」ノ菌汚染動機ニ關スル實驗的研究
- 新井吉郎 東京府下西大久 町六 四〇一 日赤本社病院勤務
- 福井出身 同上 主論文一 急性腹膜炎ニ於ケル胃腸運動ニ關スル實驗的研究
- 齋藤正意 東京府下東區町 上駒込一五六 四〇二 明治廿九年七月廿日生 富山出身 同年東大大学院卒業 主論文一 急性腸管閉塞ニ關スル實驗的研究
- 古見嘉一 內務省技師 四〇三 明治廿七年七月七日生 山口出身 同年東大審査 主論文一 本邦主要食品中ニ存スル含窒素物質ノ生理的價値ニ就テ
- 松岡謙之助 留學中 四〇四

明治五年八月七日生 東京出身 同年東大審査 主論文一 早發性癩癩ノ病理ニ就テ

村山小七郎 明治廿九年九月廿日生 神奈川出身 同上 主論文一 肝臟硬變症ノ實驗的研究(第一、及第三報告)

武田正通 香川縣多度津町 三八二 明治廿九年五月八日生 香川出身 同上 主論文一 過敏症ニ關スル知見補遺

柏木正俊 東京小石川區竹 早町一八 三八三 陸軍々學校教官

齋藤豐 明治九年三月廿日生 福島出身 同年東大審査 主論文一 腦下垂體ノ有效成分ニ就テノ研究外一篇

小池才一 金澤市産三五番 丁一 三八五 金澤醫大教授

石川出身 同上 主論文一 大腸ノ位置的運動ニ及ボス胃内容及ビ腹筋陷入ノ影響ニ關スル「レントゲン」線的研究

白井敏 明治廿九年九月廿日生 東京出身 同年東大大学院卒業 主論文一 神經毒ニ關スル研究

荒井惠 東京府下西大久 保二一三 四一一 宮内省侍醫寮

東京出身 同年東大審査 主論文一 「パチナス」B菌ノ排泄路ニ關スル實驗的研究

可知義兵太 明治廿九年七月六日生 岐阜出身 同年東大審査 主論文一 結核ノ肝臟變態ニ對スル原因的關係ニ就テノ病理解剖學的並實驗的研究

武田義道 明治九年七月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 結核菌體ノ「エーテル」移行性物質ニ就テ

上田三彌 京大醫學部內 四一四 京大副手 明治七年一月九日生 岐阜出身 同年東大大学院卒業 主論文一 「ロウエウエ」心臓切片ニ就テ行ヘル藥物學的研究

池松武志 明治廿九年五月五日生 熊本出身 同年東大審査 主論文一 卵並ニ胎生及ビ成熟動物組織ノ移植實驗就中家鴉胎生組織移植ニ由來スル可移植性纖維肉腫ノ發生ニ就テ

東京出身 同年東大大学院卒業 主論文一 一生殖腺内分泌知見補遺

- 奈良縣出身 大正十三年京大大学院卒業 主論文一 甲狀腺試食ニ因ル循環器及腎臟ノ病理組織學的變化ニ就テ
- 鷺見謙一 高松市五番町 四〇五 明治廿九年七月五日生 岐阜出身 同年東大審査 主論文一 葡萄狀球菌ニ因ル皮下局所免疫ニ就テ三篇
- 得能孝平 高松市五番町 四〇六 明治廿九年五月六日生 富山縣出身 同上 主論文一 哺乳動物ノ第一視覚中樞ニ於ケル視神經纖維ノ分布狀態ニ就テ
- 首藤守彦 大阪市西區阿波 堀通三ノ四七 四〇七 明治廿九年七月廿日生 大分縣出身 同年東大審査 主論文一 胸腺ニ關スル研究三篇
- 内藤勝 明治廿九年七月廿日生 德島出身 同年北大大学院卒業 主論文一 所謂腎毒ニヨリテ惹起セラルル腎外一般血管ノ機能ノ變化ニ就テ外五篇
- 大森大亮 岡山縣赤松郡高 陽村下市 四〇九 岡山醫大教授
- 岡山出身 同年東大審査 主論文一 生殖器神經終末裝置ノ研究
- 太田正隆 東京牛込區赤城 下町四〇 明治廿九年七月廿日生 東京出身 同年東大大学院卒業 主論文一 神經毒ニ關スル研究
- 荒井惠 東京府下西大久 保二一三 四一一 宮内省侍醫寮
- 東京出身 同年東大審査 主論文一 「パチナス」B菌ノ排泄路ニ關スル實驗的研究
- 可知義兵太 明治廿九年七月六日生 岐阜出身 同年東大審査 主論文一 結核ノ肝臟變態ニ對スル原因的關係ニ就テノ病理解剖學的並實驗的研究
- 武田義道 明治九年七月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 結核菌體ノ「エーテル」移行性物質ニ就テ
- 上田三彌 京大醫學部內 四一四 京大副手 明治七年一月九日生 岐阜出身 同年東大大学院卒業 主論文一 「ロウエウエ」心臓切片ニ就テ行ヘル藥物學的研究
- 池松武志 明治廿九年五月五日生 熊本出身 同年東大審査 主論文一 卵並ニ胎生及ビ成熟動物組織ノ移植實驗就中家鴉胎生組織移植ニ由來スル可移植性纖維肉腫ノ發生ニ就テ
- 石丸一 大阪市東區高麗 橋詰町松本病院 四一六 明治廿九年八月五日生 徳山出身 同上 主論文一 皮膚科領域ニ於ケル「ヒヨレストローセ」ニ就テ三篇
- 寺島毅一 明治廿九年十月四日生 山形出身 同上 主論文一 腸脊髓液ノ物理化學的性質ヲ論ジ膠樣血液反應及「アツセルマン」氏反應ノ本態ニ及ブ
- 佐々木龜盛 滿鐵醫院 四一八 明治廿九年二月廿日生 廣島出身 同年東大大学院卒業 主論文一 同種血球凝集素ニ關スル知見補遺
- 小金井良一 東京本郷區曙町 一六 四一九 明治廿九年八月六日生 東京出身 同年東大大学院卒業 主論文一 結核菌ノ脂質及ビ耐熱染色性ニ關スル研究
- 原田顯 相州慶越伸原町 一〇九 四二〇 明治廿九年三月三日生 東京出身 同年東大審査 主論文一 澱粉酵素ニヨル澱粉ノ分解ニ就テ
- 吉田得次 朝鮮京城龍山鐵 道病院 四二一 明治廿九年四月廿日生 新潟出身 同年東大大学院卒業 主論文一 呼吸中樞ノ研究三篇
- 村上謙次郎 大阪府中河内郡 北高安村音興寺 四二二 明治廿九年十月五日生
- 大阪出身 同年東大大学院卒業 主論文一 内分泌腺抽出ノ骨適合ニ及ボス影響ニ就テ
- 關場代五郎 岡山市榮町 四二三 開業 明治廿九年七月十日生 岡山出身 同年東大審査 主論文一 子宮粘膜炎ニ其細胞間纖維ヲ顯露シテ檢セル週期的變化知見補遺
- 古宇田做太郎 大阪市東區上本 町八ノ一七八 四二四 明治廿九年三月廿日生 茨城出身 同年東大審査 主論文一 皮膚病患者ノ尿中ニ於ケル「アトリン」代謝ニ關スル知見補遺
- 街風俊雄 宇都宮市大寬町 三丁目 四二五 宇都宮病院
- 千葉出身 同上 主論文一 女性生殖管壁ニ於ケル免疫原及其他吸收ニ就テ
- 茂在照 東京下谷谷中三 崎町一八 四二六 明治廿九年二月九日生 茨城出身 同上 主論文一 血清アルブミン及ビグロブリンノ生理的測定法ニ就テ
- 石橋長英 東京小石川區林 町七〇 四二七 明治廿九年四月廿日生 千葉出身 同上 主論文一 尿酸尿ノ血清化學的研究
- 植松半四郎 明治廿九年六月一日生 四二八

愛知出身 同上 主論文一 腸膜性迷路
 類ニ就テ實驗的研究(大正十三年逝去)
 堀内秀治 大阪市東區住吉
 町四六河野方
 四二九 明治廿年十月三日生
 奈良出身 同年九大卒業 主論文一
 一 過血糖ノ研究
 執行作彌 福岡縣船橋郡仲
 原村
 四三〇 明治廿年六月廿日生
 福岡出身 同上 主論文一 甲状腺ノ形
 態ニ關スル研究(附上皮小體 甲状腺)
 ノ形態ニ就テ
 奥田祐 札幌市區南二條
 東一ノ一
 四三一 明治廿年三月廿日生
 北海道出身 大正十二年九大卒業 主論
 文一「ヒオチナアネウス、バクテリヲフア
 ーゲン」
 内海元一郎 明治廿年三月廿日生
 四三二 明治廿年三月廿日生
 福井出身 同年京大審査 主論文一 横
 紋筋ノ病理及病理解剖學的研究四篇
 西尾重 京都市區東區
 ノ川一〇
 四三三 明治廿年五月廿日生
 三重出身 大正十三年京大大学院卒業
 主論文一 痔核ノ注射療法ニ就テキノ實
 驗的並ニ臨床的研究
 加藤繁 前橋市本町四三
 四三四 明治廿年五月廿日生
 福井出身 同上 主論文一 腸管壁瘻症
 ノ「メハニズムス」ニ就テ
 安藤守元 明治廿年二月六日生
 四三五 明治廿年二月六日生
 岐阜出身 同年京大審査 主論文一 捲
 傷性肺炎ノ實驗的研究
 中川三朗 大阪府下東成郡
 天王寺島瀨病院
 四三六 明治廿年十月七日生
 大阪出身 同上 主論文一 痘病原體兼
 肺免疫元ノ點眼ニ依ル角膜ノ局所性自働
 免疫附免疫ノ理論
 山林邦太郎 大阪府西區阿波
 座三ノ四〇
 四三七 明治廿年十月廿日生
 大阪出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 血球ノ凝集反應ニ就テ外二篇
 村上俊泰 東京赤坂區青山
 南町五ノ七〇
 四三八 熱帯醫學大教授
 明治廿年一月一日生
 東京出身 同年京大審査 主論文一 硝
 子體葡萄糖及水晶體ノ特異性ニ關スル血
 清學的研究
 佐藤三千三郎 盛岡市縣立病院
 四三九 明治廿年九月廿日生
 新潟出身 同年九大審査 主論文一 酸
 化(ヘモグロビン)ノ組織並ニ機能ニ關ス
 ル研究
 北原義尊 九大内
 四四〇 明治廿年四月十日生
 福岡出身 同上 主論文一 人類及哺乳
 動物ノ生殖腺間細胞ノ發生並ニ其ノ生理
 的意義ニ就テ
 楠正人 福岡市外千代町
 崇福寺新町一九
 四四一 明治廿年二月廿日生
 福岡出身 同上 主論文一 肝臟機能ニ
 關スル實驗的研究
 石谷兵九郎 東京芝區高輪南
 町一七
 四四二 明治廿年四月七日生
 東京出身 同年京大審査 主論文一 溶
 血性双極體ノ非特殊性發生及其抗體元ニ
 就テ
 森茂樹 京大醫學部
 四四三 京大助教授
 明治廿年二月廿日生
 兵庫出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 組織的脂肪染色ニ關スル研究
 本永七五郎 京都府立醫大内
 四四四 明治廿年十月廿日生
 山口出身 同年京大審査 主論文一 本
 邦人ノ口腔底ノ解剖學補遺
 永瀬正太 朝鮮釜山府草梁
 洞鐵道病院内
 四四五 明治廿年六月七日生
 岡山出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 養液中ノ「カルシウム」量ガ「アドレ
 ナリン」作用ニ及ボス影響ニ就テ
 梅田喜四郎 南滿洲鐵道醫院
 四四六 明治廿年一月廿日生
 京都出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 抽出家兔腎ニ於ケル藥物學的研索ノ
 方法ニ就テ
 里見三男 京大大学院
 四四七 明治廿年四月六日生
 東京出身 同上 主論文一 抗酸產生ニ
 及ボス脾ノ影響ニ關スル實驗的研究三篇
 今井通 京都市相國寺東
 門前町六三七
 四四八 明治廿年四月六日生
 千葉出身 同上 主論文一 蛋白質ノ
 「メチール」誘導體ニ就テ
 村尾信逸 明治廿年一月四日生
 四四九 明治廿年一月四日生
 福岡出身 同年京大審査 主論文一 卵
 巢子宮ニ於ケル脂肪問題二篇
 石川信男 小倉市堺町六〇
 四五〇 明治廿年七月廿日生
 愛知出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 日本人女子骨盤器解剖學的研究
 平山遠 盛岡市下小路
 四五二 日赤岩手支部病院
 明治廿年七月廿日生
 京都出身 同上 主論文一 諸種化膿菌
 ノ血清傳染ニ因ル短管狀骨管並ニ扁平
 骨骨髓炎ノ實驗的研究
 澤井爲三 京大大学院
 四五二 明治廿年三月九日生
 奈良出身 同上 主論文一 骨折固定綿
 帶後ニ發生スル筋變縮ノ成生原因ニ就テ
 (實驗的研究)

淺田一夫 京都府河内郡
 角
 四五三 明治廿年二月廿日生
 京都出身 同年京大審査 主論文一「ア
 ビタミノ「セ」症ニ於ケル脂肪新陳代謝
 板澤庄五郎 室蘭市常盤町一
 三五
 四五四 室蘭病院長
 明治廿年三月廿日生
 愛知出身 同年京大審査 主論文一 天
 然痘ニ關スル研究
 相原博 明治廿年七月廿日生
 四五五 明治廿年七月廿日生
 東京出身 同上 主論文一 動脈ニ於ケ
 ル彈力型及筋肉型ノ移行ニ就テ(大正十
 三年逝去)
 上田敬治 明治廿年八月廿日生
 四五六 明治廿年八月廿日生
 奈良出身 同年京大審査 主論文一 腦
 ニ於ケル理學的並ニ化學的傷害及諸種病
 的狀態ニ際シテ發現スル變性的並修理的組
 織變更ニ就テ並ニ「グリア」組織ノ病理組
 織學的知見補遺
 田宮猛雄 東京府下上大崎
 四四四
 四五七 傳研技師 明治廿年一月廿日生
 大阪出身 同年京大審査 主論文一 啤
 脫痘感染及ヒ免疫ニ關スル實驗的研究
 兒玉桂二 東京府下大森木
 村力一六六〇北
 四五八 明治廿年六月廿日生
 滋賀出身 同上 主論文一 蛋白質ノ物
 ノ「メハニズムス」ニ就テ
 安藤守元
 四三五 明治廿年二月六日生
 岐阜出身 同年京大審査 主論文一 捲
 傷性肺炎ノ實驗的研究
 中川三朗 大阪府下東成郡
 天王寺島瀨病院
 四三六 明治廿年十月七日生
 大阪出身 同上 主論文一 痘病原體兼
 肺免疫元ノ點眼ニ依ル角膜ノ局所性自働
 免疫附免疫ノ理論
 山林邦太郎 大阪府西區阿波
 座三ノ四〇
 四三七 明治廿年十月廿日生
 大阪出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 血球ノ凝集反應ニ就テ外二篇
 村上俊泰 東京赤坂區青山
 南町五ノ七〇
 四三八 熱帯醫學大教授
 明治廿年一月一日生
 東京出身 同年京大審査 主論文一 硝
 子體葡萄糖及水晶體ノ特異性ニ關スル血
 清學的研究
 佐藤三千三郎 盛岡市縣立病院
 四三九 明治廿年九月廿日生
 新潟出身 同年九大審査 主論文一 酸
 化(ヘモグロビン)ノ組織並ニ機能ニ關ス
 ル研究
 北原義尊 九大内
 四四〇 明治廿年四月十日生
 福岡出身 同上 主論文一 人類及哺乳
 動物ノ生殖腺間細胞ノ發生並ニ其ノ生理
 的意義ニ就テ
 楠正人 福岡市外千代町
 崇福寺新町一九
 四四一 明治廿年二月廿日生
 福岡出身 同上 主論文一 肝臟機能ニ
 關スル實驗的研究
 石谷兵九郎 東京芝區高輪南
 町一七
 四四二 明治廿年四月七日生
 東京出身 同年京大審査 主論文一 溶
 血性双極體ノ非特殊性發生及其抗體元ニ
 就テ
 森茂樹 京大醫學部
 四四三 京大助教授
 明治廿年二月廿日生
 兵庫出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 組織的脂肪染色ニ關スル研究
 本永七五郎 京都府立醫大内
 四四四 明治廿年十月廿日生
 山口出身 同年京大審査 主論文一 本
 邦人ノ口腔底ノ解剖學補遺
 永瀬正太 朝鮮釜山府草梁
 洞鐵道病院内
 四四五 明治廿年六月七日生
 岡山出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 養液中ノ「カルシウム」量ガ「アドレ
 ナリン」作用ニ及ボス影響ニ就テ
 梅田喜四郎 南滿洲鐵道醫院
 四四六 明治廿年一月廿日生
 京都出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 抽出家兔腎ニ於ケル藥物學的研索ノ
 方法ニ就テ
 里見三男 京大大学院
 四四七 明治廿年四月六日生
 東京出身 同上 主論文一 抗酸產生ニ
 及ボス脾ノ影響ニ關スル實驗的研究三篇
 今井通 京都市相國寺東
 門前町六三七
 四四八 明治廿年四月六日生
 千葉出身 同上 主論文一 蛋白質ノ
 「メチール」誘導體ニ就テ
 村尾信逸 明治廿年一月四日生
 四四九 明治廿年一月四日生
 福岡出身 同年京大審査 主論文一 卵
 巢子宮ニ於ケル脂肪問題二篇
 石川信男 小倉市堺町六〇
 四五〇 明治廿年七月廿日生
 愛知出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 日本人女子骨盤器解剖學的研究
 平山遠 盛岡市下小路
 四五二 日赤岩手支部病院
 明治廿年七月廿日生
 京都出身 同上 主論文一 諸種化膿菌
 ノ血清傳染ニ因ル短管狀骨管並ニ扁平
 骨骨髓炎ノ實驗的研究
 澤井爲三 京大大学院
 四五二 明治廿年三月九日生
 奈良出身 同上 主論文一 骨折固定綿
 帶後ニ發生スル筋變縮ノ成生原因ニ就テ
 (實驗的研究)
 淺田一夫 京都府河内郡
 角
 四五三 明治廿年二月廿日生
 京都出身 同年京大審査 主論文一「ア
 ビタミノ「セ」症ニ於ケル脂肪新陳代謝
 板澤庄五郎 室蘭市常盤町一
 三五
 四五四 室蘭病院長
 明治廿年三月廿日生
 愛知出身 同年京大審査 主論文一 天
 然痘ニ關スル研究
 相原博 明治廿年七月廿日生
 四五五 明治廿年七月廿日生
 東京出身 同上 主論文一 動脈ニ於ケ
 ル彈力型及筋肉型ノ移行ニ就テ(大正十
 三年逝去)
 上田敬治 明治廿年八月廿日生
 四五六 明治廿年八月廿日生
 奈良出身 同年京大審査 主論文一 腦
 ニ於ケル理學的並ニ化學的傷害及諸種病
 的狀態ニ際シテ發現スル變性的並修理的組
 織變更ニ就テ並ニ「グリア」組織ノ病理組
 織學的知見補遺
 田宮猛雄 東京府下上大崎
 四四四
 四五七 傳研技師 明治廿年一月廿日生
 大阪出身 同年京大審査 主論文一 啤
 脫痘感染及ヒ免疫ニ關スル實驗的研究
 兒玉桂二 東京府下大森木
 村力一六六〇北
 四五八 明治廿年六月廿日生
 滋賀出身 同上 主論文一 蛋白質ノ物
 質ニ關スル知見外一篇
 林能昭 九大醫學部内
 四六五 九大助教授
 明治廿年八月廿日生
 東京出身 同上 主論文一 六才ヨリ廿
 才ニ至ル兒童生徒睡眠時間ニ就テ外二篇
 西川義英 岡山市内山下樓
 四六六 岡山醫大教授
 明治廿年三月廿日生
 和歌山出身 同年京大審査 主論文一
 小腸橋角毒 聽神經腫瘍ノ病理
 緒方英俊 鹿兒島縣立病院
 四六七 明治廿年七月廿日生
 大阪出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 酸素缺乏症ニ關スル研究
 合馬慈 明治廿年三月六日生
 四六八 明治廿年三月六日生
 大分出身 同年九大審査 主論文一 聽
 力ノ他覺的測定法
 長松英一 明治廿年六月廿日生
 四六九 明治廿年六月廿日生
 山口出身 同上 主論文一 硝子機軟骨
 細胞ノ研究附同附圖
 石藤文七 朝鮮忠清南道公
 州慈惠醫院
 四七〇 明治廿年四月廿日生
 廣島出身 同上 主論文一 膝關節「メ
 ニスグス」及關節軟骨ノ組織及病理ノ補
 遺
 早石寶藏 明治廿年八月廿日生
 四七四 明治廿年八月廿日生
 愛知出身 同年京大審査 主論文一 諸
 種色素及其ノ還元物質ノ細菌發育ニ及
 ス影響ノ研究附「チフス」菌分離培養基ニ
 就テ
 秋谷博愛 埼玉縣北足立郡
 田岡宮村
 四七五 明治廿年九月廿日生
 埼玉出身 同年京大大学院卒業 主論文
 一 凍冷作用ノ眼疾患ニ對スル影響ニ就
 テ附動物實驗
 陣峻義等 兵庫縣印南郡伊
 保村
 四七六 倉敷勞動科學研究所
 明治廿年九月四日生
 東京出身 同年京大審査 主論文一 乳
 兒死亡ノ社會的原因ニ對スル考察

梅澤純一 札幌市鐵道病院 官舎
 四七七 明治六年一月三日生
 竹玉出身 同上 主論文一 膜透選ニ對スル鹽類ノ影響
 永井一夫 北海道帝大内
 四七八 北大助教
 明治二年三月二日生
 大阪出身 同上 主論文一 消化酵素ニ關スル研究
 原正
 四七九 明治五年七月五日生
 鳥取出身 同上 主論文一 死利因ノ頭骨及ヒ腦ニ對テ
 志賀光雄 神戸市古湊通三ノ一
 四八〇 明治六年七月五日生
 兵庫出身 同上 主論文一 臭臭症ノ原因ニ關スル研究
 大森千束
 四八一 明治五年十月廿日生
 新潟出身 同年新潟大學院卒業 主論文一 日本住血吸蟲血液像ニ就テ
 甲斐外志彦 鹿児島市外海濱院々長
 四八二 明治廿年三月廿日生
 群馬出身 同年九大審査 主論文一 脊髓ニ於ケル交感神經中樞ニ關スル研究
 關正次
 四八三 明治七年三月五日生
 岡山出身 同年岡山大學院卒業 主論文一 血
 清電氣反應ニ基ク毒ノ一新診斷法
 古賀寅雄 佐賀縣杵島郡武雄町石井良一方
 四八四 明治廿年一月廿日生
 佐賀出身 同年阪大教授會審査 主論文一 「チアスターゼ」ニ及ボス血清ノ作用ニ就テ
 河野亮太郎
 四八五 明治六年十月六日生
 福岡出身 同年九大教授會審査 主論文一 哺乳動物迷路器官ノ發生學補遺
 淺田爲義 福岡市外馬出小學校前
 四八六 明治七年五月廿日生
 長崎出身 同上 主論文一 四肢管狀骨骨幹端ニX線像ニ現レル並行橫線ノ發生並ニ其意義ニ就テ
 井利膜
 四八七 明治十七年六月生
 新潟出身 同上 主論文一 第八腦神經中樞經路ノ實驗的研究
 尹治衡
 四八八 明治九年九月一日生
 朝鮮出身 同上 主論文一 健康肺及結核肺ニ及ボス氣胸ノ作用
 本名文任 臺北千歲町二ノ廿八
 四八九 臺灣總督府醫院外科醫長
 福島出身 同年東大教授會審査 主論文一 水痘ニ就テ
 中村男也 神戸市平野五宮町二一九
 四九〇 明治廿一年一月廿日生
 長野出身 同上 主論文一 「マウス」體內ニ於ケル溶血性連鎖球菌ノ性質
 吉澤惟雄
 四九一 明治六年八月廿日生
 群馬出身 同上 主論文一 實驗的結核病ニ對スル「ツベルクリン」及「結核菌體成分」ノ影響
 神尾友修 東京神田區旗籠町二ノ一三
 四九二 自宅開業 明治七年十月廿日生
 福島出身 同上 主論文一 耳硬化症ノ原因ニ關スル實驗的研究
 篠田義市 東京府下窪橋町柏木三四八
 四九三 自宅開業 明治三年一月廿日生
 山形出身 東大大学院卒 主論文一 「グイタミン」缺乏症ニ關スル動物實驗附人類脚氣トノ比較研究
 折田顯 大阪市西區住吉町四八河野方
 四九四 明治廿年四月四日生
 鹿児島出身 同上 主論文一 卵巣ト望素代謝トニ關スル實驗的研究
 黒田昌惠 東京市本郷區駒込病院内
 四九五 駒込病院内科
 明治廿五年五月五日生
 茨城出身 同年東大審査 主論文一 「コレラ」腎及ヒ蟲核突起ニ於ケル病理解剖學的新知見ニ就テ
 向井人市 福井市春吉發町
 四九六 九大教授 明治三年七月廿日生
 愛媛出身 同年九大審査 主論文一 健康婦人、飯、産褥婦及ヒ産婦、子癩患者並ニ成熟胎兒血液ニ於ケル二、三理化學的性狀ノ比較研究並ニ相互關係ニ就テ
 石山福二郎 福岡市外箱崎社家町六
 四九七 九大助教
 明治六年五月九日生
 東京出身 同年東大審査 主論文一 膽汁ノ十二指腸内排泄ニ際スル膽囊機能ノ實驗的研究特ニ膽囊ニ存スル「ヒヨリ」ノ標物質ト「アドレナリン」トノ關係ニ就テ
 伊藤久治 福岡市大通旭小路
 四九八 整形外科 明治三年十月八日生
 長野出身 同年九大大学院卒業 主論文一 人體脊柱ノ生理學的彎曲ノ成立ニ就テ(其ノ力學的研究)
 鈴木諒爾 佐世保海軍病院内
 四九九 軍醫 明治九年二月十日生
 埼玉出身 同上 主論文一 種々ノ年齡ニ於ケル人體管狀骨々端部骨長成長附所謂正常內化骨ノ本態ニ就テ
 近藤郁太郎 高崎市巾島町上
 五〇〇 高知病院 明治六年三月三日生
 京都出身 同年京大大学院卒業 主論文一 心臟ノ毒物攝取ニ關スル實驗ニ就テ
 久保朝二 京都市御靈鳥居前町上ル

五〇一 自宅開業 明治十年五月三日生
 兵庫出身 同上 主論文一 神經筋生理補遺
 井上硬 京都市廣道九太町津田方
 五〇二 京大講師 明治七年七月四日生
 岡山出身 同上 主論文一 膽汁排泄ノ生理ニ關スル研究外三篇
 小喜多晴雄
 五〇三 明治五年七月五日生
 長野出身 同上 主論文一 可移植性鼠肉腫狀新生物ニ就テノ實驗的研究特ニ可移植性鼠肉腫ノ實驗的發生ニ就テ
 高橋慶吉 京大醫學部内
 五〇四 明治九年五月廿日生
 岐阜出身 同年京大大学院卒業 主論文一 「ヒヨリ」ノ血清學的研究外一篇
 松井敏行 奉天市八幡町十
 五〇五 南滿醫學堂教授
 明治六年五月三日生
 兵庫出身 同上 主論文一 血小板ノ血清學的研究外二篇
 西塚泰順 京都市三本木丸太町上ル
 五〇六 京大講師 明治三年三月七日生
 三重出身 同上 主論文一 本邦人胎兒初生兒小兒及成人ノ上肢ノ骨學補遺
 大川恭徳 京都市外濠橋町角筈七八八
 五〇七 慈惠醫大講師
 明治六年七月二日生
 靜岡出身 同年東大審査 主論文一 「コレステリン」ノ生物學的意義ニ關スル研究
 河合五郎 一ノ宮市三ツ石
 五〇八 開業 明治三年九月一日生
 東京出身 同上 北大審査 主論文一 表皮細胞毒(エピテリトキシシン)ノ病理學的研究
 百瀬宗 札幌市北十六條四五丁目
 五〇九 北大講師 明治五年七月五日生
 長野出身 同上 主論文一 組織血液間ニ於ケル水分及ビ食鹽代謝ニ關スル實驗的研究
 萩原久作
 五一〇 明治五年三月五日生
 愛知出身 同年東大審査 主論文一 人類黃體ノ研究
 廣瀬涉 沼津市淺間町
 五一一 橫濱市橫濱病院
 明治五年九月五日生
 神奈川出身 同上 主論文一 經氣道の過敏症海狗過敏症ノ本態
 奥村鶴吉
 五一三 明治五年三月十日生
 神奈川出身 同年東大審査 主論文一 鹹蝕ノ起因タル鹽酸作用ニ關スル研究
 伊東準治
 五一三 慈大教授 明治廿年九月三日生
 山形出身 同年阪大審査 主論文一 齒牙硬組織營養ニ關スル研究
 福島尚純 東京市本郷區駒込富士前町四三
 五一四 開業 明治三年三月五日生
 福岡出身 同年東大審査
 小玉作治 仙台市發町二六
 五一五 東北助教
 明治六年二月五日生
 秋田出身 同年北大審査 主論文一 副腎アドレナリン分泌速度ニ對スル知覺神經刺激ノ影響
 森田正馬 東京市本郷區駒込區藥菜町六五
 五一六 慈惠醫大教授
 明治七年一月六日生
 高知出身 同年東大審査 主論文一 神經質ノ本態及ビ療法
 内野捨一 奉天八幡町九
 五一七 南滿醫學堂教授
 明治九年七月五日生
 熊本出身 同上 主論文一 脾臟片移植ノ實驗的研究
 三木良英 東京府下西大久保三四
 五一八 陸軍々醫學堂教授
 明治廿年三月三日生
 兵庫出身 同上 主論文一 心室初電氣心描線ノ期間ニ關スル實驗的並臨床的研究
 木村律郎 橫濱市神奈川町九〇三
 五一九 軍醫 明治廿年二月三日生
 神奈川出身 同上 主論文一 肉體の勞働ニ依ル疲勞ノ研究
 田邊文四郎 東京府下杉並町高圓寺六六二
 五二〇 陸軍々醫學堂教授
 明治五年八月五日生
 鳥取出身 同上 主論文一 實驗的感染南京鼠ニ見出シタル住血吸蟲ノ一新屬種「シストンマツウ」ノ發育史
 清瀧丑之助 大阪市東區北久太郎町三ノ十六
 五二一 自宅開業 明治三年七月七日生
 大阪出身 同上 主論文一 「ヘモグロビン」及ビ爾他血液蛋白質ノ「トリプトファン」及ビ「チロシン」量ニ就テ
 淺見忠兵衛 東京市本郷區根津西須賀町十三
 五二二 鹽田外科勤務
 明治三年十月八日生
 埼玉出身 同上 主論文一 惡性腫瘍ニ對スルX線ノ生物學的作用ニ關スル實驗的研究
 岡本寬雄
 五二三 明治三年七月五日生
 熊本出身 同年東大審査 主論文一 蝦蟇ノ肝臟内色素ニ就テ外二篇
 久保盛徳 東京市四谷區南寺町二三
 五二四 慶大助教
 明治六年三月六日生
 大阪出身 同上 主論文一 麻酔時ニ於ケル末梢神經ノ陰性變動ニ就テ

- 大和田政實 東京四谷區新宿三光町一〇七 五二五 東京市技師
- 長野出身 同上 主論文一 下水ノ細菌學的研究
- 田岡清夫 明治六年九月廿日生 五二六 東京市小石川區
- 德島出身 同上 主論文一 散毒血清反應ニ關スル研究
- 桑島要 東京市小石川區原町一〇九 五二七 札幌日赤北海道支部病院副院長
- 香川出身 同年東大審査 主論文一 血液凝固ノ諸種要因ニ關スル研究
- 鹽路英吉 東京市赤坂區靈南坂町一〇 五二八 日赤本病院
- 和歌山出身 同上 主論文一 食物ノ脂肪力動物體內脂肪質ノ化學的性質ニ及ボス影響ニ就テ
- 安澤要 台北市千歲町二五二九 台北醫院 明治九年二月廿日生
- 新潟出身 同上 主論文一 齒冠部ニ於ケル楔狀缺損及其ノ原因ニ就テ
- 小林靜雄 名古屋市中區武平町三ノ一〇 五三〇 愛知醫大教授
- 廣島出身 同上 主論文一 聽器外傷ノ實驗的研究
- 岩永幾太郎 福島市新町廿五 五三一 明治三年八月廿日生
- 佐賀出身 同上東北大學院卒業 主論文一 鐵代謝ニ關スル實驗的研究外六篇
- 馬淵亨三郎 濱松市田町一八 五三二 自宅開業 明治六年四月廿日生
- 靜岡出身 同年東大審査 主論文一 人類女子生殖器神經ニ關スル研究殊ニ其月經延遲ニ關スル變化ニ就テ
- 眞家眞 東京市牛込區藥土八幡町九 五三三 自宅開業 明治六年二月廿日生
- 茨城出身 同上 主論文一 「アンチゲイン」ノ經絡的輸入ト「アナフライラキシー」トノ關係
- 小島三郎 東京市芝區白金三光町四七七 五三四 傳染病研究所
- 岐阜出身 同上 主論文一 糖含有培養基中ノ細菌ト水蒸氣イオン濃度トノ關係ニ就キテノ知見補遺
- 齋藤茂吉 東京市赤坂區青山南町五ノ八一 五三五 長崎醫大教授
- 東京出身 同上 主論文一 痲痺性癱瘓患者ノ大腦ニ就テ
- 岩井眞金 明治七年七月廿日生 五三六 明治七年七月廿日生
- 東京出身 同年東大審査 主論文一 水素イオン濃度ノ冠狀血管及ビ心臟機能ニ及ボス影響ノ研究
- 牧亮吉 明治七年五月廿日生 五三七 明治七年五月廿日生
- 佐賀出身 同上 主論文一 神經麻痺部位ニ於ケル興奮傳導ニ就テ
- 田結宗誠 兵庫縣武庫郡御影町篠坪 五三八 大阪濟生會病院院長
- 岐阜出身 同上 主論文一 培養結核菌及ビ組織結核菌ノ結核動物ニ對抗スル殺菌力ノ比較研究
- 津崎孝道 京城崇四洞五八 五三九 京城醫專教授
- 大分出身 同上 主論文一 有尾兩棲類ニ於ケル滑車神經ノ解剖
- 皆見省吾 岡山市下田町四七四〇 岡山醫大教授 明治六年七月一日生
- 石川出身 同年東大審査 主論文一 所謂皮膚腺ニ就テ
- 高橋統閔 明治廿年二月廿日生 五四一 山梨出身 同年東大審査 主論文一 乳汁分泌ノ生理學補遺
- 永野重業 明治廿年二月十日生 五四二
- 神奈川出身 同年東大審査 主論文一 循環血液中ニ有核赤球ノ出現スル要約ニ就テノ實驗的研究
- 渡邊民夫 東京市小石川區原町二三 五四三 明治五年四月廿日生
- 神奈川出身 同上 主論文一 血液凝固ノ研究
- 小松弘介 明治五年四月九日生 五四四 岩手出身 同上 主論文一 胃粘膜及ビ腸免疫血清ノ胃液及ビ尿液ニ及ボス影響ニ就テ
- 勝部近義 東京市本區千歲木町三八ノ五 五四五 明治三年七月廿日生
- 鳥取出身 同上 主論文一 「キニート」ノ利尿作用ニ關スル研究
- 井口春久 明治九年二月廿日生 五四六 東京出身 同上 主論文一 變形「サイクル」ニテ動作スル壓縮冷機ノ理論及ビ實驗
- 宗文江 東京市東區下二番町六九 五四七 自宅開業 明治七年七月廿日生
- 東京出身 同上 主論文一 膀胱壁透過性ニ關スル研究
- 篠田紉 東京市本區丸山新町二 五四八 明治五年七月廿日生
- 東京出身 同年東大大學院卒業 主論文一 平常妊娠產褥期ニ於ケル血清化學的

- 變化ニ就テ
- 江藤逸雄 熊本縣菊池郡那内村 五四九 自宅開業 明治廿年八月一日生
- 熊本出身 同上 主論文一 「グリアアザン」ニ關スル知見補遺
- 森田公平 京都市岡崎法勝寺町池ノ内八四池田方 五五〇 明治廿年二月廿日生
- 山口出身 同年東大審査 主論文一 木炭及ビ炭水瓦斯ノ成分ト其ノ中毒現象ニ就テ外二篇
- 多田嘉徳 明治廿年九月廿日生 五五一 香川出身 同年東大大學院卒業 主論文一 肝臟及ビ腎臟ノ色素排泄機能
- 長谷川徳三 福岡市外箱崎小學校 五五二 明治廿年五月元日生
- 千葉出身 同年東大審査 主論文一 糖蟲ノ發育ニ關スル實驗的研究
- 勝野克巳 明治廿年三月廿日生 五五三 岐阜出身 同上 主論文一 「マリアア」ニ關スル二三ノ研究
- 内藤三郎 大塚前輔仁堂醫院 五五四 明治廿年七月廿日生
- 兵庫出身 同上 主論文一 生存セル「オスチオサグネーシス」イムノ「エグタ」ノ八個ニ本病ト「オスチオサグネーシス」イヤオサグネーシスト一致ニ就テ種々ノ骨
- 岩永幾太郎 福島市新町廿五 五三一 明治三年八月廿日生
- 佐賀出身 同上東北大學院卒業 主論文一 鐵代謝ニ關スル實驗的研究外六篇
- 馬淵亨三郎 濱松市田町一八 五三二 自宅開業 明治六年四月廿日生
- 靜岡出身 同年東大審査 主論文一 人類女子生殖器神經ニ關スル研究殊ニ其月經延遲ニ關スル變化ニ就テ
- 眞家眞 東京市牛込區藥土八幡町九 五三三 自宅開業 明治六年二月廿日生
- 茨城出身 同上 主論文一 「アンチゲイン」ノ經絡的輸入ト「アナフライラキシー」トノ關係
- 小島三郎 東京市芝區白金三光町四七七 五三四 傳染病研究所
- 岐阜出身 同上 主論文一 糖含有培養基中ノ細菌ト水蒸氣イオン濃度トノ關係ニ就キテノ知見補遺
- 齋藤茂吉 東京市赤坂區青山南町五ノ八一 五三五 長崎醫大教授
- 東京出身 同上 主論文一 痲痺性癱瘓患者ノ大腦ニ就テ
- 岩井眞金 明治七年七月廿日生 五三六 明治七年七月廿日生
- 東京出身 同年東大審査 主論文一 水素イオン濃度ノ冠狀血管及ビ心臟機能ニ及ボス影響ノ研究
- 牧亮吉 明治七年五月廿日生 五三七 明治七年五月廿日生
- 佐賀出身 同上 主論文一 神經麻痺部位ニ於ケル興奮傳導ニ就テ
- 田結宗誠 兵庫縣武庫郡御影町篠坪 五三八 大阪濟生會病院院長
- 岐阜出身 同上 主論文一 培養結核菌及ビ組織結核菌ノ結核動物ニ對抗スル殺菌力ノ比較研究
- 津崎孝道 京城崇四洞五八 五三九 京城醫專教授
- 大分出身 同上 主論文一 有尾兩棲類ニ於ケル滑車神經ノ解剖
- 皆見省吾 岡山市下田町四七四〇 岡山醫大教授 明治六年七月一日生
- 石川出身 同年東大審査 主論文一 所謂皮膚腺ニ就テ
- 高橋統閔 明治廿年二月廿日生 五四一 山梨出身 同年東大審査 主論文一 乳汁分泌ノ生理學補遺
- 永野重業 明治廿年二月十日生 五四二
- 神奈川出身 同年東大審査 主論文一 循環血液中ニ有核赤球ノ出現スル要約ニ就テノ實驗的研究
- 渡邊民夫 東京市小石川區原町二三 五四三 明治五年四月廿日生
- 神奈川出身 同上 主論文一 血液凝固ノ研究
- 小松弘介 明治五年四月九日生 五四四 岩手出身 同上 主論文一 胃粘膜及ビ腸免疫血清ノ胃液及ビ尿液ニ及ボス影響ニ就テ
- 勝部近義 東京市本區千歲木町三八ノ五 五四五 明治三年七月廿日生
- 鳥取出身 同上 主論文一 「キニート」ノ利尿作用ニ關スル研究
- 井口春久 明治九年二月廿日生 五四六 東京出身 同上 主論文一 變形「サイクル」ニテ動作スル壓縮冷機ノ理論及ビ實驗
- 宗文江 東京市東區下二番町六九 五四七 自宅開業 明治七年七月廿日生
- 東京出身 同上 主論文一 膀胱壁透過性ニ關スル研究
- 篠田紉 東京市本區丸山新町二 五四八 明治五年七月廿日生
- 東京出身 同年東大大學院卒業 主論文一 平常妊娠產褥期ニ於ケル血清化學的
- 矢田浩藏 東京市本區龜澤町一ノ廿六 五六八 東京鐵道病院
- 東京出身 同上 主論文一 馬ノ血液ノ種々ノ成分ニテ免疫セル家兎ノ血清學的的研究
- 岩井勝三郎 東京市本區駒込坂下町一四六 五六九 明治廿年八月廿日生
- 宮城出身 同上 主論文一 諸種ノ揮發性物質特ニ石油メンチンノ抗溶血作用ノ分析的研究
- 中島駒次郎 東京市本區赤城元町九 五七〇 自宅開業 明治廿年三月廿日生
- 佐賀出身 同上 主論文一 種々ノ鹽類溶液ノ小腸内吸收ニ就テ
- 吉川仲 名古屋市中區千種町北畑一〇五 五七一 明治廿年四月廿日生
- 靜岡出身 同上 主論文一 乳汁及乳腺ノ女性生殖器ニ及ボス影響ニ關スル實驗

的研究
 高瀬清 〇六 長崎市愛宕町四
 五七二 熊本出身 同上 主論文一 躁鬱病ニ就
 大庭國紀 東京赤坂區青山
 五七三 南町三ノ六〇
 福岡出身 大正十三年慶大審査 主論文
 一 肉芽組織ノ研究
 江口忠六 伏見台滿鐵新工
 五七四 場舎
 佐賀出身 同上 主論文一 テーレル氏
 現象ノ研究
 福島寛 阪大第二内科
 五七五
 大阪出身 同上阪大審査 主論文一 血
 液解糖酵素ノ研究補遺
 吉松信實 阪大醫化學教室
 五七六 明治廿一年一月廿日生
 和歌山出身 同上 主論文一 「アミノ」
 酸養價ニ就テ
 久保山高敏 大阪市北區上福
 五七七 島一ノ四〇三
 大阪出身 同上阪大々學院卒 主論文一
 下疳菌及其病原作用ニ關スル研究
 桂方平 阪大病理學教室
 五七八 明治廿一年一月廿日生
 廣島出身 同上 主論文一 モルモット
 ニ於ケル實驗的紫斑病ノ研究
 西業求 五七九 同年東大審査
 阿部資夫 東京府下下落合
 五八〇 明治十年生
 大分出身 同上 主論文一 甲狀腺動脈
 硬變ニ其レト全身動脈硬變トノ關係
 岡川正之 明治二十四年生
 五八一 德島出身 同上 京大審査 主論文一
 細胞ノ透膜性及腸壁ノ吸狀機轉ニ及ボス
 光學の廻旋ノ影響ニ就テ一篇
 原田四郎 明治二十一年生
 五八三 愛知出身 同上 主論文一 緩速砂層濾
 過池ノ使用期間並ニ濾過効力ニ關スル研
 究
 菱刈寅雄 明治二十一年生
 五八三 鹿兒島出身 同上 主論文一 長桿狀乳
 酸桿菌ノ研究一篇
 小西己代治 明治二十六年生
 五八四 長崎出身 同上 主論文一 「ワロカニ
 ソ」酸ノ研究三篇
 木村康 明治廿六年七月廿日生
 五八五 京大教授 明治廿六年七月廿日生
 京都出身 同上 主論文一 比色計ニヨ
 ル溶血現象ノ研究三篇
 松岡與之助 兵庫縣赤穂郡有
 五八六 年村 明治廿年十月廿日生
 兵庫出身 同上 主論文一 「トラホー
 ▲」ニ於テ角膜破裂帶中央部ニ出現スル
 斑點狀鉛白色角膜濁濁(偽黃腫性角膜濁
 濁)ノ本態ニ就キテ
 船石晋一 明治廿年七月九日生
 五八七 南滿醫學堂教授
 岡山出身 同上
 野村仁 神戸市役所
 五八八 明治廿年六月二日生
 大分出身 同上 主論文一 家屋ノ自然
 換氣ニ及ボス氣流ノ影響ニ就テ三篇就中
 窓前ノ氣流速度ニ就テ
 上田温良 明治廿年五月八日生
 五八九 滋賀出身 同上 主論文一 細菌性特殊
 沈澱子ノ血清學的性質ニ就テ附抗體一
 元説及抗體元一示説
 笠井經治郎 京都市千本松原
 五九〇 京都市病院
 德島出身 同上 主論文一 「バラ」赤痢
 菌(大原箕田菌)ノ研究二篇
 津田終吉 明治廿年七月六日生
 五九一 東京出身 同上慶大審査 主論文一 日
 光山椒魚ノ喉頭ノ發生ト形態トニ就テ
 竹内清 姫路市平野町飯
 五九三 長崎醫大助教
 兵庫出身 同上 九大審査 主論文一
 傳染性疾患ニ於ケル胸腺ノ變化外一篇
 松戸清重 明治二十五年生
 五九四 愛知出身 同上 主論文一 急性腸管閉
 塞「イレウス」ノ死因ニ關スル文獻研究
 石瀬五郎 明治十年生
 五九五 東京出身 同上 主論文一 肝臟輸血ニ
 依ル「アマロン」酸及「二三酸」動物體
 内ニ於ケル態度ニ就テ
 福田得志 京都市本區西
 五九三 片町九富士川方
 熊本出身 同上東大審査 主論文一 大
 腸菌毒ノ研究
 鳥海克己 福島縣郡山市清
 五九七 水澤三三
 山形出身 同上 主論文一 腸澤ノ構造
 並ニ形態的發生ニ就テ
 神谷甫彦 京都市牛込區藥王
 五九八 寺町四一日院方
 岐阜出身 同上 主論文一 腹腔内細胞
 ノ特異性ニ就テ並ニ白血球遊走現象ノ原
 理ニ關スル知見補遺

松井橋平 明治七年七月八日生
 五九九 東京出身 同上 主論文一 腸管ノ種々
 ノ部位ニ於ケル蛋白質及ビ「二」ノ含有
 炭素ノ吸收ニ關スル血清化學的研究
 藤井暢三 東京本區區町
 六〇〇 三ノ二一
 山口出身 同上 主論文一 糖質ノ理
 化學的性状ニ關スル研究
 川上禮治 東京市駒込區平
 六〇一 河町五ノ一四
 同上 主論文一 「アトロピン」ノ藥理ニ
 關スル知見補遺附、右旋ミンノ作用ニ就
 テ
 根本豊治 東京本區區東片
 六〇二 町九三
 同上 主論文一 鹽酸イントールエチー
 ルアミン(ルタミン)ノ藥理作用ニ關スル
 實驗的研究
 若山要二 東京本區區西片
 六〇三 町一〇
 同上 主論文一 化膿性肺炎ノ發生ニ就
 テ
 中村徳吉 東京京橋區明石
 六〇四 町七聖路加病
 同上 主論文一 別出セル扁桃腺ノ細菌
 學並ニ其ノ流行性扁桃腺炎ニ對スル關係
 森半兵衛 東京本區區金助
 町六七
 六〇五 明治廿年四月一日生
 同上 主論文一 體腔液、血液、乳糜尿
 ニ於ケル脂肪類及ビ脂肪體ノ研究
 和田由常 大連市播磨町大
 六〇六 和ホテル
 同上 主論文一 聽器比較生理學ノ補遺
 伊東常太郎 横濱市青木町下
 六〇七 台六八三
 同上 主論文一 金屬ノ所謂オリゴチナ
 ミー作用ニ關スル研究
 横田清 明治廿年八月廿日生
 六〇八 同上 主論文一 細菌ノ鞭毛ニ關スル研
 究
 太田賢一郎 東京赤坂區青山
 六〇九 五ノ二七
 長野出身 大正十三年慶大教授會審査
 主論文一 ヤツテノ二新醣糖體ニ就テ化
 學的研究外二篇
 草間良男 明治廿年四月三日生
 六一〇 長野出身 同上 主論文一 「オプトニン」
 ニヨル溶菌現象ノ實驗的研究
 福井龍起 明治廿年七月五日生
 六一一 東京出身 同上 主論文一 神經衰弱部
 位ニ於ケル興奮傳導ニ就テ
 京都出身 同上 主論文一 比色計ニヨ
 ル溶血現象ノ研究三篇
 松岡與之助 兵庫縣赤穂郡有
 五八六 年村 明治廿年十月廿日生
 兵庫出身 同上 主論文一 「トラホー
 ▲」ニ於テ角膜破裂帶中央部ニ出現スル
 斑點狀鉛白色角膜濁濁(偽黃腫性角膜濁
 濁)ノ本態ニ就キテ
 船石晋一 明治廿年七月九日生
 五八七 南滿醫學堂教授
 岡山出身 同上
 野村仁 神戸市役所
 五八八 明治廿年六月二日生
 大分出身 同上 主論文一 家屋ノ自然
 換氣ニ及ボス氣流ノ影響ニ就テ三篇就中
 窓前ノ氣流速度ニ就テ
 上田温良 明治廿年五月八日生
 五八九 滋賀出身 同上 主論文一 細菌性特殊
 沈澱子ノ血清學的性質ニ就テ附抗體一
 元説及抗體元一示説
 笠井經治郎 京都市千本松原
 五九〇 京都市病院
 德島出身 同上 主論文一 「バラ」赤痢
 菌(大原箕田菌)ノ研究二篇
 津田終吉 明治廿年七月六日生
 五九一 東京出身 同上慶大審査 主論文一 日
 天川保 開業
 六一二 大正十三年京大教授會審査 主論文一
 カンフェル屬ノ藥物學
 飯島清 京都市野道東竹
 六一三 屋町下ル吉野方
 同上 主論文一 神經切斷ト體切斷後ニ
 起ル筋萎縮ノ比較研究
 渡邊卓郎 京大大學院內
 六一四 鳥取出身 同上 主論文一 エムプロソ
 血液ト成熟動物血液トノ血清學的比較研
 究
 辻好潔 京大大學院內
 六一五 奈良出身 同上 主論文一 腎疾患「リ
 ヘミー」ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
 長塚三郎 岐阜市港町
 六一六 明治廿九年五月廿日生
 茨城出身 同上 主論文一 哺乳兒上氣
 道ノ細菌學的研究
 渡邊完 大阪市東區味原
 六一七 町六一ノ二
 兵庫出身 大正十三年東北大学教授會審査
 主論文一 胃運動機能ノ病理的生理補遺
 (植物性神經統ノ單一又ハ複合成分ノ麻
 痺及刺戟ノ胃緊張、蠕動並ニ胃門閉約
 第二對スル影響ニ就テ)
 吉永萌 福岡市千代町旭
 六一八 小路
 熊本出身 大正十三年九大教授會審査
 主論文一 動物體溫ニ關スル實驗的研究
 鳴井楠柱 明治二十二年生
 六一九 九大内科介補
 岡山出身 同上 主論文一 家兎ゲキタ
 リス餌食ニ依ル動脈硬化症及真正萎縮腎
 ノ實驗的生成ニ就テ
 細見憲 福岡市藥研町關
 六二〇 屋方
 京都出身 同上 主論文一 死組織移植
 ニ關スル實驗的並臨床的研究
 星野信夫 福岡市下濱口町
 六二一 明治廿年三月廿日生
 愛知出身 同上 主論文一 筋含有クレ
 アチン量ニ就テ
 八代春雄 別府市別府一九
 六二二 九一
 山梨出身 同上 主論文一 所謂小兒性
 進行延髓痲痺ノ知見補遺
 寺師義信 陸軍々醫所澤陸
 六二三 軍飛行隊附
 鹿兒島出身 大正十三年京大教授會審査
 主論文一 航空ノ生理衛生學的研究
 熊取成次 京都市南區寺永觀
 堂町一〇

- 六二四 明治廿五年五月七日生 和歌山出身 同上 主論文一 骨體性巨態細胞ノ研究
- 堀内 樂 東京市牛込區北町三六 明治廿五年十月三日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 含水炭素ノ吸收ト血糖トノ關係ニ就テ
- 桐原真一 朝鮮總督府醫院 官舎内 明治廿五年二月六日生 大阪府出身 同上 主論文一 人類血液ニ於ケル同種血球凝集反應ニ就テ
- 岩野正男 東京本郷區追分町三一富士見軒 明治廿五年十月廿九日生 佐賀出身 同上 主論文一 尿結合ノ分析ノ研究
- 高橋誠一 東京本郷區四片町一〇 明治廿五年二月廿日生 千葉出身 同年東大教授會審查 主論文一 食品中ノ澱粉糖化菌ニ就テ外參考論文七篇
- 中島忠 警口滿鐵病院長 明治廿五年七月八日生 島根出身 同上 主論文一 血液有形成分抗血清ノ細胞特異性特ニ其ノ生體內作用ノ比較研究
- 中田瑞穂 新潟市學校町通二番町 明治廿五年四月廿日生 東京出身 同上 主論文一 羂丸内分秘ニ關スル實驗的研究
- 青山敬二 大阪市立刀根山養養所 明治廿五年八月廿日生 同年東大教授會審查 主論文一 慢性肺結核成立ニ關スル實驗的研究補遺參考論文十二篇
- 高木耕三 京都市東洞院御池上ル船屋二一 阪大助教 明治廿五年三月廿日生 同上 主論文一 犬甲狀腺ノ細胞學的研究所
- 向井一 大阪市常安町阪大内 明治廿五年七月廿日生 同上 主論文一 家兔ハルアル氏線ノ公微組織學的研究
- 六三〇 大衛津成病院長 明治廿九年三月七日生 大阪出身 同上 主論文一 視器ノ解剖的研究外ニ參考論文十六篇
- 若松元三郎 京都聖護院山王町一六 明治廿九年十月九日生 愛媛出身 同上 主論文一 解熱藥ニ因ル體溫調節作用ノ障礙ニ就テノ實驗外參考論文五篇
- 前田和三郎 京大大学院 明治廿九年七月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 内分泌腺ノ胃機能ニ及ボス影響ニ就テ外參考論文五篇
- 小菅賢 京大大学院 明治廿九年八月廿日生 三重出身 同上 主論文一 非持殊性判義ノ家兔血漿量液凝固及血球沈降速度ニ及ボス影響ニ就テ外參考論文六篇
- 神竹之助 青森市濱町一八ノ二 明治廿九年五月一日生 大正十三年北大教授會審查 主論文一 實驗的肝創ニ移植セル生活組織ノ運令並ニ宿地ノ蒙リ影響ヲ叙シテ生活タムホク止血機構ノ解説ニ及ボ外參考論文三篇
- 上原幾久治 朝鮮全羅南道木浦府京町二丁目 明治廿九年五月廿日生 實験的肝創ニ移植セル生活組織ノ運令並ニ宿地ノ蒙リ影響ヲ叙シテ生活タムホク止血機構ノ解説ニ及ボ外參考論文三篇
- 六三五 木浦府立病院長 明治廿九年七月廿日生 富山出身 大正十四年東大教授會審查 主論文一 倉壁代謝ニ關スル研究
- 上野一晴 金澤市長町一番 明治廿九年三月九日生 同上 主論文一 蕁皮膚ノ交感神經主宰外參考論文三篇
- 山口正道 新潟市西大畑町六三六 明治廿九年三月九日生 長野出身 同年新潟醫大教授會審查 主論文一 生體內ニ於ケル「コレステリンエステル」新陳代謝
- 和田雄三九 京都岡崎西福ノ川町一七一〇 明治廿九年五月廿日生 兵庫出身 同年京大教授會審查 主論文一「クロロフォルム」ト四塩化炭素ノ藥物的作用ノ比較研究外參考論文五篇
- 堤辰郎 慶大内 明治廿九年六月七日生 佐賀出身 同年慶大教授會審查 主論文一 麻酔ト神經ノ電氣的抵抗外參考論文八篇
- 西田次麿 東京麻布區斧町二 明治廿九年五月廿日生 福岡出身 同上 主論文一 藥劑ノ創傷ニ對スル生物學的研究外參考論文四篇
- 菅野力 慶大内 明治廿九年九月廿日生 宮城出身 同年東北東大教授會審查 主論文一 アドレナリン過血糖及糖尿ニ關スル研究
- 高見亨 東北醫學部 明治廿九年九月廿日生 京都出身 同上 主論文一 肺炎球菌ノ赤血球溶解作用ニ就テ外參考論文四篇
- 竹股信太郎 明治廿九年六月廿日生 山形出身 同上 主論文一 補體及補體結合反應ニ關スル研究外參考論文二篇
- 中尾幸夫 京都醫專助手 明治廿九年一月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 胃液分泌ニ關スル研究
- 鈴木靖 明治廿九年二月廿日生 岩手出身 同上 主論文一 アンブライノ本體成分ニ就テ
- 野村精策 九大内 明治廿九年九月廿日生 六六三 九大生理學教室副手 新潟出身 同年九大教授會審查 主論文一 心臟刺戟傳達ノ機能ニ就テ
- 加地義雄 福岡市外箱崎綱屋新屋敷 明治廿九年 月 日生 六六四
- 六四一 京大專修科生 明治廿九年九月廿日生 京都出身 同年京大教授會審查 主論文一 湯下藥ノ子宮ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究外參考論文十一篇
- 小野鑛造 東京牛込區筑土八幡町廿六 明治廿九年三月五日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 聽器迷路ノ機能ヨリ強迫現象ノ成立ヲ論ス
- 太田吉彌 東京本郷區駒込林町二三八 明治廿九年四月廿日生 佐賀出身 同上 主論文一 ヘマトホルマリン家兔ノ化學的研究
- 山口左中 在外研究中 明治廿九年四月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 口腔液ノ研究外參考論文二篇
- 渡邊衡平 東京本郷區駒込林町二一六 明治廿九年三月廿日生 千葉出身 同上 主論文一 赤痢菌ノ變性ニ就テ
- 中村政司 東京小石川區關口臺町二六 明治廿九年十月五日生 栃木出身 同上 主論文一 饑餓動物ノ血清化學的研究
- 加藤傳三郎 東京本郷區四片町一〇 明治廿九年九月廿日生 香川出身 同上 主論文一 黃疸血性スヒロヘータ病患者血液ノ化學的研究
- 金子楨吉 福岡市外箱崎町綱屋土手 明治廿九年 月 日生 東京出身 同上 主論文一 右心室四血壓ニ對スル種々ノ操作及藥物ノ影響ニ就テ
- 中山元太郎 靜岡縣大宮町立病院長 明治廿九年五月廿日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 糖排出關ニ就テ外參考論文三篇
- 影浦尙視 長崎市東上町四三 明治廿九年九月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 含水炭素ノ同化作用ニ及ボス蛋白質脂肪食餌ノ影響ニ就テ
- 村山浩一 東京府下西區鴨町宮仲二五七四 明治廿九年四月廿日生 新潟出身 同上 主論文一 免疫血清ノアンチプラスチンシニ性質外參考論文四篇
- 志村國作 東京本郷區千駄木町四六 明治廿九年四月五日生 神奈川出身 同上 主論文一 慢性膿水腫ノ病理及治療ニ就テ
- 赤松得二郎 金澤衛成病院內

- 六四七 明治廿九年十月廿日生 小樽出身 同上 主論文一「アナフィラキシイ」ト「ヘプトン」中毒トノ比較 兩者ニヨリ血糖ノ變化並ニ其ノ本態ニ就テ
- 飯田博 南滿鐵口新市街此本街 明治廿九年七月八日生 六四八 警口滿鐵病院長 明治廿九年七月八日生 島根出身 同上 主論文一 血液有形成分抗血清ノ細胞特異性特ニ其ノ生體內作用ノ比較研究
- 中田瑞穂 新潟市學校町通二番町 明治廿五年四月廿日生 東京出身 同上 主論文一 羂丸内分秘ニ關スル實驗的研究
- 青山敬二 大阪市立刀根山養養所 明治廿五年八月廿日生 同年東大教授會審查 主論文一 慢性肺結核成立ニ關スル實驗的研究補遺參考論文十二篇
- 高木耕三 京都市東洞院御池上ル船屋二一 阪大助教 明治廿五年三月廿日生 同上 主論文一 犬甲狀腺ノ細胞學的研究所
- 向井一 大阪市常安町阪大内 明治廿五年七月廿日生 同上 主論文一 家兔ハルアル氏線ノ公微組織學的研究
- 六三〇 大衛津成病院長 明治廿九年三月七日生 大阪出身 同上 主論文一 視器ノ解剖的研究外ニ參考論文十六篇
- 若松元三郎 京都聖護院山王町一六 明治廿九年十月九日生 愛媛出身 同上 主論文一 解熱藥ニ因ル體溫調節作用ノ障礙ニ就テノ實驗外參考論文五篇
- 前田和三郎 京大大学院 明治廿九年七月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 内分泌腺ノ胃機能ニ及ボス影響ニ就テ外參考論文五篇
- 小菅賢 京大大学院 明治廿九年八月廿日生 三重出身 同上 主論文一 非持殊性判義ノ家兔血漿量液凝固及血球沈降速度ニ及ボス影響ニ就テ外參考論文六篇
- 神竹之助 青森市濱町一八ノ二 明治廿九年五月一日生 大正十三年北大教授會審查 主論文一 實驗的肝創ニ移植セル生活組織ノ運令並ニ宿地ノ蒙リ影響ヲ叙シテ生活タムホク止血機構ノ解説ニ及ボ外參考論文三篇
- 上原幾久治 朝鮮全羅南道木浦府京町二丁目 明治廿九年五月廿日生 實験的肝創ニ移植セル生活組織ノ運令並ニ宿地ノ蒙リ影響ヲ叙シテ生活タムホク止血機構ノ解説ニ及ボ外參考論文三篇
- 六三五 木浦府立病院長 明治廿九年七月廿日生 富山出身 大正十四年東大教授會審查 主論文一 倉壁代謝ニ關スル研究
- 上野一晴 金澤市長町一番 明治廿九年三月九日生 同上 主論文一 蕁皮膚ノ交感神經主宰外參考論文三篇
- 山口正道 新潟市西大畑町六三六 明治廿九年三月九日生 長野出身 同年新潟醫大教授會審查 主論文一 生體內ニ於ケル「コレステリンエステル」新陳代謝
- 和田雄三九 京都岡崎西福ノ川町一七一〇 明治廿九年五月廿日生 兵庫出身 同年京大教授會審查 主論文一「クロロフォルム」ト四塩化炭素ノ藥物的作用ノ比較研究外參考論文五篇
- 堤辰郎 慶大内 明治廿九年六月七日生 佐賀出身 同年慶大教授會審查 主論文一 麻酔ト神經ノ電氣的抵抗外參考論文八篇
- 西田次麿 東京麻布區斧町二 明治廿九年五月廿日生 福岡出身 同上 主論文一 藥劑ノ創傷ニ對スル生物學的研究外參考論文四篇
- 菅野力 慶大内 明治廿九年九月廿日生 宮城出身 同年東北東大教授會審查 主論文一 アドレナリン過血糖及糖尿ニ關スル研究
- 高見亨 東北醫學部 明治廿九年九月廿日生 京都出身 同上 主論文一 肺炎球菌ノ赤血球溶解作用ニ就テ外參考論文四篇
- 竹股信太郎 明治廿九年六月廿日生 山形出身 同上 主論文一 補體及補體結合反應ニ關スル研究外參考論文二篇
- 中尾幸夫 京都醫專助手 明治廿九年一月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 胃液分泌ニ關スル研究
- 鈴木靖 明治廿九年二月廿日生 岩手出身 同上 主論文一 アンブライノ本體成分ニ就テ
- 野村精策 九大内 明治廿九年九月廿日生 六六三 九大生理學教室副手 新潟出身 同年九大教授會審查 主論文一 心臟刺戟傳達ノ機能ニ就テ
- 加地義雄 福岡市外箱崎綱屋新屋敷 明治廿九年 月 日生 六六四
- 六四一 京大專修科生 明治廿九年九月廿日生 京都出身 同年京大教授會審查 主論文一 湯下藥ノ子宮ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究外參考論文十一篇
- 小野鑛造 東京牛込區筑土八幡町廿六 明治廿九年三月五日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 聽器迷路ノ機能ヨリ強迫現象ノ成立ヲ論ス
- 太田吉彌 東京本郷區駒込林町二三八 明治廿九年四月廿日生 佐賀出身 同上 主論文一 ヘマトホルマリン家兔ノ化學的研究
- 山口左中 在外研究中 明治廿九年四月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 口腔液ノ研究外參考論文二篇
- 渡邊衡平 東京本郷區駒込林町二一六 明治廿九年三月廿日生 千葉出身 同上 主論文一 赤痢菌ノ變性ニ就テ
- 中村政司 東京小石川區關口臺町二六 明治廿九年十月五日生 栃木出身 同上 主論文一 饑餓動物ノ血清化學的研究
- 加藤傳三郎 東京本郷區四片町一〇 明治廿九年九月廿日生 香川出身 同上 主論文一 黃疸血性スヒロヘータ病患者血液ノ化學的研究
- 金子楨吉 福岡市外箱崎町綱屋土手 明治廿九年 月 日生 東京出身 同上 主論文一 右心室四血壓ニ對スル種々ノ操作及藥物ノ影響ニ就テ
- 中山元太郎 靜岡縣大宮町立病院長 明治廿九年五月廿日生 東京出身 同年東大教授會審查 主論文一 糖排出關ニ就テ外參考論文三篇
- 影浦尙視 長崎市東上町四三 明治廿九年九月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 含水炭素ノ同化作用ニ及ボス蛋白質脂肪食餌ノ影響ニ就テ
- 村山浩一 東京府下西區鴨町宮仲二五七四 明治廿九年四月廿日生 新潟出身 同上 主論文一 免疫血清ノアンチプラスチンシニ性質外參考論文四篇
- 志村國作 東京本郷區千駄木町四六 明治廿九年四月五日生 神奈川出身 同上 主論文一 慢性膿水腫ノ病理及治療ニ就テ
- 赤松得二郎 金澤衛成病院內

- 六七〇 明治五年一月五日 岡山出身 同上 主論文一 山東カラアザールニ就テ
- 勝 呂 舉 京大外科教室
- 六七二 明治五年五月七日 靜岡出身 同年京大教授會審査 主論文一 食喰作用研究外論文十五篇
- 瀨 井 鼎 二 名古屋市南區熱田須賀町
- 六七二 明治五年五月廿三日 名古屋出身 同上 主論文一 ヶフテリ一毒素ニ因ル海狹脾臟ノ組織學的研究外論文五篇
- 成 澤 瀨 水 滋賀縣大津市神出八
- 六七三 日赤瀨賀支部病院小兒科醫長
- 長野出身 同上 主論文一 本邦隔壁材料ノ防禦的批判外參考論文八篇
- 木場 武雄 明治五年一月生
- 六七四 鹿兒島出身 同上 主論文一 甲狀腺機能ト胃腸運動トノ關係外參考論文五篇
- 山田 一 夫 京都出町柳形上ル青龍町一九八
- 六七五 明治五年六月三日 愛知出身 同上 主論文一 麻酔ニ關スル知見補遺外參考論文十一篇
- 福井 信 立 東大大學院學生
- 六七六 大阪出身 同上 主論文一 熱尿ノ藥丸ニ及ボス作用トノ組織學的研究及內分泌學的研究外參考論文六篇
- 吉 岡 都 明治五年五月一日 大阪出身 同年阪大教授會審査 主論文一 チヌチンノ生理化學的知見補遺外參考論文三篇
- 六七七 大阪醫大
- 畑 孝 一郎 大阪住吉區天王寺町河部野三
- 六七八 明治五年十月廿日生 福井出身 同上 主論文一 ヶイタミン缺乏症ト免疫體產生トニ關スル實驗的研究外參考論文四篇
- 辰己庄太郎 大阪市南區豐谷東ノ町一五
- 六七九 阪大講師 明治六年二月七日 大阪出身 同上 主論文一 無踏風塵器ノ解剖學的研究補遺外參考論文一篇
- 小原 芳 樹 東京神田區錦町三ノ四 豐福方
- 六八〇 明治五年二月十日 長野出身 同年東大教授會審査 主論文一 尿中ノ尿酸アセトン及アセト酢酸ノ定量法ニ就テ
- 下條 久馬 一 東京赤坂區台町七八
- 六八一 金澤醫大教授 明治五年九月二日生 同上 主論文一 馬チフス瘧疾病原ノ細菌學的研究
- 加藤 普佐次郎 明治廿年七月廿日生 六八二 松澤病院 明治廿年七月廿日生 愛知出身 同上 主論文一 精神病者ニ對スル作業治療並ニ開放治療ト精神病院ニ於ケル之ガ實施ノ意義及方法
- 奥田喜久三 東京牛込區矢來町山里町八
- 六八三 慶大講師 明治廿年十月五日 東京出身 同年慶大教授會審査 主論文一 凝集素產生ニ及ボス脾臟ノ影響ニ就テ
- 樋口 隆 藏 慶大内
- 六八四 慶大内科 明治廿年九月九日生 奈良出身 同上 主論文一 脂肪新陳代謝ト肝臟トノ關係ニ就テ
- 宮崎 三 郎 東京市外濠橋町柏木六五五
- 六八五 慶大講師 明治廿年四月廿日生 和歌山出身 同上 主論文一 實驗的水血症ノ淋巴液ニ及ボス影響
- 生 駒 寅 彦 名古屋市中區南桑名町楠醫院内
- 六八六 補醫院副院長 明治廿年十月十日 三重出身 同上 主論文一
- 近藤 忠 實 京大大學院
- 六八七 京都出身 同年京大教授會審査 主論文一 惡性腫瘍ニ因ル血清ノ化學的變化ニ關スル實驗的研究
- 菊地 武 彦 京都吉田下大路町森田定吉方
- 六八八 京大助教授 明治廿年九月一日 岡山出身 同上 主論文一 家兔摘出心臟ニ於ケル「アドレナリン」ト「アセチルヒヨリン」並「ヒロカレン」トノ作用ノ相互干涉ニ就テ
- 朴 昌 薰 京城實業洞三〇
- 六八九 京城醫專助教授 明治廿年三月廿日生 京城出身 同上 主論文一 木棲蜂電機ニ就テ外參考論文五篇
- 杉山 繁 輝 明治廿年九月廿日生 岡山出身 同上 主論文一 超生體染色ノ研究
- 六九〇 京大助教授
- 吉 植 精 逸 東京府下豐多摩郡野方町上沼袋 廿五
- 六九一 陸軍戸山學校教官 明治六年六月廿日生 千葉出身 同上 主論文一 「グイタミン」ニ於ケル藥毒代謝ニ就テ
- 西 繁 明治五年七月一日 長崎出身 同上 主論文一 新炭酸瓦斯微量新測定法
- 林 良 材 京都府紀伊郡伏見町元樽木
- 六九三 京大助教授 和歌山出身 同上 主論文一 部分的發

養障ニ關スル實驗的研究

- 松澤 松 哉 明治五年五月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 哺乳動物胎兒生體色素攝取
- 高 楠 了 超 京大大學院
- 六九五 明治廿年九月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 アドレナリン及ヒロカレン注射ニ因ル神經細胞ノ變化外一篇
- 長 島 耕 夫 京大醫學部
- 六九六 明治廿年七月廿日生 熊本出身 同上 主論文一
- 熊野 御堂 進 明治廿年四月 日生 同年北海大教授會審査 主論文一 胃ニ對ル神經ト胃潰瘍治療トノ關係
- 本 田 雄 五 郎 東京橋區鍋町一ノ四
- 六九八 自宅開業 明治十年六月廿日生 長崎出身 同年東大教授會審査 主論文一 一種々ナル細菌ニヨル腸膜炎性迷路炎ノ實驗的研究
- 平 林 信 基 東京赤坂區台町十九安田方
- 六九九 明治五年五月 日生 福岡出身 同上 主論文一 ヶイタミン缺乏症ニ於ケル藥毒及鹽類新陳代謝ニ關スル研究
- 神 林 浩 東京陸軍幼年學校附兼教官
- 七〇〇 明治廿年七月廿日生 長野出身 同上 主論文一 滲出性腹膜炎ノ成因並ニ誘因ニ關スル實驗的研究
- 大 角 直 八 東京芝區二本榎西町二
- 七〇一 高輪病院副院長 明治廿年十月廿日生 神奈川出身 同上 主論文一 結核補體結合反應ノ特異法ニ就テ
- 瀨 木 本 雄 名古屋市中區門前町六
- 七〇二 自宅開業 明治七年十月六日生 三重出身 同上 主論文一 毛染藥(白毛染)ノ眼ニ及ボス影響
- 清 水 眞 東京府下高田町日自學習院
- 七〇三 學習院御用掛 明治五年五月廿日生 千葉出身 同上 主論文一 試驗動物ノ腸管内ニ於ケルコレラ菌並チフス菌ノ運命ニ關スル實驗的研究
- 牧 野 融 濟南病院長
- 七〇四 明治七年九月三日 岡山出身 同上 主論文一 肝臟以外ノ細胞ノ色素生成ニ關スル知見補遺
- 春 日 健 吉 名古屋衛戍病院長
- 七〇五 明治廿年 月 日生 大阪出身 同年九大教授會審査 主論文一 水素イオン濃度ニ據ルガフテリ一菌及同類似菌ノ分類ニ就テ
- 水 野 達 明治廿年 月 日生 七〇六 九大副手 明治廿年 月 日生 茨城出身 同上 主論文一 去腦硬直ニ關スル組織學的研究
- 宮 下 耕 圃 九大衛生細菌學教室
- 七〇七 鹿兒島出身 同上 主論文一 馬寮扶斯ノ疫學及之ヲ基礎トセル其豫防ト撲滅ニ就テ
- 荒 木 齋 造 福岡東公園地見七松居方
- 七〇八 九大第一内科教室勤務 明治廿年生 廣島出身 同上 主論文一 人間ニ於ケル隨意緊張ノ研究
- 新 井 昌 平 仙台市木町通卅三
- 七〇九 東北大講師 明治廿年二月廿日生 埼玉出身 同年東北大教授會審査 主論文一 神經細胞内ニツスル顆粒ノ生成ニ就テ
- 中 澤 房 吉 仙台市支倉通八
- 七一〇 東北大助教授 明治廿年九月廿日生 室蘭出身 同上 主論文一 腎臟血管ニ及ボス副交感及ヒ交感神經毒ノ作用
- 得 田 慶 市 東北大副手囑託
- 七一 明治廿年三月四日生 神奈川出身 同上 主論文一 血小板ノ研究外參考論文三篇
- 及 川 周 新潟醫大教授
- 七一二 明治廿年六月四日生 仙臺出身 同上 主論文一 種々ノ組織蛋白成分
- 前 川 齋 京大大學院
- 七二三 明治廿年十月五日 愛知出身 同年京大教授會審査 主論文一 諸種復水症ニ於ケル腸間膜ノ病理外參考論文四篇
- 稻 岡 富 太 郎 京都元寶願寺大宮東入寺今町五
- 七三四 自宅開業 明治七年四月七日生 京都出身 同上 主論文一 食道ノ生理的機能ニ關スル研究外參考論文四篇
- 山 崎 義 男 京大婦人科教室
- 七三五 明治廿年六月十日 長野出身 同上 主論文一
- 伊 藤 正 義 朝鮮京城大和町一ノ卅九
- 七五六 朝鮮醫大教授 明治廿年二月廿日生 仙臺出身 同年東大教授會審査 主論文

一、ネフローセノ慢性型並ニ慢性性萎縮腎ニ於ケル臨牀的觀察ト組織學的所見トノ比較研究外參考論文三篇

藤井 貞 東京本郷區弓町一ノ卅五

七二七 東大薬物學教室 明治廿年七月九日生 廣島出身 同上 主論文一 甲状腺過剰症ノ實驗的研究

永井 純三 東京本郷區西須賀町一

七二八 千葉醫大教授 明治廿年六月廿日生 三重出身 同上 主論文一 膽汁内糖排泄ニ就テ外參考論文二篇

三内 多喜次 東京牛込區市ヶ谷甲良町十一

七一九 陸軍々學校教員 明治廿年九月廿日生 東京出身 同上 主論文一 崩果皮糖漿腫内ノ齒牙ニ就テ附其病理組織學的の知見ヲ述

西宮 保衛 東京本郷區蓮葉町六

七二〇 慶大講師 明治廿年一月廿日生 山梨出身 同年慶大教授會審査 主論文一 痲疹毒ニヨル腦ノ變化ニ關スル研究 外參考論文六篇

久保 昂 東京市外千駄谷町六〇七

七二一 慶大内科教室勤務 明治廿年三月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 アドレナリン作用ヲ増強セシムル甲状腺腫成分ニ就テ外二篇外參考論文六篇

柳澤 贊治 北里研究所助手

七二三 北里研究所助手 明治廿年十月廿日生 長野出身 同上 主論文一 モルモット及マウス間ニ流行セル鼠チフス菌ノ一菌型ニ就テ外二篇外參考論文六篇

大坪 五也 北里研究所助手

七二三 北里研究所助手 明治廿年七月廿日生 佐賀出身 同上 主論文一 細菌ノカタラーゼニ就テ外參考論文五篇

關 忠 英 長野縣東筑摩郡神林村

七二四 自宅開業 明治廿年四月廿日生 長野出身 同年阪大教授會審査 主論文一 膝液ニ及ボス影響ニ就テ外參考論文五篇

錦織 末富 京都市田中區田町六

七二五 京大助教 明治廿年四月八日生 島根出身 同年京大教授會審査 主論文一 甲状腺機能ト血壓及脈搏トノ關係外參考論文四篇

森 澤 清 京大醫學教室

七二六 京大醫學教室 明治廿年二月廿日生 高知出身 同上 主論文一 章魚ノ越飛新質ニ就テ外參考論文四篇

安達 島次 留學中

七二七 台灣醫專講師 明治廿年八月一日生 新潟出身 同上 主論文一 臺灣番人ノ顔面筋ニ就テ外參考論文三篇

木 高 誠 留學中

七二八 神戸病院理學の治療所醫長 明治廿年四月廿日生 愛媛出身 同上 主論文一 肺炎ノ細胞學的研究外參考論文四篇

富井 湛治 京大内

七二九 京大助手 明治廿年七月廿日生 兵庫出身 同上 主論文一 凍死ノ研究 外參考論文六篇

須田 議一郎 朝鮮春川縣慈惠醫院內科長

七三〇 明治廿年七月一日生 東京出身 同上

關川 一郎 和歌山市芝芝丁八

七三一 日和歌山耳鼻喉科部長 明治廿年四月四日生 同年九大教授會審査 主論文一 肺炎菌ノオプトヒン耐性ノ本態ニ就テ外參考論文六篇

土屋 直義 明治廿年三月生

七三二 同上 主論文一 耳下腺ノ機能ニ關スル研究外參考論文一篇

谷野 野 明治廿年二月生

七三三 九大助手 明治廿年二月生 同上 主論文一 腎臟系腺體ノ機能ニ就テ外參考論文三篇

三木 利一 福岡市外箱崎馬出濱九〇五

七三四 九大第三内科教室勤務 明治廿年七月生 同上 主論文一 再歸熱(シヒロヘーテ)ニ關スル實驗的研究外參考論文二篇

野邊 地慶三 東京府下總ノ川町中里三三六

七三五 傳研技手 明治廿年五月廿日生 盛岡出身 同年東大教授會審査 主論文一 「コレラ、アイリオン」ニ關スル知見補遺外參考論文四篇

矢花 是男 東京芝區三田四國町廿八

七三六 東大法醫學教室 明治廿年七月一日生 松本出身 同上 主論文一 腹腔内ノ吸收ニ就テ

宇野 鬼一郎 京都田中大流町一〇

七三七 京府大講師 明治廿年五月廿日生 愛媛出身 同年京府大教授會審査 主論文一 外科的疾患並其手術後ニ於ケル「アチドーガス」ニ就テ外參考論文六篇

古玉 太郎 台灣總督府研究所技手

七三八 明治廿年一月廿日生

廣島出身 同上 主論文一 變性凝集反應ニ關スルシシト遺外參考論文五篇

横川 讓 京都府屋町丸太下

三七九 大阪同生病院耳鼻喉科長 明治廿年六月二日生 京都出身 同年京大教授會審査 主論文一 咽喉鼻部ノ形態學的研究外參考論文五篇

樋口 辰助 京都新島丸夷川上

七四〇 京大助教 明治廿年七月一日生 福島出身 同上

加藤 誠治 岡山市立瀨濱病院長

七四一 岡山市立瀨濱病院長 同年岡山大教授會審査 主論文一 破傷毒素ノ電氣的研究

大澤 勝 京大和町三ノ六

七四二 京城醫專教授 明治廿年二月廿日生 東京出身 同年慶大教授會審査

梶川 甚一 東京四谷區大番町五六

七四三 慶大助手 明治廿年十月八日生 廣島出身 同上 主論文一 交感神經ノ興奮傳導ニ就テ外參考論文六篇

白井 珍三郎 慶大病院内

七四四 慶大助手 明治廿年七月廿日生 東京出身 同上 主論文一 鼠肉腫ノ成熟異種動物ニ於ケル移植ニ就テ外二篇

参考論文二篇

名取 博三 京都市大宮通四條下

七四七 京大講師 同年京大教授會審査 主論文一 瘡敗ノ進行ト組織ノ染色性及ビ疾病證明ニ就テ外參考論文七篇

渡邊 邊 京都岡崎四福ノ川町三

七四八 同上 明治廿年五月廿日生 同上 主論文一 溶菌現象ニ於ケル細菌ノ容量變化ニ就テ外參考論文十五篇

勝 木 任 明治廿年七月十日生 兵庫縣出身 同十四年九大通過主論文一 再歸熱(シヒロヘーテ)ニ關スル實驗的研究

三 澤 憲 明治廿年五月廿日生 福島出身 同上 主論文一 流行性腦膜炎ノ硬直症及震顫痲痺ニ關スル知見補遺就中筋硬直ト神經支配トノ關係ニ就キテノ觀察

畑 義 雄 明治廿年二月廿日生 岡山縣出身 同上 主論文一 左右促進神經刺激ノ房室刺戟傳達ニ及ボス影響ニ就キテ

伊東 彌惠 治 明治廿年十月二日生 靜岡縣出身 同十四年千葉醫大通過主論文一 網膜電流知見補遺

松村 憲 明治廿年五月三日生 千葉醫大教授

岡山縣出身 同上 主論文一 膽酸及脂肪鹽ノ蛋白質ニ對スル反應ニ就テ

濱田 健 男 明治廿年四月廿日生 大阪府出身 同十四年阪大通過主論文一 腎分泌機能ニ關スル藥物學的研究三篇

谷村 忠 保 明治廿年十月廿日生 奈良縣出身 同上 主論文一 結核菌ノ研究

劉 陸 一 明治廿年七月一日生 京都府出身 同十四年京大通過主論文一 甲状腺ノ臟器中ノ溶解性含窒素物量トノ關係

飯島 尙 京都市吉田下阿達町四八

明治廿年七月廿日生 山梨縣出身 同十四年京大通過主論文一 女性外陰部ノ人種學的研究

永井 靜 明治廿年一月五日生 香川縣出身 同上 主論文一 血液溶解現象ノ形態學的研究三篇

平井 進 明治廿年七月廿日生 京大助手 同上 主論文一 Studies on the fatty oil of theepice embryo.

藤岡 巖 明治廿年八月六日生 廣島縣出身 同上 主論文一 血働機興奮傳導異常態ノ研究補遺五篇

小笠原 清 明治廿年一月廿日生 京都府出身 同上 主論文一 胎兒ノ子宮内死亡ニ關スル實驗的研究外參考論文十七篇

小原 信 行 明治廿年七月廿日生 奈良縣出身 同上 主論文一 光力學的作用ニ就テノ實驗外參考論文四篇

佐藤 悟郎 大阪府西區南堀開業

明治廿年三月廿日生 大阪出身 同十四年東大通過主論文一 微毒血清診斷ノ諸反應ニ就テノ實驗的研究

林 俊 三 明治廿年二月廿日生 福岡縣出身 同上 主論文一 十二指腸貧血症ノ本態ニ關スル生物化學的研究

古屋 清 甲府市百石町三

山梨出身 同上 主論文一 内分泌腺ノ發育機能ニ及ボス影響ニ就テノ實驗的研究並ニ體質論補遺

山田 康 東京市日本橋區鰯殼町

東京濱田病院醫員 明治廿年三月廿日生 東京市出身 同上 主論文一 縦痲間ニ於ケル胃腸機能ニ就テ

服部 彌二郎 東京市京橋區藥地本願寺前

明治廿年九月四日生 三重縣出身 同十四年東大通過主論文一 A及B「メチルアルゴシド」ノ「タカ、インゲエスターゼ」ニ對スル關係

鴻上 慶次郎 明治廿年三月十日生 愛媛縣出身 同上 主論文一 「セラチン」ノ血清學的研究外參考論文三篇

片山 武一 明治廿年八月一日生 愛知縣出身 同上 主論文一 實驗的

イル氏病ノ血液像ニ血小板ニ就テ外參
 考論文三篇
高木 慎 明治廿二年七月三日生
 東京府出身 同十四年東京慈惠醫大通過
 主論文一 歐氏管カテーテル通氣法ニ關
 スル研究
中村正 和 明治廿五年七月廿日生
 和歌山縣出身 同十四年東北大通過主論
 文一 アミン類ノ不隨意筋諸臟器ニ及ボ
 ス藥物學的作用
通 仙臺市北四番町
 東北大助教授 明治廿五年一月廿日生
 宮城縣出身 同上 主論文一 肝臟機能
 検査ニ關スル知見補遺外三篇
諫山直 神戶鐵道病院內
 明治廿五年七月廿日生
 大分縣出身 同上 主論文一 反射的興奮
 ノ場合及ビ間接的興奮ノ場合ニ於ケル
 筋肉動作電流ノ經過ニ就テ外一篇
堀田一 雄 明治廿五年四月十日生
 名古屋出身 同上 主論文一 鳩ノ脚氣
 樣疾患ニ於ケル「ヒロレステリン」ノ意
 義ニ就テ一篇
鶴飼 哲 明治廿五年九月廿日生
 東京市出身 同上 主論文一 家兎ニ於
 ケル肺移植ノ研究三篇
近藤正 二 仙臺市北四番町
 東北大助教授 明治廿五年二月廿日生
 北海道出身 同上 主論文一 腸骨髄膜
 菌ノ變移性ニ就テ外四篇
難波剛 平 明治廿五年十月三日生
 新潟縣出身 同十四年北大通過主論文一
 赤外線ノ前房水及血清透過ニ就テ
今村美多 東京市赤坂區青
 山北町六ノ四二
 明治廿五年六月廿日生
 群馬縣出身 同十四年慶大通過主論文一
 副腎「アドレナリン」ニ關スル研究四篇
秋吉辰三 東京芝區三田四
 國町二
 明治廿五年十月廿日生
 濟生會病院院長
隈川八郎 東京市本郷區錦
 生町二
 明治廿五年七月廿日生
 慶大教授
高比良英雄 明治廿五年九月一日生
 榮研技師
高木六郎 東京府千駄ヶ谷
 慶田四一九
 明治廿五年三月廿日生
 京都府出身 同上 主論文一 其一 諸種
 ノ眼疾患ニ於ケル腦脊液ノ検査ニ就テ
 並ニ眼穿刺ノ治療的價値ニ就テ其二 視神
 經鞘腔ト中心血管周圍腔ト關係ニ
 就テ實驗的研究外十三篇
奥村隆 俊 明治廿五年一月一日生
 愛知縣出身 同十四年京大通過主論文一
 血清ニ關スル實驗的研究補遺三篇
近藤保太郎 明治廿五年一月廿日生
 新潟縣出身 同上
日野一 郎 仙臺市壽町二ノ一
 明治廿五年五月廿日生
 同十四年東大通過主論文一 體內ニ於ケ
 ル血球分布ニ關スル研究二篇
廣田康 京城總督府官舎
 明治廿五年五月二日生
 京府出身 同上 主論文一 アンク氏諸感
 知見補遺外二篇
牧野 融 明治廿七年九月三日生
 岡山縣出身 同上 主論文一 非肝細胞
 性膽色素形成論ニ關スル知見補遺
中西春一 愛知病院內
 愛知縣出身 同上 主論文一 血液「カタ
 ラーゼ」ノ研究五篇
清茂基 廣島市細工町
 明治十五年三月生
 廣島縣出身 同上 主論文一 所謂氣候
 性機液ノ組織的變化ニ關スル纖維ノ
 研究
佐久間謙信 東京市神田區三
 崎町三ノ一
 明治廿五年七月四日生
 東京女產學校長 同上 主論文一 生殖細胞ノ沈降反應及
 ビ性別ニ於テ
武正一 甲府市廿人町
 山梨縣病院副院長 明治廿五年一月一日生
 高知縣出身 同上 主論文一 輸血ニ
 關スル血液ノ變化、血球トフ氏抗
 原及ビ該抗原ノ本態ニ關スル研究
山本誠一 東京市牛込區南
 町三一
 明治廿五年三月廿日生
 同上 主論文一 體温ト水分ト關係並
 ニ鹽類液ノ物質代謝ニ關スル研究
清水 亮 明治廿五年九月廿日生
 東京府出身 同十四年北大通過主論文一
 外科的領域ニ於ケル赤血球洗滌速度並ニ
 本態の研究
中村愛 助 明治廿五年一月廿日生
 東京府出身 同十四年北大通過主論文一
 肝臟外科ニ關スル實驗的研究
前田 實 明治廿五年八月廿日生
 神戶泰興出身 同上 主論文一 鹽酸キ
 ニ一ニ溶解現象ニ關スル實驗的並ニ臨床
 的研究補遺、黑水熱病理ニ關スル考察
大井知 光明 明治廿五年九月九日生
 東京府出身 同上 主論文一 全身麻痺
 ニ關スル實驗的研究
小林義 雄 明治廿五年五月廿日生
 長野縣出身 同上 主論文一 脚氣浮腫
 ノ研究
河本禎助 東京市小石川區
 久聖町
 明治廿五年七月四日生
 東大助教授 同上 主論文一 肝臟機能
 検査ニ關スル知見補遺外三篇
田中達三郎 東京市京橋區金
 六町
 慶應二年三月廿日生
 自宅開業 同上 主論文一 肺炎及珠菌

ノ免疫學的分類並ニ米國型トノ比較研究
 外一篇
飯田房次 埼玉縣熊谷町六七
 明治廿五年八月一日生
 新潟縣出身 同上 主論文一 小腸及腸
 腔ニ於ケル無機性及有機性物質ノ吸收ニ
 就テ外一篇
小川清次 東京市小石川區
 音羽町二ノ二〇
 東大藥物學教室 同上 主論文一 副甲狀腺
 新湯縣出身 同上 主論文一 副甲狀腺
 別出テタニ一ノ本態ニ就テ
赤松茂 千葉市龜井一六
 三六
 千葉醫大教授 明治廿六年六月廿日生
 廣島縣出身 同上 主論文一 酵母酵素
 ノ高溫度ニ對スル關係ニ就テ外四篇
萬澤晉 釧路市病院長
 明治廿七年四月生
 熊本縣出身 同上 主論文一 鳥胚ニ於
 ケル血液及血管ノ形成
鎌田亮之助 愛知病院內
 愛知縣出身 同上 主論文一 圓錐體外
 路症候群ヲ呈セル疾患ニ就テノ知見二篇
片山國幸 明治廿九年九月廿日生
 慈惠醫大教授 同上 主論文一 坐骨神經切
 斷家兎ノ血液並ニ其ノ下肢筋肉ノ血清化
 學的研究外一篇
大平國紀 日本郵船會社 明治廿五年二月一日生
 東京府出身 同上 主論文一 實驗的腸
 膜炎ニ於ケル滲出性及ビ滲出性及ビ滲出
 細胞ニ就テ、附他ノ二三組織ノ炎性反應
 トノ比較研究外一篇
三輪德 定 明治廿五年五月廿日生
 千葉縣出身 同上 主論文一 過敏性ニ
 於ケル補體ノ意義外二篇
井上康治 大阪藥專內
 大阪藥專教授 明治廿五年八月二日生
 大阪府出身 同十四年京大通過主論文一
 飲料水ノ藥物清淨及急凍濾過清淨ニ關ス
 ル細菌學的並ニ化學的研究外十二篇
安藤克己 明治廿五年三月九日生
 岡山縣出身 同上 主論文一 塵埃ノ理
 學的性質ト結核症トノ關係
村地 龍 明治廿五年七月廿日生
 滋賀縣出身 同上 主論文一 諸種疾患
 血液並ニ體液ノ「インテン」量ニ就テ
山内正雄 松山市二番町四
 六
 愛媛縣醫師會長 明治廿七年五月廿日生
石本佐吉 明治廿五年八月八日生
 長崎縣出身 同上 主論文一 氣溫ノ高
 低ニヨル冷血動物ノ感受性ニ就テ
竹中敏 明治廿五年三月九日生
 京大講師 同上 主論文一 癩患者ノ
 愛知縣出身 同上 主論文一 癩患者ノ
 淋巴腺內ニ於ケル細菌ニ就テ
武田元一郎 鹿兒島縣病院部長 明治廿六年四月廿日生
 宮城縣出身 同上 主論文一 三叉神經
 ノ組織學的補遺
黒澤六郎 明治廿五年十月廿日生
 京大助教授 同上 主論文一 アミン及
 アミド化合物ノ藥物學的作用ノ比較研究
 並ニ其化學的構造ト其關係ニ就テ
矢田清一郎 倉紡中央病院院長 明治廿五年五月廿日生
 靜岡縣出身 同上 主論文一 眼壓ト循
 環系トノ關係ニ就テノ實驗的研究
堀内千 儀 明治廿五年一月廿日生
 長野縣出身 同上 主論文一 「メラノフ
 オーレン」ノ研究二篇
大平 勳 明治廿五年一月廿日生
 宮城縣出身 同十四年東大通過主論文一
 一 瓦斯代謝並ニ每分血清流量ニ關スル
 研究
小畑 郁 明治廿五年一月三日生
 宮城縣出身 同十四年九大通過主論文一
 尿毒症ノ病理解剖ニ就キテ
廣瀬信 善 明治廿五年五月十日生
 長野縣出身 同上 主論文一 外傷性
 「シヨック」ニ關スル實驗的研究
小澤雄 三 明治廿五年八月廿日生
 滋賀縣出身 同上 主論文一 所謂セク
 レチンノ動物實驗的化學的及顯微化學的
 研究
高橋孝太郎 東京府下荏原郡
 碑文村碑文谷
 農務省囑託
 同十四年阪大通過主論文一 エネルギ
 代謝試驗ヨリ本邦工場作業ノ研究外五篇
小池敬 事 明治廿五年三月四日生
 埼玉縣出身 同十四年千葉醫大通過主論
 文一 シヤラ産小腸蠕動スコトフィルムス、
 デンモキ「ヘスフィルム」ノ外體形ノ形
 成並ニ諸器官ノ發生程度ニ就キテ
伊藤幸 憲 明治廿五年七月廿日生
 大阪府出身 同十四年岡山醫大通過主論
 文一 骨膜並ニ骨髓ノ移植ニヨル骨再生
 ニ就キテノ實驗的研究
原三郎 東京醫專教授 明治廿六年六月廿日生
 群馬縣出身 同十四年慶大通過
恒次博四郎 明治廿五年三月七日生
 岡山縣出身 同上 主論文一 チアス菌
 ノ家兎體腔內移行ニ關スル實驗的研究外
 三篇
深町朗安 慶大講師 明治廿五年七月廿日生
 長崎縣出身 同上 主論文一 肝臟物質
 ノ腹腔內注入ニ因ル肝臟ノ變化ニ就テ外
 五篇
秋山七朗 東京市赤坂區青
 山北町六ノ二
 自宅開業 明治廿二年七月廿日生
 東京府出身 同上 主論文一 諸酸類ノ
 血液尿酸瓦斯及血清ニ及ボス作用ニ就テ
 外十一篇
藤卷要之助 明治廿五年七月七日生

井上三郎 明治七年十月一日生 岐阜縣出身 同上 主論文一 首下リ病 (シエリエーギー病)ノ研究

鈴木近志 明治七年一月三日生 熊本縣出身 同十四年長崎醫大通過主論文一 凝集阻止現象ニ關スル生理學並ニ凝集素ノ構造ニ就テ(知見補遺)

川北元三 明治十年九月廿日生 三重縣出身 同十四年京大通過主論文一 窒素出血ノ物理化學的考察並ニアリン攝取ノ窒素出納ニ及ボス影響ニ就テ六篇

松山俊胤 明治十年十月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 アルカリノ胃液分泌ニ及ボス作用ニ就テ

本間正純 明治十年四月廿日生 山形縣出身 同上 主論文一 體溫調節ニ關スル生理學的研究

中村鏡明 明治十年一月廿日生 長野縣出身 同上 主論文一 眼組織ノ變化ニ關スル實驗的研究

本島一郎 明治十年九月廿日生 群馬縣出身 同上 主論文一 内分泌腺ノ影響ヲ顧慮セル管狀骨骨端部ノ組織學的實驗的研究

渡邊房吉 明治十年九月廿日生 神奈川縣出身 同上 主論文一 脾ノ抗體產生ニ關スル實驗的研究

小菅勇明 明治十年一月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 ストロノ

ヤルイラス 及他ノ腺虫ノ幼兒カ組織内ニ侵入スルニ際シ特種刺戟ハ如何ナル程度ニ作用スルヤ

江守彌次郎 明治十年二月二日生 福井縣出身 同上 主論文一 骨組織再生現象ニ及ボスグタタミンAノ影響ノ實驗的研究

森田澄一 明治九年三月四日生 東京府出身 同上 主論文一 各種條件ノ下ニ於ケル組織内燐脂質ノ分布状態ニ就テ二篇

中川忠次郎 明治十年三月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 尿分泌ニ關スル研究

本橋真三 明治十年八月十日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 泌尿生殖器管壁ヨリ免疫體及無機鹽類ノ吸收ニ就テ

星騰吾 明治十年七月廿日生 宮城縣出身 同十四年東北通過主論文一 脾腺内分泌ニ關スル研究

一本杉虎二 明治十年十月廿日生 廣島縣出身 同上 主論文一 人體軟部組織ノ骨形成ニ關スル研究

高橋寛明 明治十年九月廿日生 静岡縣出身 同上 主論文一 アルコホルノ本體及動物循環ニ及ボス作用

酒井菊雄 明治十年十月一日生 福岡縣出身 同上 主論文一 食中毒菌ノ研究特ニアルトリツグ菌ニ就テ

小口敏英 明治十年四月廿日生

英城縣出身 同十四年慶大通過主論文一 生體内ニ於ケル沈降素ト沈降原素トノ關係ニ就テ

松岡元治 明治十年七月廿日生 愛知縣出身 同十四年岡山醫大通過主論文一 皮膚消毒藥トシテノヒクニン酸ノ價值ヲ論ジ併セテ沃度丁酸(クロツシヒロギ法)トノ優劣比較ニ及ボ外一篇

富岡有象 明治十年六月廿日生 東京府出身 同十四年東大通過主論文一 一種ノ腐敗性嫌氣性菌ノ細菌學的並ニ血清學的研究

小田部莊三 明治十年十月一日生 茨城縣出身 同十四年東京慈惠醫大通過主論文一 米汁及麥汁培養基ニ對スル細菌學的研究

藪添宗雄 明治十年十月廿日生 和歌山縣出身 同十四年阪大通過主論文一 瘡組織ノ化學的研究二篇

堺善三 明治十年七月廿日生 北海道出身 同十四年東大通過主論文一 抗原ノ狀態特異性ニ就テ

吉岡儀三 明治十年二月廿日生 島根縣出身 同十四年慶大通過主論文一 マウス癌ノ成熟異種動物(ラツテ)皮下移植實驗

田所良吉 明治九年九月廿日生 高知縣出身 同上 主論文一 原子簇抗體ノ研究

田村均 明治十年六月二日生

東京府出身 同上 主論文一 アナハイラトキョイトシロツク本體ニ關スル研究

正木俊二 東京市外代々木慶大助教 明治十年二月廿九日生 長野縣出身 同上 主論文一 血液凝固體機轉ノ研究

奥藤重二 明治十年八月廿日生 大阪府出身 同十四年京大通過主論文一 血管灌流ヲ行ヒツ、アル抽出腸管ニ就テノ研究

伏木卓也 明治十年六月一日生 京都府出身 同上 主論文一 細胞毒素免血清ノ特異性ニ關スル知見補遺外一篇

館政 明治十年六月一日生 三重縣出身 同上 主論文一 抽出肝臟ノ藥物攝取ニ就テ

大國二郎 明治十年二月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 腦脊液液中ノ尿素量ニ就テ三篇

萩原義雄 明治十年七月廿日生 石川縣出身 同上 主論文一 遊離組織片移植並ニ異物使用ニ依ル腹腔實質性膿器ノ止血ニ關スル實驗的研究

奥田史郎 明治十年一月廿日生 三重縣出身 同上 主論文一 哺乳動物ノ血清學的特異性ニ就テ

土屋省三 明治十年七月廿日生 廣島縣出身 同上 主論文一 精神病者尿中磷酸排泄ノ研究

三河義行 明治十年十月七日生 德島縣出身 同十四年九大通過主論文一 實驗的「ウラン」腎臟炎ニ於ケル肝臟自家融解ニ就テ

大久保一雄 明治十年八月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 輸精管結紮切斷後ニ於ケル睪丸ノ組織學的研究

江浦重成 明治十年四月廿日生 福岡縣出身 同上 主論文一 諸種動物食道筋ノ研究

松本多喜馬 明治十年七月廿日生 長崎縣出身 同十四年東大通過主論文一 パタテリオフアージュノ種類鑑別ニ關スル研究

三原吉祐 明治十年六月廿日生 愛知縣出身 同十四年京大通過主論文一 小兒ニ來ル腎臟混合腫瘍ニ就テ殊ニ其病理組織學的並ニ發生學的研究

鈴木仙次郎 明治十年一月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 パラチアシノ病理三篇

藤本昭雄 明治十年五月三日生 東京府出身 同上 主論文一 赤痢本型菌ノ煮沸免疫元ニ就テ

阿部健明 明治十年五月七日生 新潟縣出身 同十四年東大通過主論文一 脂肪ノ腹腔内吸收機轉ニ關スル實驗的研究

中村拓明 明治十年三月廿日生 福島縣出身 同上 主論文一 鐵飢餓ノ

眞意義二就テ

田中巖明 明治十年十月三日生 京都府出身 同上 主論文一 胸膜炎並ニ出血及健康者胸膜液ノ血清學的研究

志賀亮明 明治十年九月二日生 東京府出身 同上 主論文一 水一スピロヘータート、リイル氏病病原體トノ關係ニ就テノ研究

堀田四郎 明治十年五月廿日生 滋賀縣出身 同上 主論文一 胎生期間ノ含水炭素代謝ニ就テ

興津盤 明治十年七月八日生 德島縣出身 同上 主論文一 ヘプトン中ニ及ボス膠樣物質ノ影響

小笠原登明 明治十年七月二日生 京都府出身 同十四年京大通過主論文一 スクレイン酸及カセイソルホンニ於テ腎臟ヲ傷害ス

那須省三郎 明治十年三月廿日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 組織生存力ノ問題ニ關スル知見補遺

成田介 明治十年一月十日生 宮城縣出身 同十四年東大通過主論文一 十二指腸癌病性貧血ノ本態ニ關スル生理學的研究

石田堅三郎 明治十年九月十日生 新潟縣出身 同十四年岡山醫大通過主論文一 一種特殊ニ體腔炎ニ因スル肺及氣管支炎ノ臨床的並ニ實驗的研究

吉田功 明治十年三月廿日生

愛媛縣出身 同上 主論文一 上肢體權ヨリ起首セル神經纖維ノ徑路及ビ同體トノ作用ニ就テ

杉原徳行 明治十年五月七日生 島根縣出身 同十四年京大通過

吉田義治 明治十年七月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 糖狀親帶ノ色素沈着ニ就テ

高梨義景 明治十年九月廿日生 神奈川縣出身 同上 主論文一 輻射線ノ衛生學的研究三篇

長澤博 明治十年十二月五日生 愛知縣出身 同上 主論文一 家兎抽出腸片ノ電氣興奮ニ及ボス諸種藥物ノ影響ニ就テ

立花角五郎 明治十年七月廿日生 茨城縣出身 同上 主論文一 血性傳染ニ因ル皮下骨化液ノ發生病理論

十倉頼介 明治十年二月廿日生 京都府出身 同上

野嶽利七 明治十年三月三日生 東京府出身 同十四年慶大通過主論文一 腸内病原菌檢出用培養ノ研究ト改良

俞日濬 明治十年一月六日生 朝鮮出身 同上

緒方益雄 明治十年八月廿日生 東京府出身 同十四年東大通過主論文一 細菌凝集素ニ關スル研究

大塚藤吉 明治十年三月十日生 熊本縣出身 同上 主論文一 神經ノ興奮

東京府出身 同上 主論文一 アナハイラトキョイトシロツク本體ニ關スル研究

正木俊二 東京市外代々木慶大助教 明治十年二月廿九日生 長野縣出身 同上 主論文一 血液凝固體機轉ノ研究

奥藤重二 明治十年八月廿日生 大阪府出身 同十四年京大通過主論文一 血管灌流ヲ行ヒツ、アル抽出腸管ニ就テノ研究

伏木卓也 明治十年六月一日生 京都府出身 同上 主論文一 細胞毒素免血清ノ特異性ニ關スル知見補遺外一篇

館政 明治十年六月一日生 三重縣出身 同上 主論文一 抽出肝臟ノ藥物攝取ニ就テ

大國二郎 明治十年二月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 腦脊液液中ノ尿素量ニ就テ三篇

萩原義雄 明治十年七月廿日生 石川縣出身 同上 主論文一 遊離組織片移植並ニ異物使用ニ依ル腹腔實質性膿器ノ止血ニ關スル實驗的研究

奥田史郎 明治十年一月廿日生 三重縣出身 同上 主論文一 哺乳動物ノ血清學的特異性ニ就テ

土屋省三 明治十年七月廿日生 廣島縣出身 同上 主論文一 精神病者尿中磷酸排泄ノ研究

傳導ニ就テ

中澤弘恭 明治十年三月廿日生 岐阜縣出身 同十四年慶大通過主論文一 ホルモノ習慣ノ原因

緒方規雄 明治十年一月廿日生 熊本縣出身 同十四年東大通過

内藤稻三郎 明治十年七月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 早發性癩呆ノ大腦皮質像ニ就テ

久保田實明 明治十年六月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 ティル色素ノ毒力ニ關スル生理學的研究

松本保三 明治十年一月廿日生 山口縣出身 同上 主論文一 眼球ニ於ケル抗體ノ局所產生ニ就テ

中村舒 明治十年七月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 胎兒初生兒小兒並ニ春機發動期ニ於ケル脾臟ノ組織學的研究並ニ糖尿病及グリコズリノ諸例ノ研究

村上徳治 明治十年七月廿日生 島根縣出身 同十四年京大通過主論文一 關節遊離體成ニ關スル實驗的研究二篇

松島厚吉 明治十年七月三日生 静岡縣出身 同上 主論文一 銅ナリマナニ性作用ニ關スル實驗二篇

赤松翁一 明治十年七月一日生 岡山縣出身 同上 主論文一 家鶏肉腫ノ實驗的研究五篇

伊澤三辰 明治十年五月九日生

京都府出身 同上 主論文一 ヒヨロス
テリンノ血清學的研究四篇
波邊 寬明治六年十月廿日生
廣島縣出身 同上 主論文一 瓦斯中毒
ニ對スル環境溫度ノ影響ニ就テ四篇
住吉彌次郎明治三年十月廿日生
大阪府出身 同上 主論文一 大腸下
一 略中結核菌培養ニ關スル研究補遺
赤井貞 一明治九年十月廿日生
新潟縣出身 同上 主論文一 大腸下
文一 外科的急性化膿性疾患ノ血液形態
學的研究並ニ其臨床的意味ニ就テ
肥爪貫三郎明治七年一月三日生
兵庫縣出身 同上 主論文一 大腸下
文一 アアスターセノ知見ニ就テ併テ
該酵素二元説ノ疑問ニ就テ併テ
宮原 敦明治廿年十月二日生
愛知縣出身 同上 主論文一 類軟性下
疳菌ニ就テ二篇
猪木修 治明治六年二月四日生
岡山縣出身 同上 主論文一 骨格筋
骨格筋緊張ニ及ボス藥物ノ影響ニ就テ
竹林平一 郎明治廿年三月廿日生
香川縣出身 同上 主論文一 赤血球沈
下反應ニ就テ
萩原良一 郎明治廿年三月廿日生
東京府出身 同上 主論文一 大腸下
主論文一 加熱アブテリノ菌及葡萄球菌
菌注射ニ依ル腸菌ノ組織學的變化
河原治 作明治廿年四月廿日生
新潟縣出身 同十五年九大通過主論文一
喉頭特ニ喉頭筋ノ發育學的研究補遺
高崎文 雄明治廿年一月廿日生
福岡縣出身 同上 主論文一 藥物ノ外
聽道注入ニヨリ聽器迷路ニ前庭器ニ及
ボス影響ニ就テ
波多野重興明治廿年二月廿日生
福岡縣出身 同上 主論文一 筋錘體
ノ研究
森久彌一 郎明治廿年九月二日生
福井縣出身 同上 主論文一 實驗的腎
臟疾患ニ於ケル食鹽及殘餘窒素分布異常
東龍太郎 同上 主論文一 實驗的腎
臟疾患ニ於ケル食鹽及殘餘窒素分布異常
筋ノ短縮及伸長ニ現ハル熱力學的現象
金子魁 一明治廿年二月五日生
宮城縣出身 同上 主論文一 放射線照
射ノ抗體形成ニ及ボス影響
田村義 貫明治廿年七月五日生
德島縣出身 同上 主論文一 培養基ノ
水素イオン濃度並ニ色素類ノ細菌ノ發育
並ニ其形態ニ及ボス影響ニ就テノ研究
橋健 行明治廿年二月六日生
東京府出身 同上 主論文一 精神病者
ノ精神的作用測定ニ關スル研究
西村安 敬明治廿年八月廿日生
新潟縣出身 同上 主論文一 鳥類ニ於
ケル主靜脈及ヒ其他ノ體血管ノ生成ニ
就テ
池田隆 德明治廿年五月廿日生

川井左 京明治廿年三月廿日生
東京府出身 同上
齋藤磯 次明治廿年四月廿日生
愛知縣出身 同十五年九大通過主論文一 膿
液浸出液ノ血液ノ凝固ニ及ボス作用
村田昇 德明治廿年一月一日生
高知縣出身 同上 主論文一 コレラワクチ
ン注射ニ因ル全身諸臟器組織ノ病理學的
變化ニ就テ
川上理 一明治廿年七月七日生
東京府出身 同上 主論文一 眼疾患ノ遺傳
ニ關スル研究
吉岡新 作明治廿年三月十日生
長野縣出身 同上 主論文一 尿排泄ニ就テ
高田他家 雄明治廿年四月二日生
東京府出身 同上 主論文一 抗體形成ニ及
ボス蛋白質ノ非特異的刺
戟ニ就テ
原田 豐明治廿年八月廿日生
兵庫縣出身 同上 主論文一 アドレナリン
ノ生理ニ於ケル運命ニ關スル研究
藤原謙 造明治廿年九月廿日生
岡山縣出身 同上 主論文一 春體並進行性
麻痺症ニ於ケル視神經消
耗症ノ病理解剖知見補遺
山田平 七明治廿年七月廿日生
京都府出身 同上 主論文一 腐敗毒ニ關ス
ル研究三篇
大西賤 雄明治廿年九月十日生
兵庫縣出身 同十五年九大通過主論文一
肝臟及腎臟ニ諸種ノ器械的傷害ヲ加ヘタ
ル場合ニ於ケル全相互關係ニ就テ
百合野 吹太郎明治廿年十月廿日生
山口縣出身 同上 主論文一 アナフィラキ
シノ本態ニ關スル實驗的研究ニ實驗的
血清過敏性狀態ノ診斷及アブイラキシ
ノ豫防法
北光 一 三明治廿年三月三日生
大阪府出身 同上 主論文一 内分泌腺製劑
ノ瓦斯代謝ニ及ボス影響並ニ其相互關係
ニ就テ
加藤安太郎 明治廿年五月廿日生
奈良縣出身 同上 主論文一 隨意筋緊張ト
「アリン」鹽基トノ關係ニ就テノ生物學的
研究
額田 晋明治廿年五月廿日生
岡山縣出身 同上 主論文一 リムルス、ロ
ンゲス、ロソバノ心臓ニ關ス
ル研究二篇
弓倉繁 家明治廿年八月廿日生
兵庫縣出身 同上 主論文一 大腸下
文一切商家兒ノ體外培養試驗
前原俊 男明治廿年五月九日生
島根縣出身 同上 主論文一 黃體製劑及黃
體ヲ除去セル卵巣製劑ニ去勢後ニ於ケル
子宮ニ及ボス影響ニ就テ
斧原勘太郎 明治廿年七月七日生
大阪府出身 同上 主論文一 種々ノ要的ニ
於ケル血液ノ組成分ノ變化ニ就テ三篇
操担 道明治廿年一月二日生
福岡縣出身 同上 主論文一 精神病者
ニ及ボスリソングル氏液ノ影響
山中三 七明治廿年十月廿日生
福井縣出身 同上 主論文一 胸腺病理
ニ就テ三篇
兒玉周 一明治廿年七月四日生
東京府出身 同上 主論文一 膽汁分泌
機能ニ關スル實驗的研究三篇
芥川 信明治廿年三月廿日生
東京府出身 同上 主論文一 拘禁生活
ノ衛生學的觀察
杉本好 一明治廿年四月廿日生
滋賀縣出身 同十五年九大通過主論文一
米ノ精白變ト其消化吸收率トノ關係
岡島癸巳 郎明治廿年三月廿日生
京都府出身 同上 主論文一 硫酸マグ
ネシウムノ鎮痙作用ニ關スル實驗的研究
鈴木敏 夫明治廿年十月廿日生
岩手縣出身 同上 主論文一 網膜諸點
ヨリ發スル視神經纖維ノ網膜視神經索ニ
於ケル走行並第一神覺中樞ニ於ケル終止
部位ニ就テ
和田彦 作明治廿年七月三日生
靜岡縣出身 同上 主論文一 涙液ノ比
重並ニ理化學的集成分
伊藤斯 郎明治廿年六月廿日生
三重縣出身 同上 主論文一 翠丸別出
カ新陳代謝ニ及ボス影響ニ就テ
玉川 和明治廿年三月十日生
千葉縣出身 同上 主論文一 尿酸ニ關
スル研究二篇
照山 昇明治廿年四月五日生
京都府出身 同上 主論文一 大腸下垂
體ノ病理學的研究五篇
山口敏 治明治廿年一月廿日生
石川縣出身 同上 主論文一 パクテリ
カフアージニ關スル研究
原 亨明治廿年二月廿日生
岡山縣出身 同上 主論文一 諸種還元
銅ノアルコホルニ對スル作用
米山義 績明治廿年七月廿日生
三重縣出身 同上 主論文一 體溫ニ近
キ高氣温ガ試獸ノ體溫並ニ尿酸式斯排
量ニ及ボス影響
永井菊 夫明治廿年十月九日生
鹿兒島縣出身 同上 主論文一 澱粉ノ
性質ニ關スル研究四篇
鈴木隆 義明治廿年五月五日生
山梨縣出身 同上 主論文一 肝臟及腎
臟組織ノ相互關係ニ就テ知見補遺
中島潮 造明治廿年一月六日生
愛知縣出身 同上 主論文一 大腸下
文一 蛋白質及葡萄糖ノ糖子體內注入ノ
作用ニ就テ實驗的研究
上木隆 基明治廿年五月六日生
福井縣出身 同十五年九大通過 主
論文一 アラビヤゴム溶液ニ依ル補欠試
驗
水谷通 治明治廿年二月廿日生
愛知縣出身 同十五年九大通過

實驗的何種病ノ研究

楠 口 榮明治廿五年五月九日生
兵庫縣出身 同上主論文一、一種ノ粘菌
食餌ニ因スル家鴉及鼠ノ脚氣様疾患ニ就
テ

鳥取縣出身 同上主論文一、抗体ノ濃度
ニ對スル非働化ノ公式

伊 藤 肇明治廿五年四月一日生
京都府出身 同上主論文一、「アクトン」
「アクトン」上澄液及「アクトン」含菌體ノ
免疫學的研究

化ノ意義

吉田 準一 郎明治廿六年八月七日生
香川縣出身 同上主論文一、所謂慢性
膿性乳腫炎ノ診斷補遺並ニ其病理組織學
の所見ニ就テ

皮膚病ニ就テ

大村 正 夫明治廿年十月三日生
靜岡縣出身 同上主論文一、大通過主論文一
敏敏症ノ研究

的補遺

八木 高 次明治廿五年七月四日生
奈良縣出身 同上主論文一、工場疲勞ニ
關スル研究五篇

テ外參考論文八篇

黒川 清之 慶大講師 明治廿八年八月廿日生
愛知縣出身 同上主論文一、大通過主論文一
人體上皮下小體ノ正常及病理組織學的研究
外參考論文三篇

胎兒心室組織ノ生長ニ及ボス諸種藥物ノ
影響ニ就テ

井 關 全 夙明治廿一年一月廿日生
德島縣出身 同上主論文一、支那山東省
地方ニ流行セル所謂黃病ニ就テ

學的研究

伊藤 應 隆明治廿五年十月五日生
愛媛縣出身 同上主論文一、健康動物ノ
深部氣道自肺ニ出現スル細菌ニ就テ外一
篇

- 河原 水** 池明治八年十月七日生 東京府出身 同上 主論文一 ヲブトシ及トヲブシノ一新定量法ニ就テ
- 澤 崎** 元明治六年一月一日生 福井縣出身 同上 主論文一 摘出子宮ヲ用ユル大腸下垂體製劑力測定法ノ精密度ニ就テ
- 山川 保** 城明治九年六月五日生 福井縣出身 同上 主論文一 レントゲン線ガ白鼠毒丸ニ及ボス作用ニ就テ
- 吉村 利** 雄明治九年一月五日生 東京府出身 同上 主論文一 人類同種血球凝集反應ニ關スル研究
- 濱口 一** 郎明治九年七月廿日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 血小板ト脾臓トノ關係ニ就テ
- 田中 朝** 三明治六年五月一日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 家兎傳染性呼吸器病ノ研究
- 森 於** 菟明治九年九月十五日生 東京府出身 同上 主論文一 アカンチアス、ダルガリスノ頭骨發生ニ就テ
- 長 澤** 源明治九年四月十日生 靜岡縣出身 同上 主論文一 植物性神經毒ノ腎臟血管及ヒ尿排泄ニ對スル影響ニ就テ
- 弘重 壽** 輔明治十年二月廿日生 山口縣出身 同上 主論文一 結核感染及免疫ニ關スル實驗的研究
- 垣内 善** 人明治九年三月五日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 細菌脂肪質ノ免疫學的研究
- 中村 強** 雄明治九年三月四日生 長崎縣出身 同上 主論文一 連鎖球菌苗創傷感染 Typhalotin 治療ニ關スル實驗的研究
- 上床 良** 彦明治九年十月五日生 愛知縣出身 同上 十五年愛知縣大通過主論文一 液細血並ニ唾液胞ノ銀嗜好性顆粒ニ就テ
- 向井 又** 吉明治九年五月五日生 東京府出身 同上 主論文一 惡性腫瘍ノ放射療法ニ關スル二三ノ研究
- 天木 順** 吉明治九年十月廿日生 愛知縣出身 同上 十五年東北大通過主論文一 「リパーゼ」ト「エステラーゼ」トノ異同ノ疑義ニ就テ
- 吉松 駿** 一明治九年四月六日生 東京府出身 同上 主論文一 ダンゴールノ生物學の意義
- 西田 芳** 雄明治九年七月九日生 埼玉縣出身 同上 十五年東京縣醫大通過主論文一 ヒヨコノ生化學的研究
- 今吉 政** 吉明治九年二月廿日生 福岡縣出身 同上 主論文一 再生ニ關スル實驗的研究
- 原** 實明治九年一月六日生 福岡縣出身 同上 十五年九大通過主論文一 小兒胸部結核ノ臨床的進ニX線學的研究
- 大坪 武之助** 明治九年八月五日生 鳥根縣出身 同上 主論文一 血液分曉產物及月經時ニ於ケル血糖量ト糖尿トノ關係ノ臨床的及實驗的研究並ニフチヨシ糖尿症診斷法ニ就テ
- 祖谷 正** 行明治九年一月七日生 徳島縣出身 同上 主論文一 尿酸ノ尿中出現ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
- 木田 篤** 敬明治九年十月九日生 秋田縣出身 同上 主論文一 定期性四肢痲痺ニ關スル臨床的實驗的研究
- 安部 幾治** 郎明治九年九月十日生 福岡縣出身 大正十五年慶大通過 主論文一 「インシュリン」ニヨル「アドレナリン」内分泌ノ變化(獨文)
- 津野 田誠** 吾明治九年四月廿日生 宮城縣出身 同年九大通過 主論文一 水銀劑ノ吸收ニ關スル實驗的研究
- 稗田 憲太郎** 明治九年十月廿日生 長崎縣出身 同上 主論文一 黃疸ノ實驗的研究
- 森島 侃一** 郎明治七年九月廿日生 群馬縣出身 同上 主論文一 赤痢菌ノ突然變異(所謂フレキシブル菌型)
- 田川 蟬太郎** 明治九年七月廿日生 岡山縣出身 同上 主論文一 肝臟機能ガ免疫體發生ニ及ボス影響ニ就テ
- 小林 孫兵衛** 明治九年三月一日生 岡山縣出身 同年岡山醫大通過 主論文一 脾臓ト胃液分泌
- 高橋 敬** 三明治九年六月五日生 新潟縣出身 同年新潟醫大研究科 主論文一 所謂オスグートシユラツタル氏病ノ組織學的研究
- 矢野** 中明治九年七月八日生 愛媛縣出身 同年新潟醫大通過 主論文一 胃潰瘍ノ治療傾向ニ關スル實驗的研究(獨文)
- 高 畑** 惠明治九年五月廿日生 岡山縣出身 同年東北大通過 主論文一 泌尿系ノ結核病ニ於ケル補體結合反應ノ應用ニ就テ(獨文)
- 吉田 秀** 雄明治九年七月廿日生 兵庫縣出身 同年岡山醫大通過 主論文一 蛙心尖ノエレクトログラムノ意義ニ關スル實驗的研究外二篇
- 加藤 芳** 治明治九年五月一日生 愛知縣出身 同年愛知縣醫大通過 主論文一 臟器ノ免疫機能ニ關スル實驗的研究(脾臓ニ就テ附肝臓) 二同上(腎臓ニ就テ)
- 富澤** 鍾明治九年二月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 心囊腔ニ關スル實驗的研究
- 信田 章太郎** 明治九年七月廿日生 東京府出身 同年慶大通過 主論文一 尿管ノ尿酸送ニ關スル藥物學的研究
- 犬飼 六** 郎明治九年七月廿日生 岡山縣出身 同上 主論文一 蟲癩突起炎ノ細菌學的研究 二 蟲癩突起炎ノ成因ニ關スル實驗的研究
- 堅石 薫** 喜明治九年五月廿日生 長野縣出身 同年京大々學院 主論文一 「クロワール」蛙心ニ就テ實驗外二篇
- 寺田 幸** 保明治九年十月廿日生

- 三重縣出身** 同年京大通過 主論文一 内分泌ノ血清乳酸筋肉らくとあちどげん及血液水素いなんニ及ボス影響ニ就テ 外三篇
- 岡野 雄** 吉明治九年五月廿日生 香川縣出身 同年京大々學院 主論文一 組織ノ酸素部位及還元部位ニ關スル研究外九篇
- 小坂 禮** 二明治九年二月七日生 岐阜縣出身 同年京大通過 主論文一 肺炎分利機轉ニ關スル實驗的研究外四篇
- 笠井 經** 夫明治九年四月二日生 岡山縣出身 同年岡山醫大通過 主論文一 關節炎性迷路炎ノ實驗的研究外二篇
- 古田 七** 郎明治九年三月六日生 岐阜縣出身 同年東大通過 主論文一 人體皮膚ノ平滑筋ニ就キテ及ヒ特ニ立毛筋ニ關スル知見
- 中村** 邦明治九年十月廿日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 Urethraに關スル胎生組織學的研究
- 石津 義** 忠明治九年一月六日生 山口縣出身 同上 主論文一 實驗的黃疸出血性「スヒロヘー」病「ワイル氏病」ニ於ケル血液像並ニ造血臟器(脾臓骨髓)ニ關スル知見
- 井深 健** 次明治九年五月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 ばらふいんニ因ル家兎肺組織内ニ於ケル上皮細胞ノ異常增殖ニ就テ
- 長沼 甲午** 郎明治九年七月一日生 新潟縣出身 同上 主論文一 テレル氏現象ノ研究
- 内田 英** 雄明治九年三月六日生 東京府出身 同上 主論文一 微量黃燐ノ窒素代謝ニ及ボス影響ノ實驗的研究
- 稻生 光** 吉明治九年十月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 「アイセ」ニ關スル効率ニ關スル研究
- 中村 松** 男明治九年二月五日生 廣島縣出身 同上 主論文一 諸種部分的榮養障礙ニ於ケル血液變化ニ就テ外三篇
- 谷口 祥** 明明治九年七月十日生 愛知縣出身 同年愛知縣大通過 主論文一 Beitrage Zur Studien fiber Dermatomycosen der Haude unfrise in Japan 外二篇
- 青木 甲午** 郎明治九年五月廿日生 栃木縣出身 同年東京縣醫大研究科 主論文一 ハイテンハイン氏淋淋巴物質第一級本態ニ關スル生化學的研究
- 長岡** 博明治九年十月八日生 群馬縣出身 同上 主論文一 本邦産金線蛙(Gama Myriana culata)ノ物質代謝ニ關スル生化學的研究
- 川端 重** 郎明治九年九月六日生 愛媛縣出身 同年京大通過 主論文一 浮腫生成ニ及ボス「カルヂウム」鹽「カリウム」鹽並ニ「ナトリウム」鹽ノ影響ニ就テ
- 小林 春** 平明治九年一月九日生 石川縣出身 同上 主論文一 水晶體再關係ノ臨床的及實驗的研究並ニフチヨシ糖尿症診斷法ニ就テ
- 三神 正** 藏明治九年二月廿日生 岩手縣出身 同年東北大通過 主論文一 酸化炭素中毒ノ際ノ血糖動脈血ノ尿酸瓦斯含有量及あるかり度ノ同時的測定
- 前田 伊三** 郎明治九年三月廿日生 京都府出身 同年大阪醫大通過 主論文一 「メクレーゼ」ニ關スル研究
- 巨** 繁明治九年七月廿日生 大阪府出身 同上 主論文一 疲勞ニ關スル實驗的研究外四篇
- 津留 壽** 船明治九年三月九日生 福岡縣出身 同上 主論文一 細菌ノ安定性及不安定性凝集素ノ研究殊ニ絮片ノ大小ノ凝集素成因ノ考察並ニ理化學的影響ニ就テ
- 三矢 辰** 雄明治九年七月廿日生 愛知縣出身 同年愛知縣大通過 主論文一 一結核性疾患ニ對スル「レントゲン」深部治療ノ治驗
- 田中 吉左衛門** 明治九年三月四日生 長野縣出身 同年九大通過 主論文一 毛細血管及小血管ニ關スル研究
- 久米 實** 一明治九年二月廿日生 福岡縣出身 同上 主論文一 脾臓「ほろもん」過剩(中毒)並ニ關スル實驗的研究
- 平安山 長** 義明治九年二月九日生 神戶縣出身 同上 主論文一 「イオトネン」ノ肝臟機能及糖新陳代謝ニ及ボス作用ニ就テ
- 木原 卓三** 郎明治九年二月六日生 山口縣出身 同年京大通過 主論文一 深部巴管系ノ研究筋脈ノ淋巴管系外四篇
- 河合 六** 郎明治九年八月七日生 愛知縣出身 同年京大々學院 主論文一 腸管扶斯菌類體ノ免疫學上ノ意義ニ就テノ研究正常菌液及ヒ脫脂菌液ノ毒力ノ比較
- 堺 純** 雄明治九年三月六日生 長崎縣出身 同年京大通過 主論文一 藥劑ノ體給作用ト其身體重要臟器ニ及ボス影響外四篇
- 日下 毅** 一明治九年十月廿日生 京都府出身 同年京大々學院 主論文一 「コカイン」ニ對スル肝臓ノ解毒作用ニ就テ
- 忽滑谷 精一** 明治九年九月廿日生 埼玉縣出身 同年愛知縣大通過 主論文一 平滑筋ニ於ケル溫度刺激並ニ其ノ順應作用ニ就テ(獨文)
- 古屋 芳** 雄明治九年八月廿日生 大分縣出身 同年東大通過 主論文一 結核ノ免疫學的研究
- 野村 二** 郎明治九年四月廿日生 東京府出身 同上 主論文一 細菌免疫原ノ本態ニ關スル一知見
- 谷野 數** 之明治九年七月廿日生 岡山縣出身 同上 主論文一 肝臟機能障礙ガ安門鹽新陳代謝ニ及ボス影響ニ就テ
- 北野 政** 次明治九年七月廿日生

- 兵庫縣出身 同上 主論文一 「チフス」及「バチフス」菌屬ノ血清耐性ニ關スル實驗的研究
- 鈴木 木 又明治六年七月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 饑饉海濱ノ血液ニ遺血器所見殊ニ其溶化裝置ニ於ケル「グラモロホエー」ニ就テ
- 坂田 敬 之明治五年四月廿日生 熊本縣出身 同上 主論文一 胸腺X線照射ノ實驗的研究
- 坂本 陽明治五年七月廿日生 高知縣出身 同上 主論文一 赤痢菌ノ變性ニ就テ
- 青木 龍 雄明治五年五月廿日生 岐阜縣出身 同上 主論文一 温血動物ノ感光性低下ノ實驗的研究
- 岡本 陽明治五年二月廿日生 東京出身 同上 主論文一 腫瘍組織ノ酸素生活ニ就テ
- 上田 三郎明治五年五月九日生 廣島縣出身 同上 主論文一 甲狀腺ノ蛋白新陳代謝ニ關スル調節作用
- 沈 浩 燮明治五年二月廿日生 朝鮮出身 同上 主論文一 植物性神經毒ノ糖同化作用及排出關ニ及ホス影響ニ就テ
- 前田安之助明治七年九月二日生 東京出身 同上 主論文一 眞性中陰陽ニ就テ
- 朝倉 卓明治五年七月廿日生 宮城縣出身 同年東大々學院 主論文一 異種蛋白質非徑口の注入血清化學的研究 (獨文)
- 堤 庸 三明治五年七月九日生 大分縣出身 同年東大通過 主論文一 尿毒ニ關スル研究
- 福井 正 遇明治五年一月十日生 奈良縣出身 同上 主論文一 レントゲン去勢ニ關スル研究
- 中鉢 不二郎明治六年一月廿日生 東京出身 同上 主論文一 實驗的性體給中毒ノ乳兒ニ及ホス影響
- 内村 良 一明治五年七月七日生 東京出身 同上 主論文一 Karodizing Chamber Experiment ニ於ケル電氣的關調劑強度ノ變化ヲ示ス新曲線ヲ提出ス外一篇
- 濱崎 幸 雄明治五年五月八日生 三重縣出身 同年岡山醫大通過 主論文一 大綱乳班ノ組織學的研究外四篇
- 野村 久 中明治五年五月廿日生 愛知縣出身 同年東大通過 主論文一 家鴉嚙ノ實驗的試食ニ關スル研究
- 堀 精 次明治五年十月廿日生 和歌山縣出身 同年京大々學院 主論文一 運動神經末梢ニ對スル「グラーレ」ノ麻痺作用ニ及ホス理學的並藥物學的影響ニ就テ外五篇
- 鈴江 茂 平明治五年三月一日生 德島縣出身 同年東大通過 主論文一 赤血球膜ノ物理化學的性質ニ關スル研究外二篇
- 望月 成 人明治五年二月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 種々ノ條件ノ下ニ於ケル家兎血糖ノ態度及血中ニ於ケル其分布狀態
- 平野 啓 司明治五年七月七日生 新潟縣出身 同年京大々學院 主論文一 脊椎動物ノ胃腸粘膜ニ於ケル「アルトマン」氏顆粒ノ意義及本態ニ就テ外七篇
- 中野 生 清明治五年八月廿日生 山形縣出身 同年東大通過 主論文一 ツツセルマン氏反應ノ本態ニ就テ
- 山崎 直 治明治五年四月一日生 京都出身 同年京大々學院 主論文一 黃色葡萄球菌菌毒免疫元ノ研究外二篇
- 吉田 稔明治五年五月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 結核菌毒素ノ毒力ニ及ホス影響外三篇
- 山田 卓 爾明治五年十月六日生 福井縣出身 同年東大通過 主論文一 二脂腸潰瘍知見補遺
- 小島 重 一明治五年六月六日生 石川縣出身 同年京大々學院 主論文一 腸室扶助ノ理學的研究外四篇
- 佐竹 秀 一明治五年八月廿日生 石川縣出身 同年東大通過 主論文一 Untersuchungen über die Othia enteritidis
- 刀山 萬 造明治五年三月六日生 廣島縣出身 同上 主論文一 ワイル氏病原スピロヘータノ胎盤通過ニ關スル實驗的研究
- 掛下 生 男明治五年五月六日生 佐賀縣出身 同年東大通過 主論文一 大腸菌屬各部ノ解剖學的研究
- 中島 正 德 明治七年三月生 山梨縣出身 同上 主論文一 百日咳ノ研究
- 鹽 見 長 衛明治五年八月廿日生 京都出身 同上 主論文一 脾臟副腎骨體越基斯ノ混用ニ依ル淋巴腺組織培養實驗
- 中井 哲太郎明治五年七月九日生 岐阜縣出身 同年東大通過 主論文一 正當重二病的妊、産、褥時ニ於ケル二三ノ機能の比較研究
- 加藤 豐 彦明治五年一月六日生 廣島縣出身 同年東大通過 主論文一 胸腔腔内ニ流出シタル血液ノ凝固セザル理由並ニ同腔内ニ於ケル血液凝固防止性物質ノ本體ニ關スル實驗的研究
- 中泉 正 德明治五年四月六日生 東京出身 同年東大々學院 主論文一 均等レントゲン線ノ眼組織ニ對スル減弱係數並ニレントゲン線ニヨル化學分析ト其眼科學上ノ應用
- 名倉 重 雄明治五年二月廿日生 東京出身 同上 主論文一 先天性肢關節脫臼ニ於ケル「アンテトルシオン」ノ研究ニ就テ
- 吉川 渡明治五年七月十日生 兵庫縣出身 同年東大通過 主論文一 腎臟ノ「インネルプアチオン」ニ關スル研

- 光 西 常 雄明治六年五月廿日生 京都出身 同年東大々學院 主論文一 眼前房内ニ送レル抗原ノ作用並ニ其既往性反應ニ就テ
- 加藤 泰明治五年九月十日生 東京出身 同年東大通過 主論文一 九州並ニ琉球ノ白癩珠ニ二新病原菌種隱色菌及栗色菌ニ就テ
- 道管 正 六明治五年三月廿日生 廣島縣出身 同上 主論文一 諸種膠質ニ對スル電解質ノ作用
- 西山 信 光明治六年六月四日生 東京出身 同上 主論文一 Wood 合金注入ニヨリ副鼻腔ノ鑄型製作新法
- 池谷 潤明治五年三月廿日生 東京出身 同年東大々學院 主論文一 「インシエリン」ニ關スル實驗的研究
- 水野 達 意明治五年一月廿日生 新潟縣出身 同年東大通過 主論文一 卵巢濾胞水及ヒ黃體ノ性週期並ニ生殖器ニ及ホス影響ニ關スル研究
- 春水 秀次郎明治五年十月廿日生 島根縣出身 同上 主論文一 肺結核患者ノ尿酸代謝ニ關スル研究
- 七樂 虎 雄明治五年七月廿日生 福岡縣出身 同上 主論文一 實驗的睡眠障礙ノ新陳代謝ニ及ホス影響ニ就キテ
- 岩田 正 道明治五年八月十日生 東京出身 同上 主論文一 喇叭管形態學知見補遺 一 喇叭管ニ於ケル週期的變化ニ就テ 二 喇叭管ノ血管硬變症ニ就テ
- 八木 金之丞明治五年十月七日生 新潟縣出身 同年愛知醫大通過 主論文一 マーロー氏小腸性遺傳性運動失調症知見補遺
- 大木 常 松明治五年九月十日生 千葉縣出身 同上 文論文一 子宮癌ニ於ケル糖原質知見補遺
- 中島 實明治五年九月廿日生 長崎縣出身 同上 主論文一 「アドレナリン」ニ因ル眼壓變化ノ機轉ニ就キテ
- 大村 幸 一明治五年二月二日生 山口縣出身 同年東大通過 主論文一 細狀腺内被細胞ノ機能ニ關スル實驗的研究
- 三宅 榮 次明治五年六月廿日生 山口縣出身 同年東大通過 主論文一 「アウイタミノール」ニ際ニ於ケル血液瓦斯並ニ之ト内分分泌障礙トノ關係ニ就テ外四篇
- 西川 敏 彦明治五年七月廿日生 京都出身 同上 主論文一 肺臟ノ組織反應ニ關スル研究外三篇
- 佐伯 貞 七明治五年九月九日生 宮城縣出身 同年京大々學院 主論文一 腎臟ノ機能及形態學的研究外四篇
- 山崎 著明治五年五月二日生 廣島縣出身 同年東大通過 主論文一 犬ノ蚤中ノレプトモナス、クテナノチエフワリトトリパノノミレワイシー及病
- 原藤 類 二就テ
- 齋藤 護 邦明治五年九月六日生 福岡縣出身 同年京大々學院 主論文一 女子骨盤血管ノ研究外二篇
- 小林 甫明治五年一月四日生 東京出身 同年東大通過 主論文一 諸種肺炎ニ於ケル肺臟内格子狀纖維ノ態度外二篇
- 藤井 美知男明治五年七月廿日生 長野縣出身 同上 主論文一 胎生諸期ニ於ケル鰓胎兒心臟ニ就テノ藥物學的研究
- 堀安左衛門明治五年四月六日生 兵庫縣出身 同年京大々學院 主論文一 未梢組織ノ血流及新陳代謝ニ對スル寒熱ノ影響ニ就テ外二篇
- 三宅 宗 雄明治五年九月十日生 京都出身 同年東大通過 主論文一 「グイタミン」Bト「ヂヤスター」トノ關係外四篇
- 長岡 德太郎明治五年三月廿日生 島根縣出身 同上 主論文一 可移植性家兎内臟ノ發育及轉移ニ關スル實驗的血液學的研究 特ニ惡性腫瘍ノ發育増殖ニ對スル白血球ノ態度及意義外五篇
- 加古 齋明治五年八月九日生 兵庫縣出身 同年京大々學院 主論文一 二三副交感神經毒ノ血管作用ニ就テ
- 森川 政 三明治五年十月廿日生 新潟縣出身 同年東大通過 主論文一 顯微骨ノ外科的解剖學補遺外三篇
- 近藤 正 俊明治五年四月八日生 岐阜縣出身 同年東大通過 主論文一 生物ニヨル化學變化ノ研究外二篇
- 林 廣 吉明治五年七月廿日生 德島縣出身 同上 主論文一 皮膚感受性ニ關スル研究
- 柴山 幸 一明治五年四月廿日生 宮城縣出身 同上 主論文一 妊娠患者者血液非凝固性成分ノ化學的研究
- 阿部 哲 男明治五年二月一日生 宮城縣出身 同上 主論文一 「ヘルムス」病毒ニ因ル交感性感(シリー)ニ關スル實驗特ニ其傳播機路ニ就テ
- 三友 義 雄明治五年二月二日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 蝮血清ノ研究
- 村島 泰 一明治五年八月九日生 福岡縣出身 同上 主論文一 俗間藥、萬年青根ノ有効配糖體ろいでんノ化學的並ニ藥物學的研究
- 高橋 皓明治五年七月廿日生 北海道出身 同上 主論文一 腦下垂體ノ分泌ニ關スル組織化學的研究
- 齋藤 治明治五年九月廿日生 岡山縣出身 同年岡山醫大通過 主論文一 子宮體部血管ノ研究補遺
- 土門 音次郎明治五年九月六日生 北海道出身 同年東大通過 主論文一 家兎副鼻腔ニ於ケル腫瘍組織發生ノ實驗的研究外二篇
- 高木 四郎明治五年七月廿日生

重體及副腎摘出ノ髓血管元蓄性ニ對スル影響ニ就テ
井 上 門 司明治廿九年九月廿日生
岐阜縣出身 京都府立醫大通過 主論文
一 結核血清疹斷ノ實驗的研究
内 田 穰明治廿九年八月十日生
東京出身 京大々學院 主論文一 網狀
織内皮細胞系ノ機能ニ及ボス藥物ノ影響
勝 義 孝明治廿九年十月廿日生
京都出身 京大通過 主論文一 電位差
測定法ニヨル活度ノ研究並ニ其ノ生物學
的意義
松 岡 喬明治廿九年四月廿日生
茨城縣出身 北大通過 主論文一 眼内
液體及ビ腦脊液ノ血管藥理學的性質
高 龜 良 樹明治廿九年七月一日生
廣島縣出身 東大通過 主論文一 網仔
蟲ノ宿主體內移行經路ニ關スル知識增補
小野 村 米 吉明治廿九年三月廿日生
茨城縣出身 同上 主論文一 赤痢駒込
B菌ノ病機ニ關スル實驗的研究
古 森 龜 衛明治廿九年三月廿日生
愛媛縣出身 同上 主論文一 各種消化
腺ノ分泌ニ關スル組織化學的研究特ニ胃
腺ノヘプシン及鹽酸分泌ニ就テ
川 潮 潔明治廿九年一月二日生
東京出身 同上 主論文一 惡性腫瘍ニ
對スル深部X線治療ノ經驗 附結核性外
科の疾患ニ及ボス深部X線治療ノ効果
新 戸 廉 平明治廿九年三月五日生
宮城縣出身 同上 主論文一 初生兒黃

痘ノ本態ニ關スル知見補遺
久 島 環明治廿九年八月廿日生
山形縣出身 同上 主論文一 アドレナ
リン反復注射ニ因ル機能變化ニ就テ外二
編
坂 田 五 郎明治廿九年六月八日生
兵庫縣出身 京大通過 主論文一 細菌
並ニ毒直接注射ニ因ル局所反應ノ組
織學的研究外五編
小野 寅之助明治廿九年二月廿日生
京都出身 同上 主論文一 齒槽膿腫ノ
病理
田 邊 操明治廿九年五月九日生
岡山縣出身 慶大通過 主論文一 非特
異性抗原及抗体ニ關スル知見補遺 二
同上追加(抗體分離法)
中 村 勝 屋明治廿九年四月廿日生
東京出身 同上 主論文一 胃液中「
アミン」ノ授働性酸ノ定性定量及全酸
度ノ新測定法 二 余ノ胃液中授働性酸
度及全酸度ノ測定法ノ物理化學的意義
和田 淺 香明治廿九年五月六日生
千葉縣出身 同上 主論文一 「
ホ」ノ脱出時作用ニ就テ
志 賀 費明治廿九年五月廿日生
熊本縣出身 大阪醫大通過 主論文一
輪廻管疾病
和田 泰 一明治廿九年六月一日生
京都出身 大阪醫大研究科 主論文一
糖類ノ家兎齒牙ニ及ボス影響
松 井 基 一明治廿九年八月七日生

三重縣出身 京大通過 主論文一 諸種
ノ要約ニヨル病態丸ノ組織ト腫瘍移植
トノ關係外五編
小 杉 虎 一明治廿九年七月七日生
埼玉縣出身 慶大通過 主論文一 Die
Fase zur morphologie der Nierenfunktion
外四編
富 田 精明治廿九年六月六日生
福井縣出身 東大々學院 主論文一 脊
髓硬膜下注入ニヨルニ二三種細菌ノ研究外
六編
藤 田 孝 四 郎明治廿九年六月七日生
滋賀縣出身 東大通過 主論文一 細菌
ノ「
ニ關スル研究
陰 山 來明治廿九年三月八日生
大分縣出身 同上 主論文一 結核菌感
染ニ際シ網狀織内皮細胞系統ノ初期反應
ニ就テ 附廿口鼠ノ牛島兩結核ニ於テ菌
ノ體內移動ニ關スルゴルジドマン氏細胞
輸送説ノ批判
龜 倉 靈 鏡明治廿九年六月六日生
新潟縣出身 同上 主論文一 抗尿血清
ノ特性ニ就テ
福 原 浩明治廿九年五月廿四日生
山口縣出身 東大々學院 主論文一 結
核シ感染經路ト結核皮膚反應發現速度ト
ノ關係外二編
三 浦 運 一明治廿九年三月廿日生
兵庫縣出身 京大通過 主論文一 防蟻
防禦の效果ヨリ見タル本邦各種蟻巢家屋

京都出身 京大通過 主論文一 酸化炭
素ノ持續的吸入ニヨル血液像ノ變化ニ就
テ外二編
寺 内 逸 人明治廿九年五月廿日生
德島縣出身 京大々學院 主論文一 實
驗的腰脇部交感神經節狀索切除ノ動物脈
並ニ三葉丸ニ及ボス影響外二編
大 澤 宏明治廿九年九月大日生
東京出身 京大通過 主論文一 假性硬
化症ニ就テ
荒 瀧 實明治廿九年二月廿日生
北海道出身 北大通過 主論文一
On the postnatal growth of Kidney With
special reference to the number and size
of the Glomeruli (Calbo:rai) 外二編
小林 謙 五 郎明治廿九年十一月三日生
東京出身 慈惠醫大研究科 主論文一
細菌及血球等ノ凝集ニ對スル「
るあくち一ふえずとつふえ」及其他ノ非
電解質ノ懸作及保護作用ニ就テノ研究
中 村 嘉 藏明治廿九年九月廿日生
鹿児島縣出身 慈惠醫大通過 主論文一
「セプアリン」ノ研究
阿部 脩 三 郎明治廿九年三月六日生
德島縣出身 愛知醫大通過 主論文一
「マウス」ニ於ケル妊娠中絶子宮結節ニ就
テノ組織學的研究
中 村 信 郎明治廿九年三月廿日生
岐阜縣出身 東大通過 主論文一 「
フス」ヲ「
藤 井 尚 久明治廿九年十月七日生

富山縣出身 同上 主論文一 腎臟機能
ニ關スル實驗的研究
吉 田 章 信明治廿九年三月廿日生
岡山縣出身 同上 主論文一 本邦人ノ
體育ニ關スル研究外三編
佐 藤 惇 一 明治廿九年九月廿日生
東京出身 同上 主論文一 滿腹ノ藥理
學的及毒理學的作用ニ關スル研究
仲 田 一 信明治廿九年七月五日生
埼玉縣出身 同上 主論文一 結核再感
染ニ關スル實驗的研究外三編
青 木 醇 一 明治廿九年二月二日生
千葉縣出身 同上 主論文一 異種蛋白
ニ對スル胃腸管ノ透過性ニ就テノ實驗的
研究
塚本 亮 太 郎明治廿九年四月一日生
三重縣出身 同上 主論文一 「
エン」線肝照射後ニ見ル代謝障礙ニ就テ
野 口 靜 一 明治廿九年六月廿日生
佐賀縣出身 京大通過 主論文一 腸チ
フス血液像ニ關スル研究
下 川 繁 次明治廿九年二月三日生
佐賀縣出身 同上 主論文一 虎疫流行
ノ狀況ニ關シテニ「
中 藤 助 吉明治廿九年一月廿日生
岐阜縣出身 京大々學院 主論文一 藥
物適用ノ緩速ト其作用度ノ關係ニ就テ
中 川 久 男明治廿九年十一月一日生
福井縣出身 京大通過 主論文一 生體
溫度調節ニ關スル研究

小 川 政 治明治廿九年五月九日生
兵庫縣出身 京大々學院 主論文一 「
ドレナリン」ノ血脈ニ對スル作用實驗的
研究
福 井 謙 一 明治廿九年三月大日生
大阪出身 新潟醫大通過 主論文一 金
魚ノ種々ナル狀況ノ下ニ於ケル色彩ニ就
テ
林 一 治明治廿九年二月一日生
福井縣出身 京大々學院 主論文一 「
キタリス」族ノ藥物學的研究
藤 田 小 五 郎明治廿九年六月二日生
東京出身 京大通過 主論文一
Contribution to the serological study
of experimental rat-bite fever in rats
His
渡 邊 一 郎明治廿九年四月廿日生
栃木縣出身 慈惠醫大通過 主論文一
膀胱粘膜ニ於ケル上皮性形造物ノ形態及
其ノ意義ニ就テ(固有粘膜腺ノ存在ヲ否
定ス)
中 村 桂明治廿九年七月九日生
茨城縣出身 大阪醫大通過 主論文一
動物體內ニ於ケル「
岡 崎 源 治 郎明治廿九年四月廿日生
岡山縣出身 大阪醫大通過 主論文一
眼乾燥症ニ關スル實驗的研究(特ニ「
モット」及ビ家兎ニ於ケル眼乾燥症ニ)
河 村 五 郎明治廿九年二月九日生
山口縣出身 愛知醫大通過 主論文一

錫ノ藥理補遺
糸 川 角 次 郎明治廿九年七月廿日生
和歌山縣出身 慶大通過 主論文一 中
透透性膜ヲ用ヒテセル結核菌ニ關スル動
物實驗ノ成績
橋 原 勇明治廿九年三月廿日生
熊本縣出身 同上 主論文一 腸内原蟲
ノ研究
松 田 知 三明治廿九年六月廿日生
三重縣出身 同上 主論文一 副腎ニ及
ボス「
腎ノ「
早 野 實明治廿九年六月廿日生
埼玉縣出身 同上 主論文一 百日咳研
究
小 倉 勇 雄明治廿九年七月九日生
兵庫縣出身 京大々學院 主論文一 甲
狀腺機能ノ免疫學的研究
片 岡 茂 樹明治廿九年九月廿日生
兵庫縣出身 京大通過 鼠蹊扶斯菌ニ關
スル波瀾反應「
都 築 宗 正文久二年一月廿日生
兵庫縣出身 京大通過 主論文一 「
ラチアス」
藤 澤 喜 久 治明治廿九年七月廿日生
山形縣出身 京大々學院 主論文一 人
體皮膚面ノ溫度ト蒸發作用トニ及ボス氣
流ノ影響
池 上 豐明治廿九年一月廿日生

ノ比較研究外三編
福 谷 溫明治廿九年十月七日生
愛知縣出身 同上 主論文一 日本住血
吸中病ニ關スル實驗補遺外四編
山 内 惠 助明治廿九年六月廿日生
德島縣出身 東北通過 主論文一 ち
きたり「
山 口 友 孝明治廿九年六月三日生
北海道出身 同上 主論文一 水分代謝
ニ關スル研究外七編
四 十 宮 龍 藏明治廿九年四月廿日生
德島縣出身 同上 主論文一 漸進性酸
素稀薄ニヨリテ起レル生理的現象ニ及ボ
ス諸種藥物ノ影響ニ就テノ實驗的研究外
三編
宮 城 順明治廿九年十月五日生
福岡縣出身 九大通過 主論文一 慢性
膀胱疾患ト胃液分泌トノ關係ニ就テ
中 村 萬 里明治廿九年二月二日生
福岡縣出身 同上 主論文一 肺炎双球
菌ニヨル聽器炎症ノ實驗的研究補遺
石 澤 政 男明治廿九年四月廿日生
熊本縣出身 同上 主論文一 細胞核ノ
研究
大 野 四 郎明治廿九年四月廿日生
栃木縣出身 九大々學院 主論文一 副
腎ノ「
大 井 司明治廿九年二月五日生
宮城縣出身 九大通過 主論文一 大腸
「
西 村 利 雄明治廿九年十月七日生

石川縣出身 京大通過 主論文一 實驗的「フランベシア」の研究
 時 枝 蕨明治廿二年五月廿七日生 大分縣出身 京大々學院 主論文一 交ノ實驗的研究
 山 取 瀧 三明治廿六年六月九日生 大阪出身 北大通過 主論文一 Über die Beziehung zwischen P II und elektrischer Doppelschicht
 中島 謙太郎 明治廿五年二月八日生 東京出身 同上 主論文一 去勢ノコトニ關スル影響
 浦上 愛 夫明治廿五年十月十日生 兵庫縣出身 九大々學院 主論文一 小腸ノ運動トアウエルバツハ神經系トノ關係ニ就テ
 仙波 嘉 清明治廿一年一月四日生 愛媛縣出身 九大通過 主論文一 淋巴管系統ニ關スル研究
 名倉 英 二明治廿五年五月廿日生 東京出身 同上 主論文一 電鏡結合ニ移植ニ關スル實驗的研究
 佐野 伴 治明治廿五年五月廿日生 東京出身 同上 主論文一 血清ノ非特異性抗補體性物質ノ研究
 安井 修 平明治廿五年八月廿日生 愛媛縣出身 東大通過 主論文一 妊娠中毒症患者ノ血液像所見ニ就テ外二編
 角 尾 晋明治廿五年三月廿日生 富山縣出身 同上 主論文一 血液凝固ニ就テノ知見補遺
 日野 三郎 明治廿六年三月廿日生 山形縣出身 同上 主論文一 「アルギニン」酸素ニ就テ外二編
 徐 昌 道明治廿二年四月六日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 黃疸出血性スピロヘータ症ニ於ケル黃疸發生ニ就テ
 桑野 佐源 大明治廿二年二月九日生 福島縣出身 同上 主論文一 「バクテリオファージ」ニ關スル研究外三編
 小林 安宅 明治廿六年九月三日生 群馬縣出身 同上 主論文一 「モルヒネ」習慣ト其麻痺及興奮ノ兩作用ニ就テ
 野 本 佐 憲明治廿二年四月廿日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 家兎靜脈内ニ注入セラレタル異種血及ビ血清ノ清長ニ抗體發生ニ就テ
 西部 增治 郎明治廿五年十月廿日生 福井縣出身 同上 主論文一 家兎ニ於ケル實驗的流行性腦炎ノ病理組織學的研究所 附家兎ノ偶發性腦炎ニ就テ
 石川 一 佐 久明治廿五年一月廿日生 東京出身 同上 主論文一 腸管ノ蛋白質透過性ニ關スル實驗的研究
 田代 信 德明治廿五年二月八日生 東京出身 同上 主論文一 家兎水出納障礙時ニ於ケル木架絞筋含水量ノ變化ニ就テ
 尼子 富士 郎明治廿六年三月一日生 東京出身 同上 主論文一 網狀織内被細胞系統ノ機能研究
 藤田 秋 治明治廿三年三月三日生 大分縣出身 同上 主論文一 膜ノ電氣的現象並ニ「イオン」透過性ニ關スル研究外四編
 中澤 恒三 良明治廿六年六月六日生 長野縣出身 慶大通過 主論文一 白米病神經麻痺ニ關スル加熱糖「エキス」及「アルカリ」ノ直接作用ニ就テ
 伊 澤 知 實明治廿五年七月七日生 栃木縣出身 同上 主論文一 H₂O₂類ノ研究
 河合 一 郎明治廿二年二月二日生 岡山縣出身 同上 主論文一 纖毛蟲「スタイロニキア」ノ系統培養 二 X線放射ノ纖毛蟲「スタイロニキア」ニ及ボス影響 三 飢餓及ビ藥物ノ纖毛蟲「スタイロニキア」ニ及ボス影響並ニ X線放射ノ作用トノ比較
 豐田 作太郎 明治廿五年一月七日生 東京出身 東大通過 主論文一 «Ames test» on the Oxidation of Aniline and «Amino» acid 二ニ關スル研究
 佐藤 徠 作明治廿二年一月八日生 大分縣出身 同上 主論文一 硫化「ナトリウム」ヲ應用シテ分離培養ヲ行ヘル「ピライツス」菌ノ細菌學的並ニ血清學的的研究
 三 澤 敬 義明治廿五年九月廿日生 福島縣出身 同上 主論文一 類脂肪性豚赤血球溶血原ニ就テ
 永末 脩明治廿五年五月六日生 福岡縣出身 同上 主論文一 「インシュリン」ノ血糖降下作用機轉ニ關スル實驗的研究
 太田 耕 作明治廿六年六月五日生 山形縣出身 同上 主論文一 「テイオキシフエニールメチールアミン」エタノール」ノ光學的兩異性體トノ藥理作用
 石川 雄三 郎明治廿五年九月廿日生 千葉縣出身 同上 主論文一 「コテイ」及ビ「テイ」ノ藥理學的的研究
 高木 純五 郎明治廿五年五月廿日生 岡山縣出身 同上 前庭神經三角核ノ比較解剖學的的研究
 石川 仁一郎 東大通過 主論文一 「モルモット」腹腔内ニ於ケル列刺菌ノ落菌現象ニ就テ
 山崎 庄 吉明治廿五年八月三日生 高知縣出身 京大々學院 主論文一 微量炭酸瓦斯産出ノ生物學的研究所外二編
 渡邊 龍明治廿五年一月五日生 岐阜縣出身 京大通過 主論文一 關節腔ノ免疫學的研究所外二編
 上 田 漸明治廿五年三月廿日生 奈良縣出身 京大々學院 主論文一 急性性機中毒ニ際シ家兎體內ニ於ケル銅及ビ「マンガン」ノ分布ニ就テ
 吉田 萬 次明治廿五年三月二日生 愛知縣出身 京大通過 主論文一 東洋流肝絞筋清知見補遺
 彦坂 良 吉明治廿五年三月廿日生

愛知縣出身 京大々學院 主論文一 無菌性實驗的肺炎ニ因ル血液脂肪及類脂肪含有量ノ變化ニ就テ外三編
 菅 野 華明治廿五年五月廿日生 京都出身 同上 主論文一 二三感作性色素ノ光力學的作用ニ關スル實驗的研究
 小林 益 三明治廿五年一月廿日生 靜岡縣出身 同上 主論文一 諸種藥物ノ創傷治療轉ニ及ボス影響ニ就テ
 家原 毅 男明治廿五年八月五日生 京都出身 京大通過 主論文一 環境ノ持久の中等度高温カ山羊ノ乳腺機能ト蛋白質代謝ニ及ボス影響並ニ熱感ニ就テ
 賀 得 三明治廿五年二月三日生 京都出身 京大々學院 主論文一 眼高内神經ノ解剖學的知見補遺
 森 田 權 平明治廿五年二月七日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 心臟房室間ノ刺戟傳導ニ及ボス藥物ノ影響ニ就テ
 中 島 浩 吉明治廿五年十月九日生 福井縣出身 同上 主論文一 膽汁ノ流出狀態ニ關スル臨床的研究
 戸 田 亨明治廿七年二月一日生 廣島縣出身 京大通過 主論文一 床風ノ研究及驅除法
 黒川 惠 寬明治廿九年九月廿日生 滋賀縣出身 東北大通過 主論文一 諸種金屬粉末ノ溶血並ニ殺菌作用ニ就テ
 唐澤 利千 雄明治廿五年三月廿日生 長野縣出身 岡山醫大通過 主論文一 生血蛋白質新陳代謝ニ及ボス膽汁酸ノ影響及ビ「ヒヨロイン」酸ノ意義ニ就テ
 二 蛋白質新陳代謝ニ「ブリン」新陳代謝ニ及ボス膽汁酸ノ影響及ビ「ヒヨロイン」酸ノ意義ニ就テ
 鈴木 保 壽明治廿五年八月七日生 茨城縣出身 慈惠醫大研究所 主論文一 自然凝集反應ノ本態ニ關スル研究
 内 田 進明治廿五年二月廿日生 三重縣出身 慈惠醫大通過 主論文一 抗體ノ解離精製及其ノ化學的性状ニ就テ
 大 森 靜 樹明治廿五年九月五日生 福井縣出身 九大通過 主論文一 香椎動物心臟ニ於ケル房室連絡系統ノ比較解剖學的並ニ發生學的研究
 福井 富 雄明治廿五年一月廿日生 愛知縣出身 大阪醫大通過 主論文一 鐵新陳代謝及ビ脾臟ニ及ボス「サロニン」ノ影響ニ就テ
 市 原 巖明治廿五年八月一日生 岐阜縣出身 同上 主論文一 手術後特ニ開腹手術後呼吸器合併症成因ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
 渡邊 治 雄明治廿五年三月廿日生 北海道出身 同上 主論文一 心臟諸部位ノ自働性ニ關スル實驗的研究 二 三藥品ノ心臟各部ノ自働的搏動ニ及ボス影響
 愛川 東 平明治廿五年六月五日生 三重縣出身 同上 主論文一 胃ノ神經支配ニ關スル實驗的研究
 深町 穂 稱明治廿五年七月廿日生 愛知縣出身 同上 主論文一 同種血球凝集反應ヨリ見タル人血ノ研究
 小 田 榮明治廿五年一月一日生 岡山縣出身 京大々學院 主論文一 諸種藥物ノ呼吸中氣ニ及ボス影響ニ就テ
 高崎 文 雄明治廿五年四月四日生 大阪出身 京大通過 主論文一 細菌凝集反應ニ及ボス色素ノ影響ニ就テ
 吉田 米太郎 明治廿五年三月廿日生 京都出身 京大々學院 主論文一 移植腫瘍發育ケ新陳代謝ニ及ボス影響
 齋 藤 勤明治廿五年六月九日生 滋賀縣出身 同上 主論文一 前庭迷路刺戟ノ腸運動ニ及ボス影響ニ就テ
 鈴木 主 稅明治廿五年三月五日生 愛知縣出身 同上 主論文一 「メトヘモグロビン」形成ニ就テノ實驗
 小川 安太郎 明治廿五年二月廿日生 德島縣出身 同上 主論文一 溶血現象ト粘稠度トノ關係
 新井 寬 治明治廿五年二月廿日生 栃木縣出身 東北大通過 主論文一 末梢神經ノ形態學的生物学的性情ニ關スル研究
 難 波 睦明治廿五年一月六日生 岡山縣出身 同上 主論文一 實驗的自家溶血素ニ就テ
 菅 原 正明治廿五年一月三日生 宮城縣出身 同上 主論文一 猫血液中ノあざねらんに含有量測定法トシテ猫奇怪性眼反應ト家兎腸法トノ比較
 福岡縣出身 同上 主論文一 「インシュリン」ノ血糖降下作用機轉ニ關スル實驗的研究
 中山 直 秀明治廿五年十月廿日生 長野縣出身 同上 主論文一 眼球内腔癌ニ於ケル眼内腫ノ腫度ニ關スル比較研究
 平 石 貞 市明治廿五年六月一日生 島根縣出身 慶大通過 主論文一 蠟蝋ノ仔豚感染試驗特ニ「グイタミン」A 缺乏食餌飼育仔豚ニ於ケル試驗
 須賀 吉之助 明治廿五年二月廿日生 茨城縣出身 同上 主論文一 孵化鶏卵ノ免疫學的研究
 遺澤 忠三 郎明治廿五年五月大日生 高知縣出身 同上 主論文一 「サブテリ」菌ノ凝集反應ニヨル分類ニ就テ
 山 本 和 成明治廿五年二月三日生 東京出身 東大通過 主論文一 周圍氣體ト生體ノ呼吸トノ關係
 奥 谷 廣 光明治廿五年五月廿日生 三重縣出身 同上 主論文一 特ニ外科領域ニ於ケル血清蛋白ニ關スル研究
 打 田 義 芳明治廿五年四月七日生 石川縣出身 同上 主論文一 「マウス」及「モルモット」ニ就テノ非經口的及自然經路感染ノ實驗的比較試驗
 富 隆 明明治廿二年一月九日生 千葉縣出身 同上 主論文一 吸着狀態ニ於ケル抗體ノ作用ニ就テ
 崔 日 文明治廿五年五月五日生 朝鮮出身 同上 主論文一 水痘ニ就テ
 竹 内 琢 磨明治廿五年四月廿日生 福井縣出身 同上 主論文一 非經口的

山口縣出身 九大通過 主論文一 香糖組織及ビ機能再生ニ關スル實驗的研究
 松岡文 七明治廿年十月八日生 香川縣出身 同上 主論文一 「インシュリン」ノ血糖降下機轉ニ就テ
 吉見鎮 夫明治廿年八月七日生 廣島縣出身 九大々學院 主論文一 產婦人科城ニ於ケル「ヒヨリン」ノ研究
 行徳俊 則明治十年十月廿日生 佐賀縣出身 同上 主論文一 喉嚨作用ニ及ボス甲状腺物質ノ影響ニ就テ
 齋藤周 藏明治廿年三月八日生 青森縣出身 東京通過 主論文一 沈降原沈降素ノ共存問題ニ就テ
 堀猪三郎 明治廿年八月三日生 新潟縣出身 同上 文論文一 瓦斯代謝ニ及ボス微量亞硫酸ノ影響ニ就テ
 金井良太郎 明治廿年五月廿日生 栃木縣出身 同上 主論文一 本邦成人ノ足前方脈ニ關スル「レントゲン」學的研究
 黒屋政彦 明治廿年一月六日生 東京出身 同上 主論文一 金屬鹽類ノ諸種和質ニ及ボス作用外ニ編
 目良亮 二明治廿年二月五日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 葉綠重ニ異種抗體形成ニ對スル抑制重ニ促進現象ニ就テ
 佐藤要 人明治廿年十二月廿日生 山形縣出身 同上 主論文一 「ヒドロ」芳香體「チクロヘクセン」「チクロヘクサ

ン及ビ「チクロヘクサノール」ノ生理ニ就テ 附「フェノール」「マンツキール」重ニ「チクロヘクセン」ノ環撃ト神經系部位トノ關係ニ就キテ
 溝淵忠 雄明治廿年二月十日生 高知縣出身 同上 主論文一 非經口的ニ吸入セル肺臟粉末浸出液ノ從廉肺臟重ニ結核肺臟ニ及ボス影響ニ就テ
 中尾秀 雄明治廿年七月七日生 宮崎縣出身 同上 主論文一 甲状腺腫腺重ニ脾臟ト骨髄トノ關係
 安達 溫明治廿年四月廿日生 東京出身 同上 主論文一 Di. Invariable Toketrisatalkhニ關スル研究
 本間 純明治廿年九月一日生 新潟縣出身 同上 主論文一 「インスリン」筋内内糖消費及ビ「グリコクレー」ニ及ボス作用
 中山茂 樹明治廿年九月廿日生 同上 主論文一 本邦ニ於ケル甲状腺腫ニ就テ
 今川卓 治明治廿年十一月九日生 群馬縣出身 同上 主論文一 毫筋ノ自律神經性榮養支配ニ就テ
 山田壽 一明治廿年二月七日生 宮崎縣出身 同上 主論文一 病原性葡萄狀球菌ト非病原性葡萄狀球菌トノ鑑別
 萩原省 三明治廿年一月廿日生 山梨縣出身 同上 主論文一 皮膚腫母菌病ニ就テ
 原隼 人明治廿年二月廿日生

東京出身 同上 主論文一 威壓(酸素缺乏)ニ對スル生體ノ適合作用ニ關スル實驗的研究
 近江湖雄 三明治廿年七月廿日生 秋田縣出身 同上 主論文一 「カセイ」ノ生理學的及ボ血清學的研究
 橋本欽 治明治廿年十月六日生 神奈川縣出身 東北通過 主論文一 「チウス」菌ノ研究
 橋本瑛太郎 明治廿年五月廿日生 大阪出身 阪大通過 主論文一 色光線ヲ以テセル暗適應機能計測
 築波秀 彦明治廿年三月廿日生 大分縣出身 長崎醫大通過 主論文一 「アレ」氏現象ノ研究
 龜井照 見明治廿年九月三日生 長崎縣出身 同上 主論文一 鳥類胎兒ノ羊水及尿酸液ノ化學的研究
 阿部竹之助 明治廿年三月廿日生 青森縣出身 九大通過 主論文一 肺ノ病の生理學ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
 牧野敏 雄明治廿年九月三日生 東京出身 同上 主論文一 鶏ノ喉頭並ニ下喉頭ノ發生學的研究
 角田 博明治廿年七月廿日生 千葉縣出身 同上 主論文一 氣胸ニ關スル實驗的研究
 阿部龍 夫明治廿年一月廿日生 秋田縣出身 慶大通過 主論文一 副腎アドレナリン量ニ及ボス植物性神經系ノ影響ニ就テ

影響ニ就テ
 濃野 垂明治廿年九月廿日生 千葉縣出身 同上 主論文一 東洋毛蠶線蟲ノ發育及ビ感染ニ關スル研究
 太田作治郎 明治廿年八月廿日生 大分縣出身 九大々學院 主論文一 妊娠學ニ關スル婦人血液ノ生理學的研究
 特ニ妊娠子宮胎盤及胎兒物質代謝機能ニ就テ
 秋武六一郎 明治廿年五月一日生 福岡縣出身 九大通過 主論文一 神經病理學ニ關スル知見補遺
 橫田秀 策明治廿年七月五日生 神奈川縣出身 同上 主論文一 膽石症ノ膽管内細菌ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
 田中 巖明治廿年四月廿日生 愛知縣出身 九大々學院 主論文一 血漿蛋白質特ニ「フィブリノゲン」ノ清長ニ就テ
 重松平 吾明治廿年一月廿日生 佐賀縣出身 九大通過 主論文一 尿閉ノ實驗的研究
 佐藤俱 正明治廿年二月五日生 德島縣出身 岡山醫大通過 主論文一 動脈壁ノ構造ニ關スル組織學的研究
 和田英 男明治廿年五月二日生 大阪出身 阪大通過 主論文一 尿酸素窒素ノ系數ニ關スル研究
 近野政 次明治廿年三月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 アミノ酸

ノ生理學的研究補遺

松野義 光明治廿年二月五日生 岐阜縣出身 慶大通過 主論文一 Uric acid Mushakuradas Ductus choledochus
 松本清 治明治廿年五月廿日生 東京出身 東大通過 主論文一 甲状腺中毒ニ依ル毒性生狀腺ノ變化ニ關スル實驗的研究
 須永西 馬明治廿年十月廿日生 埼玉縣出身 同上 主論文一 眠筋榮養ト自律神經支配ニ就テ
 竹内甲 平明治廿年十月廿日生 東京出身 同上 主論文一 胎生毛髮色素形成ニ關スル組織學的研究並ニ胎生毛髮發育及胎生毛髮變換初期變化ニ就テノ知見補遺
 松浦秀 明明治廿年一月二日生 愛媛縣出身 同上 主論文一 筋萎縮ト電氣反應ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究
 特ニ交感神經ト電氣反應ニ就テ
 柳野 殿明治廿年一月一日生 新潟縣出身 同上 主論文一 發性變性ニ基ク人間ノ健神經中樞經路ノ解剖學的研究
 伊藤鐵太郎 明治廿年二月五日生 岐阜縣出身 京大通過 主論文一 肝臟「チストマ」(筒管形)口蟲病ニ發現スル黃疸及ビ其ノ成因ニ關スル實驗的研究
 大野鈴 七明治廿年九月廿日生 岐阜縣出身 京大々學院 主論文一 金

屬元素相互間ニ於ケル代價作用ニ關スル研究
 石上一 介明治廿年五月廿日生 大阪出身 同上 主論文一 各所ノ血管條片ニ及ボス神經毒ノ作用
 佐々木松節 明治廿年五月廿日生 廣島縣出身 京大通過 主論文一 呼吸調節ノ研究
 吉田璋 也明治廿年一月七日生 鳥取縣出身 同上 主論文一 迷路興奮ノ血壓ニ及ボス影響ニ就テノ實驗的研究
 大澤忍 婦明治廿年五月廿日生 長野縣出身 同上 主論文一 纖維原素ニ關スル研究
 松本剛太郎 明治廿年三月廿日生 北海道出身 北大通過 主論文一 腸管ノ葡萄糖及ビ水分ノ吸收機轉ニ就テ
 重田常 遊明治廿年九月廿日生 神奈川縣出身 同上 主論文一 一種痘疫疫ニ關スル實驗的研究
 三宮信 彦明治廿年九月一日生 岡山縣出身 岡山醫大通過 主論文一 所謂酸性核ニ關スル實驗的研究並ニ其ノ組織學的本性ニ就テ
 北山加一 郎明治廿年八月廿日生 和歌山縣出身 同上 主論文一 「カルシウム」新陳代謝ニ關スル知見補遺
 豐田順 爾明治廿年一月九日生 群馬縣出身 京都府立醫大通過 主論文一 一机高決定標準トシテノ余ノ坐高三角法

奧村紀 雄明治廿年八月二日生 熊本縣出身 東大通過 主論文一 内分泌腺ノ生理ニ關スル研究補遺外ニ編
 岩野政 六明治廿年一月廿日生 佐賀縣出身 同上 「クハ」蛇毒ニ關スル研究
 恒川繁 治明治廿年四月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 赤血球沈降速度並ニ血漿蛋白移動ニ關スル實驗的研究
 豐田 榮明治廿年三月三日生 東京出身 京大々學院 主論文一 要素代謝ニ關スル實驗的研究
 初見金三郎 明治廿年七月四日生 茨城縣出身 東京通過 主論文一 神經衰弱患者ノ關係調節力及ビ關係轉力ニ就テ
 桑波田景雅 明治廿年六月四日生 鹿兒島縣出身 京大通過 主論文一 甲状腺ノ機能異常ヲ惹起セシメタル家兎ノ心臟ニ就テノ藥物學的研究
 早川朋 光明治廿年十月五日生 愛知縣出身 同上 主論文一 百日咳性肺炎ノ研究
 操 担 水明治廿年十二月廿日生 鹿兒島縣出身 同上 主論文一 發育期ニ於ケル「グイタミン」B缺乏症ニ就テ
 藤田宗 憲明治廿年五月廿日生 兵庫縣出身 同上 主論文一 フォルスマン氏抗原ニ就テノ研究
 岡崎義 盾明治廿年五月九日生

愛知縣出身 京大々學院 主論文一 出「マウス」心臟ニ就テノ實驗
 矢吹一 男明治廿年三月九日生 福島縣出身 同上 主論文一 血液ノ酸素解離線ヨリ觀タル血色素分子ノ凝集狀態ニ就テ
 井上 東明治廿年五月九日生 福岡縣出身 九大通過 主論文一 「ゲ」フテリ」ノ研究
 服部六 郎明治廿年十一月廿日生 京都出身 同上 主論文一 麻痺性痴呆ニ對スルマラリヤ療法ノ研究
 細田壽榮 重明治廿年三月五日生 長野縣出身 九大々學院 主論文一 鳥類「マグチヤタム」ノ研究
 尾崎正 道明治廿年五月九日生 東京出身 北大通過 主論文一 Parham Ladage der Kikenscha 外ニ編
 大藤熊 吉明治廿年八月二日生 福島縣出身 同上 主論文一 痘疹並ニ手痘「ウイールス」ニヨル家兎睾丸ノ病理組織的變化ニ就テ
 河合實 人明治廿年四月十日生 山口縣出身 慶應通過 主論文一 狂犬病豫防ニ關スル實驗的研究
 野村孝太郎 明治廿年八月廿日生 東京出身 同上 主論文一 所謂「メトロパチ」ニ就テ
 前田稻四郎 明治廿年七月廿日生 福島縣出身 同上 主論文一 本邦ニ於ケル「バラチ」菌ニ就テ

拓植恭一郎 明治廿九年三月廿日生
愛知縣出身 愛知醫大通過 主論文一
網狀織内皮細胞系統ト過敏症トノ關係ニ
就キテノ實驗的研究
森 文 香 明治廿九年一月廿日生
岐阜縣出身 愛知醫大通過 主論文一
諸種刺戟性物質ノ腎臟機能ニ及ボス影響
並ニ其組織學的研究
岩 橋 植 松 明治廿九年一月九日生
三重縣出身 同上 主論文一 各種「ス
ピロヘータ」病並ニ毒物中毒時ニ於ケル
肝臟ノ組織學的變化ニ就テ
竹 村 齋 治 明治廿九年二月八日生
奈良縣出身 阪大研究科 主論文一
ヒロール物質ヨリ血色素形成ニ關スル知見
補遺
岩 鶴 龍 三 明治廿九年十月廿日生
和歌山縣出身 阪大通過 主論文一 血
液内脂肪及類脂肪ノ研究
鈴木 潔 大 明治廿九年八月十日生
岡山縣出身 同上 主論文一 細菌ニ對
スル「バクテリオファージ」ノ人口の
傳染 附録「バクテリオファージ」ノ研
究
水 原 廣 明治廿九年三月廿日生
滋賀縣出身 同上 主論文一 經口免疫
ニ關スル實驗的研究
黒 田 鶴 治 明治廿九年七月廿日生
岡山縣出身 京都府立醫大通過 主論文
一 硫素ノ膽汁内排泄ニ就テ
佐 藤 清 熊 明治廿九年二月十日生

(以上昭和二年十月末迄ノ認可)

東京出身 慶大通過 主論文一 實驗的
外傷性「シヨック」ニ關スル研究
河 合 健 吉 明治廿九年一月二日生
福井縣出身 慈惠醫大研究科 主論文一
腎臟機能ニ關スル研究外五編
宮 城 洵 山 明治廿九年一月廿日生
福岡縣出身 九大通過 主論文一 副鼻
腔粘膜ノ病理學的研究

矢野 義雄

明治廿九年九月廿日生
岐阜縣出身 京大々學院 昭和二年十一
月授與主論文 各種動物ニ於ケル肝臟及
腎臟ノ排泄機能
稻 見 光 明治廿九年三月廿日生
栃木縣出身 京大 昭和二年十一月授與
主論文 加糖凝乳性細菌ニ關スル研究
森 涼 明治廿九年三月廿日生
千葉縣出身 京大 昭和二年十一月授與
主論文 脂肪質試食ガ動物體組織ニ及
ボス影響ノ形態學的研究
飯 尾 新 明治廿九年五月廿日生
愛媛縣出身 京大々學院 同年同月授與
主論文 日本白血球蟲ノ研究
加 藤 了 明治廿九年五月廿日生
三重縣出身 京大 同年十一月授與主論
文 血液ノ炭酸瓦斯運搬能力ニ關スル研究
安 野 吉 郎 明治廿九年七月八日生
京都府出身 京大 同年十一月授與主論
文 前庭迷路ノ生理的筋強直ニ及ボス影
響ニ就テ
細 見 慶 吉 明治廿九年九月五日生
兵庫縣出身 大阪醫大 同年十二月授與
主論文 結核感染ニ對スル口蓋扁桃腺ノ意

義及接種結核菌ノ播布ノ速度ニ關スル實
驗的研究

三宅 良 人 明治廿九年四月一日生
廣島縣出身 大阪醫大研究科 同年十二
月授與主論文 ケーリー氏胞ニ關スル實
驗的研究
藤 澤 好 雄 明治廿九年三月廿日生
大阪府出身 大阪醫大 同年十二月授與
主論文 結核性腦膜炎ノ實驗的研究
柏 井 忠 安 明治廿九年四月三日生
奈良縣出身 京都府立醫大 同年十一
月授與主論文 春季加答兒ノ臨床的觀察
並病理組織學的知見補遺
高 島 克 己 明治廿九年七月廿日生
群馬縣出身 千葉醫大 同年十二月授
與主論文 所謂「メラニン」色素ニ關ス
ル研究
渡 邊 篁 明治廿九年三月廿日生
山梨縣出身 千葉醫大 同年十二月授與
主論文 頸毛運動ニ關スル研究並ニバラ
フィン包埋一新法
關 市 衛 明治廿九年十月二日生
山形縣出身 慶應醫大 同年十一月授與
主論文 手術後胃腸出血トウエル氏菌ノ
關係ニ就テ

中山 喜美雄

明治廿九年十月廿日生
鳥取縣出身 慶應醫大 同年十一月授
與主論文 糖尿ニ於ケル「アセトン」
體病化學的意義ニ關スル實驗的研究
伊 藤 喜 平 明治廿九年三月八日生
新潟縣出身 慶應醫大 同年十一月授
與主論文 ザツクスゲアルギ「アンチ
ゲン」内ノ有効部分ニ就キテ
山 崎 和 雄 明治廿九年九月五日生
石川縣出身 慶應醫大 同年十一月授
與主論文 鼠痛ノ成熟異種動物甘口鼠
腸内移植試驗
上 野 鎮 也 明治廿九年三月廿日生
熊本縣出身 東大 同年十一月授與主
論文 種々ノ物質ノ炎症部位ニ於ケル移
行ニ就テ
黒 澤 潤 三 明治廿九年七月廿日生
東京府出身 東大々學院 同年十一月
授與主論文 「ゴツホワ、ウイークス氏」
桿菌性結膜炎ノ研究
中 島 角 治 郎 明治廿九年三月廿日生
奈良縣出身 東大 同年十一月主論文
心臟生理學補遺
中 島 壽 明治廿九年十一月一日生

長野縣出身 東大 同年十一月主論文ニ
肺炎並ニ分離機轉ニ關スル實驗的研究

櫻 井 英 一 明治廿九年五月廿日生
三重縣出身 東大 同年十一月授與主論
文 ノキツアイ氏筋ノ神經細胞ニ關スル
實驗的研究
樫 田 五 郎 明治廿九年二月七日生
東京出身 東大 同年十一月授與主論文
比較的早年期ニ於ケル腦動脈硬化ニ就テ
並ニ腦動脈硬化ニ基ク皮質性雜體遺性變
狀ノ合併ニ就テ
楠 五 郎 雄 明治廿九年六月廿日生
福岡縣出身 九大 同年十一月主論文
關下垂體ノ生理ニ關スル實驗的研究
石 川 勝 治 明治廿九年二月廿日生
東京府出身 九大 同年十一月授與主
論文 あほつらふちニ含有スル麻痺毒
並ニ癩癩毒ニ就テ
原 撰 明治廿九年六月廿日生
佐賀縣出身 九大々學院 同年十一月授
與主論文 肘關節ニ關スル研究
高 橋 憲 司 明治廿九年九月十日生
群馬縣出身 九大々學院 同年十一月授
與主論文 浮腫性疾患ノ水分代謝ニ關ス
ル實驗的研究

西岡道隆

明治廿二年五月廿九日生
和歌山縣出身 九大々學院 同年十一月
授與主論文 眼珠抽出後義眼基底作成ニ
關スル實驗的研究

薄場武

明治廿一年一月廿三日生
宮城縣出身 東北大 同二年十一月授與
主論文 色素性乾皮症ニ於ケル感光物質
ニ就テ

佐伯信男

明治廿一年八月廿六日生
京都出身 京大々學院 同年十二月授與
主論文 ひよれすてりしるすてあろ長期
餌食ニ困ル家兎副腎皮質ノ變化ニ就テ

大西清治

明治廿一年四月廿七日生
奈良縣出身 金澤醫大 同二年十一月授
與主論文 ガス代謝ニ及ボス環境溫度ノ
影響ニ就テ

小野純一

明治廿一年五月九日生
北海道出身 北大 同二年十一月授與主論
文 内分泌腺ヒステミンニ「ヒスタミン」
ノ腺外分泌ニ對スル作用ノ實驗的研究

升水好文

明治廿一年四月廿三日生
神奈川縣出身 東北大 同二年十一月授
與主論文 ヒリにげんに就テ

下村四郎

明治廿一年十月四日生
大阪出身 京大々學院 同二年十二月五
日授與主論文 實驗的腎臟手術ニ關スル
機能検査並ニ組織學的研究

竹本秀夫

明治廿一年二月一日生
愛知縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 有核赤血球ノ葡萄狀分解作用ニ就テ

二宮嘉重

明治廿一年六月廿七日生
福島縣出身 東北大學院 同年十一月授
與主論文 「コンゴウシ」ヲ以テスル肝
臟機能検査法ニ就テ

阪本三郎

明治廿一年七月廿六日生
大阪出身 京大論文同年十二月授與主論
文 鴉片ノ第二次性特徵ト生殖腺ノ内分
泌他四篇

田原留吉

明治廿一年四月廿六日生
京都出身 京大々學院 同二年十二月授
與主論文 肝臟ノ胆汁排泄ニ關スル實驗的
研究

小田康貞

明治廿一年八月廿日生
熊本縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 各種條件下ニ於テヒスタミンノ影
響ニ於ケル筋肉及肝臟内分ノ分布ニ就テ

生田信保

明治廿一年七月廿六日生
富山縣出身 東北大 同二年十一月授與
主論文 腺ト牙發間トノ關係ニ就テ

高崎龍太郎

明治廿一年七月廿六日生
福岡縣出身 京大 同二年十二月授與主論
文 ノドシテチヌクスタマルチクレール
ノ研究

加藤七三

明治廿一年三月廿日生
東京出身 京大 同二年十二月授與主論
文 「リコイト」ノ研究

近藤喜一

明治廿一年五月廿七日生
山梨縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 頸部交感神經ノ隨意筋支配ニ關ス
ル實驗的並ニ臨床的研究

飯島直

明治廿一年七月廿六日生
千葉縣出身 東北大 同二年十一月授與
主論文 子宮内腺像ト實體像トノ關係
ニ就テ

萩生規矩夫

明治廿一年九月廿日生
千葉縣出身 京大 同二年十二月授與主
論文 「アドレナリン」ノ迷走神經(副交
感神經)作用ニ就テ

櫻井虎雄

明治廿一年五月九日生
愛知縣出身 京大 同二年十二月授與主
論文 朝鮮人參ノ製糖作用ニ就テノ研究

佐田瀧洋

明治廿一年八月九日生
和歌山縣出身 京大 同二年十二月授與
主論文 前庭性眼震實驗ノ力學的觀察

吉岡好助

明治廿一年一月九日生
山口縣出身 岡山醫大 同二年十二月授
與主論文 兩腎機能ノ比較研究ニ就テ

秋山陽來

明治廿一年七月廿日生
香川縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 子細ノ成因ニ就テ

大日原靖喜

明治廿一年七月廿日生
群馬縣出身 慈惠大研究科 同二年十二
月授與主論文 所謂急性細胞肝臟萎縮症
ニ就テ

遠藤精虎

明治廿一年三月廿日生
福島縣出身 九大 同三年一月授與主論
文 嗜酸性チアス菌ニ就テ

木村茂太郎

明治廿一年九月廿日生
宮城縣出身 新潟醫大 同二年十二月授
與主論文 河豚毒ノ作用ニ關スル知見

戸出軍兵

明治廿一年七月七日生
岡山縣出身 東大 主論文 人類グイ
ミンB缺乏症

牧部孝一

明治廿一年五月廿四日生
群馬縣出身 慈惠大研究科 同二年十二
月授與主論文 所謂急性細胞肝臟萎縮症
ニ就テ

谷口熊雄

明治廿一年七月廿日生
福岡縣出身 九大 同三年一月授與主論
文 膽色素生成部位ニ關スル實驗的研究

山中雀之

明治廿一年九月一日生
長野縣出身 大阪醫大 同二年十二月授
與主論文 小口氏病ニ就テ

佐藤正

明治廿一年五月廿日生
長野縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 ヘスト免疫動物ノ肝臟ニ於ケル病
理組織學變化並ニ同免疫機轉ニ於ケル肝
臟ノ意義ニ就テ

伊藤吉右衛門

明治廿一年一月五日生
岐阜縣出身 九大 同二年十二月授與主
論文 腹腔内ニ流出シタル膽汁ノ作用ニ
關スル實驗的研究

下妻堅太郎

明治廿一年三月廿日生
長崎縣出身 長崎醫大 同三年一月授與
主論文 腹腔局所免疫ニ關スル研究二篇

萩野朝一

明治廿一年八月廿日生
福島縣出身 愛知醫大 同二年十二月授
與主論文 耳鼻咽喉科領域ニ於ケル急性
炎症疾患ノ血液學的豫後論

大串利一郎

明治廿一年七月九日生
大阪出身 大阪醫大 同二年十二月授與
主論文 結核菌ノ腸管進入機能及其病原的
意義

太田二也

明治廿一年五月廿日生
佐賀縣出身 九大 同二年十二月授與主
論文 膝關節「メニスクス」同關節軟骨
境界線ニ關スル實驗病理學的研究

和田龜俊

明治廿一年一月九日生
高知縣出身 金澤醫大 同三年一月授與
主論文 「ヒールコレステロール」ノ
化學的並組織的研究

横山茂樹

明治廿一年七月廿日生
静岡縣出身 東大 同二年十二月授與主
論文 胆果内分泌ノ研究

渡邊誠

明治廿一年八月一日生
新潟縣出身 大阪醫大 同二年十二月授

前田又四郎

明治廿一年三月三日生
佐賀縣出身 岡山醫大 同三年一月授與

主論文「チラミン」及「フエニールエチ
ールアミン」ノ作用並ニ兩物質ノ協力作
用ニ就テ

野間新 明治廿一年一月五日生
廣島縣出身 岡山醫大 同三年一月授與
主論文 網狀組織内被細胞組織系統ノ機
能ニ關スル知見補遺

廣石市 明治廿九年九月廿日生
福岡縣出身 熊本醫大 同三年一月授與
主論文 化學的角膜染色術ニ就テノ實驗
的並ニ臨床的研究

阪正義 明治廿九年五月一日生
愛知縣出身 愛知醫大 同三年一月授與
主論文 新免疫反應(如赤血球凝集反應)
ニ就テ

岩本正朝 明治廿九年二月廿日生
佐賀縣出身 東北大 同三年一月授與
主論文 腎臟外科ニ於ケルアンパール氏
係數並ニマツタソーン氏尿指數ニ就テ

鈴木主計 明治廿九年一月五日生
福岡縣出身 東北大 同三年一月授與
主論文 肝臟ノ解毒作用ノ研究や
りといふらふらくしニ對スル效果
兒島武夫 明治廿九年九月九日生
青森縣出身 東北大 同三年一月授與

須藤光彦 明治廿九年三月廿日生
和歌山縣出身 京大 同三年一月授與主
論文 瓦斯體ノ血行器ニ及ボス作用ニ就
テ實驗的研究他三篇

井倉 明治廿九年十月十日生
山口縣出身 京大々々學院 同三年一月授
與主論文 甲狀腺ノ機能ニ關スル研究他
二篇

中原養樹 明治廿九年三月廿日生
岐阜縣出身 東大 同三年一月授與主論
文 狂犬病街上海(動物通過一二代)ト
接種部位ニヨル毒性ノ差違ニ就テ兩病
毒ノ生物學的鑑別法

白川彌源太 明治廿九年八月五日生
佐賀縣出身 東大 同三年一月授與主論
文 膠質金價ノ家兎及犬ニ於ケル素珠
ニ「プリン」體代謝ニ及ボス影響ニ就テ

生駒正志 明治廿九年四月十日生
東京府出身 東大 同三年一月授與主論
文 深動治療用「レントゲン」線ノ直達
作用ニヨル中樞神經系統松果腺及腦下垂
體化並ニ直達作用ニヨリ爾後諸臟器ノ
第二次的變化ニ就テ

小杉通允 明治廿九年二月廿日生
東京府出身 東大 同三年一月授與主論文

新海縣出身 京大 同三年一月授與主論
文 朝鮮ニ於ケル受病者ノ營養並ニ新陳
代謝ニ關スル研究他三篇

渡邊貞惠 明治廿九年七月廿日生
大阪府出身 京大 同三年一月授與主論
文 心機能及其中毒作用ニ對スル氣温ノ影響
藤田正夫 明治廿九年一月廿日生
愛媛縣出身 岡山醫大 同三年一月授與
主論文 二三交感神經性「アミン」ノ藥物
學的研究

米村貞知 明治廿九年六月廿日生
石川縣出身 岡山醫大 同三年一月授與
主論文 膽汁酸生成ニ就キテ

本田偉志雄 明治廿九年四月四日生
熊本縣出身 長崎醫大 同三年一月授與
主論文 哺乳兒ニ於ケル肺炎ニ就テ他二篇

矢ヶ崎勘七 明治廿九年七月三日生
東京府出身 北大 同三年一月授與
主論文 頭髓ノ前角細胞ノ分野ニ就テ並
ニ橫斷神經起核細胞ノ分野ニ就テ

中牟田厚 明治廿九年四月廿日生
佐賀縣出身 九大 同三年二月授與主論
文 痲疹體免疫ニ關スル實驗的研究

須古秀雄 明治廿九年九月廿日生

廣島縣出身 慶大 同三年一月授與主論
文 制止現象ノ研究後部位ニ於ケル連
續興奮消失ノ理由

宇山安夫 明治廿九年八月六日生
德島縣出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文 脊推動物ノ網膜中ニ於ケル神
經維布分ニ關スル研究

長谷川成一 明治廿九年八月四日生
大阪府出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文「Bインドルエルエチールアミン」
ノ作用ニ就テ

梶原三郎 明治廿九年一月廿日生
福岡縣出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文「アドレナリン」ノ臟器ニ及ス作
用ハ果シテ純末稍性ノモノナリヤ「アド
レナリン」ニ對スル腎血管ノ態度ニ就テ

山本芳藏 明治廿九年七月二日生
大阪府出身 大阪醫大 同三年一月授與主
論文 血管通過性ニ關スル交感神經ノ影
響ニ就テ

小林數之助 明治廿九年七月三日生
山口縣出身 慶大 同三年一月授與主論
文「モルヒネ」過量糖ノ「モルヒネ」習
慣及ソノ理由

石川孝壽

瀧山耐 明治廿九年一月廿日生
愛媛縣出身 京都府立醫大 同三年一月
授與主論文「クロロフォルム」吸入麻酔ノ
血液及血清反應ニ及ボス影響ニ就テ

正田政人 明治廿九年七月十日生
廣島縣出身 岡大醫大 同三年一月授與
主論文 熊ノ膽汁酸「ウルソデオキシ
ヒヨール」酸及其ノ生理的作用ニ就テ

宇都宮博章 明治廿九年五月廿日生
愛媛縣出身 岡山醫大 同三年一月授與
主論文 海葱ノ配糖體「ヌチラレン」ノ作用
ニ就テ

及川邦治 明治廿九年八月六日生
千葉縣出身 千葉醫大 同三年一月授與
主論文 ショットミユル氏「パラチア
ス」B菌ノ「セプトール」分析

遠藤順和 明治廿九年四月廿日生
東京府出身 千葉醫大 同三年一月授與主
論文 顔面神經ト聽神經ト連絡ニ關ス
ル實驗解剖的研究

眞下信一郎 明治廿九年四月廿日生
京都府出身 慶大 同三年二月授與主論
文 球菌類ノ家兎蜘蛛膜下腔接種ニヨリ
テ起ル中樞神經ノ病理的組織學的所見ニ
就テ

「ハマトホルフィン」ノ血漿蛋白質
ノ變化ニ關スル研究

水田信夫 明治廿九年三月七日生
山口縣出身 京大々々學院 同三年一月授
與主論文 食通反射運動ニ關スル實驗的
並ニ臨床的研究

高柳武夫 明治廿九年二月九日生
千葉縣出身 東大 同一年一月授與主論文
「免疫原」ニ關スル研究

松本章太 明治廿九年一月二日生
東京府出身 東大 同三年一月授與主論文
腸チフス解熱後ノ排菌關係特ニ余ノ所謂
「腸菌」ニ就テ

山田謙三 明治廿九年二月六日生
新潟縣出身 東大 同三年一月授與主論
文 溶血素ヲ以テセル血清反應並ニ免疫
學的研究

佐藤理太郎 明治廿九年八月廿日生
山形縣出身 東大 同三年一月授與主論
文 結核免疫ノ成因ニ關スル知見補遺

河原尚平 明治廿九年六月廿日生
岡山縣出身 東大 同三年一月授與主論
文 試験管内並ニ動物體內ニ於ケル炭酸
安門ヨリ尿毒發生ニ關スル實驗的研究

太田敏夫

熊本縣出身 九大 同三年二月授與主論
文 扁桃腺浸出液ノ藥物學的研究

谷口健康 明治廿九年一月廿日生
福井縣出身 九大 同三年二月授與主論
文「ビターミンBガ」可移植性家鶏肉腫
ニ及ボス影響

櫻井郷三 明治廿九年八月廿日生
山口縣出身 九大 同三年二月授與主論
文 抗體産出ニ及ボス甲狀腺機能ノ實驗
的研究

稻田宜男 明治廿九年六月廿日生
愛知縣出身 九大 同三年二月授與主論
文 大腸運動ト其神經細胞トニ就テ

古川穂東 明治廿九年一月廿日生
德島縣出身 九大 同三年二月授與主論
文 實驗的「トソバノゾミア」シスニ於ケ
ル免疫學的研究

山瀬鑑 明治廿九年七月三日生
東京府出身 慶大 同三年一月授與主論文
一、腰髓麻酔ノ物質代謝ニ及ボス影響ニ
就テ二、腰髓麻酔ノ下ニ開腹手術ヲ施セ
ル患者ノ物質代謝研究

佐藤長松 明治廿九年五月廿日生
宮城縣出身 東北大 同三年一月授與
主論文 浮腫ニ關スル研究

廣島縣出身 慶大 同三年一月授與主論
文 制止現象ノ研究後部位ニ於ケル連
續興奮消失ノ理由

宇山安夫 明治廿九年八月六日生
德島縣出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文 脊推動物ノ網膜中ニ於ケル神
經維布分ニ關スル研究

長谷川成一 明治廿九年八月四日生
大阪府出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文「Bインドルエルエチールアミン」
ノ作用ニ就テ

梶原三郎 明治廿九年一月廿日生
福岡縣出身 大阪醫大 同三年一月授與
主論文「アドレナリン」ノ臟器ニ及ス作
用ハ果シテ純末稍性ノモノナリヤ「アド
レナリン」ニ對スル腎血管ノ態度ニ就テ

山本芳藏 明治廿九年七月二日生
大阪府出身 大阪醫大 同三年一月授與主
論文 血管通過性ニ關スル交感神經ノ影
響ニ就テ

小林數之助 明治廿九年七月三日生
山口縣出身 慶大 同三年一月授與主論
文「モルヒネ」過量糖ノ「モルヒネ」習
慣及ソノ理由

石川孝壽

瀧山耐 明治廿九年一月廿日生
愛媛縣出身 京都府立醫大 同三年一月
授與主論文「クロロフォルム」吸入麻酔ノ
血液及血清反應ニ及ボス影響ニ就テ

正田政人 明治廿九年七月十日生
廣島縣出身 岡大醫大 同三年一月授與
主論文 熊ノ膽汁酸「ウルソデオキシ
ヒヨール」酸及其ノ生理的作用ニ就テ

宇都宮博章 明治廿九年五月廿日生
愛媛縣出身 岡山醫大 同三年一月授與
主論文 海葱ノ配糖體「ヌチラレン」ノ作用
ニ就テ

及川邦治 明治廿九年八月六日生
千葉縣出身 千葉醫大 同三年一月授與
主論文 ショットミユル氏「パラチア
ス」B菌ノ「セプトール」分析

岩田清臣

明治廿二年一月廿日生
埼玉縣出身 京大 同三年二月授與主論文
固定帶ニ關スル筋萎縮並ニ筋率縮ニ關スル實驗的研究

神奈川縣出身 東大 同三年二月授與主論文
腦室内注射劑注入液布ニ依ル立體レ線影像ノ意義ニ就キテ

武藤完雄

明治廿二年二月廿日生
茨城縣出身 東北大 同三年二月授與主論文
城尿管及男性生殖器領域ニ於ケル悪性腫瘍ノ病理學的並ニ臨床的の知見補遺

明治廿九年九月三日生
島根縣出身 九大 同年同月授與主論文
住血養蠶類ノ研究「ナスガサメ」ニ見出サレタル性血養蠶ニ就キテ他一篇

佐野正規

明治廿一年一月廿日生
和歌山縣出身 京大 同三年二月授與主論文
同名補體結合反應ノ本態及固定點ニ就テ

愛知縣出身 東大 同三年二月授與主論文
「マウス」黄體發生ニ就テ

明治廿二年三月廿日生
鹿兒島縣出身 熊本醫大 同年同月授與主論文
胎兒腹内臓ノ細胞學的研究

明治廿九年九月四日生
愛知縣出身 京大 同三年二月授與主論文
百日咳淋球菌增加症ニ關スル臨床並ニ實驗的研究

高野了三

明治廿二年二月廿日生
岐阜縣出身 京大 同三年二月授與主論文
肝臓ノ膽汁排出機能的研究

愛知縣出身 東大 同三年二月授與主論文
臟器「ツイタミン」含有量中心トシテ「ツイタミン」B缺乏症ノ本態ニ就テ

明治廿九年九月一日生
支那出身 九大々々學院 同年同月授與主論文
諸種細菌毒素及非特異性蛋白質靜脈内注入ニ由ル家兎血液ノ理化學的變化ニ就テ

明治廿九年三月廿日生
埼玉縣出身 京大 同年同月授與主論文
第一助飲管ニ於ケル關節形式ニ關スル「レントゲン」線學的研究

長濱宗信

明治廿九年四月七日生
兵庫縣出身 大阪醫大 同三年二月授與主論文
蛋白質食餌ト含水炭素性食餌ノ結核感染ニ及ボス影響並ニ實驗的研究

青森縣出身 東大 同三年二月授與主論文
大正十三年夏東京ニ流行セル腦炎ノ病理組織學の檢索

明治廿四年四月廿日生
福岡縣出身 九大 同三年二月授與主論文
腎口着菌ノ研究他三篇

明治廿九年三月一日生
愛知縣出身 京大 同年同月授與主論文
Big Biological and serological study of Albuminuria

關誠一郎

明治廿六年六月二日生
神奈川縣出身 慶大 同三年二月授與主論文
「レントゲン」放射ニ由ル造血器及肝腎ニ於ケル變化ニ就テ實驗的研究

愛媛縣出身 長崎醫大 同三年二月授與主論文
トロボネー「マール」メ「エ」生活力ニ就テ

明治廿九年四月八日生
三重縣出身 九大 同年二月授與主論文
支那人肺炎ノ統計的及臨床的研究

明治廿九年五月廿日生
廣島出身 京大々々學院 同三年三月授與主論文
赤血球浮遊液ノ粘稠度ニ關スル研究

端山經道

明治廿一年一月廿日生
大阪出身 京大 同三年三月授與主論文
「ホルフィン」ノ腸靜作用ニ對スル副腎ノ意義

北海道出身 東大 同三年二月授與主論文
文結核ノ人工的免疫ニ關スル實驗的研究

明治廿七年九月大日生
長野縣出身 北大 同三年三月授與主論文
諸種藥物腎臟瓦斯代謝ニ及ボス影響

明治廿九年四月八日生
長野縣出身 九大 同三年二月授與主論文
關節ノ吸收並ニ自然免疫ニ關スル實驗的研究

阪井毅

明治廿二年七月廿日生
兵庫縣出身 京大々々學院 同年同月授與主論文
毒素ノ氣道排泄ニ關スル研究

明治廿五年十月廿日生
愛知縣出身 東大 同三年二月授與主論文
副腎抽出ノ雌性生殖器ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究

明治廿九年八月廿日生
岩手縣出身 北大 同年同月授與主論文
子宮粘液ノ週期性水素「イオン」波動

明治廿九年三月廿日生
福岡縣出身 九大 同年三月授與主論文
腹膜吸收ニ關スル實驗的研究

加門英夫

明治廿九年十月廿日生
岡山縣出身 京大 同年同月授與主論文
鶏胎兒臟器組織培養ノ成長ニ及ボス諸種ノ藥物及色素ノ影響ニ就テ

明治廿五年一月廿日生
島根縣出身 京都府立醫大 同年同月授與主論文
細菌感染ニ對スル膜腔ノ抵抗就中大網膜ノ意義ニ就キテ

明治廿九年四月一日生
和歌山縣出身 岡山醫大 同年同月授與主論文
「クロナキシル」ノ研究

明治廿九年六月五日生
石川縣出身 京大 同年同月授與主論文
血液ノ膠質浸透壓ニ關スル研究

北川 溟

明治廿二年五月廿日生
福井縣出身 東大 同三年二月授與主論文
「パンスギン」氏先天性「ヘマトホルフィン」症並ニソノ實驗的研究

明治廿五年五月廿日生
臺灣出身 東大 同年二月授與主論文
本人ニ於ケル脈絡膜及網膜色素ノ脂生組織學的研究

明治廿五年十二月廿日生
山梨縣出身 九大 同年同月授與主論文
心臟ニ對スル水素「イオン」濃度ノ生理學的並ニ藥學的研究

明治廿二年二月六日生
京都出身 京大 同年同月授與主論文
那蛋白質「トバロゲン」結合ニ就テ

今西武夫

明治廿二年五月十日生
岐阜縣出身 東大 同年同月授與主論文
硝子體ノ茶腎ノ構造ニ就テ

明治廿九年九月廿日生
廣島縣出身 熊本醫大 同三年三月授與主論文
種痘家兎ニ於ケル痘毒滅殺素ノ消長ニ就テ

明治廿六年三月八日生
京都府出身 九大 同年同月授與主論文
子宮及腸粘膜ヨリ藥物並ニ免疫液體殊ニ精系蛋白質變性素ノ排泄ニ關スル實驗的研究原因不明ノ不妊症ニ就テ

明治廿九年三月廿日生
井關健夫
京都出身 京大 同年三月授與主論文
抗酸性菌ノ研究

垂井 駿

明治廿九年四月四日生
東京出身 東大 同三年二月授與主論文

明治廿九年九月九日生
城下良平

明治廿六年三月九日生

明治廿九年三月廿日生
井關健夫
京都出身 京大 同年三月授與主論文
抗酸性菌ノ研究

- 矢野 勳 明治五年十月廿日生 論文「オキシ」酸分解
- 廣島縣出身 大阪醫大 同年同月授與主論文 結核菌ノ血流ノ組織反應
- 辛島 格 明治八年三月廿日生 大分縣出身 慶應大 同年同月授與主論文 「コカイン」作用ニ及ボス「エルゴトキシン」ノ影響
- 柳澤信賢 明治五年九月九日生 東京出身 慶應大 同年三月授與主論文「エンツェファログラフィ」及「エントエファログラム」
- 松浦輔彦 明治六年六月廿日生 廣島縣出身 岡山醫大 同年三月授與主論文 酸性「フクミン」紫色ニ就テ
- 原勝巳 明治九年八月八日生 岡山縣出身 岡山醫大 同年同月授與主論文 ウィグデル氏食餌性白血球減少ノ本態的研究
- 白木 武 明治七年四月廿日生 神奈川縣出身 長崎醫大 同年同月授與主論文 死體ノ運命檢査補遺他 篇
- 古庄乙産 明治五年三月廿日生 熊本縣出身 熊本醫大 同年同月授與主論文
- 松田恒夫 明治九年八月廿日生 奈良縣出身 京都大々學院 同年同月授與主論文 膽汁内蛋白質出現問題ニ關スル實驗的研究
- 廖煥章 明治六年十月二日生 京都出身 京大 同年同月授與主論文 蟻毒(蝦蟇毒)ノ藥物學的研究補遺
- 林 謙 明治廿年五月六日生 山梨縣出身 慶應醫大 同年同月授與主論文 神經刺戟電流ノ滑走ニ就テ
- 杉田隼人 明治九年九月廿日生 東京府出身 慶應醫大 同年同月授與主論文 飲食代謝ニ對スル肝臟物質ノ作用機轉ニ就テ肝臟ト食糧中糖トノ關係
- 小松經雄 明治廿年四月廿日生 東京出身 慶大 同年同月授與主論文 「サルゲルサン」ノ活動ニ影響及ボス因子ニ就テ
- 豐田實 明治廿年七月廿日生 奈良縣出身 東大 同年同月授與主論文 人類象牙質ノ神經主宰ニ關スル研究並ニ之ガ新研究方法ナル電氣透水流法ニ就テ
- 村松篤治 明治廿年九月廿日生
- 福島縣出身 東大 同年同月授與主論文 菌狀血症ニ就テ
- 佐伯靜男 明治廿年一月一日生 千葉縣出身 東大 同年同月授與主論文 骨折治療現象ニ對スル二三藥劑ノ影響ニ就テ
- 吉田真 明治廿年一月廿日生 長野縣出身 東大 同年同月授與主論文 鬱積性黃疸ニ於ケル肝臟機能障礙ニ關スル實驗的研究
- 野中萬次郎 明治廿年一月十日生 東京府出身 東大々學院 同年三月授與主論文 鬱積者ノ大腸皮質線ニソノ所謂領域ニ於ケル組織學の所見補遺並ニ其ノ發生學の意義
- 新井信義 明治廿年三月廿日生 長野縣出身 千葉醫大 同年同月授與主論文 内耳ノ形體學の並ニ發生學的研究
- 藤森鶴龜麿 明治廿年一月廿日生 長野縣出身 京大 同年同月授與主論文 虎齒ニ關スル補體結合反應殊ニ其「インヘゲン」現象ノ研究成績
- 祝榮之助 明治廿年七月廿日生 鳥取縣出身 京大々學院 主論文 諸種内分泌ノ血小板數ニ及ボス相互關係ニ就テ
- 松田恒夫 明治九年八月廿日生
- 廖煥章 明治六年十月二日生
- 林 謙 明治廿年五月六日生
- 杉田隼人 明治九年九月廿日生
- 小松經雄 明治廿年四月廿日生
- 豐田實 明治廿年七月廿日生
- 村松篤治 明治廿年九月廿日生

- 靜岡縣出身 金澤醫大 同年同月授與主論文 レントゲン線ノ生物學的作用ニ關スル實驗的研究
- 岡本詰次 明治廿年三月廿日生 兵庫縣 北海道帝大 同年四月授與主論文 テレル氏現象ト細菌ノ窒素代謝トノ關係ニ就テ
- 安中清次郎 明治九年六月七日生 靜岡縣出身 北海道帝大 同年四月授與主論文 蛋白質ノ heat and chemie
- 若岡吉雄 明治九年七月廿日生 岐阜縣出身 京大々學院 同年三月授與主論文 呼吸器内ニ於ケル塵埃或ハ異物ノ機轉ト組織ノ變化
- 小山憲佐 明治五年三月廿日生 東京府出身 金澤醫大 同年三月授與主論文 腸液ノアルカリ性反應ノ成因ニ就テ
- 猪口清是 明治九年三月廿日生 熊本縣出身 京大 同年同月授與主論文 赤痢本型菌ニ依ル噬菌作用「イムヘゲン」現象
- 溝上三保 明治廿年三月廿日生 奈良縣出身 京都大學院 同年三月授與主論文 インスリンノ糖尿病パセドウ氏病及ヒ肺癆患者蛋白質新陳代謝ニ
- 及ボス影響ニ就テ
- 中島了介 明治廿年九月廿日生 群馬縣出身 千葉醫大 同年同月授與主論文「グリアゲン」ヨリ得ル一種ノ「ラハチド」ニ就テ
- 荒蕪義彦 明治廿年八月廿日生 茨城縣出身 東北大 同年四月授與主論文 結髮性脫毛症ノ臨床的並ニ實驗的研究
- 白麟 濟 明治廿年七月七日生 朝鮮出身 東大 同年四月授與主論文 實驗的尙健病ノ研究
- 瀨之口 涉 明治廿年二月五日生 鹿兒島縣出身 東北大 同年四月授與主論文「一、葉丸移植ニ就テ 二、葉丸組織創制法治療關係ニ就テ
- 吉野潤敬 明治廿年二月廿日生 新潟縣出身 慈惠醫大 同年三月授與主論文 まらりあニ關スル研究
- 荒木駒雄 明治廿年二月廿日生 福岡縣出身 九大 同年四月授與主論文 心臟内神經細胞ノ機能ニ關スル實驗的研究
- 内田諒益 明治廿年九月廿日生
- 福島縣出身 東大 同年同月授與主論文 菌狀血症ニ就テ
- 佐伯靜男 明治廿年一月一日生
- 吉田真 明治廿年一月廿日生
- 野中萬次郎 明治廿年一月十日生
- 新井信義 明治廿年三月廿日生
- 藤森鶴龜麿 明治廿年一月廿日生
- 祝榮之助 明治廿年七月廿日生
- 鳥取縣出身 京大々學院 主論文 諸種内分泌ノ血小板數ニ及ボス相互關係ニ就テ
- 岐阜縣出身 九大々學院 同年三月授與主論文 糖質分解ニ對スル「ホルモン」特ニ「腺臟「ホルモン」ノ影響ニ就テ
- 竹島光藏 明治廿年八月廿日生 大阪出身 九大 同年四月授與主論文 淋巴腺ニ對スル「レ」線ノ作用ニ關スル實驗的研究
- 六本木久雄 明治廿年二月三日生 群馬縣出身 九大 同年四月授與主論文 蠟蛇毒ノ毒物學的研究
- 副島辰太郎 明治廿年八月廿日生 佐賀縣出身 九大 同年同月授與主論文 牛心ノ保生灌漑ニ就テ
- 降矢泰甫 明治廿年一月十日生 山梨縣出身 九大 同年同月授與主論文 小兒殼粉榮養障礙症ノ臨床的病理解剖學的並ニ組織學的研究
- 小野正男 明治廿年二月廿日生 香川縣出身 東大 同年同月授與主論文 赤血球新生機能ニ關スル實驗的研究
- 福田保 明治廿年一月廿日生 茨城縣出身 東大 同年同月授與主論文 「ターム」病ニ關スル知見補遺特ニソノ移植ニ就テ
- 武智基造 明治廿年九月廿日生
- 靜岡縣出身 東大 同年同月授與主論文 去勢人工潛伏睾丸及ヒ異性生殖腺移植後ノ海濱副腎皮質ノ形體學的研究
- 宇賀田馬吉 明治廿年三月廿日生 埼玉縣出身 東大 同年同月授與主論文「パラメチウム」ノ發育ニ關スル生化學的研究
- 深瀬信之 明治廿年一月九日生 北海道出身 東大 同年同月授與主論文 攝護腺病理補遺
- 鮫島龍水 明治廿年四月廿日生 東京出身 東大 同年同月授與主論文 腸管呼吸收轉トソノ酸素消長ニ就テ
- 藤森真治 明治廿年八月五日生 兵庫縣出身 岡山醫大 同年同月授與主論文 外傷性迷路炎ニ關スル實驗的研究
- 生馬茂 明治廿年八月六日生 和歌山縣出身 岡山醫大 同年同月授與主論文 人工的「アチドリガス」及過血糖ノ際尿及膽汁内糖排泄ニ於ケル腎臟及肝臟及ヒ肝臟機能ノ比較研究
- 國香哲三郎 明治廿年二月廿日生 山口縣出身 長崎醫大 主論文「アドレナリン」ノ生體內ニ於ケル運命並ニ「ア

ドレナリオンノ適用部位ト過血糖トノ關係ニ就テノ研究

中村安雄

長崎縣出身 長崎醫大 三年四月授與主論文 胎生時期ニ於ケル有期變期ノ成生ニ就テ

太田隆一

京都府出身 京都大學院 同年同月授與主論文 血液ニ關スルニ對スル色素濃度

杉浦清二

愛知縣出身 京大々學院 三年同月授與主論文 テクニメント學說並ニ反テクニメント學說ノ實驗的批判

翠川磐

長野縣出身 京大 同年同月授與主論文 諸種藥物ニ關スル實驗的肝硬變症ノ研究

高谷淳

京都出身 京大 同年同月授與主論文 家兎狂大病ノ實驗的研究

長尾慶吉

石川縣出身 京大々學院 同年同月授與主論文 ヒフ病素狀苗ニ關スル研究

岡田剛

富山縣出身 京大 同年同月授與主論文

神經麻痺時ニ於ケル重要筋率縮ノ最少インテラル曲線ニ就テ

前川照玉

德島縣出身 京大 同年同月授與主論文 ワイルト氏病「スピロヘーダ」一親知見

吉本良槌

山口縣出身 慶應醫大 三年四月授與主論文 眼ノ「アピタミノール」ト自内章トノ關係ニ就テ

安井潤

千葉縣出身 東大 三年五月授與主論文 諸種藥物ノ血管作用並ニ各局所血管相互關係ニ就テ

權藤球摩太郎

福岡縣出身 長崎醫大 同年同月授與主論文 胎生期臟器ノ機能ニ關スル研究三篇

沖津亘

德島縣出身 岡山醫大 四月授與主論文 黃金色葡萄球菌毒素ノ研究

塚本榮七郎

宮城縣出身 東北大 同年同月授與主論文 血液呼吸ニ關スル研究

杉野耕平

愛知縣出身 東大々學院 同年同月授與主論文

文 既往性血清反應並ニ諸種動物赤血球ノ抵抗性ト抵抗産生トノ關係ニ就テ

西宮金三郎

東京出身 東大 同年同月授與主論文 アルヤロシスノ病理ニ關スル實驗的研究

大山稻三郎

愛知縣出身 東大 同年同月授與主論文 産年齢ニ於ケル日本人ノ標準體格ニ就テ

白石謙作

山口縣出身 東大 同年同月授與主論文 毛様神經節破壞ノ他個眼ニ及ボス影響ニ就テ

江口勝二

佐賀縣出身 東大 同年同月授與主論文 生理的及病的狀態ニ於ケル家兎胸管淋巴ニ關スル細胞學的研究

嵯峨芳夫

三重縣出身 東大 同年同月授與主論文 結節性結核性肺膜炎ノ臨床所見ヨリ動物實驗ニ及テ

山下義夫

埼玉縣出身 九大々學院 同年同月授與主論文 濾液ノ内分泌の機能ニ關スル實驗的研究

河野秀次

宮崎縣出身 九大 同年同月授與主論文 血色素酸素解離曲線ニ及ボス變態ノ影響他一篇

上林親一郎

高知縣出身 九大 三年五月授與主論文 喉頭ノ運動特ニ聲帶運動ニ關スル實驗的研究

加來豐記

熊本縣出身 九大 同年同月授與主論文 血球ノ消化機轉ニ關スル研究

望月温象

廣島縣出身 九大 同年同月授與主論文 及蝨ノ心臟ニ於ケル所謂迷走神經物質ノ作用及形成ニ就テ

鶴木秀二

鹿兒島縣出身 九大 同年同月授與主論文 口蓋扁桃腺ノ病理組織學的研究

大坪豐

佐賀縣出身 九大 同年同月授與主論文 腸運動ニ神經支配ニ就テ

新井俊雄

群馬縣出身 北大 同年同月授與主論文 「スピロヘーダ」ト毒素トノ生物學的關係ニ就テノ實驗的研究

福江咸一

山口縣出身 京都府立醫大 同年同月授與主論文 敗血症性疾患ニ際スル總體障礙ノ實驗的研究

三浦久治

鳥根縣出身 京都府立醫大 同年同月授與主論文 尿酸分泌物ニ關スル研究補遺

西村八郎

佐賀縣出身 長崎醫大 同年同月授與主論文 内耳器ト體温トノ關係ニ就テ

財律龍三

福岡縣出身 長崎醫大 同年同月授與主論文 腎臟ノ水分並ニ「クロールナトリウム」ト排泄ニ關スル實驗的研究

松田正二

石川縣出身 大阪醫大 三年五月授與主論文 文類脂體免疫原性及ヒ抗原性ニ關スル血清學的研究

森村正伸

奈良縣出身 大阪醫大 同年同月授與主論文 後天性腦内水腫ノ成因ニ就テ實驗的證明

岡田白人

兵庫縣出身 阪大 同年同月授與主論文 異ナル條件ノ下ニ白米病ニ罹患セシメタル

鳩體内ニ於ケル「グイタミン」B含有量ニ就テ

内垣修一

鳥根縣出身 京大々學院 同年同月授與主論文 不妊症ノ生物學的研究

佐久間一

滋賀縣出身 京大々學院 同年同月授與主論文 子宮粘膜炎ト排泄機能ニ關スル實驗的研究

廣神伊藤

群馬縣出身 京大 同年同月授與主論文 迷路性筋緊張ノ實驗的研究

安田安治

福島縣出身 京大 同年同月授與主論文 前庭迷路機能ノ實驗的研究

佐藤小五郎

福島縣出身 京大 同年同月授與主論文 血液補體ノ研究特ニ補體各成分ニ就テ

右川庸夫

東京出身 京大 同年同月授與主論文 局所過敏症ノ病理組織學的研究

川上理作

大阪出身 京大 同年同月授與主論文 饑餓狀態ニ於ケル藥物ノ作用

山口静夫

佐賀縣出身 京大 同年同月授與主論文 活性汚泥ノ淨化作用ニ關スル研究

木村良夫

東京出身 東大 同年同月授與主論文 糖鼠尿ノ主要成分ヨリ見タル新陳代謝ノ考察

柴山義雄

大分縣出身 東大 同年同月授與主論文 腸内分泌ニ關スル實驗的研究

近藤耕三

廣島縣出身 東大 同年同月授與主論文 痲紅熱ノ溶血性連鎖球菌ニ關スル研究

西崎豐寬

奈良縣出身 東大 同年同月授與主論文 温熱性眼球震盪症ニ關スル實驗的研究

古川強三

長崎縣出身 東大 三年五月授與主論文 本邦ニ於ケル「サフテリ」菌型ニ關スル研究

内山春雄

東京出身 東大々學院 同年同月授與主論文 非經口の應用ニヨル膠樣體ノ藥理學的的研究

岡部連

明治廿年十月廿六日生

同年同月授與主論文

明治廿年八月廿日生

三年五月授與主論文

明治廿年七月一日生

同年同月授與主論文

明治廿年三月廿六日生

同年同月授與主論文

明治廿年四月廿日生

同年同月授與主論文

明治廿年三月廿七日生

同年同月授與主論文

明治廿年三月廿六日生

同年同月授與主論文

明治廿三年八月六日生

同年同月授與主論文

木畑辰夫

岡山縣出身 岡山醫大 同年同月授與主論文 脊髓液ト迷路液トノ關係ニ關スル實驗的研究

中村復一郎

愛知縣出身 慶大 同年同月授與主論文 惡性腺癌ノ治療法ノ研究

黒澤豊

新潟縣出身 慶大 同年同月授與主論文 冷中風ニ關スル藥物學的研究

行徳勝人

熊本縣出身 慶大 同年同月授與主論文 眼球癰ノ臨床的並ニ病理組織學的所見補遺

佐藤隆房

栃木縣出身 東北大 同年同月授與主論文 胸廓成形術ニ關スル實驗的研究

岸芳男

群馬縣出身 東北大 同年同月授與主論文 「インザカン」成生ニ關スル實驗的研究

柳橋元利

明治六年七月廿日生 秋田縣出身 東北大 同月授與主論文 免疫血清ノ溶血阻止作用ニ就テ

齋藤 靜 明治六年三月廿日生 福井縣出身 東北大 三年六月授與主論文 瀉血ガ大ノ副腎コリノあどれなりン 分泌速度ニ及ホス影響

武内宗四郎 明治六年六月六日生 富山縣出身 東北大 同月授與主論文 膝はるもんト鹽類代謝

塚本恒夫 明治六年二月廿日生 山形縣出身 新潟醫大 同月授與主論文 家兎ニ於ケル實驗的骨軟化症ノ研究並ニ 實驗的尙健病トノ異動ニ就テ

桑原 弼 明治六年四月廿日生 大分縣出身 岡山醫大 同月授與主論文 鳥類ニ於ケルD氏核ニ就テ

加藤 憲一 明治六年八月九日生 愛知縣出身 慈惠醫大 同月授與主論文 血球凝集素ノ研究

井尻又五郎 明治六年九月廿日生 山口縣出身 阪大 同月授與主論文 瀉 血後ノ血糖量ニ就テノ實驗的研究

近藤 榮 明治六年十月九日生 山形縣出身 東大 三年六月授與主論文

東京出身 京大 同月授與主論文 綠膿 菌ノ色素就中其ノ一新色素(赤膿色素) ナ論ジ併セテ木苗ノ螢光色素ト螢光菌ノ ソレトノ異同ニ及ブ

細田 誠 明治六年四月一日生 群馬縣出身 東大 同月授與 主論文 腎臟ノ糖排泄機轉ニ關スル研究

佐藤 久 明治六年三月七日生 愛知縣出身 東大 三年六月授與主論文 鷄血中ノ數種正常並ニ免疫抗産物生 量ノ年齡的差違ニ關スル實驗的研究

林 音彦 明治六年五月一日生 山口縣出身 東大 同月授與主論文 實驗的蛋白尿

松岡冬樹 明治六年二月廿日生 千葉縣出身 東大 同月授與主論文 生體ニ非徑口的ニ注入セル肝臟細胞成分 ノ肝臟並ニ他諸臟器ニ及ホス組織學的變 化ニ就テ

秋谷 實 明治六年一月二日生 埼玉縣出身 東大 同月授與主論文 發熱時ニ於ケル血液ノ毛機物及總酸鹽基 平衡ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究

武田敬治 明治六年二月廿日生 山形縣出身 東大 三年六月授與主論文

「ゲフテリ」血清ノ試驗的管内檢定法 ニ就テ

服部貴芳 明治六年一月四日生 愛知縣出身 京大 同月授與主論文 舞 踏鼠ノ研究

穂積鑑一 明治六年三月十日生 愛知縣出身 京大 同月授與主論文 恙 蟲病理解剖並ニ比較病理解剖學的研究

井上啓太郎 明治六年四月廿日生 埼玉縣出身 同月授與主論文 ウ ラノ腎炎家兎ノ物質代謝ニ關スル實驗的 研究

木村嘉一 明治六年一月十日生 滋賀縣出身 京都府立醫大 同月授與主 論文 惡性腫瘍ト神經トノ關係

青地正徳 明治六年七月廿日生 京都府出身 京都府立醫大 同月授與主 論文 炎ノ血球並ニ血清ニ及ホス影響附 炎ノ本態ニ就テ

高泉正暉 明治六年三月七日生 愛媛縣出身 新潟醫大 同月授與主論文 皮膚ノ「メラニン」色素ノ形成ニ就テ附 皮膚以外ニ出現スル「ニ」メラニン」 色素ニ就テ

大山綱憲 明治六年十月廿日生 香川縣出身 東大 同月授與主論文「ゲ フテリ」血清ノ全血中ニ於ケル増殖ニ 關スル免疫學的研究

白井光次 明治六年十月廿日生 香川縣出身 東大 同月授與主論文 香川縣出身 東大 同月授與主論文 香川縣出身 東大 同月授與主論文 香川縣出身 東大 同月授與主論文

板津 饒 明治六年三月廿日生 岐阜縣出身 東大 同月授與主論文 ア ンチナリン反復注射ニ因ル血液尿酸濃度 並ニ腎臟機能變化ニ就テ

柳金太郎 明治六年八月廿日生 東京出身 東大 同月授與主論文 各種部分の榮養發育並ニ「ア」 「B」 缺乏病及呼吸ニ於ケル基礎新陳代謝ノ比 較

池端俊輔 明治六年二月廿日生 和歌山縣出身 東大 四月授與 主論文 皮膚ノ乳酸生成並其ノ各種集線ニヨル影 響ニ就テ

三島 徳七 明治六年二月廿日生 東京出身 東大 同月授與主論文 ニッ ケル及ニツケル 合金ノ鈍鈍性

舟木 秀治 明治六年六月七日生 三重縣出身 東大 同月授與主論文 三 重縣出身 東大 同月授與主論文 三 重縣出身 東大 同月授與主論文

谷野富有夫 明治六年一月三日生 岡山縣出身 東大 同月授與主論文 鳥 類ノ白痢ニ於ケル循環器系統ノ研究

小林賢語 明治六年七月廿日生 長野縣出身 東大 同月授與主論文 香 體液ノ吸收ニ關スル研究

長野野 浩 明治六年三月三日生 東京出身 東大 同月授與主論文 副 腎

安藤重郎 明治六年六月廿日生 福島縣出身 東大 同月授與主論文 瀉 血後ノ血糖量ニ就テノ實驗的研究

鹿兒島縣出身 慶大醫學部 六月授與主 論文 血液中葡萄糖微量定量法ノ研究他 一篇

綾谷正男 明治六年一月十日生 群馬縣出身 慶大 三年六月授與主論文 所謂猩紅熱連鎖球菌ノ變異性

坂口武雄 明治六年七月廿日生 群馬縣出身 慶大 同月授與主論文 蠅 毒ノ作用ニ關スル實驗的研究

大島 侗 明治六年八月六日生 岐阜縣出身 慶大 同月授與主論文 日 本 人ニ於ケル腸チフス血液像ノ研究

中條資俊 明治五年七月七日生 山形縣出身 慶大 同月授與主論文 組 織性肥肝細胞ニ就テ

織田良一 明治六年四月廿日生 佐賀縣出身 慶大 三年六月授與主論文 「モンパルヒ」氏驗血法ニ依ル止血作用 ノ本態ニ關スル實驗的研究

大内 出 明治六年十月廿日生 宮城縣出身 北海道大 同月授與主論文 人血内ニ存在スル同種血球凝集原ニ就 テ

松野朝造

明治六年七月廿日生 秋田縣出身 東北大 同月授與主論文 免疫血清ノ溶血阻止作用ニ就テ

齋藤 靜 明治六年三月廿日生 福井縣出身 東北大 三年六月授與主論文 瀉血ガ大ノ副腎コリノあどれなりン 分泌速度ニ及ホス影響

武内宗四郎 明治六年六月六日生 富山縣出身 東北大 同月授與主論文 膝はるもんト鹽類代謝

塚本恒夫 明治六年二月廿日生 山形縣出身 新潟醫大 同月授與主論文 家兎ニ於ケル實驗的骨軟化症ノ研究並ニ 實驗的尙健病トノ異動ニ就テ

桑原 弼 明治六年四月廿日生 大分縣出身 岡山醫大 同月授與主論文 鳥類ニ於ケルD氏核ニ就テ

加藤 憲一 明治六年八月九日生 愛知縣出身 慈惠醫大 同月授與主論文 血球凝集素ノ研究

井尻又五郎 明治六年九月廿日生 山口縣出身 阪大 同月授與主論文 瀉 血後ノ血糖量ニ就テノ實驗的研究

近藤 榮 明治六年十月九日生 山形縣出身 東大 三年六月授與主論文

東京出身 京大 同月授與主論文 綠膿 菌ノ色素就中其ノ一新色素(赤膿色素) ナ論ジ併セテ木苗ノ螢光色素ト螢光菌ノ ソレトノ異同ニ及ブ

細田 誠 明治六年四月一日生 群馬縣出身 東大 同月授與 主論文 腎臟ノ糖排泄機轉ニ關スル研究

佐藤 久 明治六年三月七日生 愛知縣出身 東大 三年六月授與主論文 鷄血中ノ數種正常並ニ免疫抗産物生 量ノ年齡的差違ニ關スル實驗的研究

林 音彦 明治六年五月一日生 山口縣出身 東大 同月授與主論文 實驗的蛋白尿

松岡冬樹 明治六年二月廿日生 千葉縣出身 東大 同月授與主論文 生體ニ非徑口的ニ注入セル肝臟細胞成分 ノ肝臟並ニ他諸臟器ニ及ホス組織學的變 化ニ就テ

秋谷 實 明治六年一月二日生 埼玉縣出身 東大 同月授與主論文 發熱時ニ於ケル血液ノ毛機物及總酸鹽基 平衡ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究

武田敬治 明治六年二月廿日生 山形縣出身 東大 三年六月授與主論文

「ゲフテリ」血清ノ試驗的管内檢定法 ニ就テ

服部貴芳 明治六年一月四日生 愛知縣出身 京大 同月授與主論文 舞 踏鼠ノ研究

穂積鑑一 明治六年三月十日生 愛知縣出身 京大 同月授與主論文 恙 蟲病理解剖並ニ比較病理解剖學的研究

井上啓太郎 明治六年四月廿日生 埼玉縣出身 同月授與主論文 ウ ラノ腎炎家兎ノ物質代謝ニ關スル實驗的 研究

木村嘉一 明治六年一月十日生 滋賀縣出身 京都府立醫大 同月授與主 論文 惡性腫瘍ト神經トノ關係

青地正徳 明治六年七月廿日生 京都府出身 京都府立醫大 同月授與主 論文 炎ノ血球並ニ血清ニ及ホス影響附 炎ノ本態ニ就テ

高泉正暉 明治六年三月七日生 愛媛縣出身 新潟醫大 同月授與主論文 皮膚ノ「メラニン」色素ノ形成ニ就テ附 皮膚以外ニ出現スル「ニ」メラニン」 色素ニ就テ

大山綱憲 明治六年十月廿日生 香川縣出身 東大 同月授與主論文「ゲ フテリ」血清ノ全血中ニ於ケル増殖ニ 關スル免疫學的研究

白井光次 明治六年十月廿日生 香川縣出身 東大 同月授與主論文 香川縣出身 東大 同月授與主論文 香川縣出身 東大 同月授與主論文

板津 饒 明治六年三月廿日生 岐阜縣出身 東大 同月授與主論文 ア ンチナリン反復注射ニ因ル血液尿酸濃度 並ニ腎臟機能變化ニ就テ

柳金太郎 明治六年八月廿日生 東京出身 東大 同月授與主論文 各種部分の榮養發育並ニ「ア」 「B」 缺乏病及呼吸ニ於ケル基礎新陳代謝ノ比 較

池端俊輔 明治六年二月廿日生 和歌山縣出身 東大 四月授與 主論文 皮膚ノ乳酸生成並其ノ各種集線ニヨル影 響ニ就テ

三島 徳七 明治六年二月廿日生 東京出身 東大 同月授與主論文 ニッ ケル及ニツケル 合金ノ鈍鈍性

舟木 秀治 明治六年六月七日生 三重縣出身 東大 同月授與主論文 三 重縣出身 東大 同月授與主論文 三 重縣出身 東大 同月授與主論文

谷野富有夫 明治六年一月三日生 岡山縣出身 東大 同月授與主論文 鳥 類ノ白痢ニ於ケル循環器系統ノ研究

小林賢語 明治六年七月廿日生 長野縣出身 東大 同月授與主論文 香 體液ノ吸收ニ關スル研究

長野野 浩 明治六年三月三日生 東京出身 東大 同月授與主論文 副 腎

安藤重郎 明治六年六月廿日生 福島縣出身 東大 同月授與主論文 瀉 血後ノ血糖量ニ就テノ實驗的研究

鹿兒島縣出身 慶大醫學部 六月授與主 論文 血液中葡萄糖微量定量法ノ研究他 一篇

綾谷正男 明治六年一月十日生 群馬縣出身 慶大 三年六月授與主論文 所謂猩紅熱連鎖球菌ノ變異性

坂口武雄 明治六年七月廿日生 群馬縣出身 慶大 同月授與主論文 蠅 毒ノ作用ニ關スル實驗的研究

大島 侗 明治六年八月六日生 岐阜縣出身 慶大 同月授與主論文 日 本 人ニ於ケル腸チフス血液像ノ研究

中條資俊 明治五年七月七日生 山形縣出身 慶大 同月授與主論文 組 織性肥肝細胞ニ就テ

織田良一 明治六年四月廿日生 佐賀縣出身 慶大 三年六月授與主論文 「モンパルヒ」氏驗血法ニ依ル止血作用 ノ本態ニ關スル實驗的研究

大内 出 明治六年十月廿日生 宮城縣出身 北海道大 同月授與主論文 人血内ニ存在スル同種血球凝集原ニ就 テ

松野朝造

岩田 稷

愛知縣出身 愛知醫大 明治廿九年九月四日生

蜂谷 太郎

東京出身 九大 明治廿九年十月廿七日生

木塚 新

佐賀縣出身 九大 明治廿九年五月五日生

原 弘毅

秋田縣出身 九大 明治廿九年九月廿日生

大山 籍治郎

福岡縣出身 九大 明治廿九年九月廿日生

鷹野 翰

茨城縣出身 九大 明治廿九年二月廿日生

肥田 野行

東京出身 北海大 明治廿九年十月廿日生

鈴木 退輔

宮城縣出身 東北大 明治廿九年七月廿日生

サシメタル時ニ兎、猫、犬ノ心臓搏動ノ變化ヲ及ボス反射ニ就キテ外六篇

德江 交次

群馬縣出身 東北大 明治廿九年三月廿日生

大橋 毅

北海道出身 東北大 明治廿九年三月廿日生

田宮 知聡夫

廣島縣出身 東大 明治廿九年二月二日生

大田 義一

和歌山縣出身 東大 明治廿九年三月三日生

植木 良佐

千葉縣出身 東大 明治廿九年一月廿日生

赤木 勝雄

北海道出身 東大 明治廿九年七月廿日生

小山 巖

宮城縣出身 東大 明治廿九年七月廿日生

和田 佃

北海道出身 東大 明治廿九年四月廿日生

ルロフ小體ノ研究

伊藤 正雄

山梨縣出身 東大 明治廿九年十月六日生

宮谷 史郎

東京出身 東大 明治廿九年三月廿日生

寺田 正周

靜岡縣出身 東大 明治廿九年十月一日生

柴田 經一郎

京都出身 東大 明治廿九年十月廿日生

岡田 正矩

三重縣出身 岡山醫大 明治廿九年六月廿日生

熊谷 藏台

山口縣出身 岡山醫大 明治廿九年一月廿日生

安武 輝一

大阪出身 岡山醫大 明治廿九年五月十日生

長谷川 宗憲

愛知縣出身 東大 明治廿九年九月廿日生

病原菌ニ關スル研究

夏 禹鼎

支那出身 東大 明治廿九年二月一日生

三輪 善之輔

東京出身 東大 明治廿九年一月五日生

野坂 三枝

福井縣出身 東大 明治廿九年五月廿日生

小島 古壽

新潟縣出身 東大 明治廿九年二月廿日生

若生 良穂

宮城縣出身 東大 明治廿九年三月七日生

和田 國友

大阪出身 東大々々學院 明治廿九年三月七日生

堀江 恭一

東京出身 東大 明治廿九年九月五日生

新井 巳千雄

長野縣出身 東大 明治廿九年六月廿日生

昭和六年三月二日印刷
昭和六年三月五日發行

昭和六年版

不許
複製

編纂者

井上

昇

東京市神田區表猿樂町二番地

發行者

古川順應

東京市神田區表猿樂町二番地

印刷所

第一出版合名會社

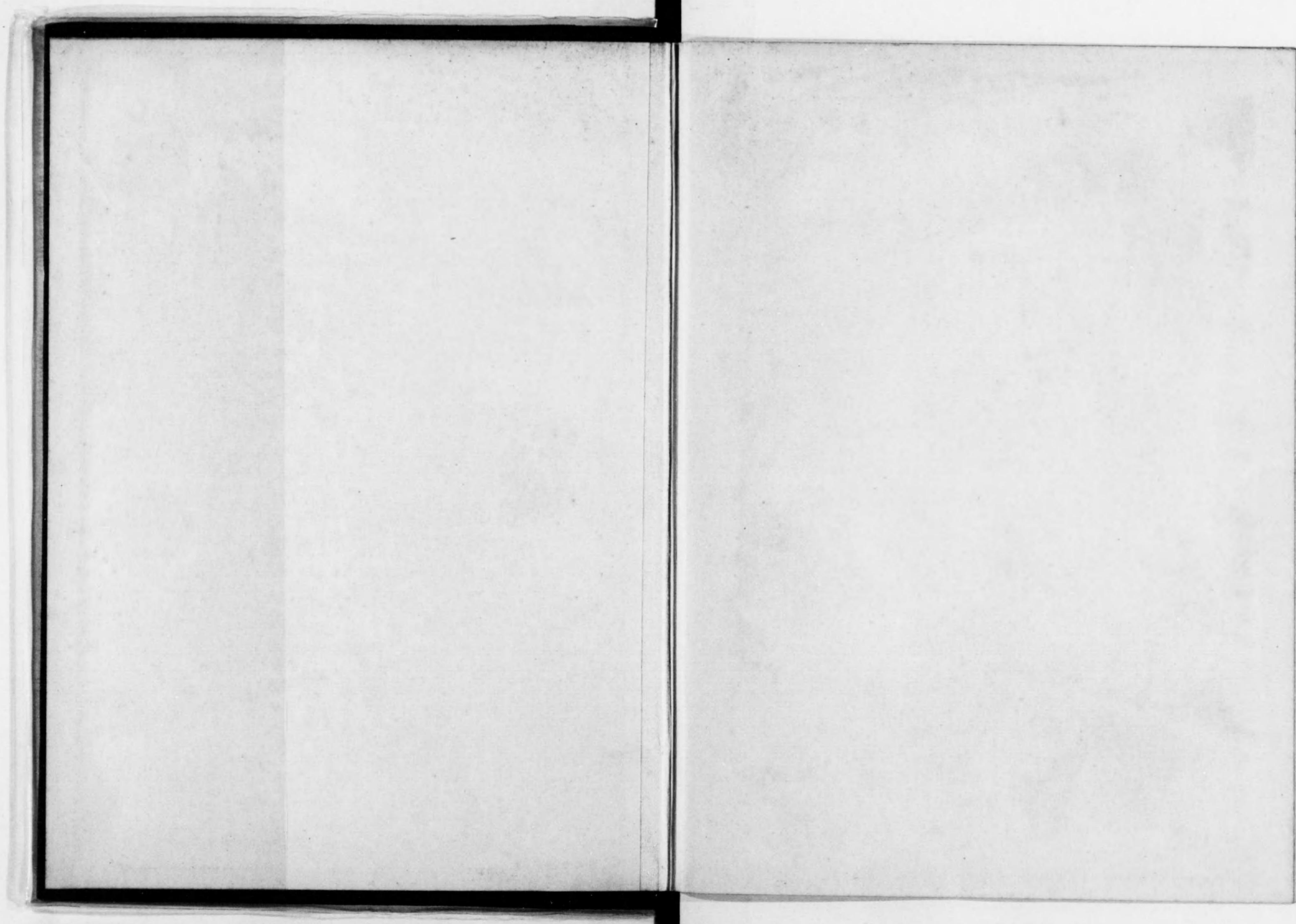
東京市神田區表猿樂町二番地

東京市神田區表猿樂町二番地

發行所

日本無藥醫療研究會

電話神田(25)二二八四番



終